

令和6（2024）年度
武蔵野市民意識調査報告書

令和7（2025）年3月

武 蔵 野 市

は じ め に

武蔵野市では、これまで市の総合計画である「長期計画」およびその「調整計画」を新たに策定する際に「市民意識調査」を実施しており、昭和 59(1984)年に第1回を実施して以来、今回で13回目の調査となります。

武蔵野市第六期長期計画(令和2～11年度)では、「効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション」を基本施策のひとつに掲げ、市民意識調査のほか、各種アンケートや、市民と市長との対話の機会、意見交換会などの広聴の機会の充実により市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、市民が住み続けたいと思う、市への愛着の醸成等に取り組むこととしています。

本調査の目的は、市民の皆さまの市政に対する考えをうかがうことにより現在行っている事務や事業の満足度のほか、新たな行政課題や多様な市民ニーズを把握することであり、その結果は令和7年1月に策定した第六期長期計画・第二次調整計画の基礎資料として活用いたしました。

今回の調査結果を、市民の皆さまからの貴重なご意見として取り入れ、市民の命を守るまちづくり、次世代に平和な未来をつなぐ市政を推進してまいります。

この調査にご協力をいただきました市民の皆さまには心からお礼を申し上げますとともに、今後とも市政へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年3月

武 蔵 野 市 長 小美濃安弘

目 次

はじめに

武蔵野市民意識調査実施の沿革	1
I 調査の概要	3
II 調査回答者の属性	7
III 調査結果	15
1 お住まいの地域のことについて	17
1－1 定住のきっかけ	17
1－2 生活環境の評価	22
1－3 定住意向	27
1－4 定住意向の理由	32
1－5 転出意向の理由	40
1－6 地域への関心度	53
1－7 近隣との交際状況	62
1－8 近隣との交際のきっかけ	67
1－9 近隣との交際がない理由	69
1－10 地域における行動の状況・意向	73
1－11 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと	76
1－12 地域への誇り・愛着	78
1－13 困っていること・不安なこと	84
1－14 手伝ってもらう相手	90
1－15 相談相手	93
2 市政に関する情報提供などについて	96
2－1 市の情報の入手状況	96
2－2 知りたい行政情報	99
2－3 広報媒体の認知状況	107
3 市の施策に対する満足度・重要度について	110
3－1 満足度	110
3－2 重要度	121
3－3 ニーズ得点	131
3－4 満足度と重要度の分析（居住地域別）	139
3－5 市政の現状や問題点	142
3－6 武蔵野市の将来像	143
4 市政についての自由回答	148
IV 調査票	163

武蔵野市民意識調査実施の沿革

武蔵野市では、昭和59(1984)年に第1回市民意識調査を実施して以降、3～4年に一度の間隔で「武蔵野市民意識調査」を継続して行っていましたが、平成30年度より市政アンケート調査と交互に隔年で実施しております。調査項目と実施の背景は以下の表のとおりです。

第13回である今回の調査は、郵送配布－郵送・WEB回収併用法によって行いました。その中で、標本対象を前回調査と同様に満18歳以上とし、4,000件の調査票を郵送したところ、1,735件の市民の皆様の声をいただきました。

	実施年度	調査手法	標本数 /回収率	調査項目
第1回	昭和59(1984)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 82.0%	1 地域に関する関心 2 市政評価 3 学習活動と教育 4 『老後』観 5 市政と情報
第2回	昭和62(1987)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.9%	1 地域生活とコミュニティ意識 2 市政評価と自治体意識 3 有償福祉に対する市民意識
第3回	平成3(1991)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 71.9%	1 地域に関する関心 2 市政の主要課題に対する考え 3 市政の現状、今後のあるべき姿について
第4回	平成7(1995)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.3%	1 地域に関する関心 2 市政の主要課題に対する考え 3 市政の現状、今後のあるべき姿について
第5回	平成11(1999)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.2%	1 地域に関する関心 2 ボランティア活動とコミュニティ活動 3 市政の主要課題に対する考え 4 市の行政のあり方について 5 市政の現状、今後のあるべき姿について
第6回	平成15(2003)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 72.1%	1 地域に関する関心 2 ボランティア活動 3 市民生活の安全 4 市政の主要課題に対する考え 5 市政の現状、今後のあるべき姿について
第7回	平成19(2007)年	郵送配布－ 郵送回収法	3,000 48.1%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第8回	平成22(2010)年	郵送配布－ 郵送回収法	3,500 47.8%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第9回	平成26(2014)年	郵送配布－ 郵送回収法	3,500 40.1%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第10回	平成30(2018)年	郵送配布－ 郵送・WEB 回収併用法	3,500 43.0%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度

	実施年度	調査手法	標本数 /回収率	調査項目
第11回	令和2(2020)年	郵送配布－ 郵送・WEB 回収併用法	3,500 51.6%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度 4 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供など について 5 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度・ 重要度
第12回	令和4(2022)年	郵送配布－ 郵送・WEB 回収併用法	4,000 36.7%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 現在の市の施策に対する満足度・重要度について 4 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度 などについて 5 平和・多文化共生について
第13回	令和6(2024)年	郵送配布－ 郵送・WEB 回収併用法	4,000 43.4%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 現在の市の施策に対する満足度・重要度について

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の経緯と目的

武蔵野市では、長期計画・調整計画の策定に先立ち、市民の皆様の市政に対する考えを伺うことにより現在行っている事務や事業の満足度のほか、新たな行政課題や多様な市民ニーズを把握することを目的に、市民意識調査を実施してきました。

今回の調査結果は、第六期長期計画・第二次調整計画の策定を含めた、市政全般に関する基礎資料として活用します。

2 調査項目

今回の調査では、以下のテーマについて調査しました。

＜調査テーマ＞	＜問番号＞
(1) お住まいの地域のことについて 定住のきっかけ、生活環境の評価、定住意向、地域への関心度、 近隣との交際状況、地域における行動の状況・意向、 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと、地域への誇り・愛着、 困っていること・不安なこと、手伝ってもらう相手、相談相手	(問1～問11)
(2) 市政に関する情報提供などについて 市の情報の入手状況、知りたい市政情報、広報媒体の認知状況	(問12～問14)
(3) 市の施策に対する満足度・重要度について 市の施策に対する満足度・重要度、市政の現状や問題点、市の将来像	(問15～問17)
(4) 自由意見欄 市政についての自由意見	

3 調査設計

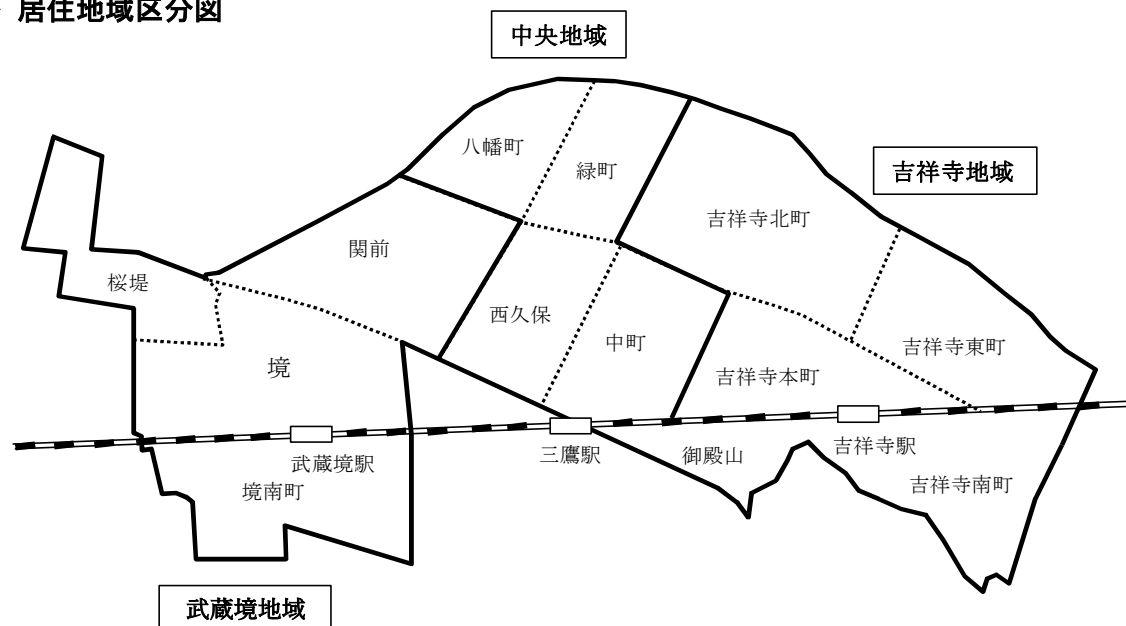
- | | |
|----------|--------------------------------|
| (1) 調査地域 | 武蔵野市全域 |
| (2) 調査対象 | 武蔵野市に居住する満18歳以上の方 |
| (3) 標本抽出 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布・郵送・WEB回収併用 |
| (5) 調査時期 | 令和6（2024）年6月27日（木）から7月26日（金）まで |

4 回収結果

	標本数	回収率	
今回（令和6（2024）年）	4,000標本	43.4%（1,735件）	郵送回収：1,061件 WEB回収：674件
令和4（2022）年	4,000標本	36.7%（1,468件）	郵送回収：922件 WEB回収：546件
令和2（2020）年	3,500標本	51.6%（1,805件）	郵送回収：1,244件 WEB回収：561件

5 居住地域区分

◆ 居住地域区分図



◆ 居住地域該当町表

< 地域名 >	< 地域該当町 >
1 吉祥寺地域	吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町
2 中央地域	中町、西久保、緑町、八幡町
3 武蔵境地域	関前、境、境南町、桜堤

6 報告書の見方

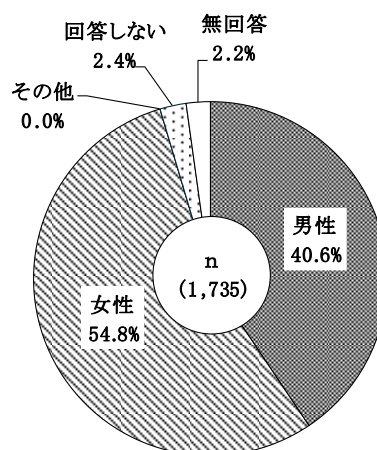
- (1) 集計は、原則として小数点第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数です。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (4) 回答者数が30人未満の場合、数値に偏りが出やすいため図を表記するにとどめ、本文では原則として触れていません。
- (5) 性別の「その他」、年齢の「18歳～19歳」については、回答数が少ないため、数値の見方に注意が必要です。
- (6) 各設問の回答者の属性別の表では、無回答数を表記していないため、合計が全体の数値と合わない場合があります。
- (7) いくつかの調査項目は令和4年度（前回調査）と比較しています。
- (8) 表で示している集計結果（P. 25～26など）において、同率数値の項目が複数ある場合は、全体の上位順を基準としています。

Ⅱ 調査回答者の属性

Ⅱ 調査回答者の属性

1 性別

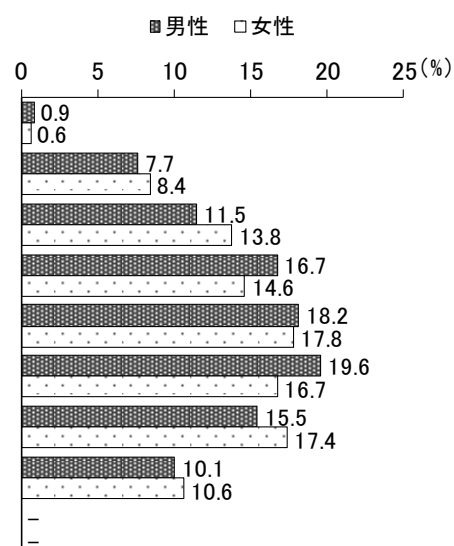
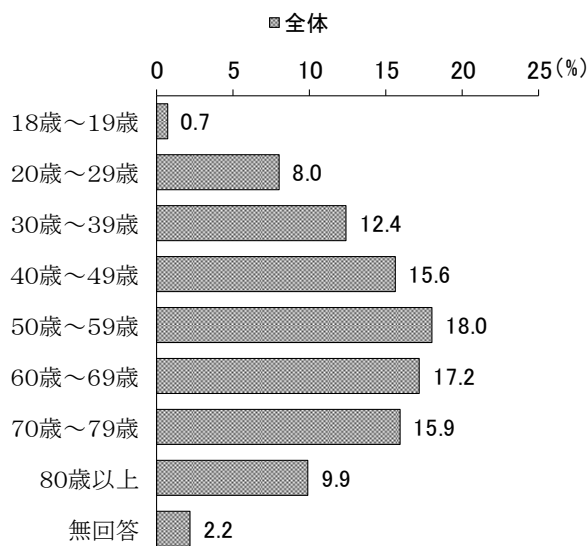
	基 数	構成比 (%)
1 男性	705	40.6
2 女性	950	54.8
3 その他	0	0.0
4 回答しない (無回答)	41 39	2.4 2.2
合 計	1,735	100.0



2 年齢／性・年齢

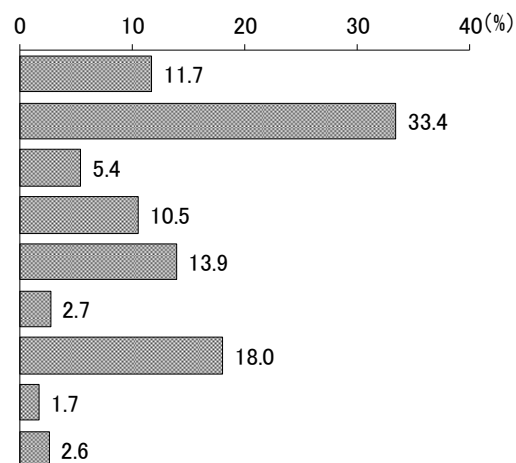
	全体		男性		女性	
	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)
1 18歳～19歳	12	0.7	6	0.9	6	0.6
2 20歳～29歳	139	8.0	54	7.7	80	8.4
3 30歳～39歳	216	12.4	81	11.5	131	13.8
4 40歳～49歳	270	15.6	118	16.7	139	14.6
5 50歳～59歳	312	18.0	128	18.2	169	17.8
6 60歳～69歳	299	17.2	138	19.6	159	16.7
7 70歳～79歳	276	15.9	109	15.5	165	17.4
8 80歳以上	172	9.9	71	10.1	101	10.6
(無回答)	39	2.2	0	0.0	0	0.0
合 計	1,735	100.0	705	100.0	950	100.0

※性別では、回答数がごく少数の回答しない・無回答を表記していないため、男女を足し合わせても全体の人数にはなりません。



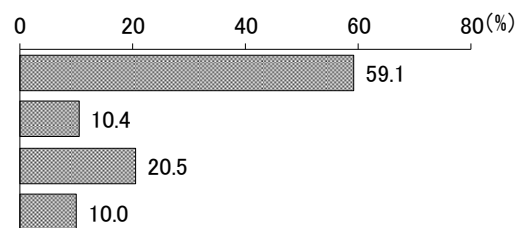
3 職業

	基 数	構成比(%)
1 自営業・自由業	203	11.7
2 正社員、正職員	580	33.4
3 契約社員、派遣社員	94	5.4
4 アルバイト、パート	182	10.5
5 家事専業	242	13.9
6 学生	47	2.7
7 無職	313	18.0
8 その他	29	1.7
(無回答)	45	2.6
合 計	1,735	100.0



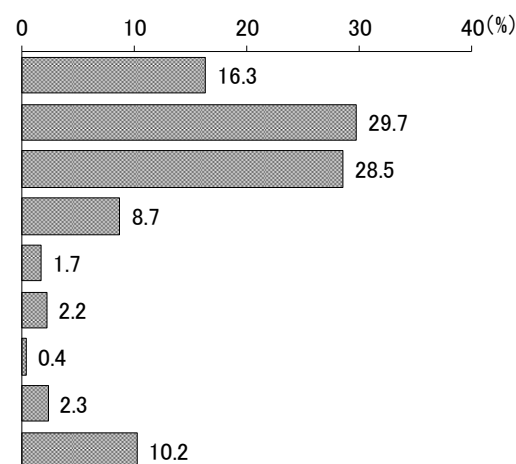
4 婚姻状況

	基 数	構成比(%)
1 現在、結婚している	1,026	59.1
2 過去に結婚していた(離別、死別など)	180	10.4
3 一度も結婚したことはない	356	20.5
(無回答)	173	10.0
合 計	1,735	100.0



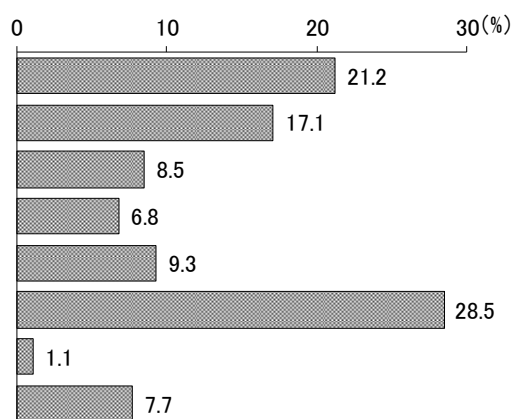
5 家族構成

	基 数	構成比(%)
1 ひとり暮らし	283	16.3
2 自分と配偶者(事実婚含む)・パートナー	515	29.7
3 自分と子(2世代世帯)	495	28.5
4 自分と親(2世代世帯)	151	8.7
5 自分と子と孫(3世代世帯)	29	1.7
6 親と自分と子(3世代世帯)	38	2.2
7 祖父母と親と自分(3世代世帯)	7	0.4
8 その他	40	2.3
(無回答)	177	10.2
合 計	1,735	100.0



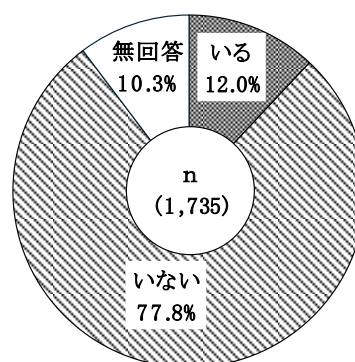
5-1 お子さんの就学状況(一番年少の方)

	基 数	構成比(%)
1 小学校入学前	119	21.2
2 小学生	96	17.1
3 中学生	48	8.5
4 高校生	38	6.8
5 専門学校、短期大学、大学生等	52	9.3
6 社会人	160	28.5
7 その他	6	1.1
(無回答)	43	7.7
合 計	562	100.0



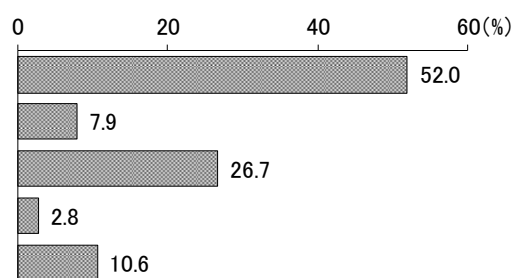
6 介護が必要な高齢者や障がい者の同居の有無

	基 数	構成比(%)
1 いる	208	12.0
2 いない	1,349	77.8
(無回答)	178	10.3
合 計	1,735	100.0



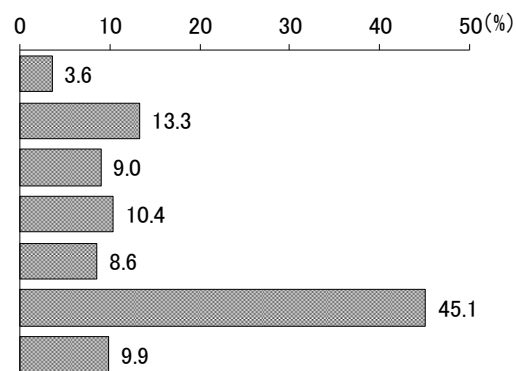
7 日中最も多くの時間を過ごす場所

	基 数	構成比(%)
1 武蔵野市内	902	52.0
2 武蔵野市以外の東京都の市町村	137	7.9
3 東京都23区内	464	26.7
4 東京都外	48	2.8
(無回答)	184	10.6
合 計	1,735	100.0



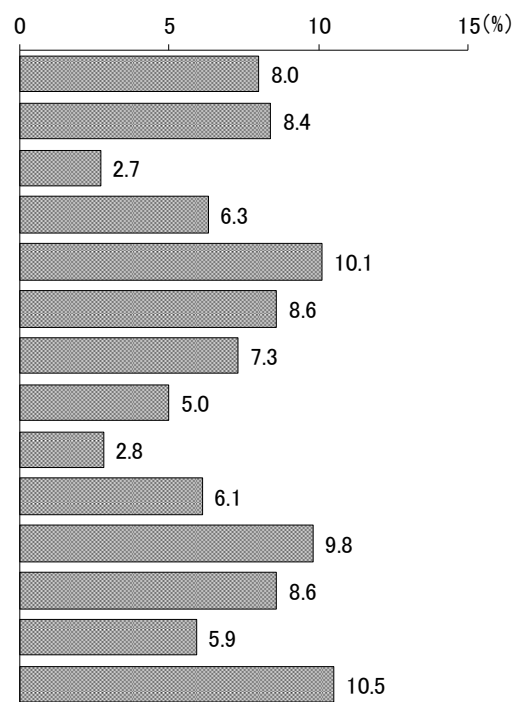
8 居住年数

	基 数	構成比(%)
1 1年未満	63	3.6
2 1年～5年未満	231	13.3
3 5年～10年未満	157	9.0
4 10年～15年未満	180	10.4
5 15年～20年未満	150	8.6
6 20年以上	782	45.1
(無回答)	172	9.9
合 計	1,735	100.0

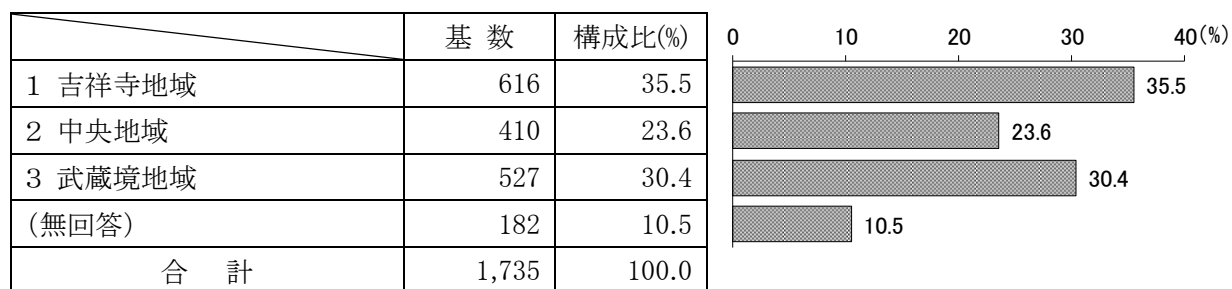


9 居住町名

	基 数	構成比(%)
1 吉祥寺東町	138	8.0
2 吉祥寺南町	146	8.4
3 御殿山	47	2.7
4 吉祥寺本町	110	6.3
5 吉祥寺北町	175	10.1
6 中町	149	8.6
7 西久保	126	7.3
8 緑町	86	5.0
9 八幡町	49	2.8
10 関前	105	6.1
11 境	170	9.8
12 境南町	150	8.6
13 桜堤	102	5.9
(無回答)	182	10.5
合 計	1,735	100.0



9-1 居住地域※

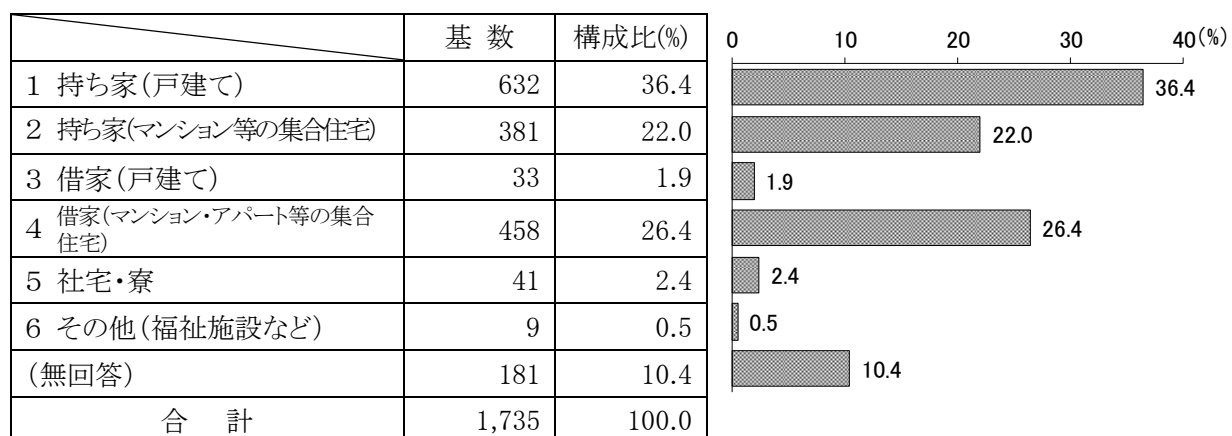


※吉祥寺地域 …(吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)

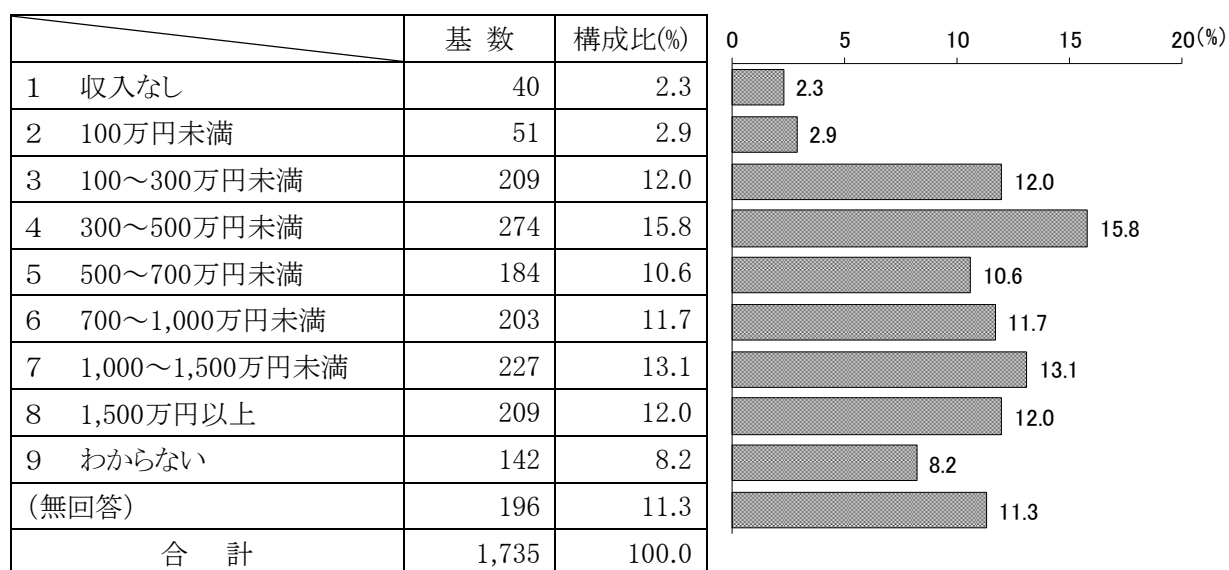
中 央 地 域 …(中町、西久保、緑町、八幡町)

武蔵境地域 …(関前、境、境南町、桜堤)

10 住宅の種類



11 世帯収入



Ⅲ 調査結果

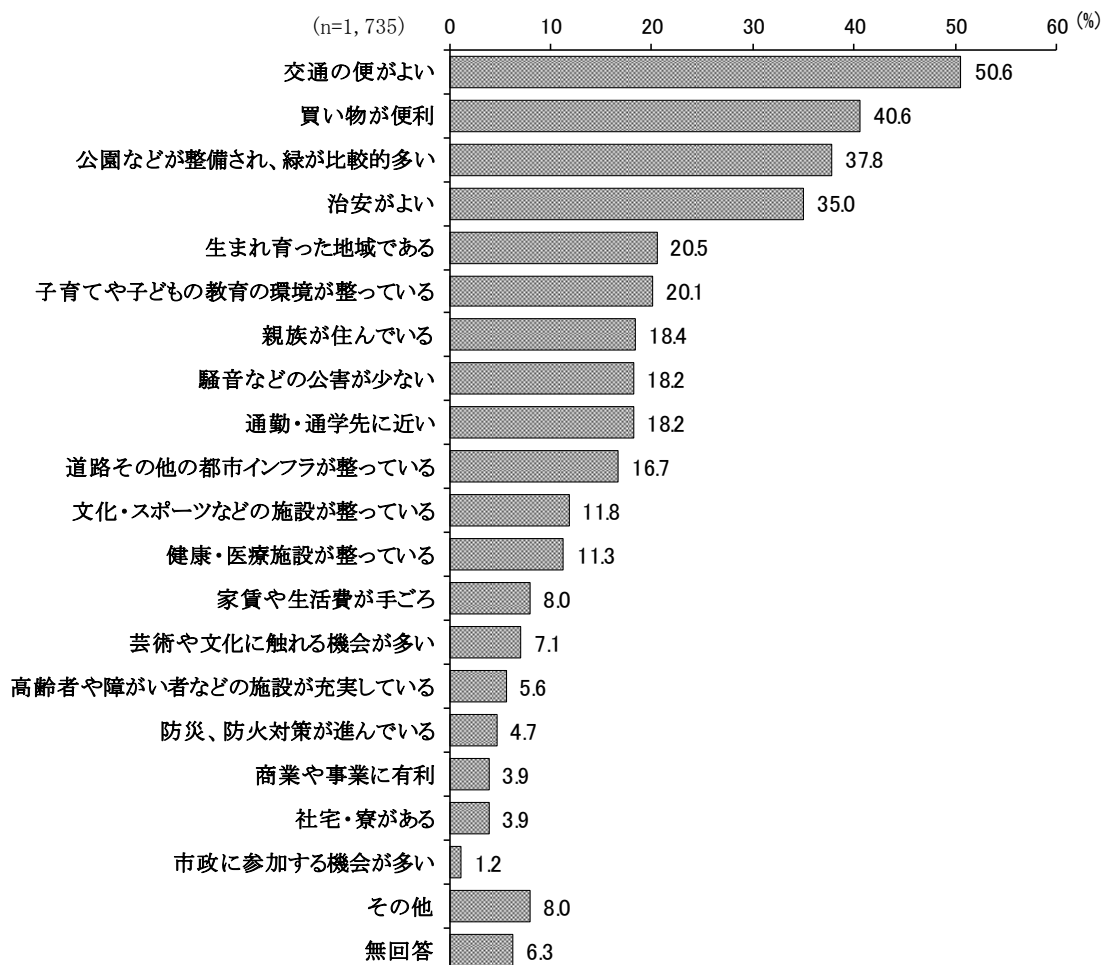
1 お住まいの地域のことについて

1-1 定住のきっかけ

◎「交通の便がよい」、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が上位3項目。

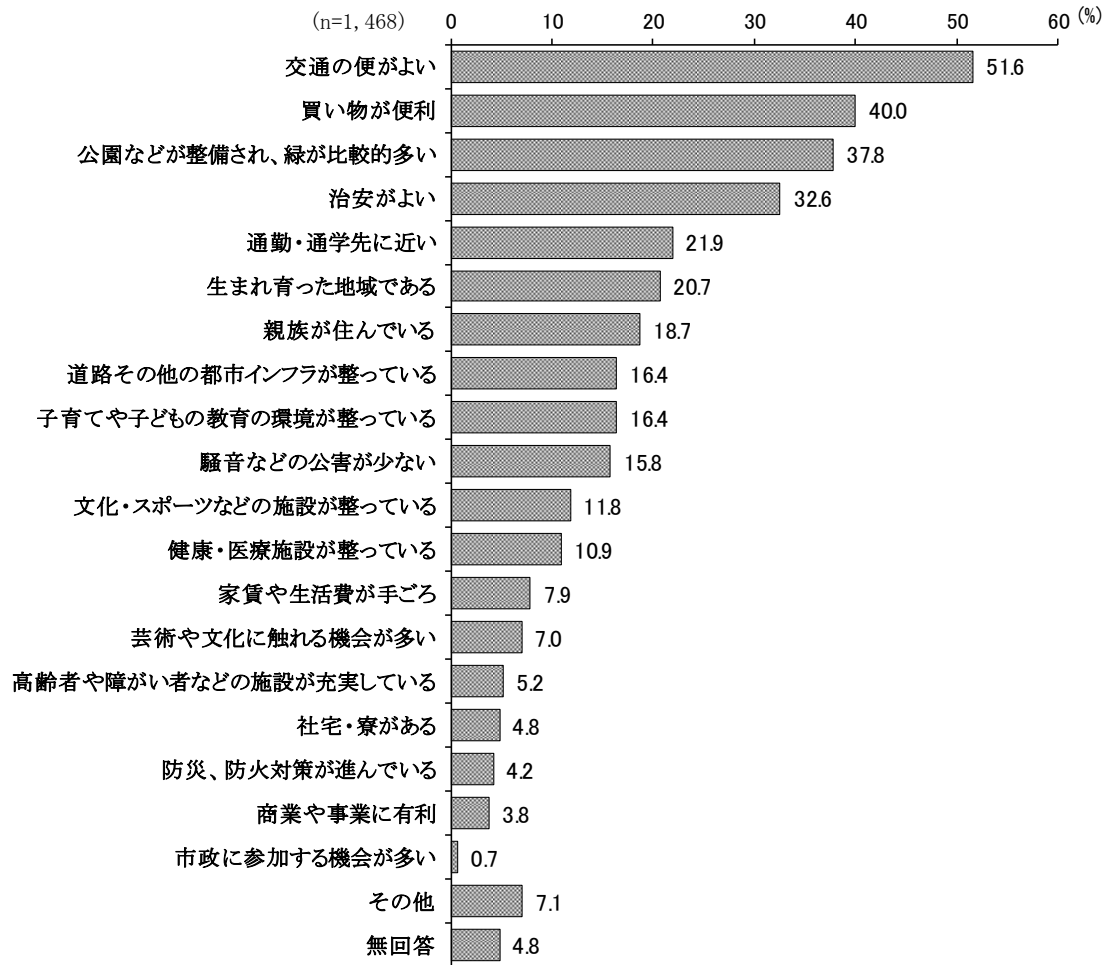
問1 あなたが現在住んでいるところに住みはじめた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-1 定住のきっかけ(複数回答)



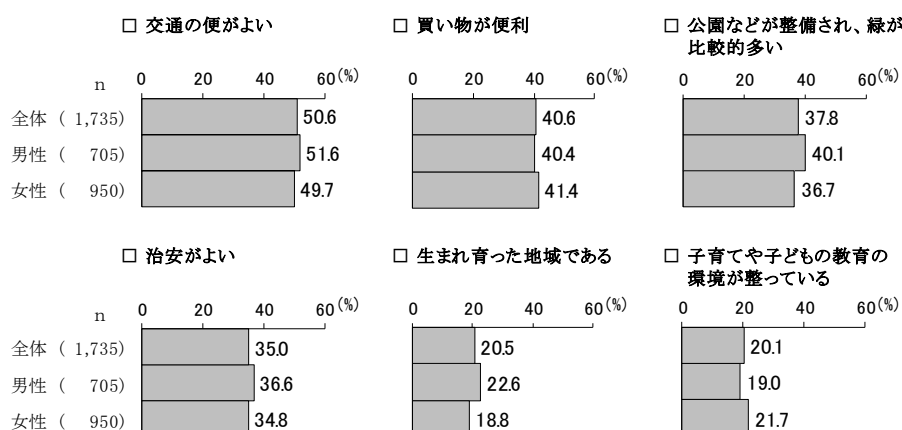
定住のきっかけとしては、「交通の便がよい」(50.6%)が約5割と最も高く、次いで「買い物が便利」(40.6%)が約4割、「公園などが整備され、緑が比較的多い」(37.8%)、「治安がよい」(35.0%)が3割台、「生まれ育った地域である」(20.5%)、「子育てや子どもの教育の環境が整っている」(20.1%)がともに約2割で続いている。(図表1-1)

参考：令和4年度調査の結果



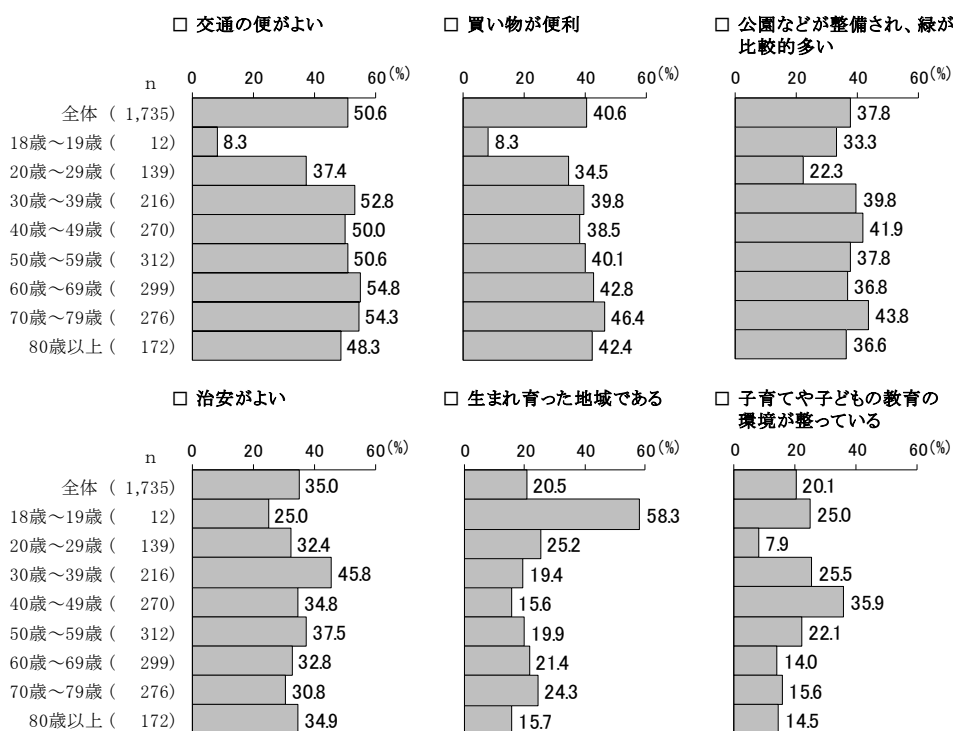
前回調査と比較すると、1位から4位は変わらず、前回6位の「生まれ育った地域である」が今回5位に、前回8位の「子育てや子どもの教育の環境が整っている」（「道路やその他の都市インフラが整っている」と同率）が今回6位となった。

図表1－2 定住のきっかけ（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、男性の方が女性より「生まれ育った地域である」は3.8ポイント、「公園などが整備され、緑が比較的多い」は3.4ポイント高い。（図表1－2）

図表1－3 定住のきっかけ（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「交通の便がよい」は、30歳～79歳で5割を超え、60歳～69歳、70歳～79歳で5割台半ばと高くなっている。「買い物が便利」は、70歳～79歳で4割台半ばと最も高く、50歳～59歳、60歳～69歳、80歳以上も4割を超えている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、70歳～79歳、40歳～49歳で4割台前半となっている。「治安がよい」は、30歳～39歳で4割台半ばと高く、「生まれ育った地域である」は、20歳～29歳、70歳～79歳で2割台半ば、「子育てや子どもの教育の環境が整っている」は、40歳～49歳で3割台半ばと高くなっている。（図表1－3）

図表1－4 定住のきっかけ（居住地域別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		順位					
		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
全体		交通の便がよい 50.6	買い物が便利 40.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 37.8	治安がよい 35.0	生まれ育った地域で ある 20.5	
居住地域別	吉祥寺地域		交通の便がよい 51.1	買い物が便利 45.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 37.0	治安がよい 28.7	生まれ育った地域で ある 21.6
	吉祥寺東町	交通の便がよい 47.1	買い物が便利 42.8	治安がよい 29.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 25.4	親族が住んでいる 23.9	
		吉祥寺南町	交通の便がよい 55.5	買い物が便利 49.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 39.0	治安がよい 27.4	親族が住んでいる 20.5
	御殿山	交通の便がよい 72.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 66.0	買い物が便利 53.2	治安がよい 48.9	通勤・通学先に近い 道路その他の都市 インフラが整っている 27.7	
		吉祥寺本町	交通の便がよい 58.2	買い物が便利 51.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 35.5	生まれ育った地域で ある 25.5	治安がよい 20.9
	吉祥寺北町	交通の便がよい 40.6	買い物が便利 37.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 37.7	治安がよい 28.6	生まれ育った地域 である 24.6	
	中央地域	交通の便がよい 53.9	買い物が便利 38.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 38.0	治安がよい 37.8	子育てや子どもの教育 の環境が整っている 21.5	
		中町	交通の便がよい 69.1	買い物が便利 47.0	治安がよい 40.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 26.2	通勤・通学先に近い 20.1
		西久保	交通の便がよい 51.6	治安がよい 39.7	買い物が便利 36.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 36.5	生まれ育った地域で ある 23.0
		緑町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 50.0	交通の便がよい 41.9	買い物が便利 34.9	治安がよい 33.7	子育てや子どもの教育 の環境が整っている 文化・スポーツなどの 施設が整っている 24.4
		八幡町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 57.1	交通の便がよい 34.7	治安がよい 32.7	子育てや子どもの教育 の環境が整っている 26.5	買い物が便利 24.5
	武蔵境地域	交通の便がよい 48.0	治安がよい 41.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 38.3	買い物が便利 36.6	子育てや子どもの教育 の環境が整っている 23.9	
		関前	公園などが整備され、 緑が比較的多い 45.7	交通の便がよい 41.9	治安がよい 39.0	子育てや子どもの教育 の環境が整っている 25.7	買い物が便利 23.8
		境	交通の便がよい 53.5	買い物が便利 48.2	治安がよい 40.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 35.3	生まれ育った地域で ある 21.2
		境南町	交通の便がよい 52.7	買い物が便利 44.7	治安がよい 43.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 騒音などの公害が 少ない 26.0	－ －
			桜堤	公園などが整備され、 緑が比較的多い 53.9	治安がよい 46.1	交通の便がよい 38.2	－ －

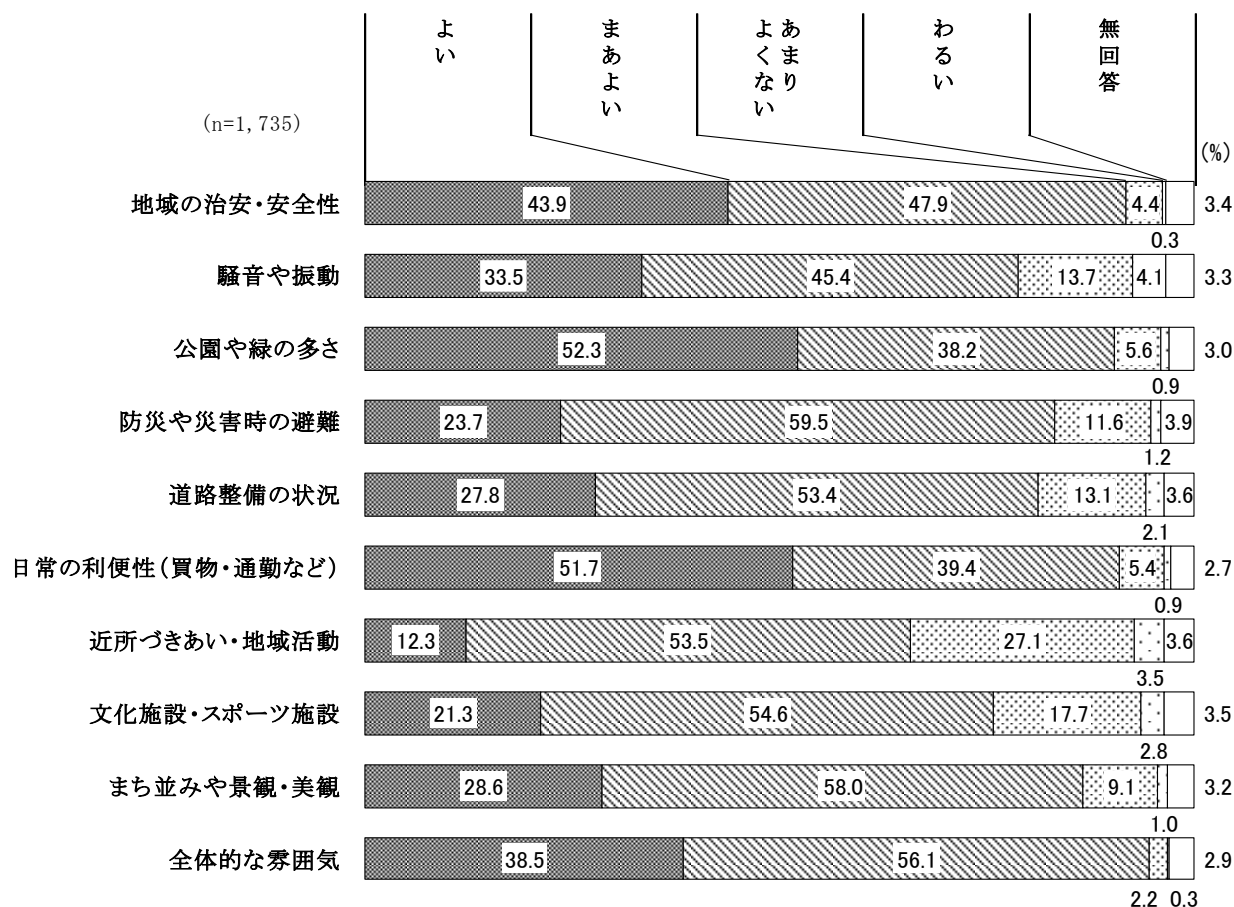
居住地域別で見ると、「交通の便がよい」は、緑町、八幡町、関前、桜堤を除いた地域で第1位となっており、御殿山では7割を超えて最も高くなっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、緑町、八幡町、関前、桜堤で第1位となっている。（図表1－4）

1-2 生活環境の評価

◎【公園や緑の多さ】、【日常の利便性(買物・通勤など)】で「よい」が5割台前半、【全体的な雰囲気】では「まあよい」が5割台半ばである。

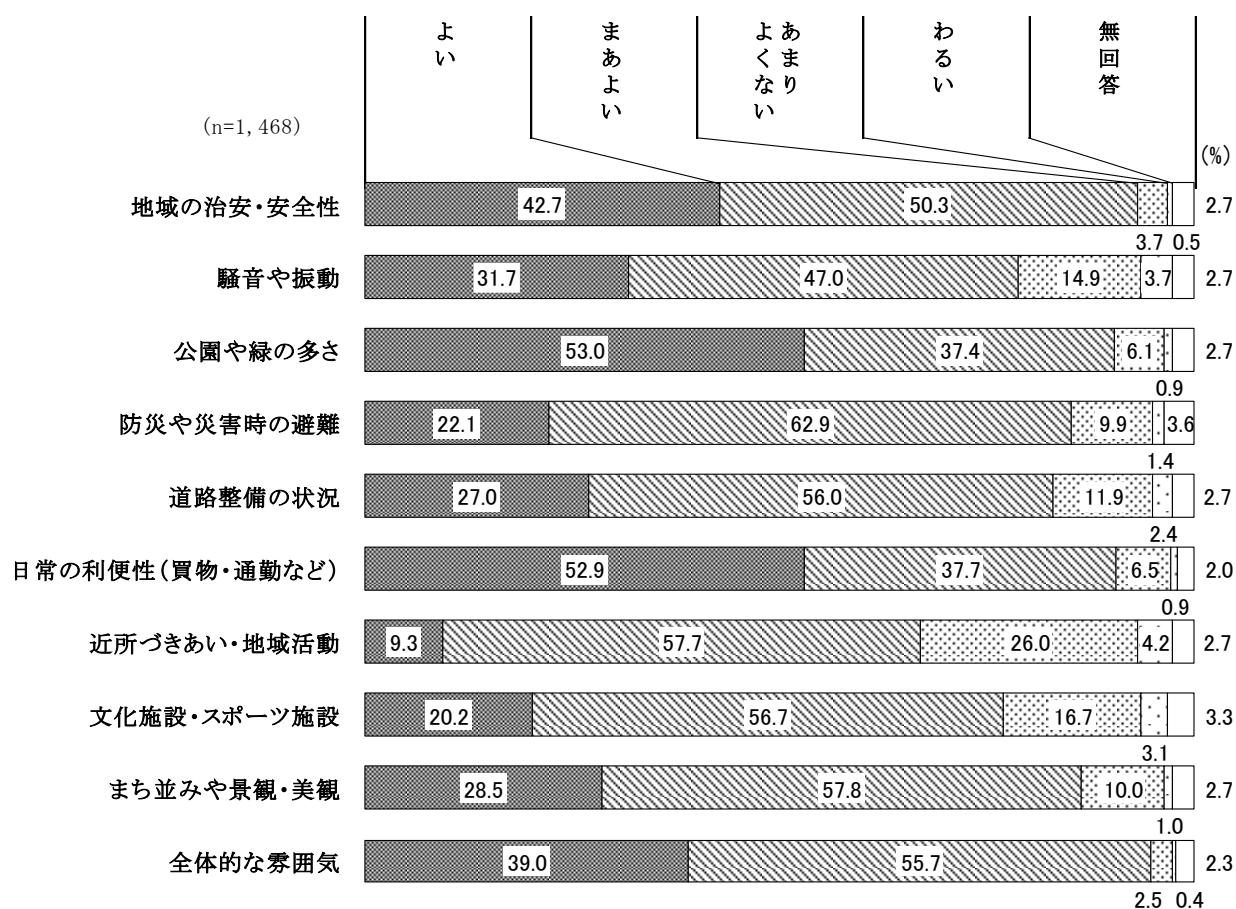
問2 あなたは、お住まいの周りの環境についてどう思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

図表1-5 生活環境の評価



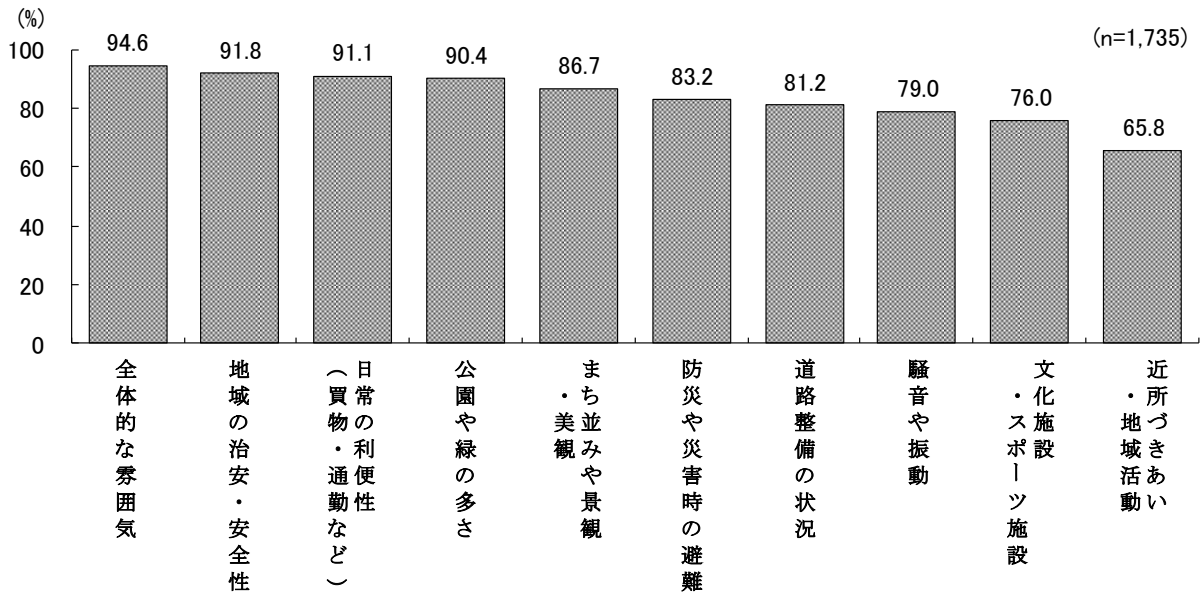
【全体的な雰囲気】は、「よい」(38.5%)と「まあよい」(56.1%)を合わせた『よい』の割合が9割台半ばとなっている。また、【公園や緑の多さ】(52.3%)、【日常の利便性(買物・通勤など)】(51.7%)は「よい」が半数を超えて高く、その他の項目では「まあよい」の方が高くなっている。(図表1-5)

参考：令和4年度調査の結果



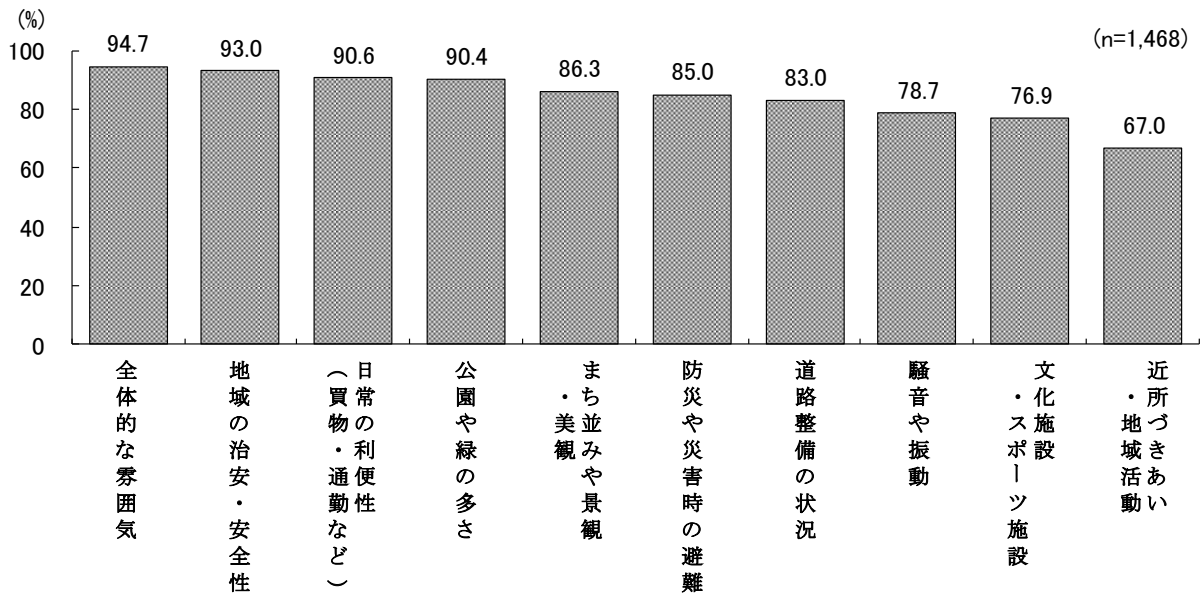
前回調査と比較すると、【全体的な雰囲気】は、ほとんど変化が見られない。その他の項目では、【近所づきあい・地域活動】で「よい」の割合が3.0ポイント増加している。

図表1－6 生活環境の評価(『よい』の高い順)



『よい』(「よい」＋「まあよい」)の割合で見ると、【全体的な雰囲気】、【地域の治安・安全性】、【日常の利便性(買物・通勤など)】、【公園や緑の多さ】が9割を超え、次いで【まち並みや景観・美観】が8割台後半となっている。(図表1－6)

参考：令和4年度調査の結果



前回調査と比較すると、全ての項目において順位に変化がなく、割合も大きな変化は見られない。

図表1－7 生活環境の評価(『よい』の高い順、性別・居住地域別)

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		全体的な雰囲気 94.6	地域の治安・安全性 91.8	日常の利便性 (買物・通勤など) 91.1	公園や緑の多さ 90.4	まち並みや景観・美観 86.7
性別	男性	全体的な雰囲気 95.2	日常の利便性 (買物・通勤など) 93.2	地域の治安・安全性 92.6	公園や緑の多さ 92.1	まち並みや景観・美観 87.2
	女性	全体的な雰囲気 94.6	地域の治安・安全性 91.8	公園や緑の多さ 90.1	日常の利便性 (買物・通勤など) 89.9	まち並みや景観・美観 87.1
居住地域	吉祥寺地域	全体的な雰囲気 95.1	日常の利便性 (買物・通勤など) 92.9	公園や緑の多さ 91.7	地域の治安・安全性 90.7	まち並みや景観・美観 86.5
	中央地域	全体的な雰囲気 96.8	地域の治安・安全性 95.1	公園や緑の多さ 93.7	日常の利便性 (買物・通勤など) 92.2	まち並みや景観・美観 89.0
	武蔵境地域	全体的な雰囲気 94.9	地域の治安・安全性 93.0	日常の利便性(買物・ 通勤など) 91.1	公園や緑の多さ 90.9	まち並みや景観・美観 89.0

『よい』（「よい」＋「まあよい」）の上位5項目を属性別に分析した。

性別で見ると、男女ともに第1位は【全体的な雰囲気】となっており、第2位は男性が【日常の利便性（買物・通勤など）】、女性が【地域の治安・安全性】、第3位は男性が【地域の治安・安全性】、女性が【公園や緑の多さ】となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も【全体的な雰囲気】が第1位であり、第2位は、吉祥寺地域で【日常の利便性（買物・通勤など）】、中央地域と武蔵境地域で【地域の治安・安全性】となっている。（図表1－7）

図表1－8 生活環境の評価
 (『よい』の高い順、子どもの就学状況別・介護が必要な同居家族の有無別)

(%)

属性		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
子どもの就学状況	小学校入学前	全体的な雰囲気 98.3	地域の治安・安全性 96.6	公園や緑の多さ 93.3	防災や災害時の避難 90.8	まち並みや景観・美観 87.4	
	小学生	全体的な雰囲気 95.8	地域の治安・安全性 日常の利便性 (買物・通勤など) 公園や緑の多さ 92.7	－ － －	－ － －	まち並みや景観・美観 86.5	
	中学生	全体的な雰囲気 97.9	地域の治安・安全性 日常の利便性(買物・通勤など) 93.8	－ －	防災や災害時の避難 91.7	公園や緑の多さ 89.6	
	高校生	公園や緑の多さ 97.4	地域の治安・安全性 日常の利便性 (買物・通勤など) 92.1	－ －	全体的な雰囲気 89.5	まち並みや景観・美観 84.2	
	専門学校、短期大学、大学生等	全体的な雰囲気 96.2	日常の利便性 (買物・通勤など) 94.2	地域の治安・安全性 92.3	公園や緑の多さ 86.5	まち並みや景観・美観 道路整備の状況 84.6	
	社会人	地域の治安・安全性 93.8	全体的な雰囲気 93.1	日常の利便性 (買物・通勤など) 90.6	公園や緑の多さ 90.0	まち並みや景観・美観 防災や災害時の避難 83.8	
	その他	全体的な雰囲気 地域の治安・安全性 日常の利便性 (買物・通勤など) 公園や緑の多さ まち並みや景観・美観 道路整備の状況 83.3	－ －	－ －	－ －	－ －	
同居介護が必要な家族の有無別	いる	全体的な雰囲気 93.3	地域の治安・安全性 91.3	公園や緑の多さ 89.9	日常の利便性 (買物・通勤など) 88.5	まち並みや景観・美観 80.3	
	いない	全体的な雰囲気 95.9	地域の治安・安全性 92.9	日常の利便性 (買物・通勤など) 公園や緑の多さ 92.4	－ －	まち並みや景観・美観 89.1	

『よい』（「よい」＋「まあよい」）の上位5項目を子どもの就学状況別で見ると、【全体的な雰囲気】は、[高校生]、[社会人]の子を持つ方以外で第1位となっている（[その他]は【地域の治安・安全性】、【日常の利便性（買物・通勤など）】、【公園や緑の多さ】、【まち並みや景観・美観】、【道路整備の状況】も同率第1位）。また、[高校生]の子を持つ方は【公園や緑の多さ】、[社会人]の子を持つ方は【地域の治安・安全性】が第1位となっている。

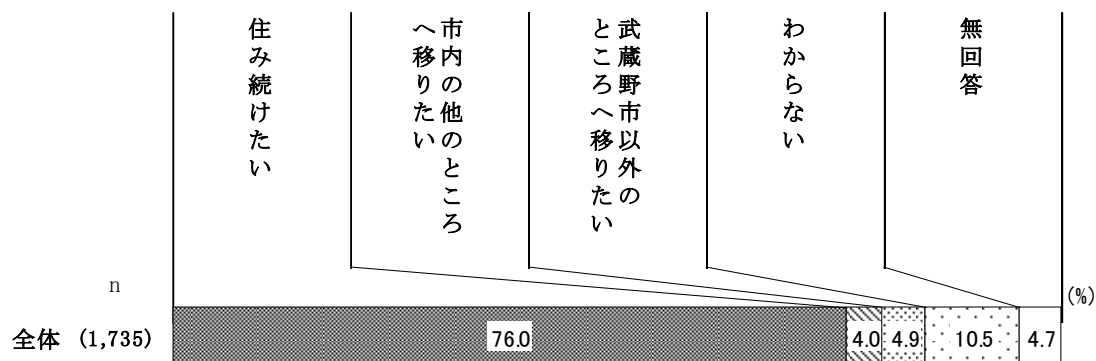
介護が必要な同居家族の有無別で見ると、ともに第1位は【全体的な雰囲気】、第2位は【地域の治安・安全性】となっている。第3位は介護が必要な同居家族がいる方は【公園や緑の多さ】、いない方は【日常の利便性（買物・通勤など）】と【公園や緑の多さ】が同率となっている。（図表1－8）

1－3 定住意向

◎ 「住み続けたい」が7割台半ばである。

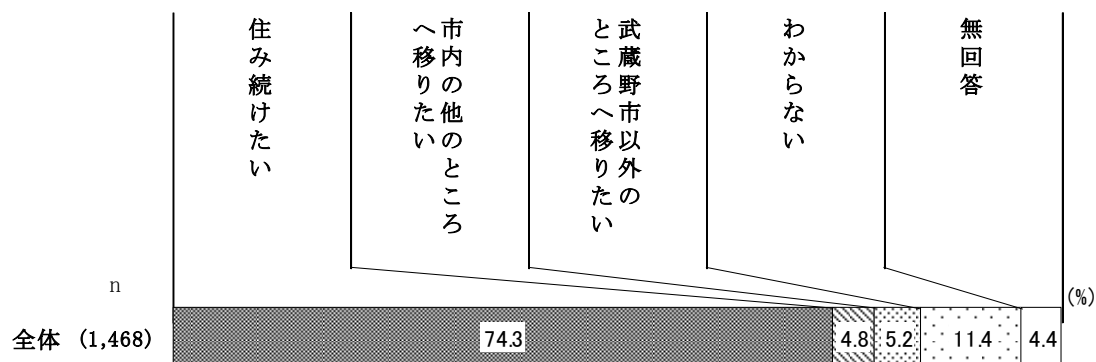
問3 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

図表1－9 定住意向



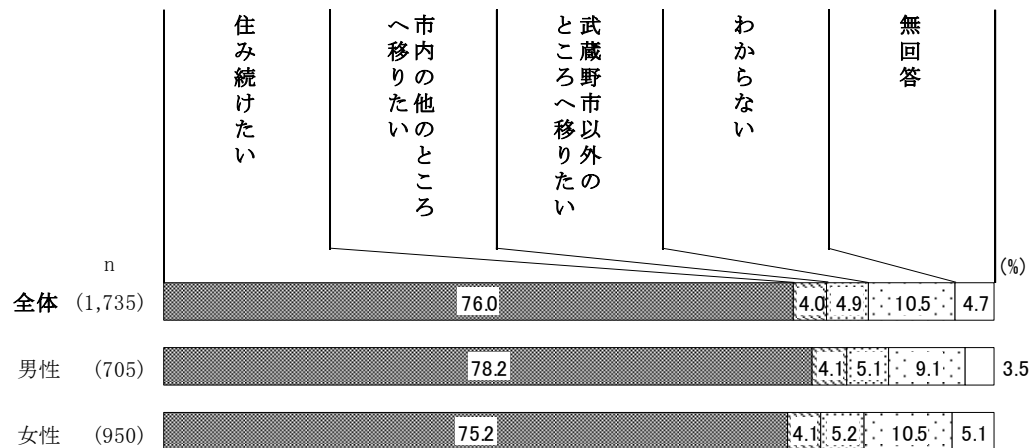
定住意向としては、「住み続けたい」(76.0%)が7割台半ばと最も高くなっている。(図表1－9)

参考：令和4年度調査の結果



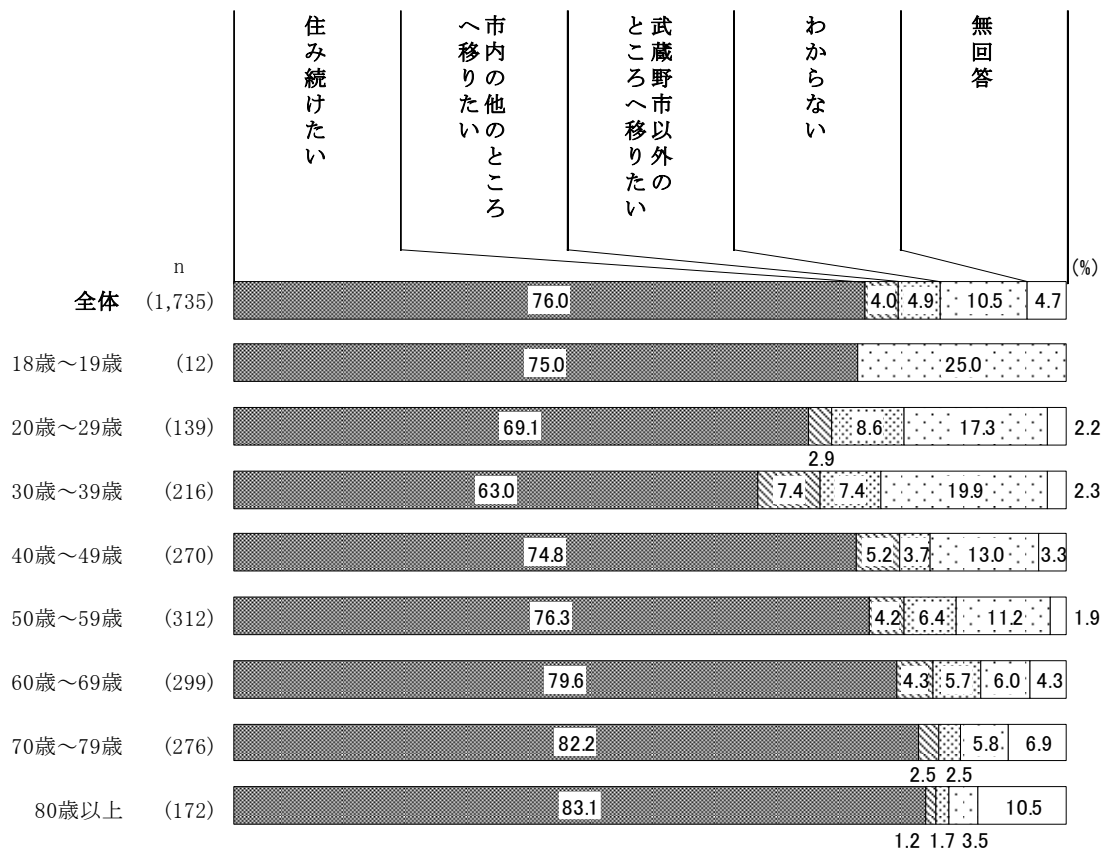
前回調査と比較すると、特に大きな変化は見られない。

図表1－10 定住意向（性別）



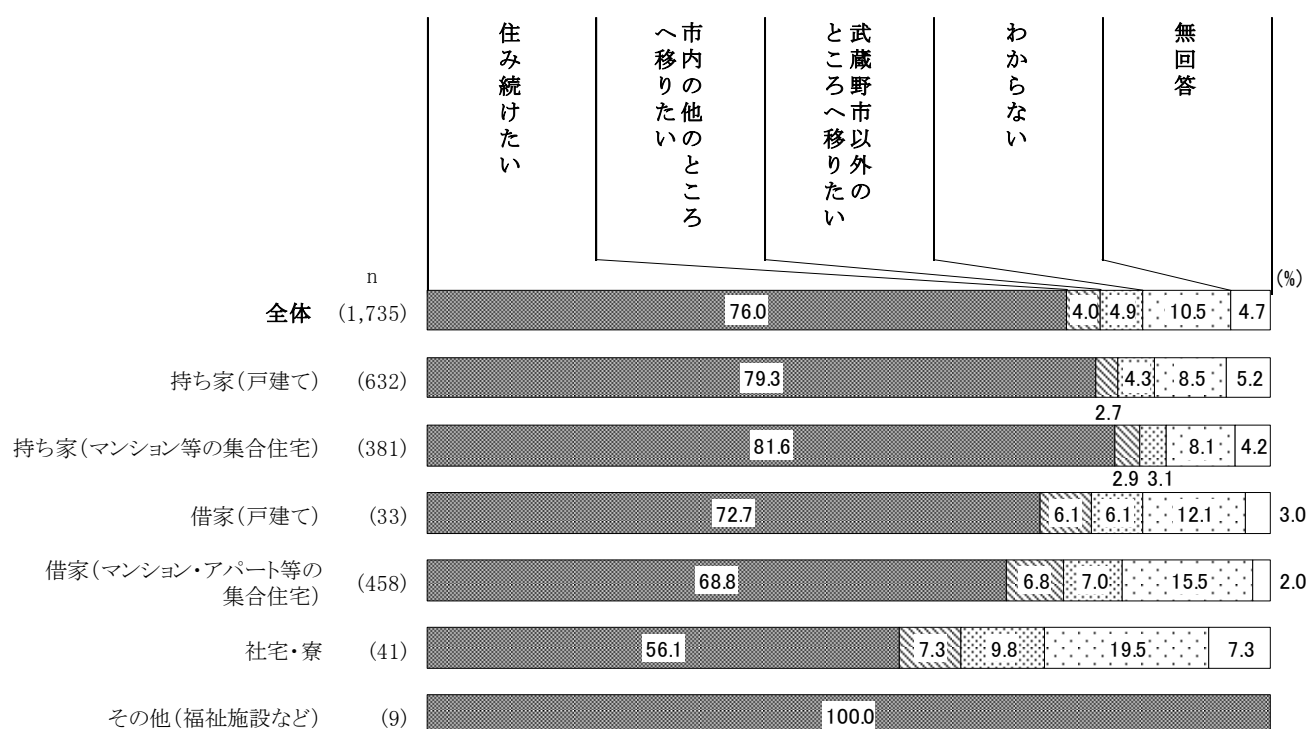
性別で見ると、「住み続けたい」は男性の方が女性より3.0ポイント高くなっている。（図表1－10）

図表1－11 定住意向（年代別）



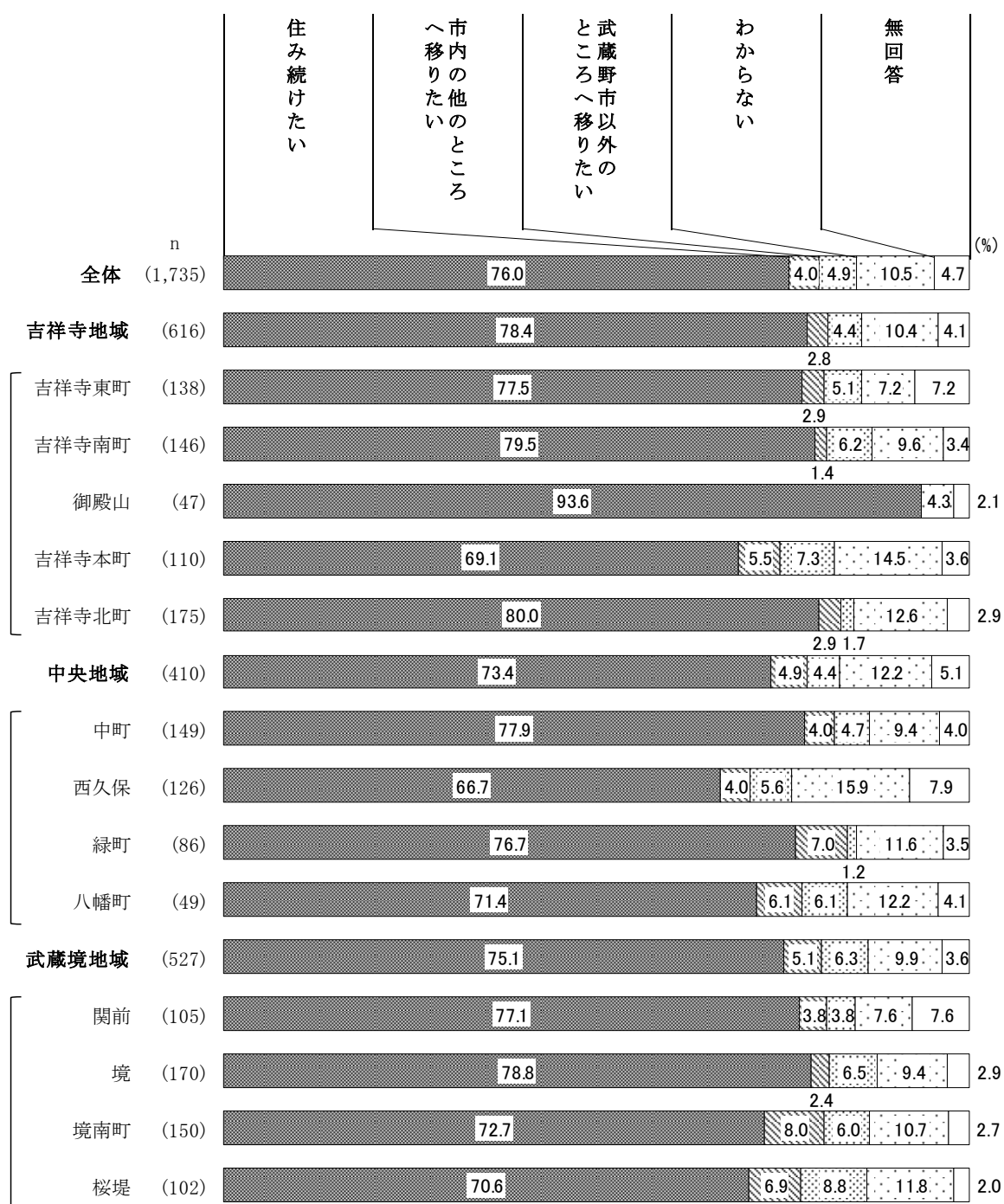
年代別で見ると、「住み続けたい」は、30歳以上で年代が上がるほど高くなる傾向があり、70歳～79歳と80歳以上で8割を超えて高くなっている。（図表1－11）

図表1－12 定住意向（住宅の種類別）



住宅の種類別で見ると、「住み続けたい」は、[持ち家（マンション等の集合住宅）]、[持ち家（戸建て）]で約8割となっている。一方、「わからない」は[社宅・寮]で約2割と、他の住宅の種類と比べて高くなっている。（図表1－12）

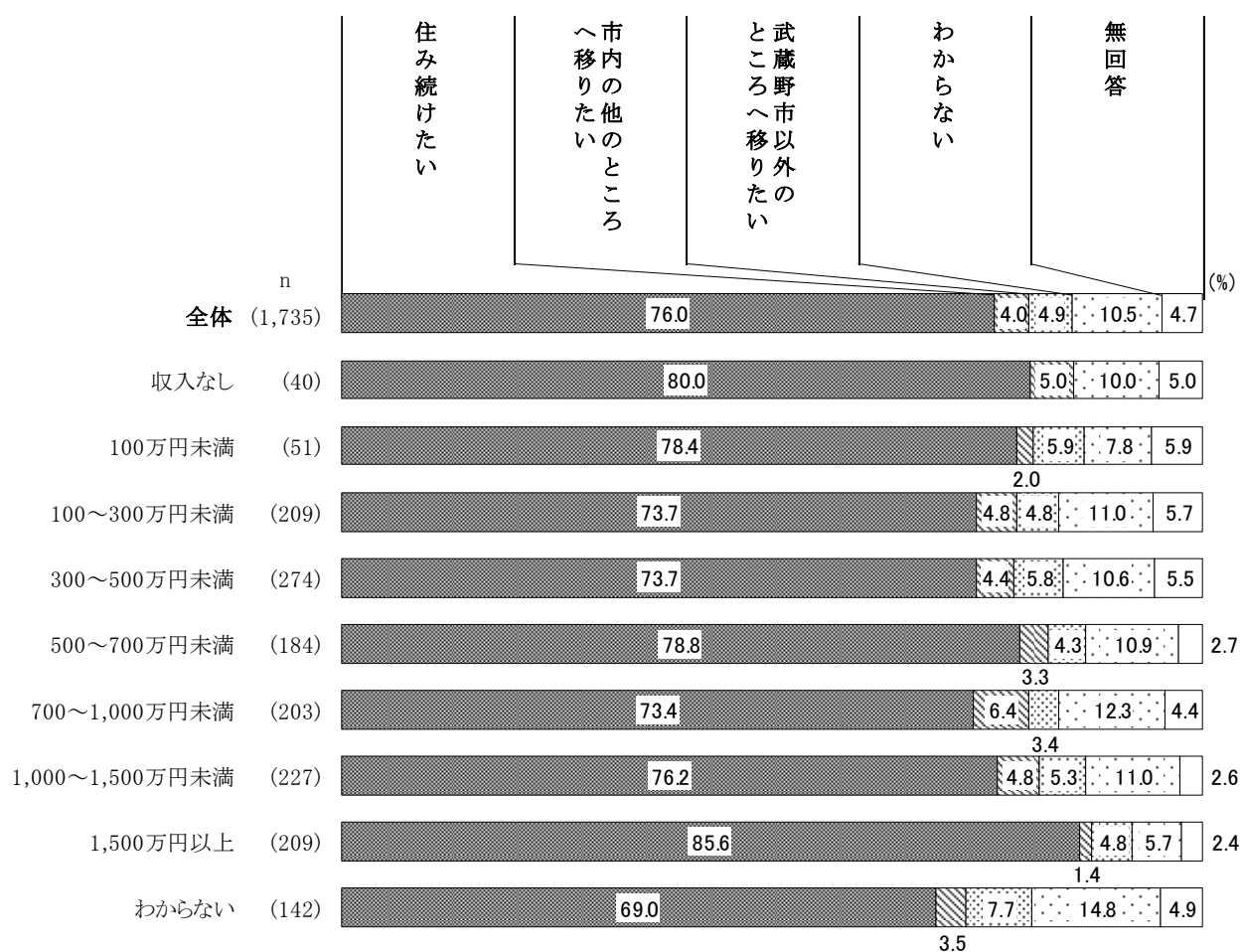
図表1－13 定住意向（居住地域別）



居住地域別で見ると、「住み続けたい」は、吉祥寺地域で8割近く、武蔵境地域で7割台半ば、中央地域で7割台前半となっている。

居住町名別で見ると、「住み続けたい」は、御殿山で9割台前半と最も高く、次いで吉祥寺北町が8割となっている。（図表1－13）

図表1－14 定住意向（世帯収入別）



世帯収入別で見ると、「住み続けたい」は、[1,500万円以上]で8割台半ばと最も高く、次いで[収入なし]が8割、[100万円未満]、[500～700万円未満]、[1,000～1,500万円未満]が7割台後半で続いている。（図表1－14）

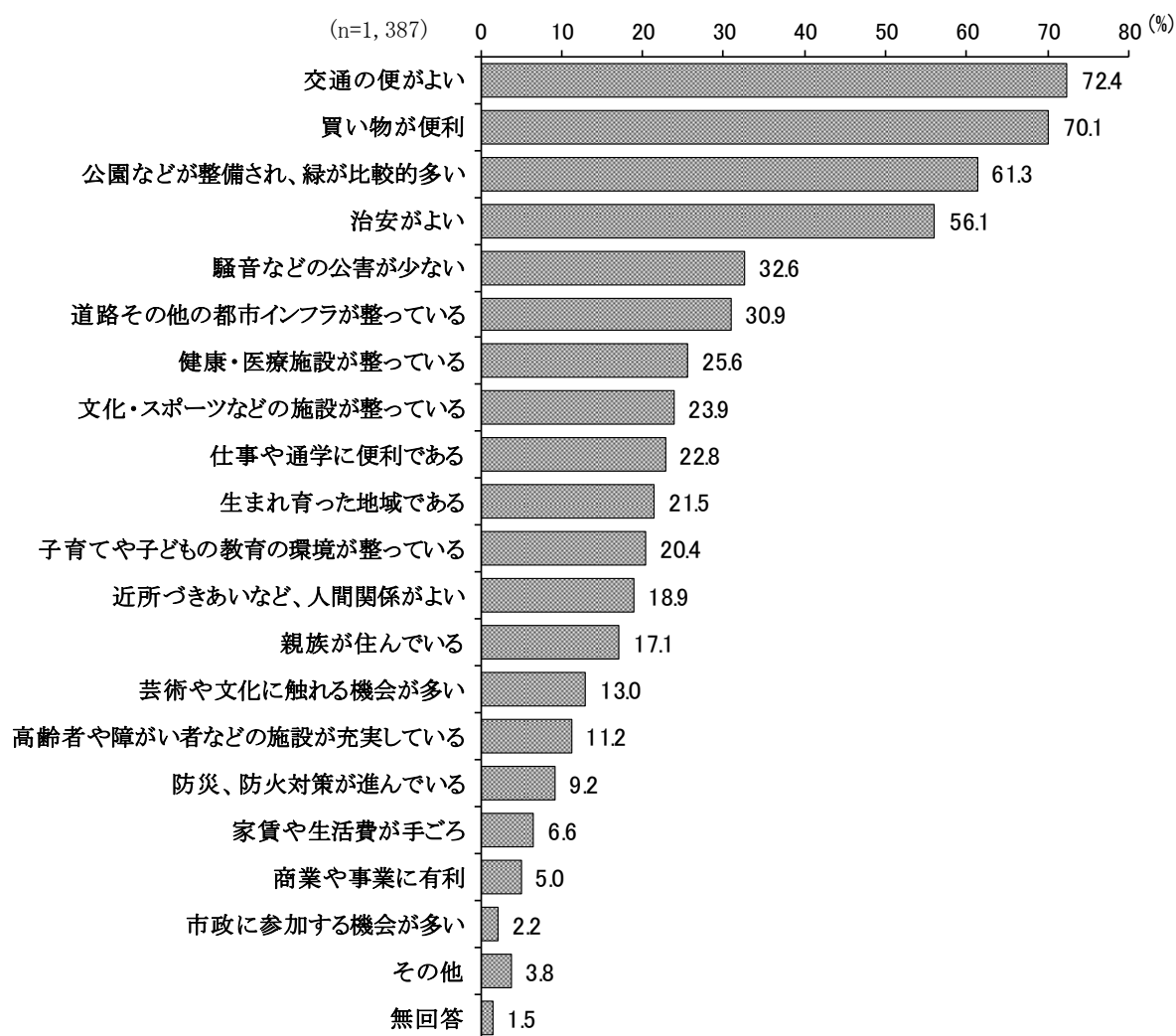
1-4 定住意向の理由

◎ 「交通の便がよい」、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が上位3項目。

【問3で「住み続けたい」か「市内の他のところへ移りたい」とお答えの方に】

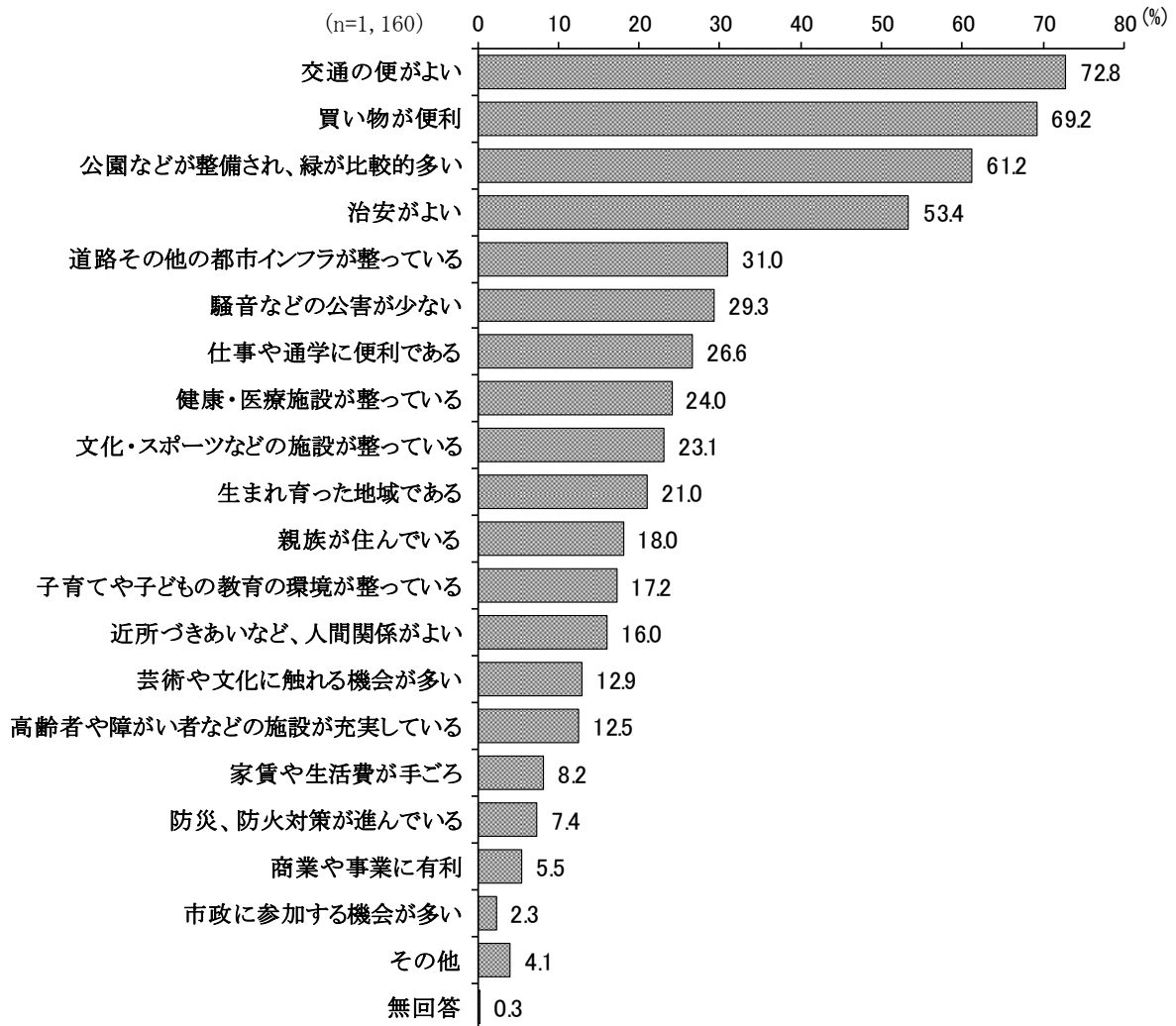
問3-1 武蔵野市内に住み続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-15 定住意向の理由(複数回答)



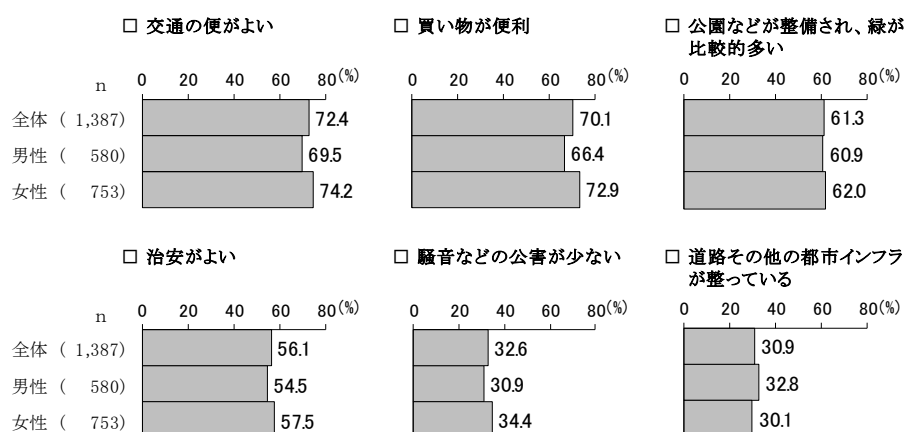
定住意向の理由としては、「交通の便がよい」(72.4%)が7割台前半と最も高く、次いで「買い物が便利」(70.1%)が約7割、「公園などが整備され、緑が比較的多い」(61.3%)が6割台前半、「治安がよい」(56.1%)が5割台半ばと続いている。(図表1-15)

参考：令和4年度調査の結果



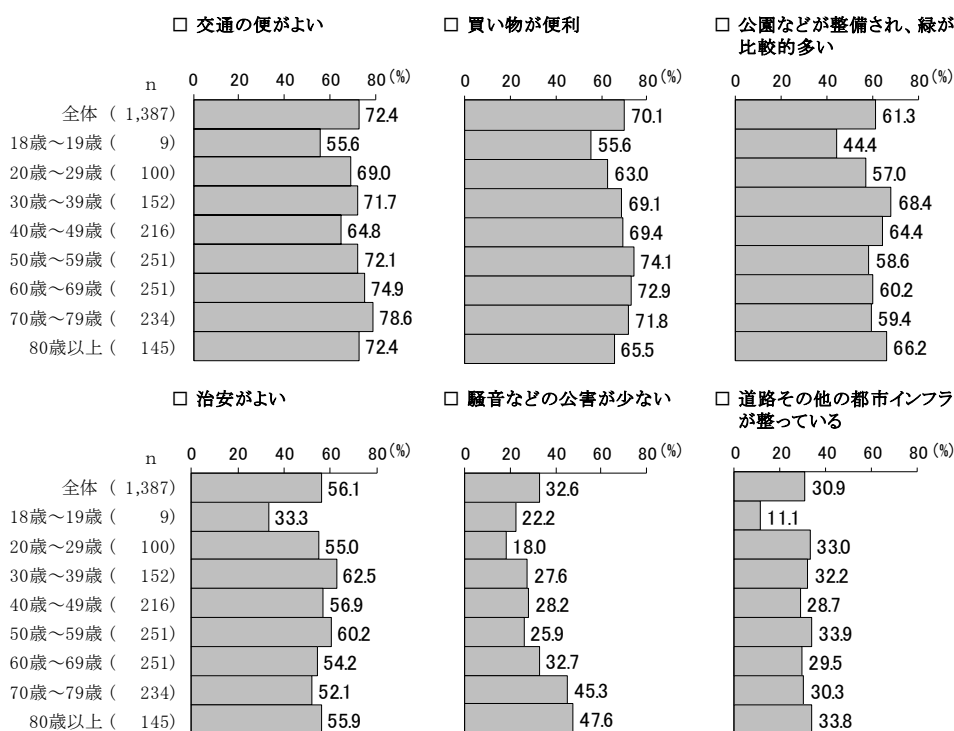
前回調査と比較すると、上位4項目は変化がないが、「騒音などの公害が少ない」が3.3ポイント増加し、前回の第6位から今回は第5位に順位が上がっている。

図表1－16 定住意向の理由（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、女性の方が男性より「買い物が便利」で6.5ポイント、「交通の便がよい」で4.7ポイント高くなっている。（図表1－16）

図表1－17 定住意向の理由（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「交通の便がよい」は、70歳～79歳で7割台後半と最も高く、次いで60歳～69歳で7割台半ばとなっている。「買い物が便利」は、50歳～59歳で7割台半ばと高く、「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、30歳～39歳、80歳以上で6割台後半と高くなっている。また、「治安がよい」は、30歳～39歳、50歳～59歳で6割を超え、「騒音などの公害が少ない」は、70歳～79歳、80歳以上で4割台後半と高くなっている。（図表1－17）

図表1－18 定住意向の理由（居住地域別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.4	買い物が便利 70.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.3	治安がよい 56.1	騒音などの公害が 少ない 32.6
居住地域別	吉祥寺地域	買い物が便利 77.8	交通の便がよい 75.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.8	治安がよい 50.4	道路その他の都市 インフラが整っている 29.8
	吉祥寺東町	買い物が便利 81.1	交通の便がよい 79.3	治安がよい 57.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 47.7	騒音などの公害が 少ない 35.1
	吉祥寺南町	買い物が便利 83.9	交通の便がよい 77.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 66.9	治安がよい 48.3	道路その他の都市 インフラが整っている 31.4
	御殿山	交通の便がよい 81.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 77.3	買い物が便利 70.5	治安がよい 54.5	道路その他の都市 インフラが整っている 40.9
	吉祥寺本町	買い物が便利 84.1	交通の便がよい 81.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.2	治安がよい 42.7	道路その他の都市 インフラが整っている 仕事や通学に便利で ある 29.3
	吉祥寺北町	買い物が便利 69.0	交通の便がよい 64.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.4	治安がよい 49.7	文化・スポーツなどの 施設が整っている 32.4
	中央地域	交通の便がよい 75.7	買い物が便利 67.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.2	治安がよい 61.7	騒音などの公害が 少ない 33.6
	中町	交通の便がよい 82.0	買い物が便利 75.4	治安がよい 68.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 46.7	騒音などの公害が 少ない 33.6
	西久保	交通の便がよい 78.7	買い物が便利 66.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 65.2	治安がよい 57.3	騒音などの公害が 少ない 32.6
	緑町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 79.2	交通の便がよい 買い物が便利 68.1	－ －	治安がよい 58.3	文化・スポーツなどの 施設が整っている 45.8
	八幡町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 89.5	交通の便がよい 63.2	治安がよい 55.3	買い物が便利 47.4	文化・スポーツなどの 施設が整っている 子育てや子どもの教育 の環境が整っている 36.8

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居住地域別	武蔵境地域	交通の便がよい 67.1	買い物が便利 64.5	治安がよい 59.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 59.3	道路その他の都市 インフラが整っている 33.6
	関前	公園などが整備され、 緑が比較的多い 72.9	治安がよい 64.7	交通の便がよい 58.8	買い物が便利 44.7	騒音などの公害が 少ない 40.0
	境	買い物が便利 76.1	交通の便がよい 74.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 52.9	治安がよい 52.2	道路その他の都市 インフラが整っている 37.7
	境南町	買い物が便利 75.2	交通の便がよい 70.2	治安がよい 61.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 46.3	健康・医療施設が 整っている 40.5
	桜堤	公園などが整備され、 緑が比較的多い 75.9	治安がよい 64.6	交通の便がよい 58.2	買い物が便利 49.4	騒音などの公害が 少ない 41.8

居住地域別（町別）で見ると、「交通の便がよい」は、中町、御殿山、西久保で第1位となっており、中町と御殿山では8割を超えている。「買い物が便利」は吉祥寺本町、吉祥寺南町、吉祥寺東町で8割を超えている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、八幡町、緑町、桜堤、関前で第1位となっている。（図表1－18）

図表1－19 定住意向の理由（職業別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.4	買い物が便利 70.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.3	治安がよい 56.1	騒音などの公害が 少ない 32.6
職業別	自営業・自由業	買い物が便利 71.0	交通の便がよい 68.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.7	治安がよい 52.5	騒音などの公害が 少ない 生まれ育った地域で ある 30.9
	正社員、正職員	交通の便がよい 70.7	買い物が便利 69.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.4	治安がよい 57.0	仕事や通学に便利で ある 32.2
	契約社員、 派遣社員	交通の便がよい 75.3	買い物が便利 71.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 治安がよい 53.2	－ －	道路その他の都市 インフラが整っている 42.9
	アルバイト、パート	買い物が便利 77.2	交通の便がよい 74.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 68.3	治安がよい 62.8	騒音などの公害が 少ない 40.7
	家事専業	交通の便がよい 76.8	買い物が便利 75.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.1	治安がよい 58.6	騒音などの公害が 少ない 40.9
	学生	交通の便がよい 62.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 56.8	買い物が便利 51.4	治安がよい 48.6	生まれ育った地域で ある 45.9
	無職	交通の便がよい 73.1	買い物が便利 66.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.8	治安がよい 55.0	騒音などの公害が 少ない 38.5
	その他	交通の便がよい 68.0	買い物が便利 60.0	治安がよい 52.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 48.0	生まれ育った地域で ある 40.0

職業別で見ると、「交通の便がよい」は、[家事専業]、[契約社員、派遣社員]、[無職]、[正社員、正職員]、[その他]、[学生]で第1位となっている。「買い物が便利」は、[アルバイト、パート]、[自営業・自由業]で第1位となっている。（図表1－19）

図表1－20 定住意向の理由（居住年数別・住宅の種類別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.4	買い物が便利 70.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.3	治安がよい 56.1	騒音などの公害が 少ない 32.6
居住年数	1年未満	交通の便がよい 75.7	買い物が便利 70.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 67.6	治安がよい 59.5	子育てや子どもの教育 の環境が整っている 45.9
	1年～5年未満	公園などが整備され、 緑が比較的多い 70.6	交通の便がよい 69.4	買い物が便利 65.0	治安がよい 57.5	子育てや子どもの教育 の環境が整っている 38.8
	5年～10年未満	買い物が便利 74.8	交通の便がよい 71.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 59.5	治安がよい 54.2	仕事や通学に便利で ある 34.4
	10年～15年未満	交通の便がよい 74.1	買い物が便利 65.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.3	治安がよい 58.0	道路その他の都市 インフラが整っている 32.2
	15年～20年未満	買い物が便利 79.7	交通の便がよい 72.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.4	治安がよい 62.6	道路その他の都市 インフラが整っている 37.4
	20年以上	交通の便がよい 73.2	買い物が便利 70.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 58.5	治安がよい 54.9	生まれ育った地域で ある 35.1
住宅の種類	持ち家(戸建て)	交通の便がよい 72.0	買い物が便利 67.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 56.8	治安がよい 54.6	騒音などの公害が 少ない 37.5
	持ち家(マンション 等の集合住宅)	買い物が便利 73.3	交通の便がよい 72.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 66.1	治安がよい 61.2	道路その他の都市 インフラが整っている 37.0
	借家(戸建て)	公園などが整備され、 緑が比較的多い 76.9	買い物が便利 73.1	交通の便がよい 69.2	治安がよい 57.7	仕事や通学に便利で ある 46.2
	借家(マンション・ア パート等の集合住 宅)	交通の便がよい 75.7	買い物が便利 74.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.8	治安がよい 56.6	道路その他の都市 インフラが整っている 28.0
	社宅・寮	公園などが整備され、 緑が比較的多い 76.9	交通の便がよい 子育てや子どもの教育 の環境が整っている 53.8	－ －	買い物が便利 46.2	仕事や通学に便利で ある 34.6
	その他 (福祉施設など)	公園などが整備され、 緑が比較的多い 88.9	交通の便がよい 健康・医療施設が 整っている 66.7	－ －	買い物が便利 治安がよい 騒音などの公害が 少ない 55.6	－

居住年数別で見ると、「交通の便がよい」は、[1年未満]、[10年～15年未満]、[20年以上]で第1位となっており、「買い物が便利」は[15年～20年未満]、[5年～10年未満]で第1位となっている。

住宅の種類別で見ると、「交通の便がよい」は、「借家(マンション・アパート等の集合住宅)」、[持ち家(戸建て)]で第1位、「買い物が便利」は[持ち家(マンション等の集合住宅)]で第1位となっている。(図表1－20)

図表1－21 定住意向の理由（世帯収入別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.4	買い物が便利 70.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.3	治安がよい 56.1	騒音などの公害が 少ない 32.6
世帯 収入 別	収入なし	交通の便がよい 公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.7	－ －	買い物が便利 治安がよい 52.9	－ －	生まれ育った地域で ある 41.2
	100万円未満	交通の便がよい 63.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.0	買い物が便利 58.5	治安がよい 48.8	騒音などの公害が 少ない 41.5
	100～300万円 未満	交通の便がよい 72.6	買い物が便利 70.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 58.5	治安がよい 51.8	健康・医療施設が 整っている 34.8
	300～500万円 未満	交通の便がよい 74.3	買い物が便利 69.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 57.5	治安がよい 49.5	騒音などの公害が 少ない 33.2
	500～700万円 未満	交通の便がよい 75.5	買い物が便利 67.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.3	治安がよい 55.6	道路その他の都市 インフラが整っている 31.1
	700～1,000万円 未満	買い物が便利 75.9	交通の便がよい 71.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.2	治安がよい 61.1	騒音などの公害が 少ない 33.3
	1,000～1,500万円 未満	交通の便がよい 74.5	買い物が便利 71.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 70.7	治安がよい 63.0	道路その他の都市 インフラが整っている 34.8
	1,500万円以上	買い物が便利 72.0	交通の便がよい 69.8	治安がよい 62.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.0	道路その他の都市 インフラが整っている 37.4

世帯収入別で見ると、「交通の便がよい」は、[500～700万円未満]、[1,000～1,500万円未満]、[300～500万円未満]、[100～300万円未満]、[100万円未満]で第1位となっている。「買い物が便利」は、[700～1,000万円未満]、[1,500万円以上]で第1位となっている。（図表1－21）

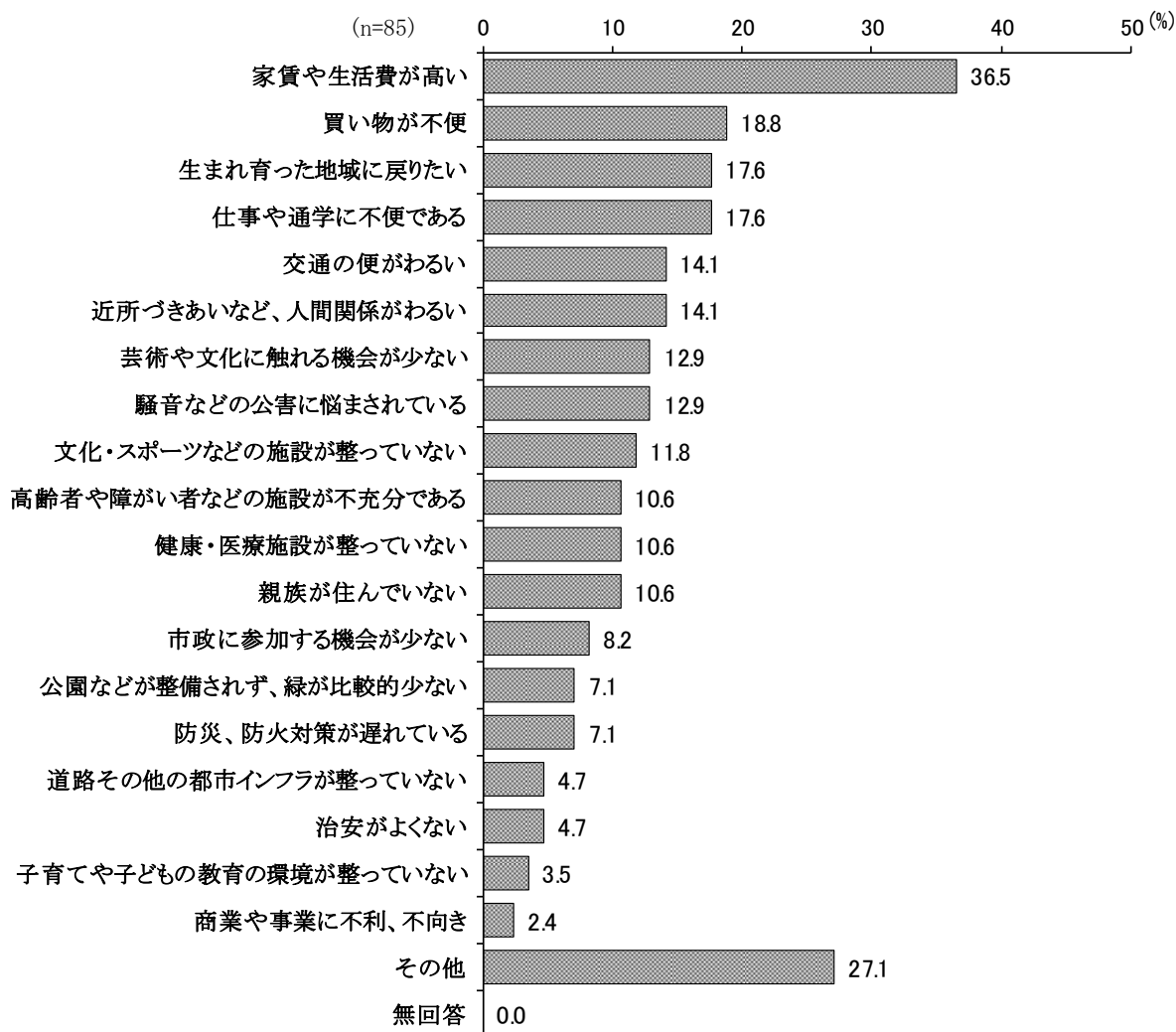
1-5 転出意向の理由

◎ 「家賃や生活費が高い」が3割台半ばと最も高い。

【問3で「武蔵野市以外のところへ移りたい」とお答えの方に】

問3-2 武蔵野市外に移りたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-22 転出意向の理由(複数回答)

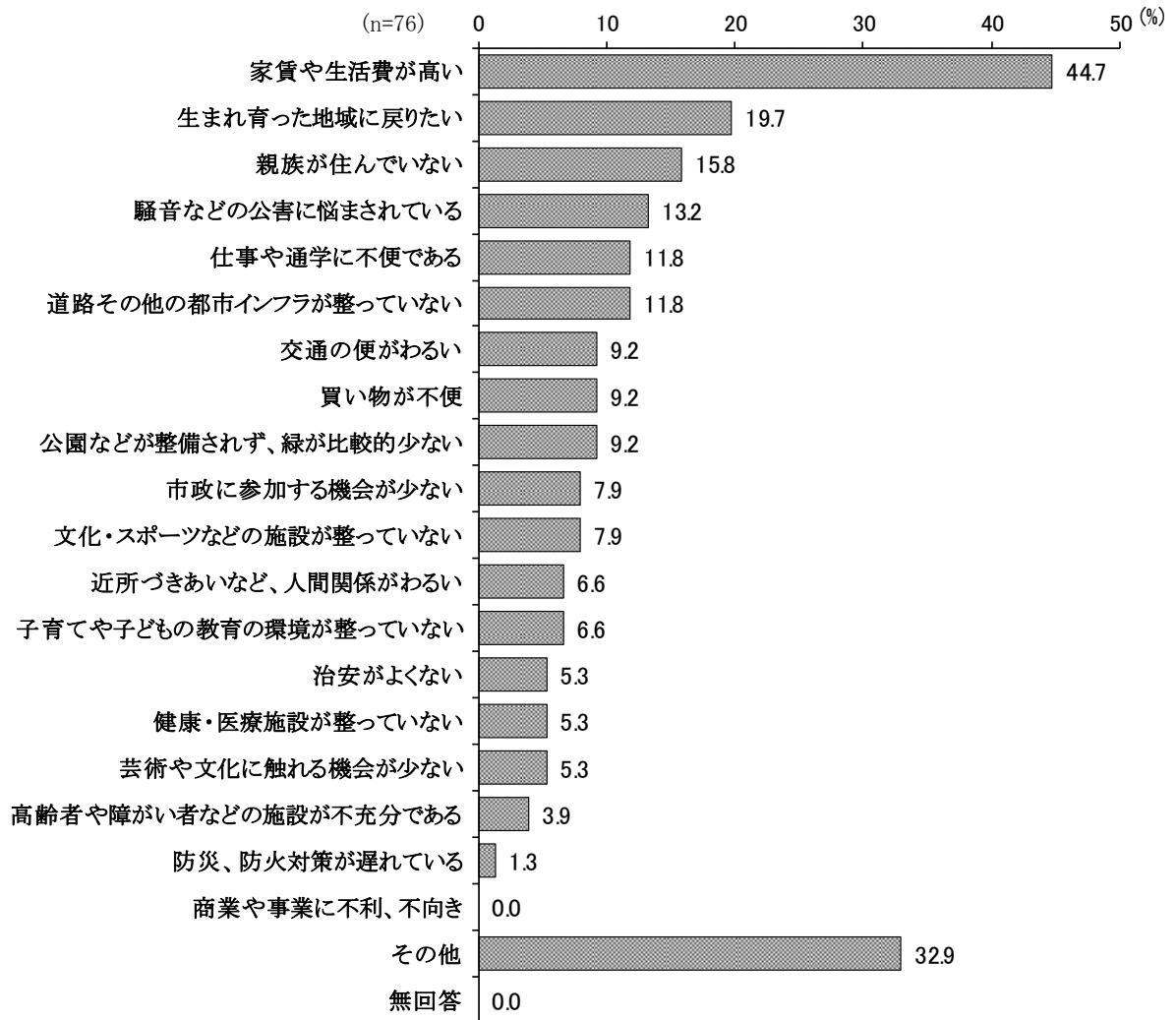


※回答者数は、他の設問の回答と比べて少ない

転出意向の理由としては、「家賃や生活費が高い」(36.5%)が3割台半ばと最も高く、次いで「買い物が不便」(18.8%)、「生まれ育った地域に戻りたい」(17.6%)、「仕事や通学に不便である」(17.6%)が1割台後半で続いている。

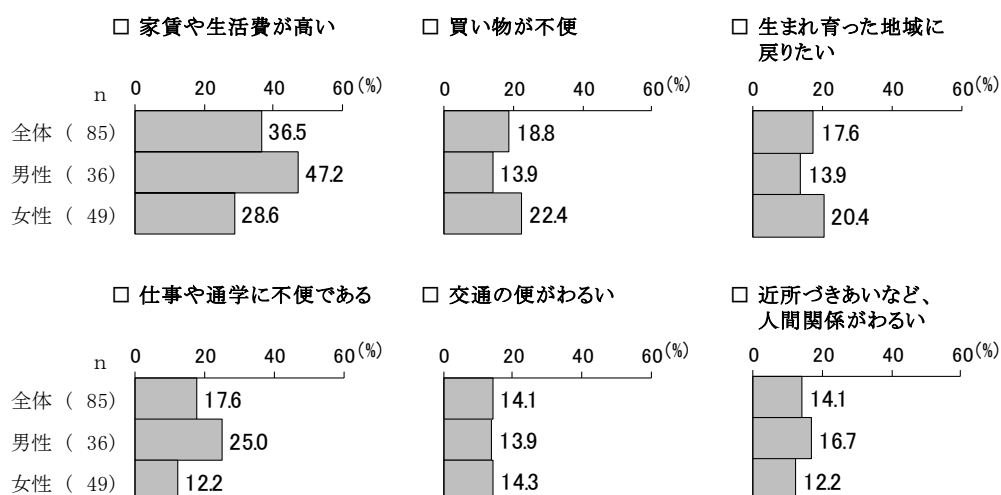
「その他」としては、「電車の混雑・遅延」、「他の地域で暮らしてみたい」などが挙げられている。(図表1-22)

参考：令和4年度調査の結果



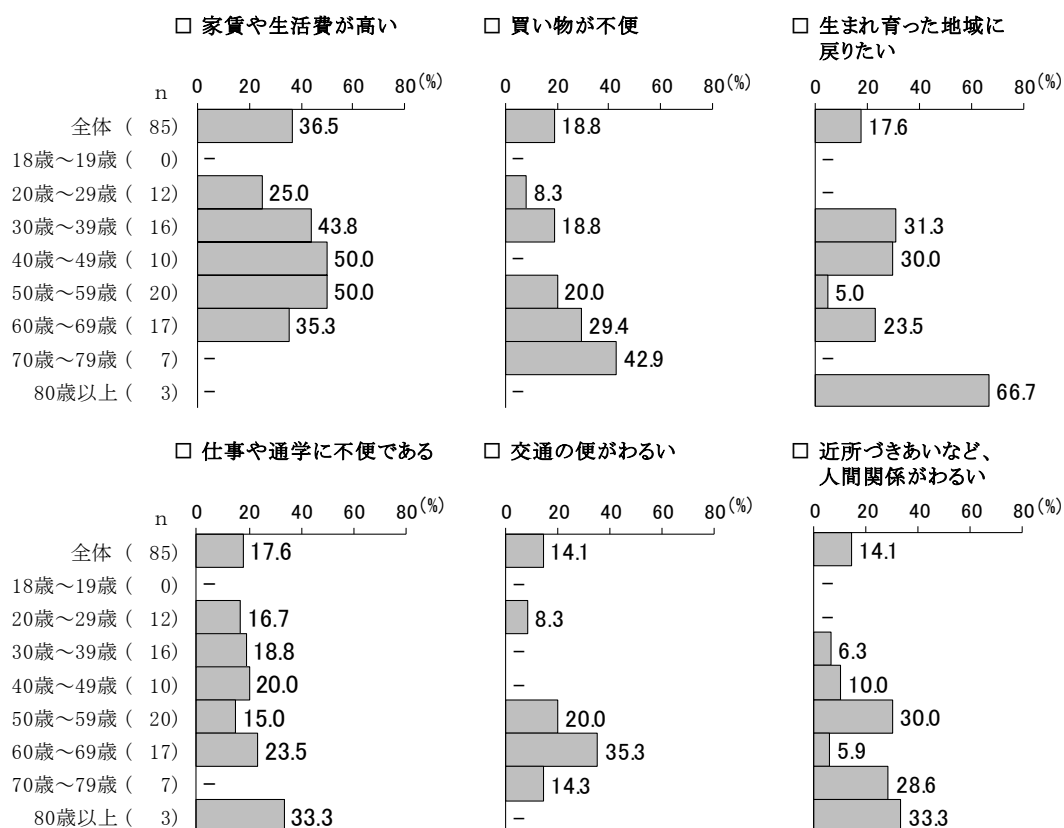
前回調査と比較すると、第1位は前回調査と同様の「家賃や生活費が高い」であるが、割合は8.2ポイント減少した。また、前回第7位（「交通の便がわるい」、「公園などが整備されず、緑が比較的少ない」と同率）の「買い物が不便」は9.6ポイント増加し、今回第2位となっている。

図表1－23 転出意向の理由（性別）上位6項目



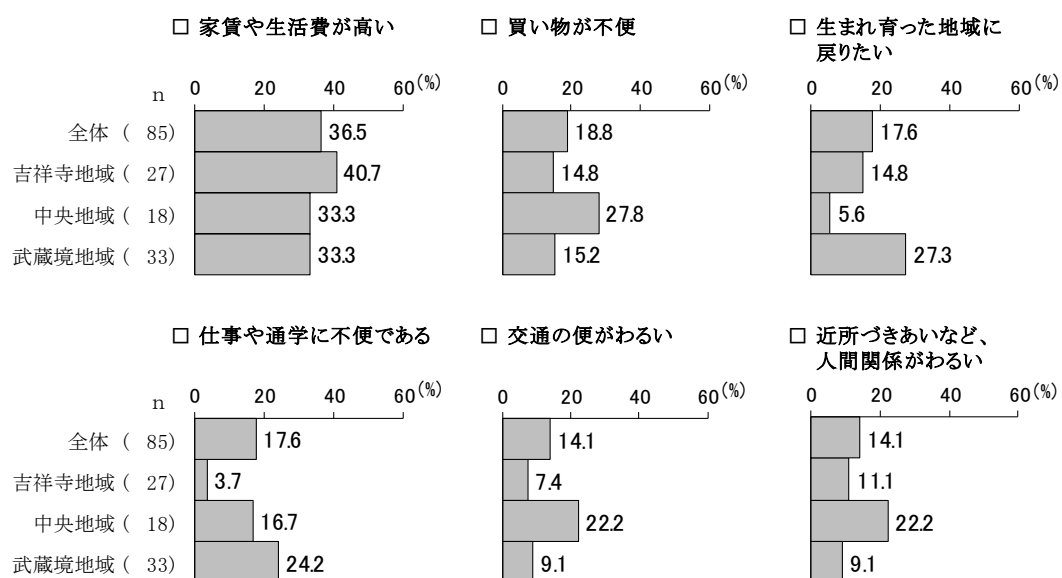
上位6項目について、性別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、男性の方が女性より18.6ポイント高く、「仕事や通学に不便である」も、男性の方が女性より12.8ポイント高い。また、「買い物が不便」は女性の方が男性より8.5ポイント高くなっている。（図表1－23）

図表1－24 転出意向の理由（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、40歳～49歳、50歳～59歳で5割、30歳～39歳で4割台前半となっている。（図表1－24）

図表1－25 転出意向の理由（居住地域別）上位6項目



居住地域別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、吉祥寺地域で高く、「買い物が不便」、「交通の便がわるい」、「近所づきあいなど人間関係がわるい」は、中央地域で高くなっている。（図表1－25）

図表1－26 転出意向の理由（居住地域別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体 (n=85)		家賃や生活費が高い 36.5	買い物が不便 18.8	生まれ育った地域に 戻りたい 仕事や通学に不便で ある 17.6	-	交通の便がわるい 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 14.1
居住地域別	吉祥寺地域 (n=27)	家賃や生活費が高い 40.7	健康・医療施設が 整っていない 25.9	騒音などの公害に 悩まされている 22.2	買い物が不便 生まれ育った地域に 戻りたい 防災、防火対策が 遅れている 14.8	-
	吉祥寺東町 (n= 7)	家賃や生活費が高い 芸術や文化に触れる 機会が少ない 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 高齢者や障がい者など の施設が不十分である 健康・医療施設が 整っていない 商業や事業に不利、 不向き 28.6	-	-	-	-
	吉祥寺南町 (n= 9)	家賃や生活費が高い 健康・医療施設が 整っていない 治安がよくない 33.3	-	-	買い物が不便 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 騒音などの公害に 悩まされている 22.2	-
	御殿山 (n= 0)	-	-	-	-	-
	吉祥寺本町 (n= 8)	家賃や生活費が高い 50.0	騒音などの公害に 悩まされている 37.5	買物が不便 生まれ育った地域に 戻りたい 仕事や通学に不便 である 健康・医療施設が 整っていない 親族が住んでいない 防災、防火対策が 遅れている 12.5	-	-
	吉祥寺北町 (n= 3)	家賃や生活費が高い 66.7	買い物が不便 生まれ育った地域に 戻りたい 交通の便がわるい 健康・医療施設が 整っていない 親族が住んでいない 市政に参加する機会が 少ない 防災、防火対策が 遅れている 道路その他の都市 インフラが整っていない 33.3	-	-	-

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居住地域別	中央地域 (n=18)	家賃や生活費が高い	買い物が不便	－	交通の便がわるい	－
			芸術や文化に触れる機会が少ない		近所づきあいなど、人間関係がわるい	
		33.3	27.8	－	22.2	－
	中町 (n=7)	家賃や生活費が高い	仕事や通学に不便である	－	－	買い物が不便
			芸術や文化に触れる機会が少ない			生まれ育った地域に戻りたい
			文化・スポーツなどの施設が整っていない			交通の便がわるい
						騒音などの公害に悩まされている
						高齢者や障がい者などの施設が不十分である
						市政に参加する機会が少ない
		42.9	28.6	－	－	14.3
	西久保 (n=7)	家賃や生活費が高い	－	近所づきあいなど、人間関係がわるい	－	交通の便がわるい
		買い物が不便		芸術や文化に触れる機会が少ない		騒音などの公害に悩まされている
						高齢者や障がい者などの施設が不十分である
						親族が住んでいない
		42.9	－	28.6	－	14.3
	緑町 (n=1)	交通の便がわるい	－	－	－	－
		100.0	－	－	－	－
	八幡町 (n=3)	近所づきあいなど、人間関係がわるい	買い物が不便	－	－	－
			仕事や通学に不便である			
			交通の便がわるい			
			芸術や文化に触れる機会が少ない			
			文化・スポーツなどの施設が整っていない			
			高齢者や障がい者などの施設が不十分である			
			子育てや子どもの教育の環境が整っていない			
		66.7	33.3	－	－	－

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居住地域別	武蔵境地域 (n=33)	家賃や生活費が高い 33.3	生まれ育った地域に 戻りたい 27.3	仕事や通学に不便 である 24.2	買い物が不便 親族が住んでいない 15.2	-
	関前 (n=4)	家賃や生活費が高い 仕事や通学に不便 である 親族が住んでいない 25.0	-	-	-	-
	境 (n=11)	家賃や生活費が高い 生まれ育った地域に 戻りたい 36.4	-	仕事や通学に不便 である 親族が住んでいない 27.3	-	買い物が不便 交通の便がわるい 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 芸術や文化に触れる 機会が少ない 高齢者や障がい者など の施設が不十分である 公園などが整備されず、 緑が比較的少ない 防災、防火対策が 遅れている 道路その他の都市 インフラが整っていない 子育てや子どもの教育 の環境が整っていない 9.1
	境南町 (n=9)	生まれ育った地域に 戻りたい 44.4	文化・スポーツなどの 施設が整っていない 33.3	家賃や生活費が高い 買い物が不便 仕事や通学に不便 である 市政に参加する機会 が少ない 公園などが整備されず、 緑が比較的少ない 22.2	-	-
	桜堤 (n=9)	家賃や生活費が高い 44.4	買い物が不便 交通の便がわるい 22.2	-	生まれ育った地域に 戻りたい 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 芸術や文化に触れる 機会が少ない 騒音などの公害に 悩まされている 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 11.1	-

居住地域別（町別）で見ると、緑町、八幡町、境南町を除いた地域で「家賃や生活費が高い」が第1位となっている（吉祥寺東町は「芸術や文化に触れる機会が少ない」、「文化・スポーツなどの施設が整っていない」、「高齢者や障がい者などの施設が不十分である」、「健康・医療施設が整っていない」、「商業や事業に不利、不向き」も同率第1位、吉祥寺南町は「健康・医療施設が整っていない」、「治安がよくない」も同率第1位、西久保は「買い物が不便」も同率第1位、関前は「仕事や通学に不便である」、「親族が住んでいない」も同率第1位、境は「生まれ育った地域に戻りたい」も同率第1位）。（図表1-26）

図表1－27 転出意向の理由（職業別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体 (n=85)		家賃や生活費が高い 36.5	買い物が不便 18.8	生まれ育った地域に 戻りたい 仕事や通学に不便 である 17.6	－	交通の便がわるい 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 14.1
職業別	自営業・自由業 (n=14)	家賃や生活費が高い 35.7	近所づきあいなど、 人間関係がわるい 芸術や文化に触れる 機会が少ない 28.6	－	仕事や通学に不便 である 交通の便がわるい 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 健康・医療施設が 整っていない 21.4	－
	正社員、正職員 (n=33)	家賃や生活費が高い 39.4	仕事や通学に不便 である 24.2	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 21.2	－	買い物が不便 15.2
	契約社員、 派遣社員 (n=6)	家賃や生活費が高い 仕事や通学に不便 である 50.0	－	買い物が不便 交通の便がわるい 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 33.3	－	－
	アルバイト、パート (n=7)	家賃や生活費が高い 42.9	生まれ育った地域に 戻りたい 騒音などの公害に 悩まされている 14.3	－	－	－
	家事専業 (n=10)	高齢者や障がい者など の施設が不十分である 健康・医療施設が 整っていない 40.0	－	買い物が不便 生まれ育った地域に 戻りたい 交通の便がわるい 防災、防火対策が 遅れている 30.0	－	－
	学生 (n=4)	買い物が不便 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 健康・医療施設が 整っていない 25.0	－	－	－	－
	無職 (n=10)	家賃や生活費が高い 50.0	買い物が不便 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 40.0	－	芸術や文化に触れる 機会が少ない 騒音などの公害に 悩まされている 高齢者や障がい者など の施設が不十分である 30.0	－
	その他 (n=1)	芸術や文化に触れる 機会が少ない 公園などが整備されず、 緑が比較的少ない 100.0	－	－	－	－

職業別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、[家事専業]、[学生]、[その他]を除いた職業で第1位となっている（[契約社員、派遣社員]は「仕事や通学に不便である」も同率第1位）。（図表1－27）

図表1－28 転出意向の理由（居住年数別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体 (n=85)		家賃や生活費が高い 36.5	買い物が不便 18.8	生まれ育った地域に 戻りたい 仕事や通学に不便 である 17.6	-	交通の便がわるい 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 14.1
居住 年数	1年未満 (n= 5)	生まれ育った地域に 戻りたい 仕事や通学に不便 である 40.0	-	家賃や生活費が高い 芸術や文化に触れる 機会が少ない 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 20.0	-	-
	1年～5年未満 (n=23)	家賃や生活費が高い 52.2	買い物が不便 26.1	仕事や通学に不便 である 親族が住んでいない 17.4	-	生まれ育った地域に 戻りたい 交通の便がわるい 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 芸術や文化に触れる 機会が少ない 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 13.0
	5年～10年未満 (n= 9)	家賃や生活費が高い 44.4	買い物が不便 騒音などの公害に 悩まされている 22.2	-	生まれ育った地域に 戻りたい 仕事や通学に不便 である 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 親族が住んでいない 市政に参加する機会が 少ない 11.1	-
	10年～15年未満 (n= 8)	生まれ育った地域に 戻りたい 50.0	家賃や生活費が高い 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 37.5	-	買い物が不便 芸術や文化に触れる 機会が少ない 騒音などの公害に 悩まされている 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 健康・医療施設が 整っていない 市政に参加する機会が 少ない 公園などが整備されず、 緑が比較的少ない 25.0	-

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居住年数	15年～20年未満 (n= 8)	家賃や生活費が高い 生まれ育った地域に 戻りたい 交通の便がわるい 25.0	-	-	買い物が不便 芸術や文化に触れる 機会が少ない 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 高齢者や障がい者など の施設が不十分である 親族が住んでいない 市政に参加する機会が 少ない 防災、防火対策が 遅れている 12.5	-
	20年以上 (n=26)	家賃や生活費が高い 23.1	高齢者や障がい者など の施設が不十分である 健康・医療施設が 整っていない 19.2	-	仕事や通学に不便 である 交通の便がわるい 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 芸術や文化に触れる 機会が少ない 騒音などの公害に 悩まされている 15.4	-

居住年数別で見ると、[1年未満]と[10年～15年未満]を除いた年数で「家賃や生活費が高い」が最も高くなっている（[15年～20年未満]は「生まれ育った地域に戻りたい」、「交通の便がわるい」も同率第1位）。（図表1－28）

図表1－29 転出意向の理由（住宅の種類別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体 (n=85)		家賃や生活費が高い 36. 5	買い物が不便 18. 8	生まれ育った地域に 戻りたい	－	交通の便がわるい
				仕事や通学に不便 である		近所づきあいなど、 人間関係がわるい
				17. 6	－	14. 1
住宅の 種類	持ち家(戸建て) (n=27)	買い物が不便 25. 9	仕事や通学に不便 である	－	－	近所づきあいなど、 人間関係がわるい
			高齢者や障がい者など の施設が不十分である			芸術や文化に触れる 機会が少ない
			健康・医療施設が 整っていない			騒音などの公害に 悩まされている
						文化・スポーツなどの 施設が整っていない
			18. 5	－	－	14. 8
	持ち家(マンション 等の集合住宅) (n=12)	家賃や生活費が高い	生まれ育った地域に 戻りたい	－	－	－
			仕事や通学に不便 である			
			交通の便がわるい			
			芸術や文化に触れる 機会が少ない			
			33. 3	16. 7	－	－
借家(戸建て) (n= 2)	家賃や生活費が高い	－	－	－	－	－
		－				
借家(マンション・ アパート等の集合 住宅) (n=32)	家賃や生活費が高い	生まれ育った地域に 戻りたい	買い物が不便	仕事や通学に不便 である	－	交通の便がわるい
						近所づきあいなど、 人間関係がわるい
						文化・スポーツなどの 施設が整っていない
						親族が住んでいない
				18. 8	12. 5	－
社宅・寮 (n= 4)	家賃や生活費が高い	生まれ育った地域に 戻りたい	－	－	－	－
		仕事や通学に不便 である				
		騒音などの公害に 悩まされている				
		親族が住んでいない				
		75. 0	25. 0	－	－	－
その他 (福祉施設など) (n= 0)	－	－	－	－	－	－

住宅の種類別で見ると、[持ち家（戸建て）]以外で「家賃や生活費が高い」が第1位となっている。（図表1－29）

図表1－30 転出意向の理由（世帯収入別）上位5項目

（％）

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体 (n=85)		家賃や生活費が高い	買い物が不便	生まれ育った地域に 戻りたい	-	交通の便がわるい
				仕事や通学に不便 である		近所づきあいなど、 人間関係がわるい
		36. 5	18. 8	17. 6	-	14. 1
世帯収入別	収入なし (n= 0)	- -	- -	- -	- -	- -
	100万円未満 (n= 3)	家賃や生活費が高い 買い物が不便 交通の便がわるい 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 騒音などの公害に 悩まされている 高齢者や障がい者など の施設が不十分である 健康・医療施設が 整っていない 防災、防火対策が 遅れている 商業や事業に不利、 不向き 33. 3	- -	- -	- -	- -
	100～300万円 未満 (n=10)	家賃や生活費が高い 買い物が不便 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 騒音などの公害に 悩まされている 高齢者や障がい者など の施設が不十分である 健康・医療施設が 整っていない 50. 0	- 20. 0	- -	- -	- -
	300～500万円 未満 (n=16)	家賃や生活費が高い 仕事や通学に不便 である 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 芸術や文化に触れる 機会が少ない 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 25. 0	- -	- -	- -	- -
	500～700万円 未満 (n= 8)	家賃や生活費が高い 生まれ育った地域に 戻りたい 50. 0	37. 5	25. 0	仕事や通学に不便 である 騒音などの公害に 悩まされている 防災、防火対策が 遅れている 12. 5	-

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
世帯収入別	700～1,000万円未満 (n= 7)	家賃や生活費が高い 42.9	生まれ育った地域に戻りたい 近所づきあいなど、人間関係がわるい 28.6	－	仕事や通学に不便である 交通の便がわるい 健康・医療施設が整っていない 親族が住んでいない 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 14.3	－
	1,000～1,500万円未満 (n=12)	家賃や生活費が高い 41.7	買い物が不便 生まれ育った地域に戻りたい 25.0	－	親族が住んでいない 公園などが整備されず、緑が比較的少ない 防災、防火対策が遅れている 道路その他の都市インフラが整っていない 16.7	－
	1,500万円以上 (n=10)	仕事や通学に不便である 40.0	家賃や生活費が高い 文化・スポーツなどの施設が整っていない 30.0	－	買い物が不便 交通の便がわるい 芸術や文化に触れる機会が少ない 市政に参加する機会が少ない 20.0	－

世帯収入別で見ると、[1,500万円以上]を除いた世帯で「家賃や生活費が高い」が第1位となっている（[100万円未満]は「買い物が不便」、「交通の便がわるい」、「近所づきあいなど、人間関係がわるい」、「騒音などの公害に悩まされている」、「高齢者や障がい者などの施設が不十分である」、「健康・医療施設が整っていない」、「防災、防火対策が遅れている」、「商業や事業に不利、不向き」も同率第1位。[300～500万円未満]は「仕事や通学に不便である」、「近所づきあいなど、人間関係がわるい」、「芸術や文化に触れる機会が少ない」、「文化・スポーツなどの施設が整っていない」も同率第1位）。（図表1－30）

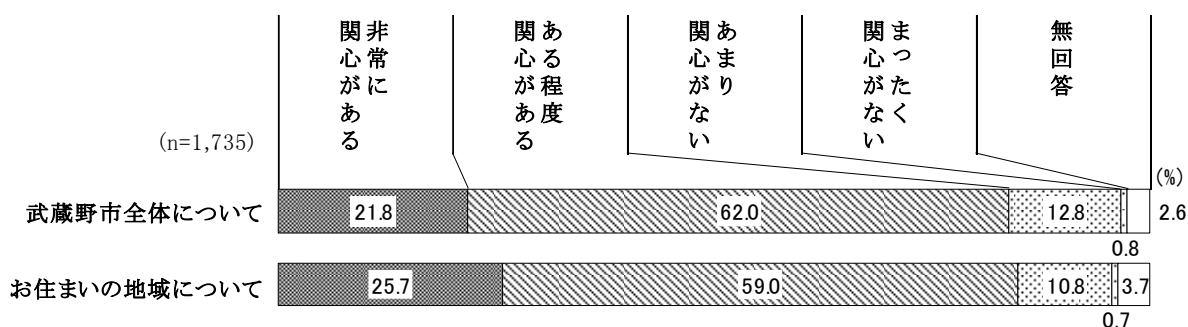
1-6 地域への関心度

◎ 【武蔵野市全体について】、【お住まいの地域について】ともに、『関心がある』が8割台前半である。

問4 あなたは、武蔵野市全体のできごとにどの程度関心をお持ちですか。

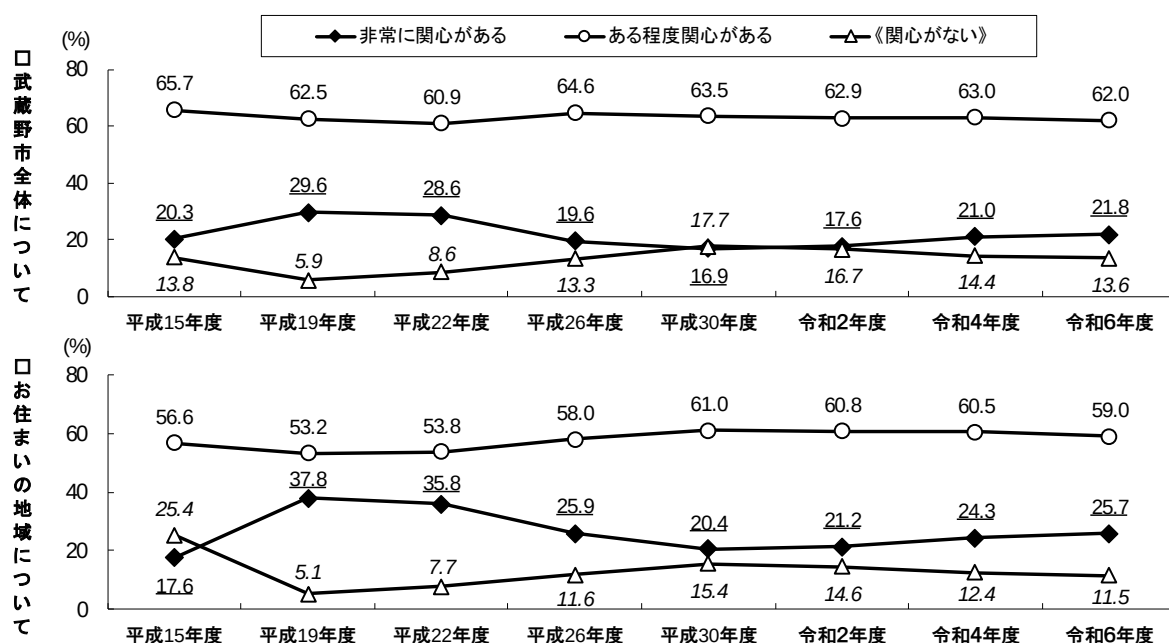
また、お住まいの地域のできごとについてはいかがですか。(〇はそれぞれ1つ)

図表1-31 地域への関心度



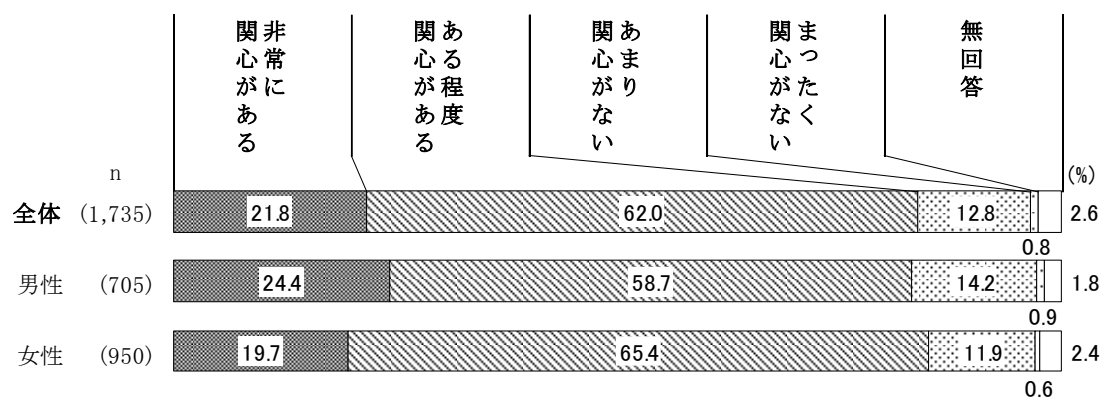
地域への関心度について見ると、「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』の割合は、【武蔵野市全体について】(83.8%)、【お住まいの地域について】(84.7%)ともに8割を超えている。(図表1-31)

図表1-32 地域への関心度(経年比較)

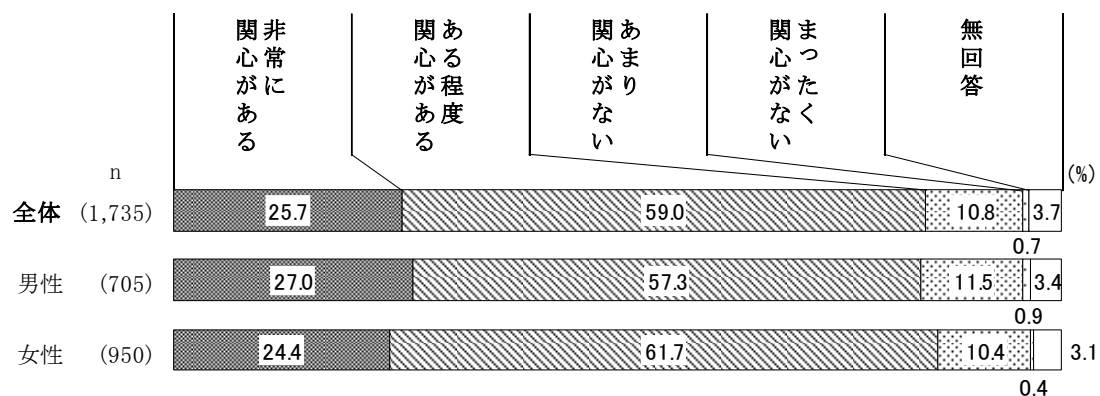


過去の調査と比較すると、【武蔵野市全体について】、【お住まいの地域について】ともに令和4年度と比べて大きな変化は見られない。(図表1-32)

図表1－33 地域への関心度・武蔵野市全体について（性別）

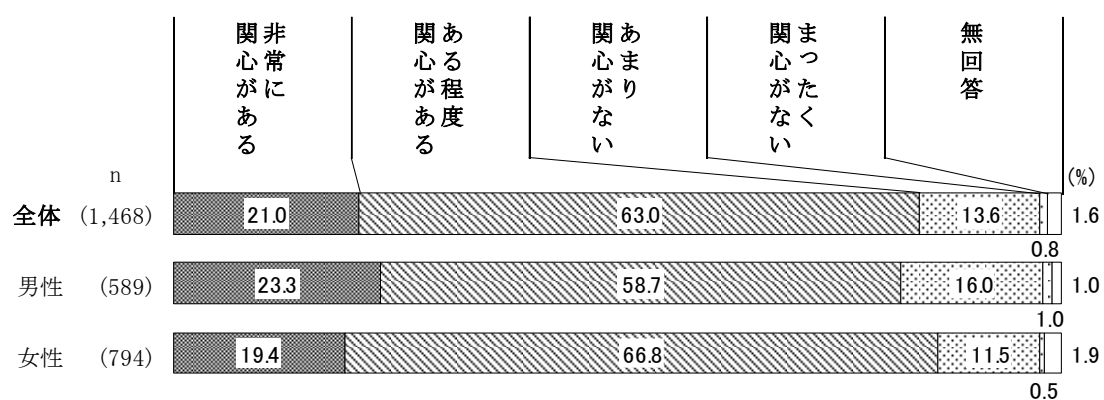


図表1－34 地域への関心度・お住まいの地域について（性別）

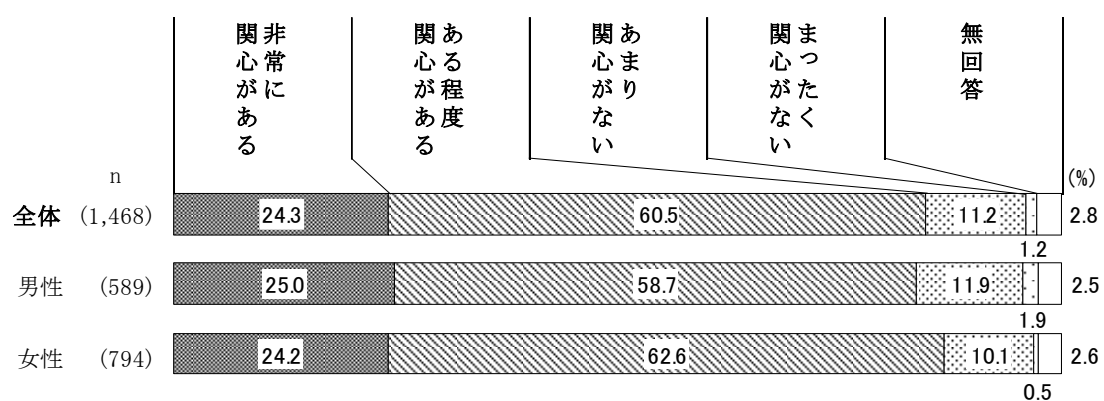


性別で見ると、「非常に関心がある」は、【武蔵野市全体について】、【お住まいの地域について】ともに、男性の方が女性より高くなっており、【武蔵野市全体について】では4.7ポイント、【お住まいの地域について】では2.6ポイント男性の方が高くなっている。（図表1－33、図表1－34）

武蔵野市全体について（性別）

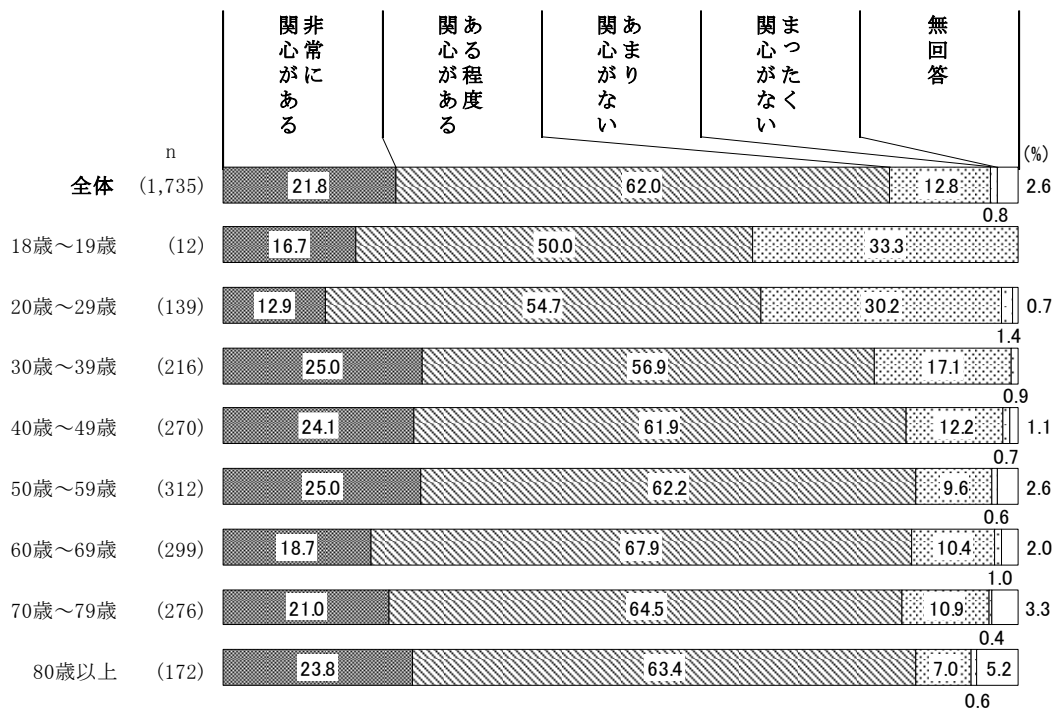


お住まいの地域について（性別）

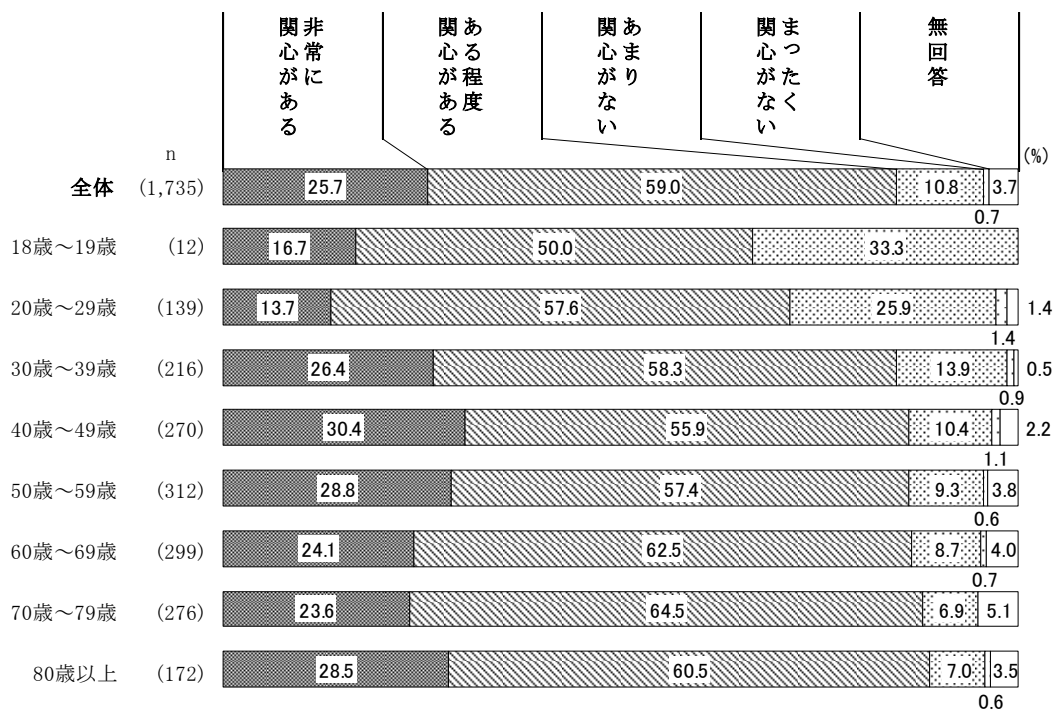


前回調査と比較すると、男女ともに大きな変化は見られない。

図表1－35 地域への関心度・武蔵野市全体について（年代別）

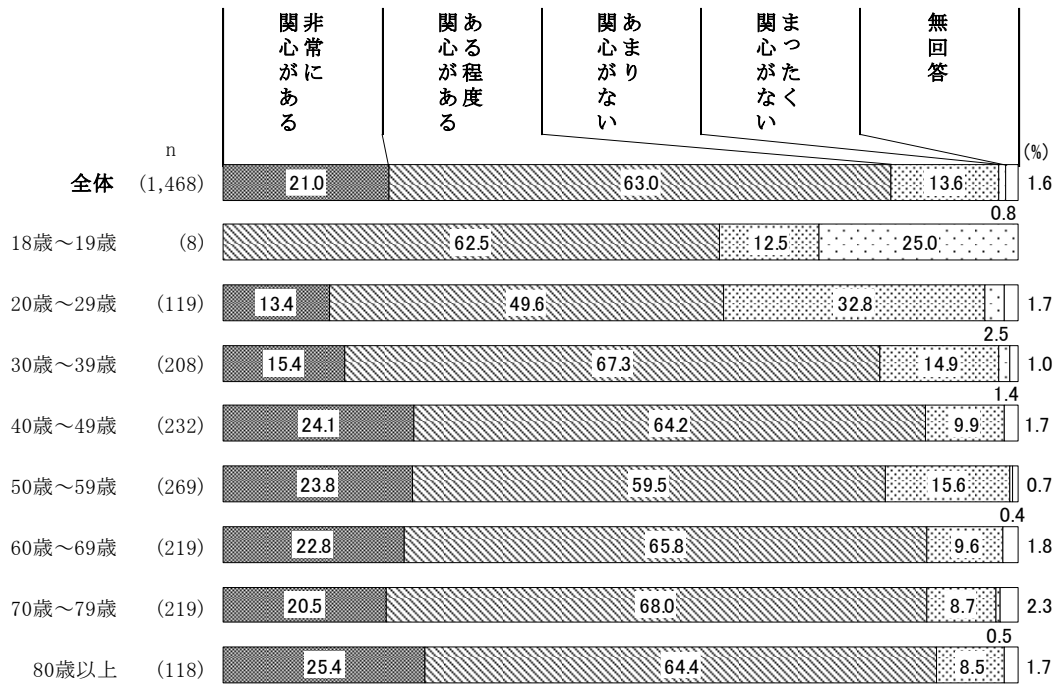


図表1－36 地域への関心度・お住まいの地域について（年代別）

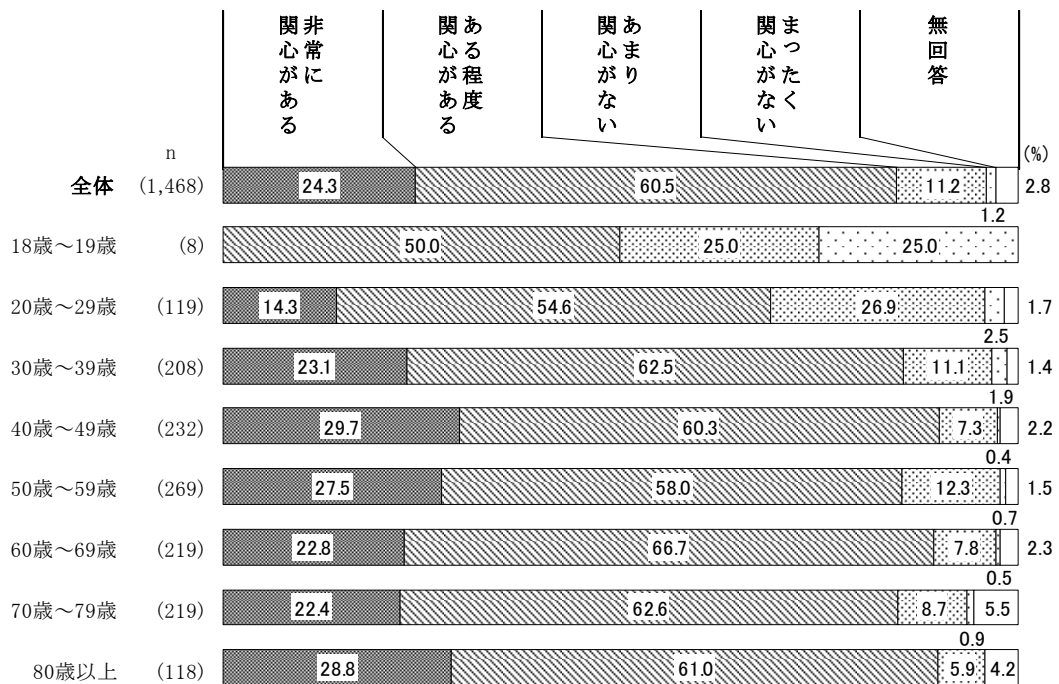


年代別で見ると、『関心がある』は、【武蔵野市全体について】、【お住まいの地域について】ともに、40歳以上で8割台半ばを超え、80歳以上で約9割と最も高くなっている。（図表1－35、図表1－36）

武蔵野市全体について（年代別）

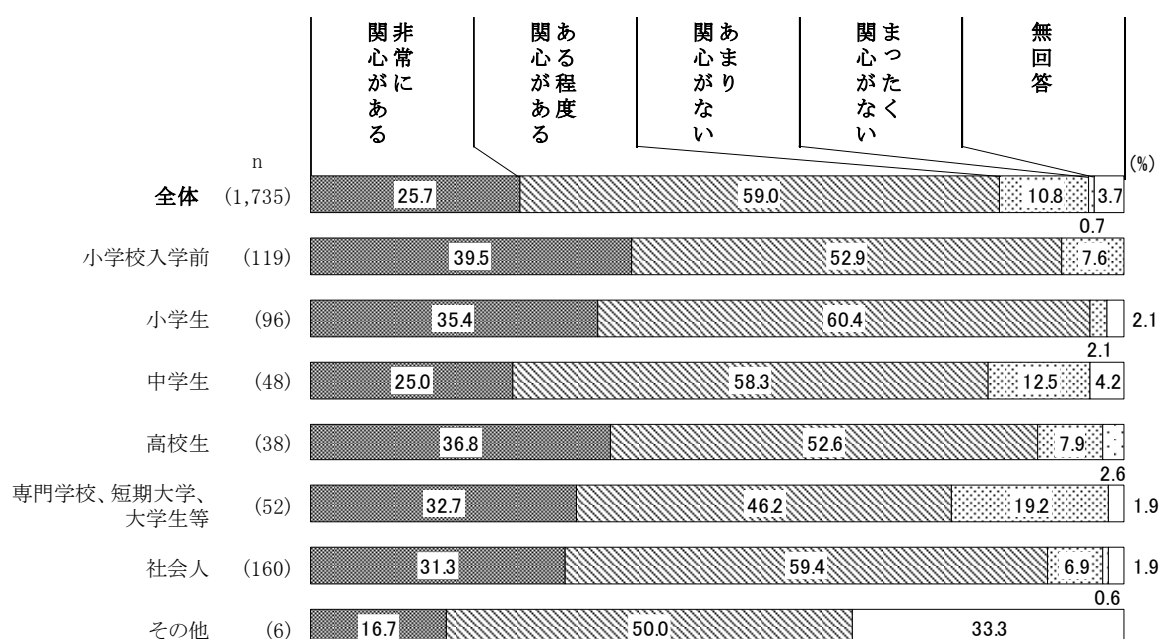


お住まいの地域について（年代別）



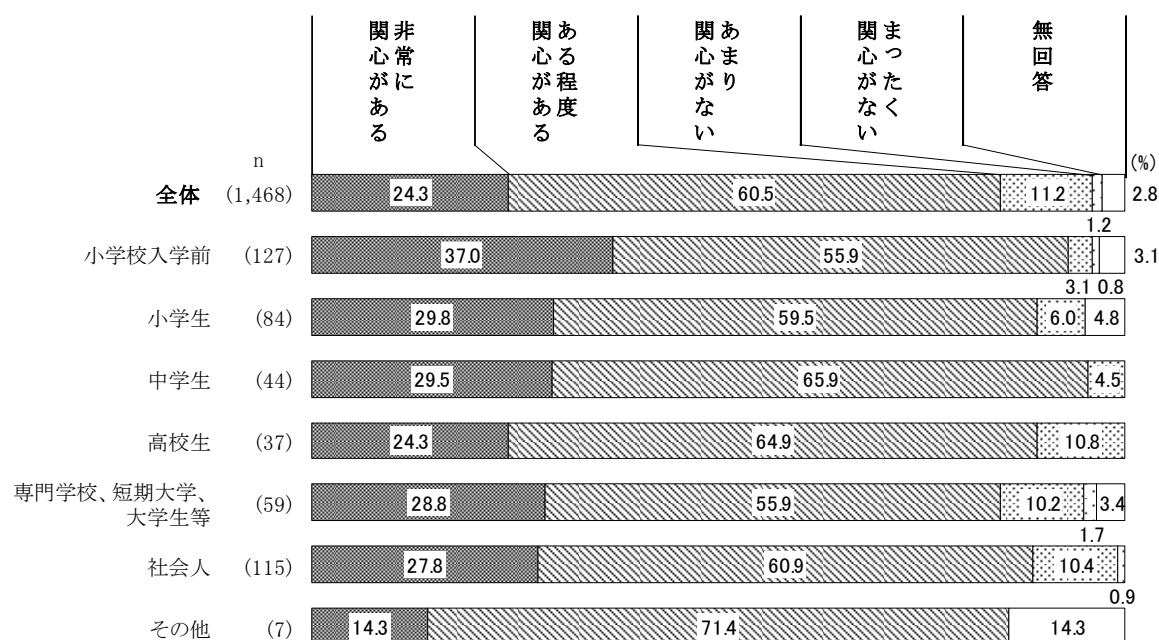
前回調査と比較すると、【武蔵野市全体について】では、『関心がある』は20歳～29歳で4.6ポイント、50歳～59歳で3.9ポイントの増加となっている。【お住まいの地域について】では、『関心がある』は40歳～49歳で3.7ポイント減少している。

図表1－37 地域への関心度・お住まいの地域について（子どもの就学状況別）



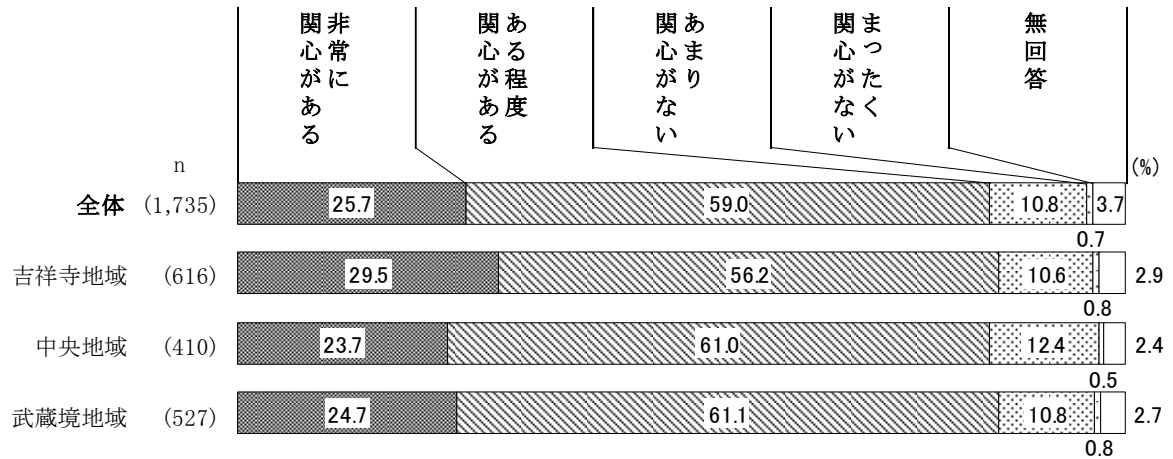
【お住まいの地域について】子どもの就学状況別で見ると、『関心がある』は、[小学生]、[小学校入学前]、[社会人]の子を持つ方で9割を超えている。（図表1－37）

参考：令和4年度調査の結果



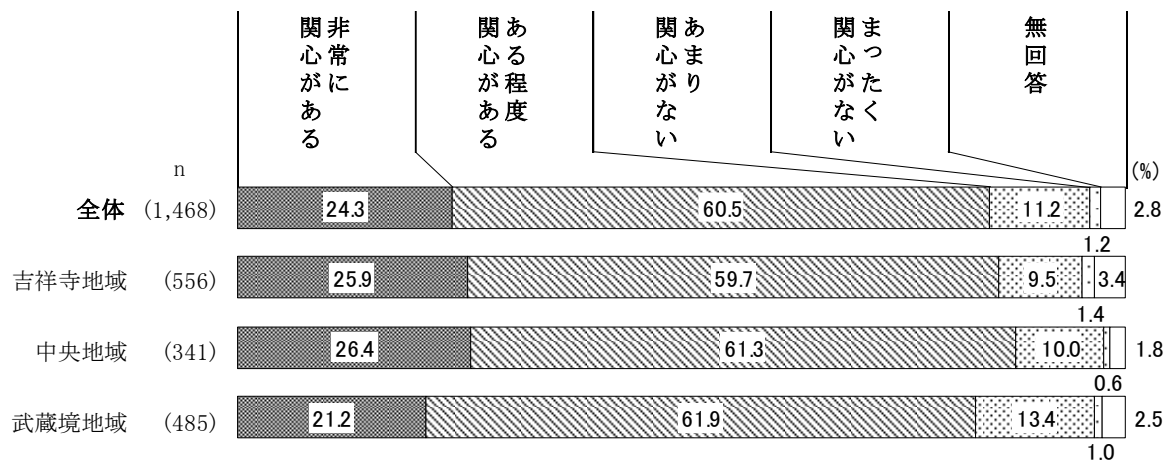
【お住まいの地域について】前回調査と比較すると、「非常に関心がある」は[高校生]の子を持つ方で12.5ポイント増加している。また、『関心がある』は、[中学生]の子を持つ方で12.1ポイント減少している。

図表1－38 地域への関心度・お住まいの地域について（居住地域別）



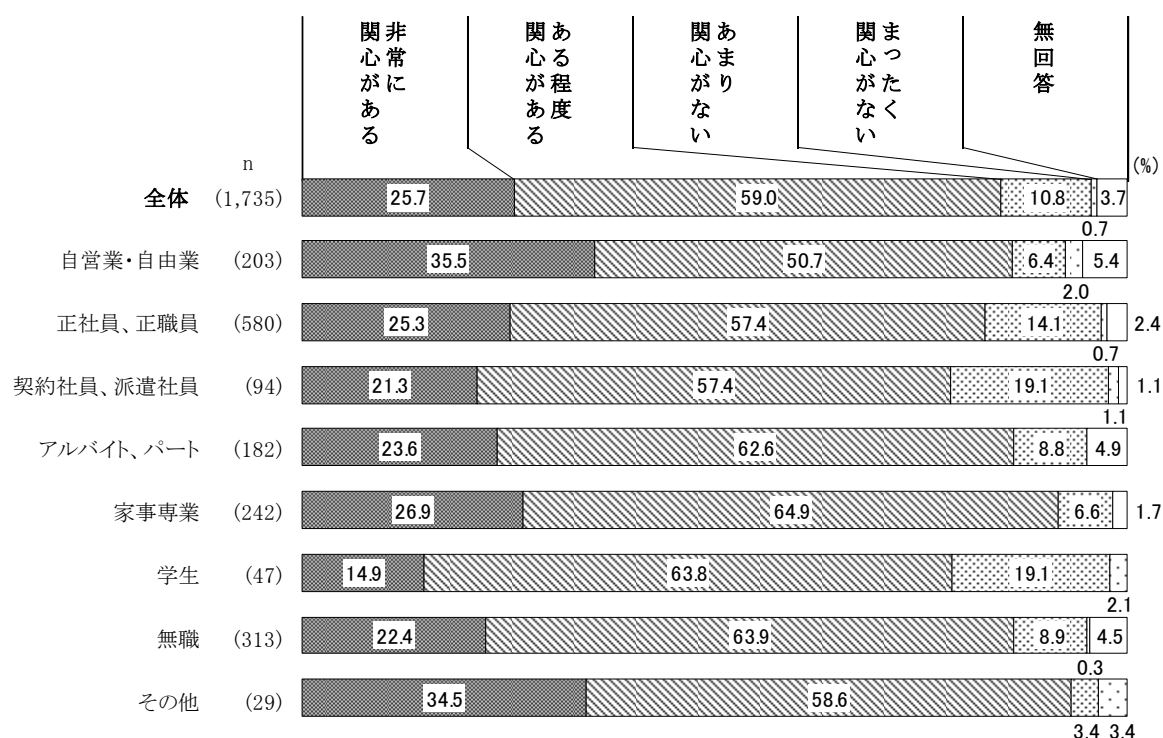
【お住まいの地域について】居住地域別で見ると、『関心がある』はいずれの地域も8割台半ばであるが、吉祥寺地域では「非常に関心がある」が約3割と高くなっている。（図表1－38）

参考：令和4年度調査の結果



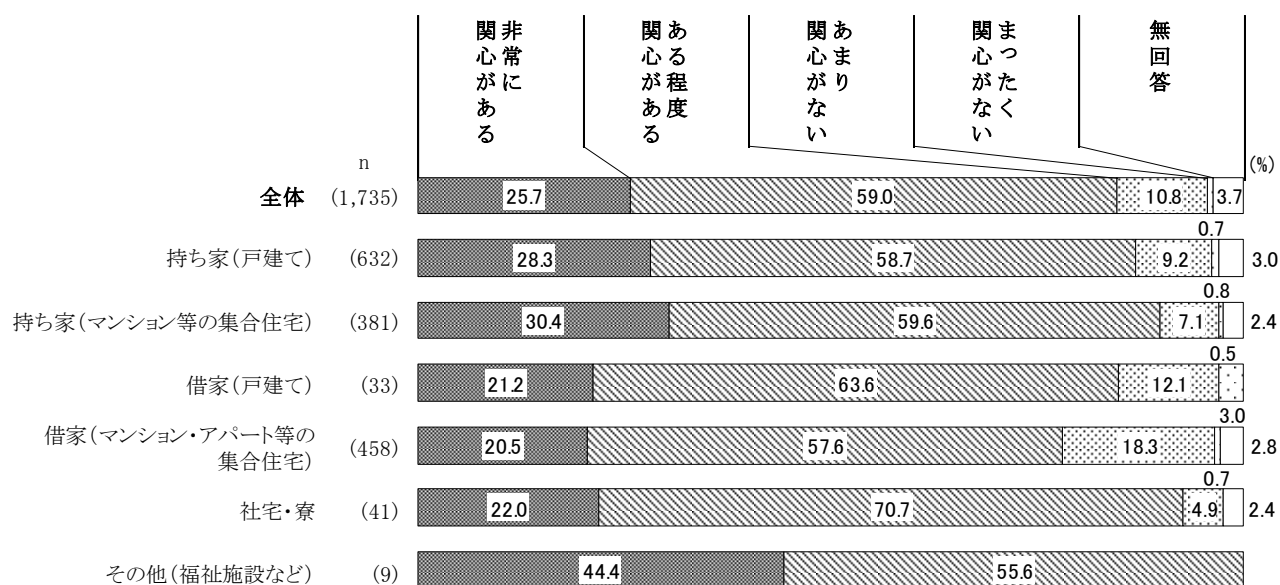
【お住まいの地域について】前回調査と比較すると、「非常に関心がある」は吉祥寺地域で3.6ポイント、武蔵境地域で3.5ポイント増加し、中央地域では2.7ポイント減少している。

図表1－39 地域への関心度・お住まいの地域について（職業別）



【お住まいの地域について】職業別で見ると、『関心がある』は、[家事専業]で9割を超え、[自営業・自由業]、[アルバイト、パート]、[無職]で8割台半ばとなっている。一方、[契約社員、派遣社員]と[学生]では7割台後半と、他の職業と比べてやや低くなっている。（図表1－39）

図表1－40 地域への関心度・お住まいの地域について（住宅の種類別）



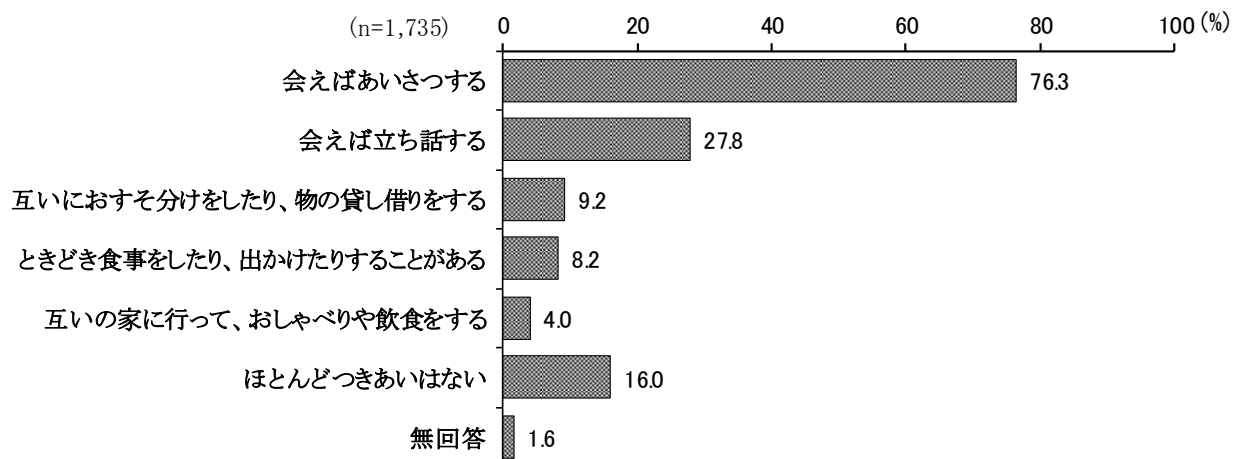
【お住まいの地域について】住宅の種類別で見ると、『関心がある』は、[社宅・寮]、[持ち家（マンション等の集合住宅）]で9割を超え、[持ち家（戸建て）]、[借家（戸建て）]で8割台、[借家（マンション・アパート等の集合住宅）]で7割台後半となっている。（図表1－40）

1-7 近隣との交際状況

◎ 「会えばあいさつする」が7割台半ば、「会えば立ち話する」が2割台後半である。

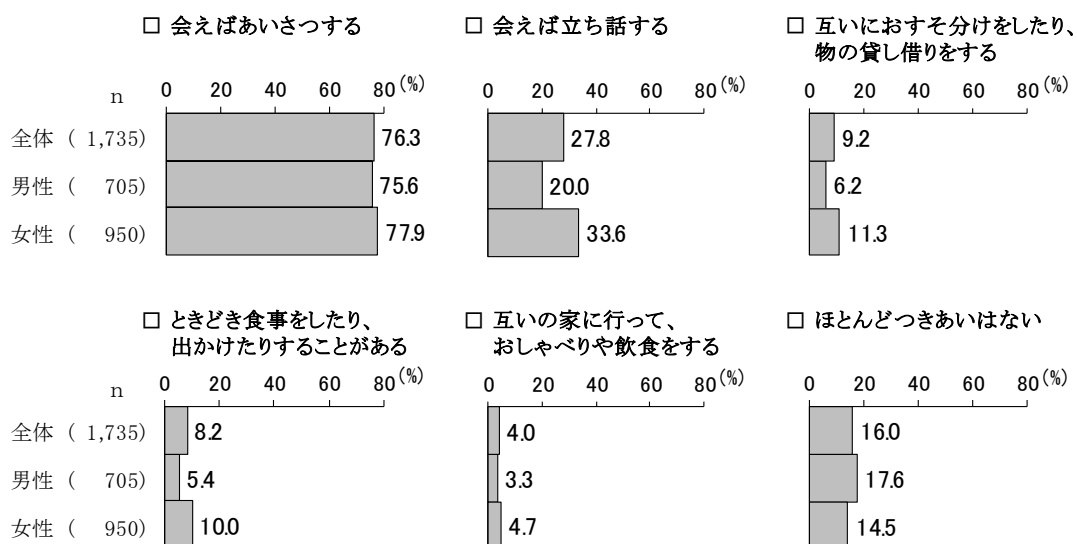
問5 あなたは日頃、近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(○はいくつでも)

図表1-41 近隣との交際状況(複数回答)



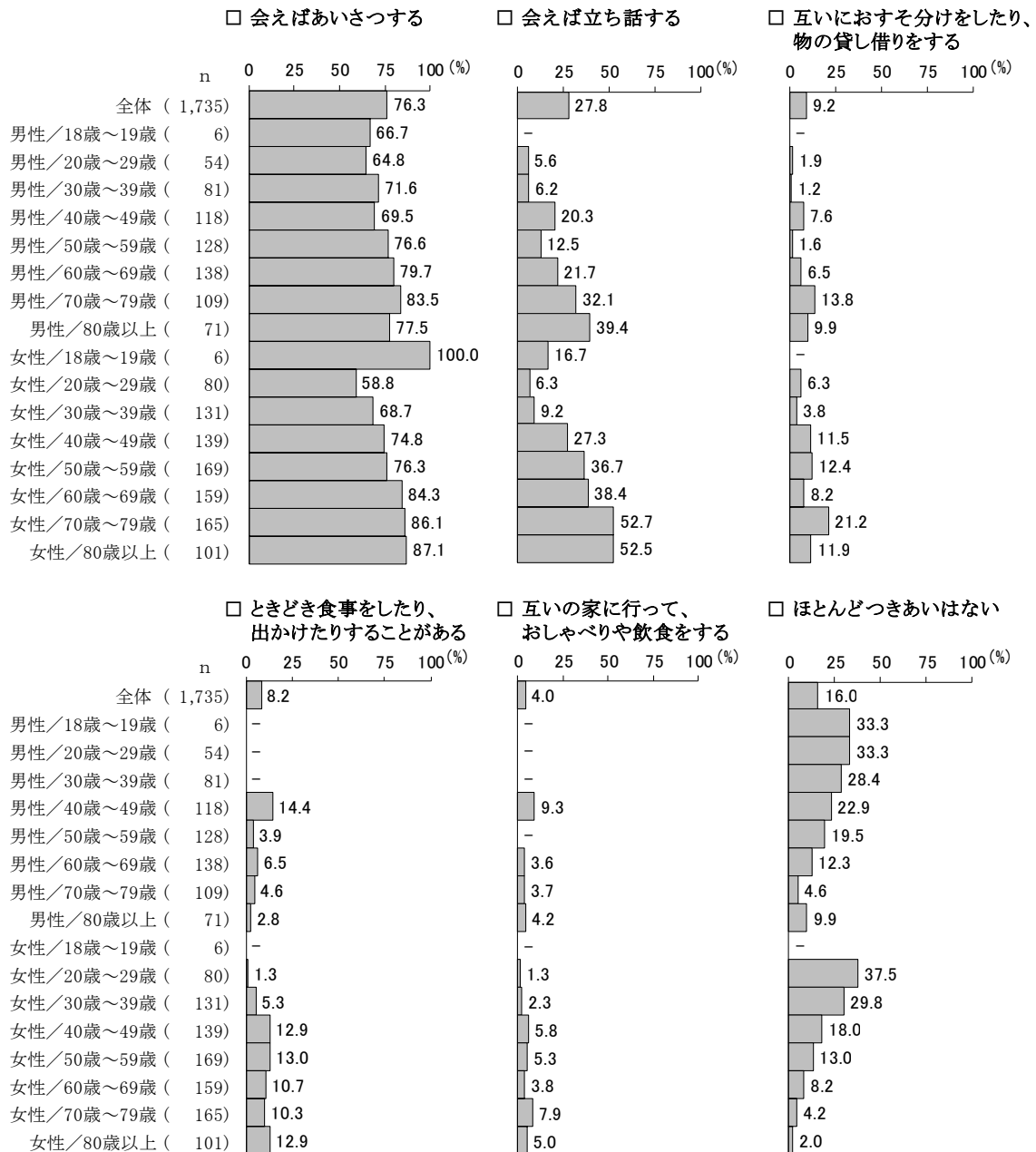
近隣との交際は、「会えばあいさつする」(76.3%)が7割台半ばと最も高く、次いで「会えば立ち話する」(27.8%)が2割台後半となっている。(図表1-41)

図表1-42 近隣との交際状況(性別)



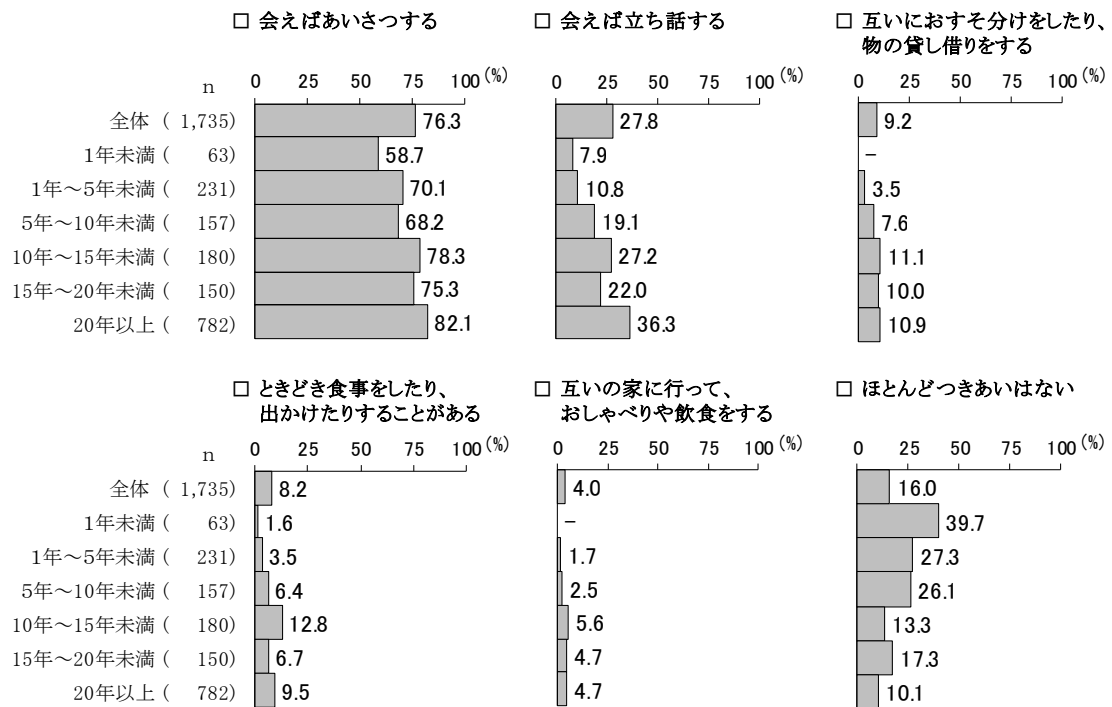
性別で見ると、「ほとんどつきあいはない」以外の項目で女性の方が男性より高く、「会えば立ち話する」は13.6ポイント、「互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする」は5.1ポイント、「ときどき食事をしたり、出かけたりすることがある」は4.6ポイント女性の方が高くなっている。(図表1-42)

図表1－43 近隣との交際状況（性／年代別）



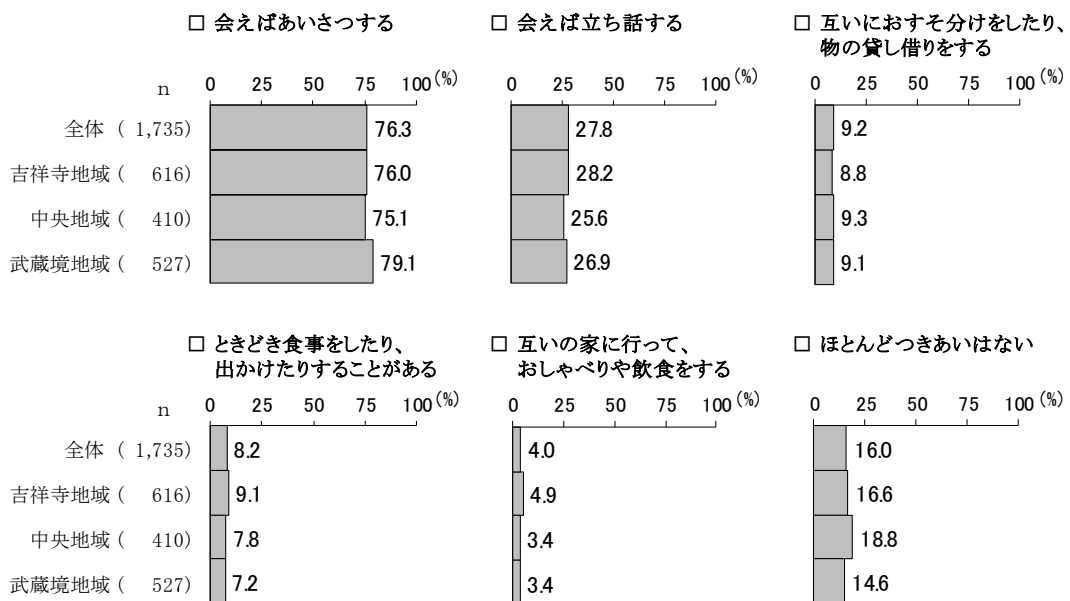
性／年代別で見ると、「会えばあいさつする」は、男性は70歳～79歳、女性は60歳以上で8割を超えており、男性の20歳～29歳と40歳～49歳、女性の20歳～29歳と30歳～39歳で7割を下回っている。「会えば立ち話する」は、男女ともに概ね年代が上がるほど高くなる傾向が見られる。一方、「ほとんどつきあいはない」は、男女ともに概ね年代が上がるほど低くなる傾向となっている。（図表1－43）

図表1－44 近隣との交際状況（居住年数別）



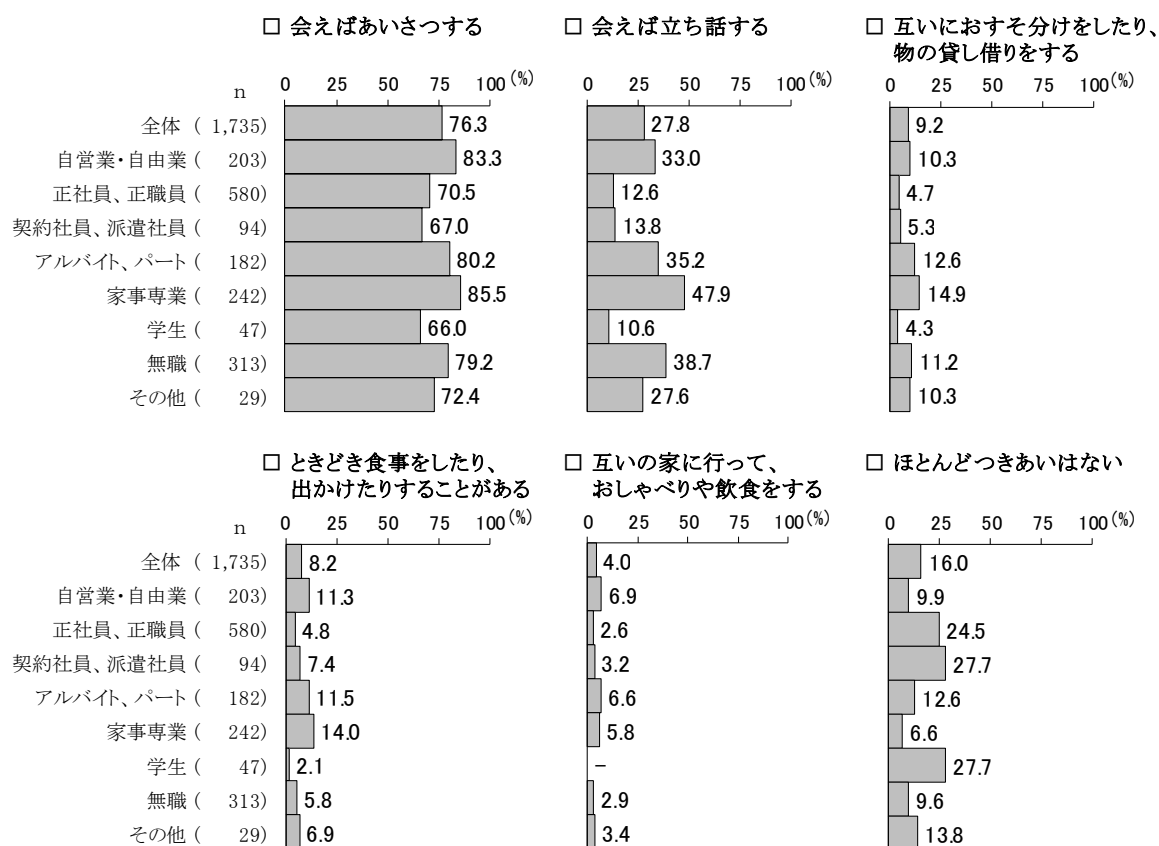
居住年数別で見ると、「会えばあいさつする」と「会えば立ち話する」は、概ね居住年数が長いほど高くなる傾向がある。一方、「ほとんどつきあいはない」は居住年数が短いほど高い傾向となっている。（図表1－44）

図表1－45 近隣との交際状況（居住地域別）



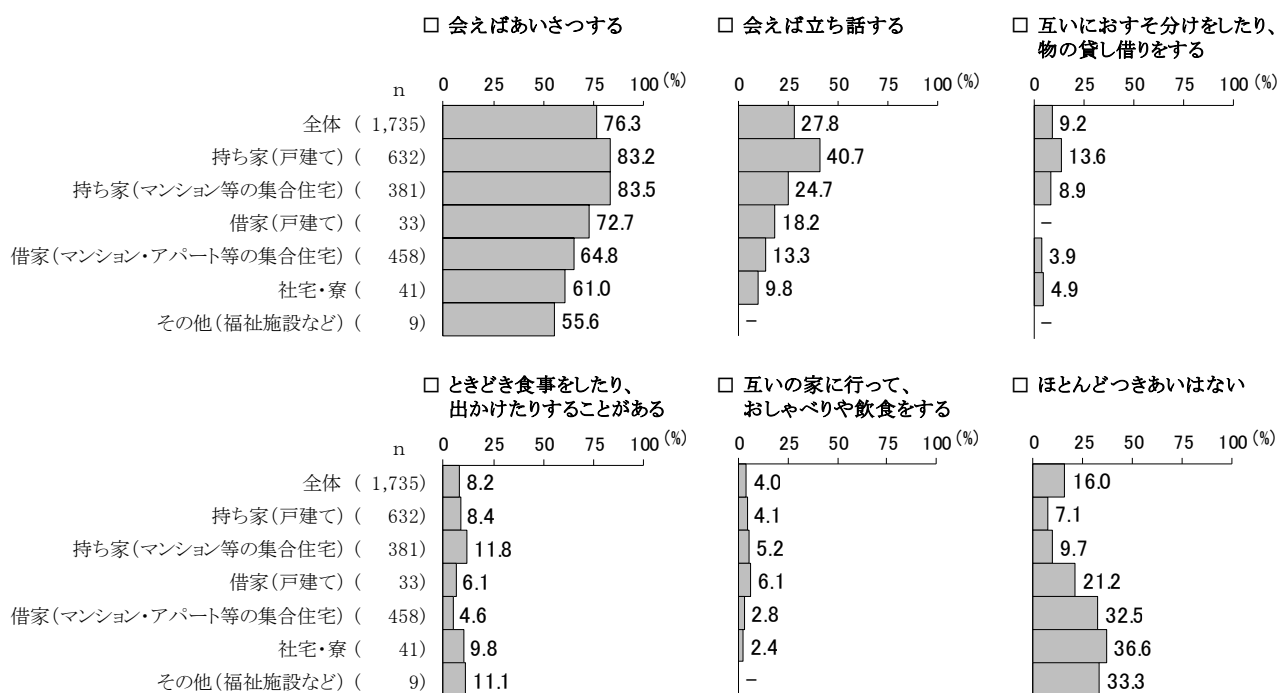
居住地域別で見ると、「ほとんどつきあいはない」は中央地域でやや高くなっている。（図表1－45）

図表1－46 近隣との交際状況（職業別）



職業別で見ると、「会えばあいさつする」は、[家事専業]、[自営業・自由業]、[アルバイト、パート]で8割を超えている。「会えば立ち話する」は、[家事専業]で4割台後半と高く、[学生]、[契約社員、派遣社員]、[正社員、正職員]で1割台前半と低くなっている。（図表1－46）

図表1－47 近隣との交際状況（住宅の種類別）



住宅の種類別で見ると、「会えばあいさつする」は、[持ち家（マンション等の集合住宅）]、[持ち家（戸建て）]で8割台前半と高くなっている。一方、「ほとんどつきあいはない」は、[社宅・寮]で3割台後半、[借家（マンション・アパート等の集合住宅）]で3割台前半と、他と比べて高くなっている。（図表1－47）

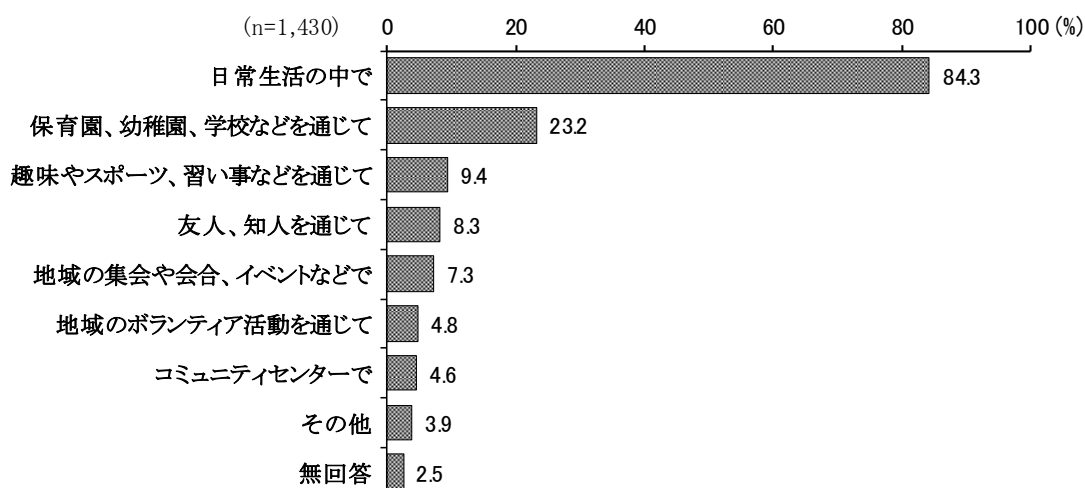
1－8 近隣との交際のきっかけ

◎ 「日常生活の中で」が8割台半ばと最も高い。

【問5で「会えばあいさつをする」、「会えば立ち話をする」、「ときどき食事をしたり、出かけたりすることがある」、「互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする」、「互いの家に行って、おしゃべりや飲食をする」とお答えの方に】

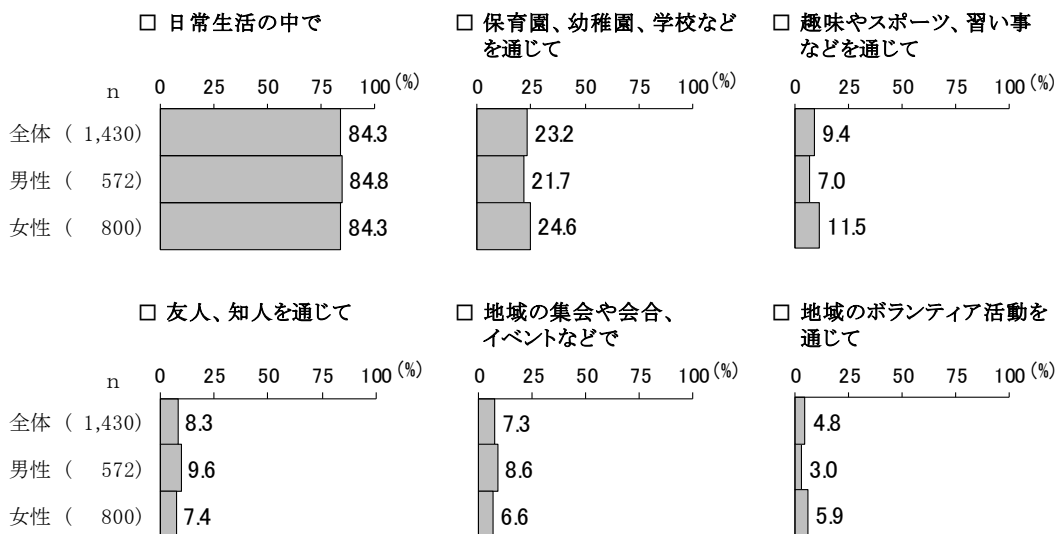
問5－1 どのようなきっかけで、近所の方とのつながりができましたか。(○はいくつでも)

図表1－48 近隣との交際のきっかけ(複数回答)



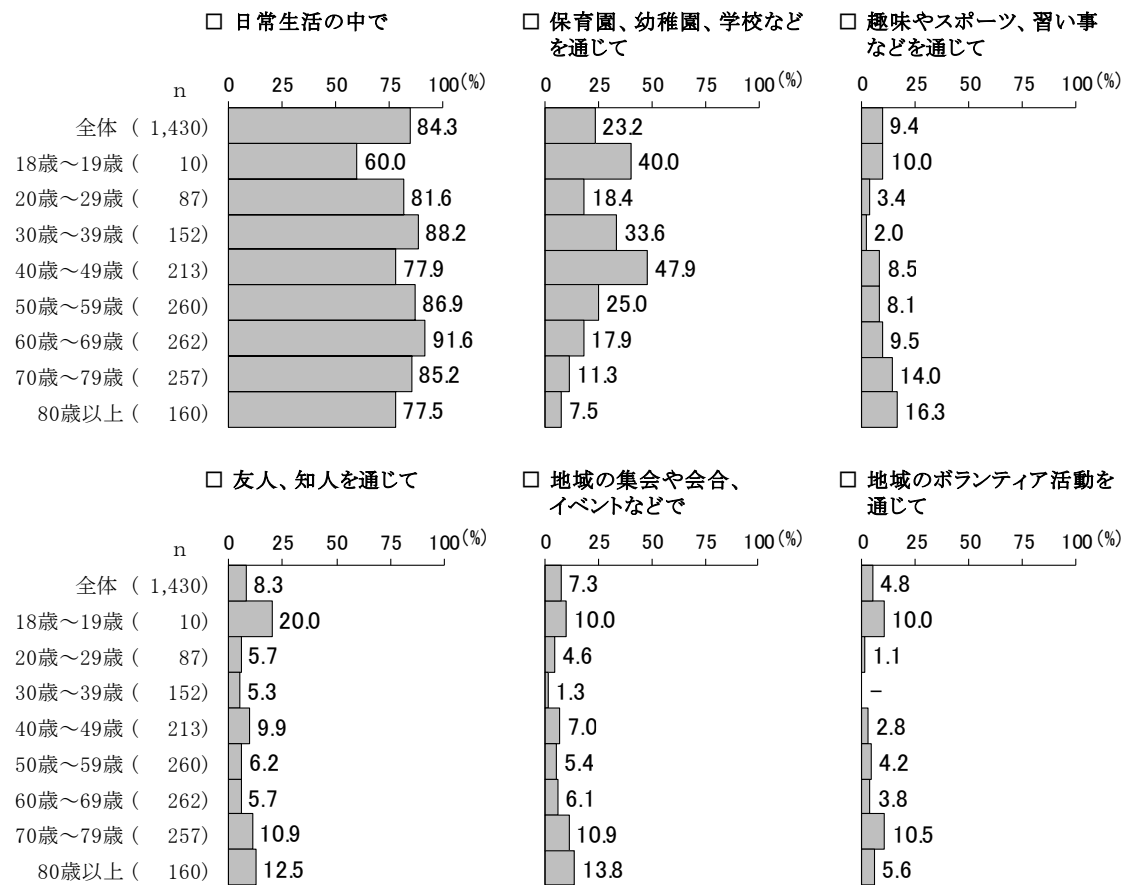
近隣との交際のきっかけは、「日常生活の中で」(84.3%)が8割台半ばで最も高く、次いで「保育園、幼稚園、学校などを通じて」(23.2%)が2割台前半となっている。(図表1－48)

図表1－49 近隣との交際のきっかけ(性別)上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、女性の方が男性より、「趣味やスポーツ、習い事などを通じて」は4.5ポイント高く、「保育園、幼稚園、学校などを通じて」と「地域のボランティア活動を通じて」も、女性の方が2.9ポイント高くなっている。(図表1－49)

図表1－50 近隣との交際のきっかけ（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「日常生活の中で」は、60歳～69歳で9割を超えて高く、「保育園、幼稚園、学校などを通じて」は、40歳～49歳で4割台後半と最も高くなっている。また、「趣味やスポーツ、習い事などを通じて」は、概ね年代が上がるほど高い傾向となっている。「友人、知人を通じて」、「地域の集会や会合、イベントなどで」は70歳以上が、「地域のボランティア活動を通じて」は70歳～79歳で1割台と他の年代と比べて高くなっている。（図表1－50）

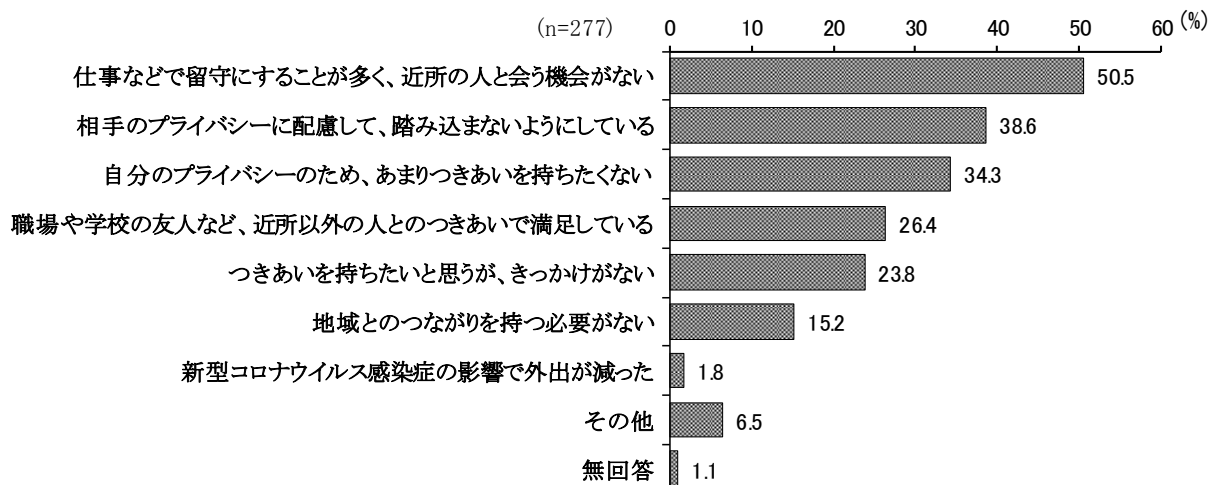
1-9 近隣との交際がない理由

◎ 「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」が約5割と最も高い。

【問5で「ほとんどつきあいはない」とお答えの方に】

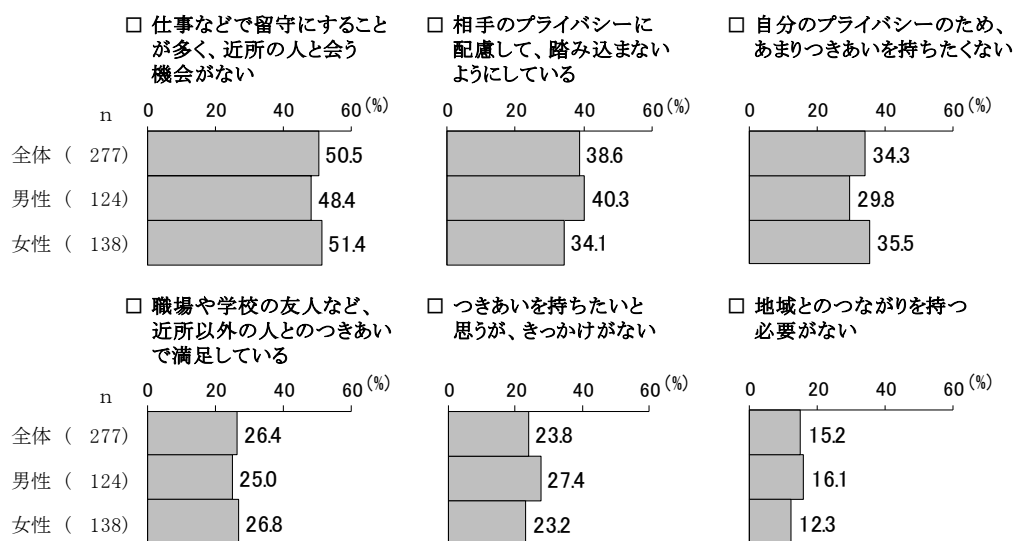
問5-2 近所の方とのつきあいがない理由は何でしょうか。(○はいくつでも)

図表1-51 近隣との交際がない理由(複数回答)



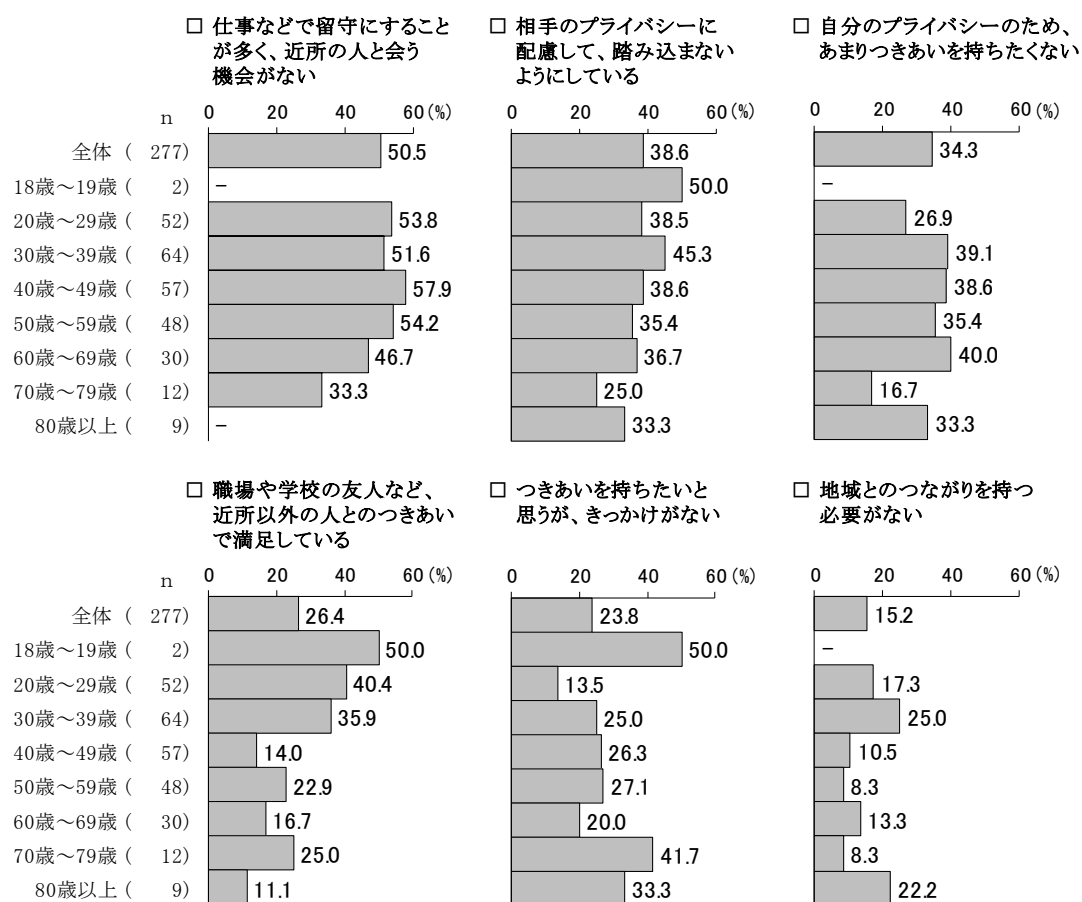
近隣との交際がない理由は、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」(50.5%)が約5割で最も高く、次いで「相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」(38.6%)、「自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない」(34.3%)が3割台、「職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している」(26.4%)、「つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない」(23.8%)が2割台、「地域とのつながりを持つ必要がない」(15.2%)が1割台半ばとなっている。(図表1-51)

図表1-52 近隣との交際がない理由(性別)上位6項目



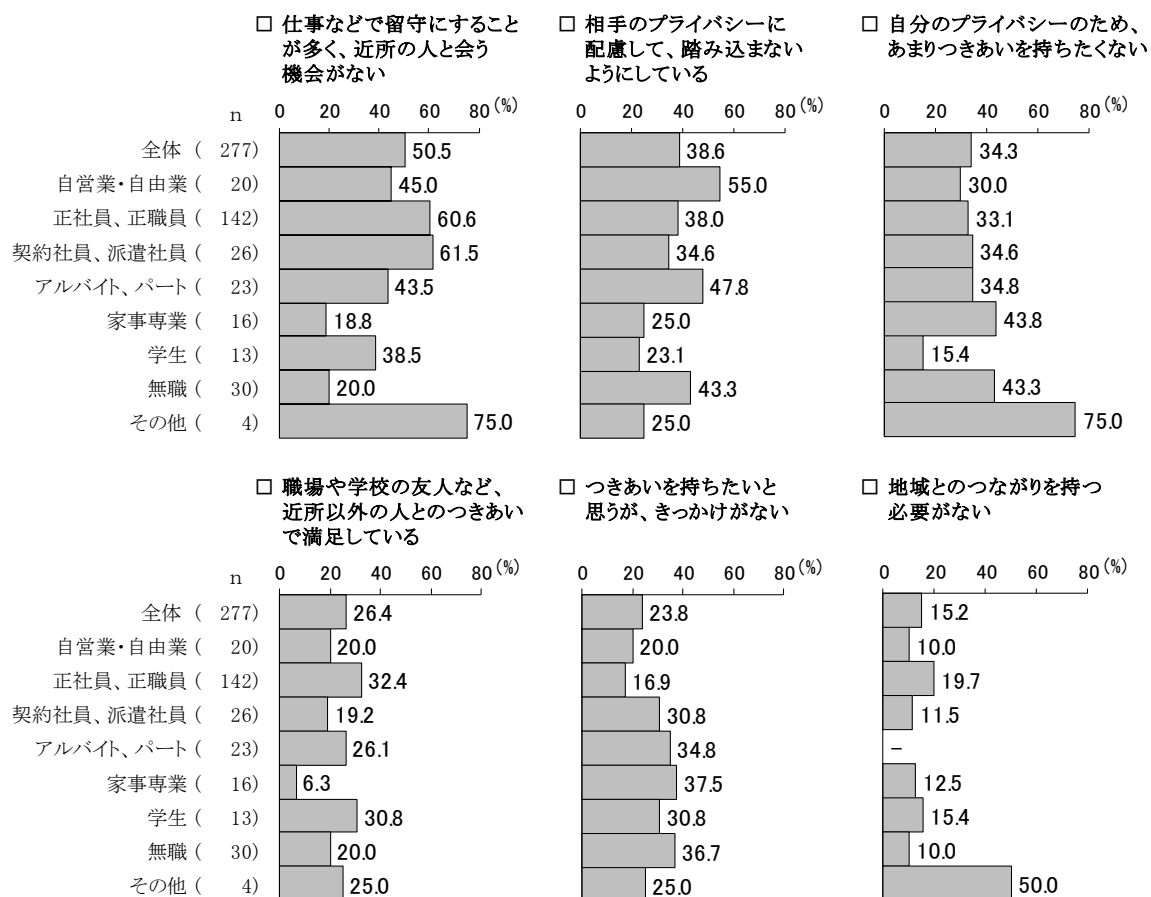
上位6項目について、性別で見ると、「相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」は、男性の方が女性より6.2ポイント高くなっている。一方、「自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない」は、女性の方が男性より5.7ポイント高くなっている。(図表1-52)

図表1－53 近隣との交際がない理由（年代別）上位6項目



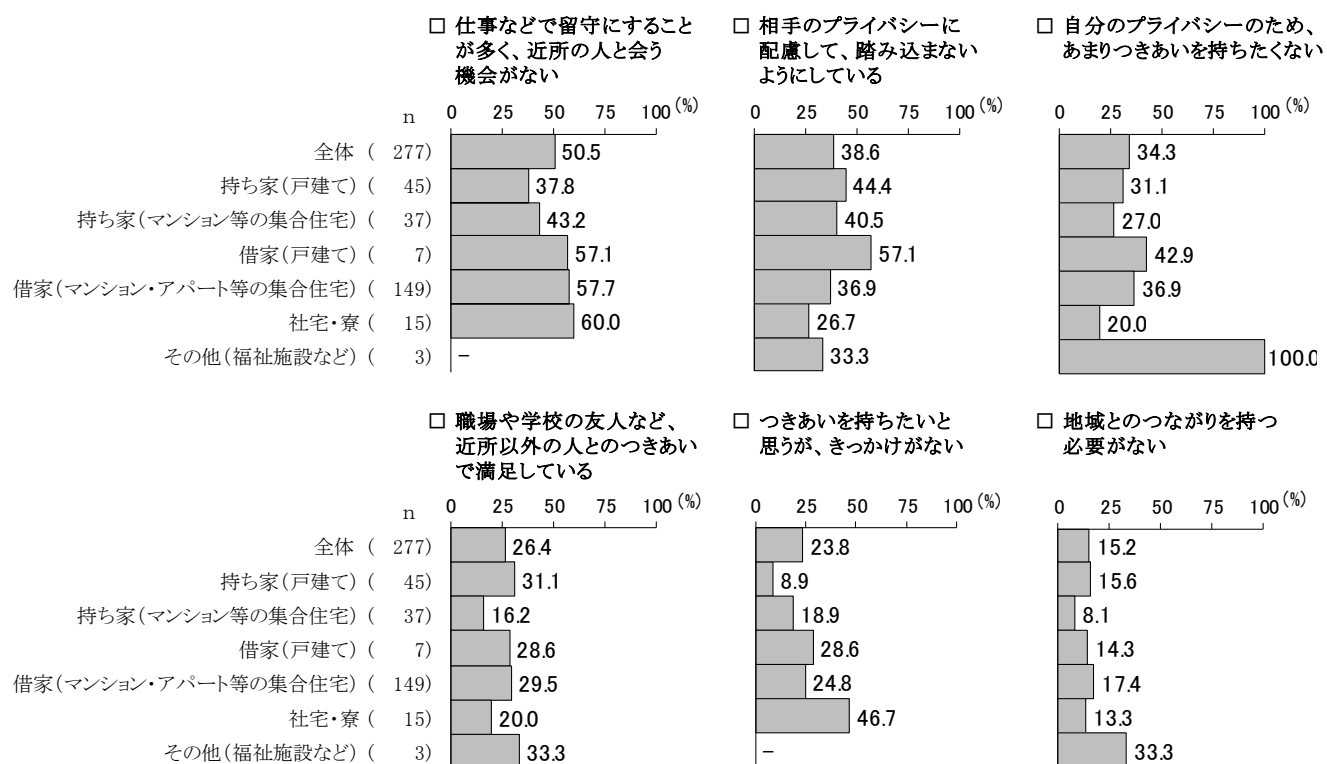
年代別で見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、40歳～49歳で5割台後半と最も高くなっている。「相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」は、30歳～39歳で4割台半ばと高くなっている。「職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している」は、20歳～29歳で約4割と高くなっている。（図表1－53）

図表1－54 近隣との交際がない理由（職業別）上位6項目



職業別で見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、[正社員、正職員]で約6割と高くなっている。（図表1－54）

図表1－55 近隣との交際がない理由（住宅の種類別）上位6項目



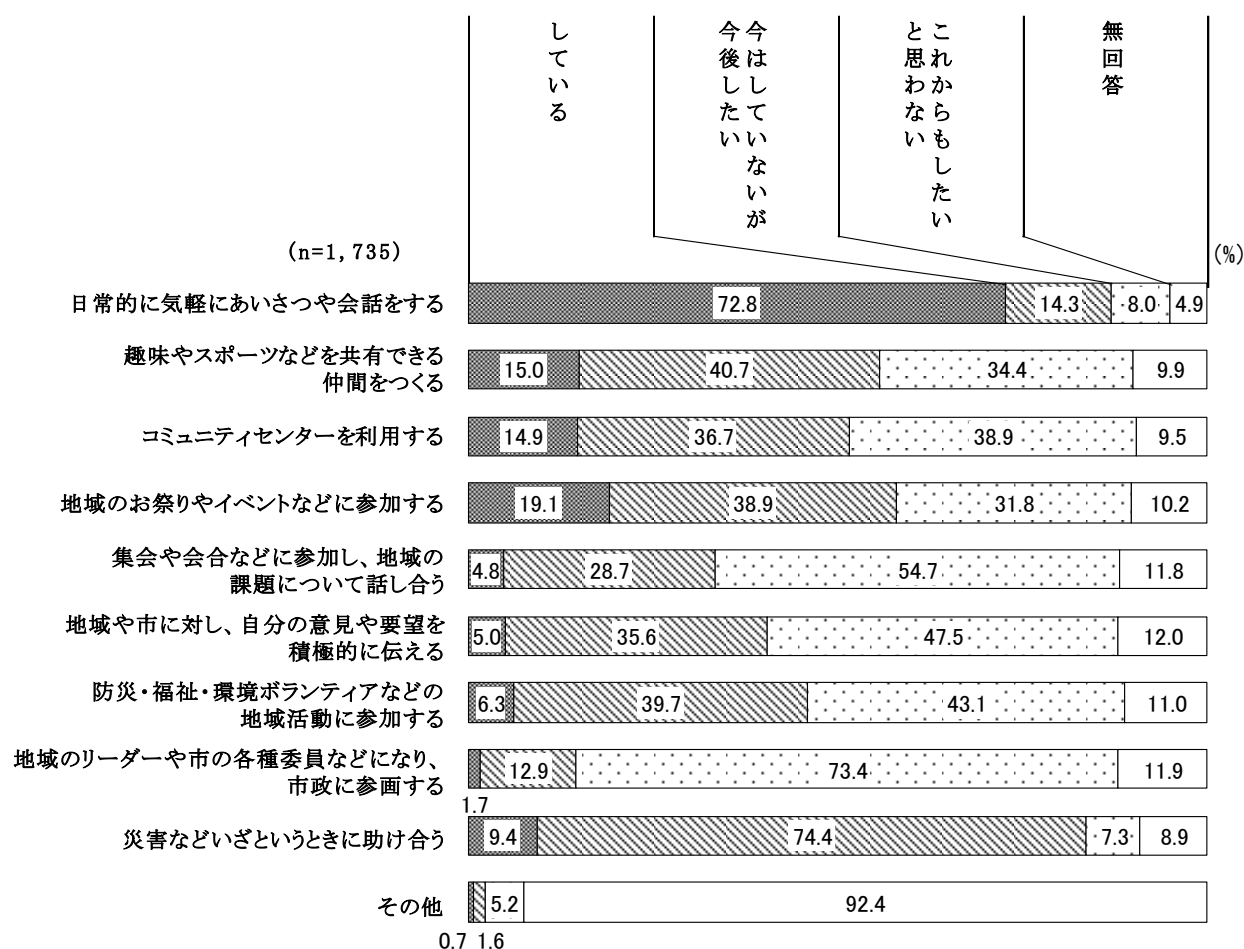
住宅の種類別で見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、[借家（マンション・アパート等の集合住宅）]で5割台後半と最も高くなっている。（図表1－55）

1-10 地域における行動の状況・意向

◎ 『意向あり』は【日常的に気軽にあいさつや会話をする】が8割台後半で最も高い。

問6 あなたは、お住まいの地域とのつながりやコミュニケーションのために何かしていることがありますか。していることがない場合、今後したいと思っていますか。(〇はそれぞれ1つ)

図表1-56 地域における行動の状況・意向



地域における行動の状況・意向について見ると、『意向あり』（「している」＋「今はしていないが今後したい」）は【日常的に気軽にあいさつや会話をする】（87.1%）が8割台後半で最も高く、次いで【災害などいざというときに助け合う】（83.8%）が8割台前半、【地域のお祭りやイベントなどに参加する】（58.0%）、【趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる】（55.7%）、【コミュニティセンターを利用する】（51.6%）が5割台となっている。（図表1-56）

図表1－57 地域における行動の状況・意向(『意向あり』の割合、性別・年代別・居住地域別)

(%)

		調査数 (n)	日常的に気軽 に会話をする	災害などいざ というときに 助け合う	地域のお祭り やイベント などに参加 する	趣味やスポー ツなどを共 有できる仲 間をつくる	コミュニティー センターを 利用する	防災・福祉・ 環境ボラン ティアなど の地域活動 に参加する	地域や市に 対し、自分 の意見や要 望を積極的 に伝える	地域や市に 対し、自分 の意見や要 望を積極的 に伝える	話し合う	集会や会合 などに参加 し、地域の 課題につい て	地域のリー ダーや市の 各種委員 などに参 政に参画 する	その他
全体		1,735	87.1	83.7	58.0	55.8	51.6	46.0	40.5	33.5	14.6	2.3		
性別	男性	705	86.8	83.8	60.1	58.2	49.4	46.7	45.2	38.0	19.6	2.8		
	女性	950	88.4	84.8	57.6	56.0	54.0	46.0	37.3	31.2	11.5	1.9		
年代別	18歳～19歳	12	83.3	75.0	66.7	50.0	41.7	58.3	41.7	41.7	50.0	8.3		
	20歳～29歳	139	77.0	82.7	69.8	47.5	38.1	41.0	36.0	24.5	14.4	4.3		
	30歳～39歳	216	86.1	88.4	71.3	48.1	43.5	36.1	43.1	29.6	14.8	2.3		
	40歳～49歳	270	93.0	90.4	68.5	60.7	55.9	53.7	42.2	34.1	15.2	3.0		
	50歳～59歳	312	87.5	90.4	61.9	65.4	55.1	57.7	46.2	38.1	16.0	2.6		
	60歳～69歳	299	91.0	88.0	53.8	62.2	54.8	52.5	44.8	38.8	17.7	1.0		
	70歳～79歳	276	91.7	80.1	51.8	57.2	59.1	43.1	37.0	35.9	12.3	1.4		
	80歳以上	172	77.3	62.2	32.0	40.7	45.9	25.0	29.1	27.3	8.7	1.7		
居住地域別	吉祥寺地域	616	88.6	84.9	59.7	54.5	52.9	45.5	44.5	34.9	14.8	1.9		
	中央地域	410	88.0	83.9	57.6	54.9	48.3	49.8	40.0	32.7	13.2	2.2		
	武蔵境地域	527	86.9	86.0	59.4	58.6	53.5	44.6	40.0	33.6	16.1	2.8		

地域における行動の状況・意向について、『意向あり』の割合を性別で見ると、男性の方が女性より【地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する】は8.1ポイント、【地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える】は7.9ポイント、【集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う】は6.8ポイント高くなっている。一方、【コミュニティセンターを利用する】では、女性の方が男性より4.6ポイント高くなっている。

年代別で見ると、【災害などいざというときに助け合う】は、40歳～49歳、50歳～59歳で約9割と高く、【地域のお祭りやイベントなどに参加する】は、20歳～29歳、30歳～39歳で約7割となっている。また、【趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる】は、50歳～59歳で6割台半ばと最も高く、【コミュニティセンターを利用する】は、70歳～79歳で約6割と最も高くなっている。

地域別で見ると、【地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える】は、吉祥寺地域で4割台半ばと高くなっている。また、中央地域は、【コミュニティセンターを利用する】では4割台後半だが、【防災・福祉・環境ボランティアなどの地域活動に参加する】では約5割と高くなっている。(図表1－57)

図表1－58 地域における行動の状況・意向
 (『意向あり』の割合、住宅の種類別・家族構成別・地域への愛着を『感じている』回答者別)

(%)

		調査数（n）	日常的に気軽に あいさつ や会話をする	災害などいざという ときに 助け合う	地域のお祭りやイ ベント などに 参加する	趣味やス ポーツな どを 共有で きる仲 間をつ くる	コ ミュニ ティセ ンター を 利用す る	防 災・福 祉・環 境ボラ ン ティア などの 地域活 動に 参加す る	地 域や市 に対し 、自分 の意 見や要 望を積 極的に 伝える	地 域や市 の課題 について 話し合 う	集 会や会 合など に参加 し、地 域の課 題につ いて	地 域のリ ーダー や市の 各種委 員など になり 、市政 に参画 する	そ の 他
全体		1,735	87.1	83.7	58.0	55.8	51.6	46.0	40.5	33.5	14.6	2.3	
住 宅 の 種 類 別	持ち家（戸建て）	632	90.2	83.7	55.5	54.7	52.8	46.5	41.1	33.2	15.5	1.4	
	持ち家（マンション等の 集合住宅）	381	92.1	86.4	60.9	65.9	56.4	51.7	46.7	41.5	16.0	2.4	
	借家（戸建て）	33	81.8	78.8	57.6	51.5	54.5	45.5	36.4	24.2	12.1	－	
	借家（マンション・ アパート等の集合住宅）	458	82.1	86.5	60.3	49.6	46.7	41.3	37.3	28.2	12.7	3.1	
	社宅・寮	41	92.7	87.8	85.4	63.4	56.1	56.1	53.7	39.0	22.0	4.9	
	その他 （福祉施設など）	9	66.7	77.8	44.4	44.4	55.6	55.6	66.7	55.6	22.2	22.2	
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	283	78.4	81.6	50.9	52.7	44.5	40.6	33.2	27.9	12.4	2.5	
	自分と配偶者（事実婚 含む）・パートナー	515	88.7	84.3	55.5	55.0	51.7	44.3	40.6	33.6	13.2	2.3	
	自分と子（2世代世帯）	495	92.7	87.9	68.5	62.4	58.6	53.7	49.5	39.8	17.0	2.2	
	自分と親（2世代世帯）	151	88.1	92.1	57.6	47.0	45.7	43.7	38.4	25.2	15.2	3.3	
	自分と子と孫 （3世代世帯）	29	86.2	69.0	48.3	55.2	51.7	31.0	27.6	24.1	17.2	－	
	親と自分と子 （3世代世帯）	38	97.4	92.1	68.4	73.7	57.9	65.8	47.4	39.5	26.3	－	
	祖父母と親と自分 （3世代世帯）	7	57.1	71.4	42.9	42.9	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	－	
	その他	40	82.5	70.0	50.0	35.0	37.5	25.0	42.5	35.0	12.5	2.5	
武蔵野市全体に誇りや 愛着を『感じている』※		1,539	89.5	86.1	59.9	58.9	53.6	48.7	42.8	35.9	15.9	2.3	
お住まいの地域に誇りや 愛着を『感じている』※		1,519	89.7	85.8	60.4	58.1	53.9	48.5	42.6	35.6	15.5	2.4	

※「問8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか」の質問に、『感じている』(「感じている」+「やや感じている」)と回答した方が対象。

地域における行動の状況・意向について、『意向あり』の割合を住宅の種類別で見ると、【地域のお祭りやイベントなどに参加する】は、[社宅・寮]で8割台半ばと高くなっている。また、【趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる】は、[持ち家(マンション等の集合住宅)]と[社宅・寮]で6割台と高くなっている。

家族構成別で見ると、【地域のお祭りやイベントなどに参加する】は、[自分と子(2世代世帯)]と[親と自分と子(3世代世帯)]で6割台後半と高くなっている。また、【趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる】は、[親と自分と子(3世代世帯)]で7割を超えて高くなっている。

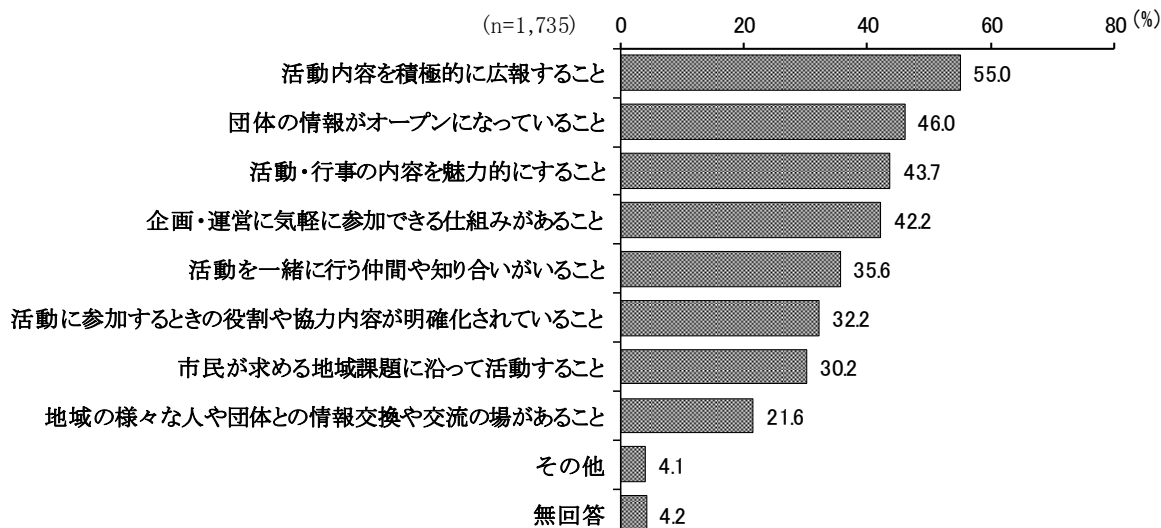
武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていると回答した方について見ると、【日常的に気軽にあいさつや会話をする】ではどちらも約9割、他の項目でも全体と比べて高い値となっている(「その他」を除く)。(図表1－58)

1-11 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと

◎ 「活動内容を積極的に広報すること」が5割台半ばと最も高い。

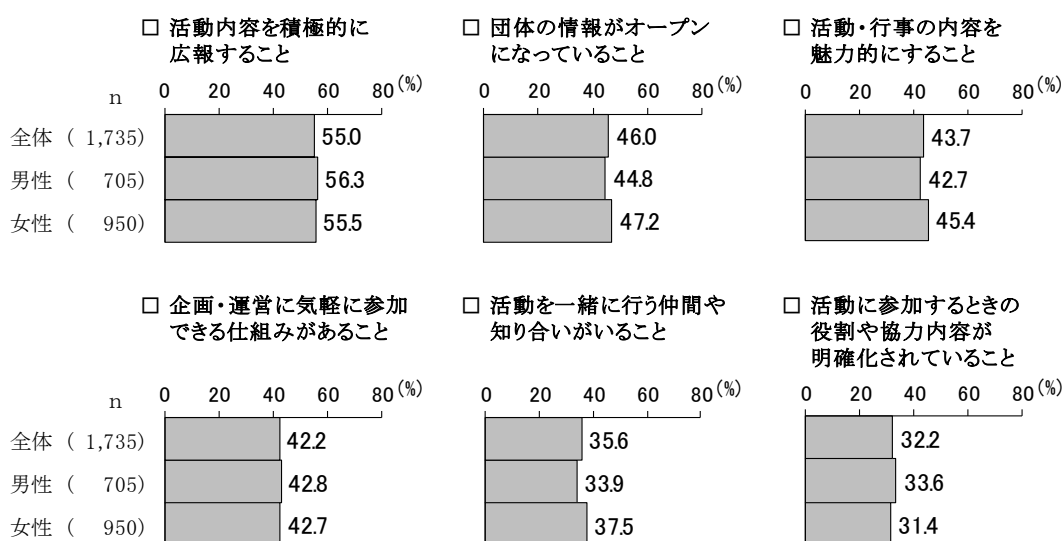
問7 防災・福祉・環境ボランティアなど、地域の活動に、より多くの人が参加するようになるために必要なことは何だと思いませんか。(〇はいくつでも)

図表1-59 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと(複数回答)



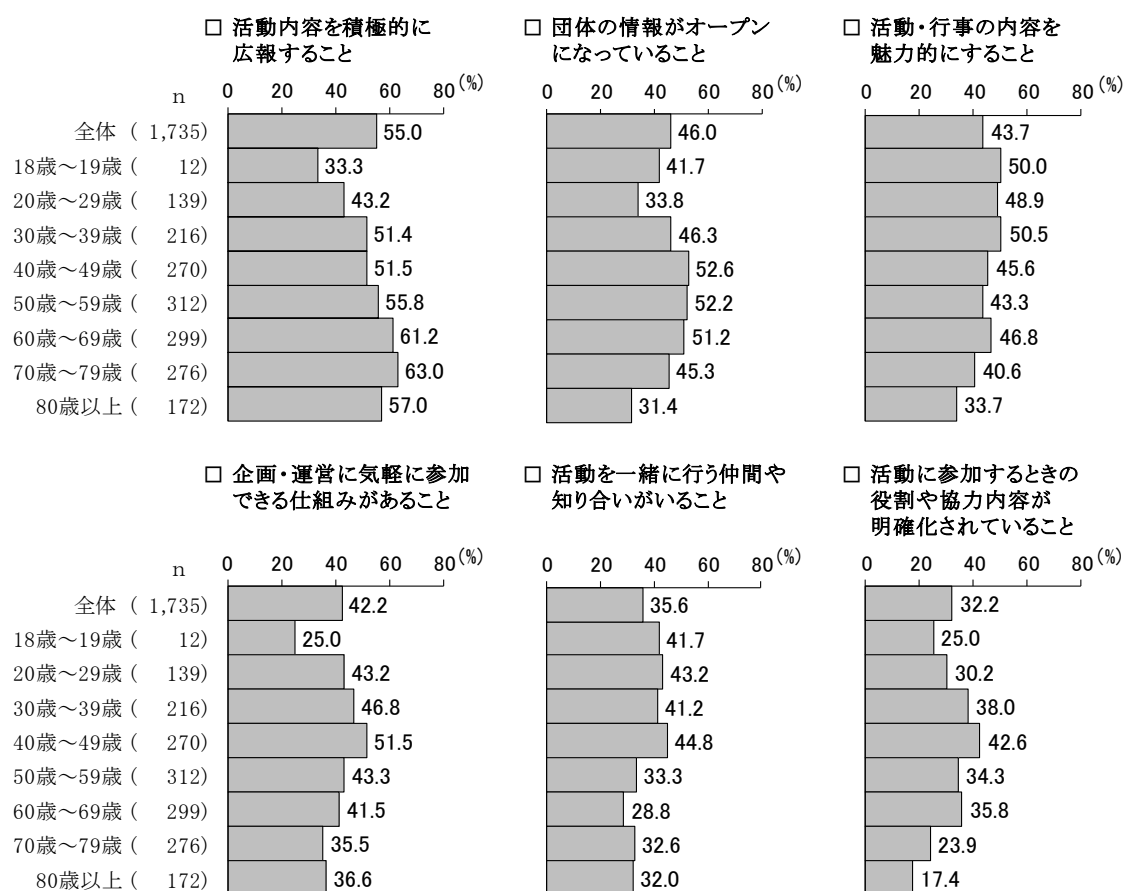
地域の活動の参加者を増やすために必要なことは、「活動内容を積極的に広報すること」(55.0%)が5割台半ばと最も高く、次いで「団体の情報がオープンになっていること」(46.0%)、「活動・行事の内容を魅力的にすること」(43.7%)、「企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること」(42.2%)が4割台で続いている。(図表1-59)

図表1-60 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと(性別)上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「活動と一緒にいる仲間や知り合いがいること」は、女性の方が男性より3.6ポイント高くなっている。(図表1-60)

図表1－61 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと（年代別）上位6項目



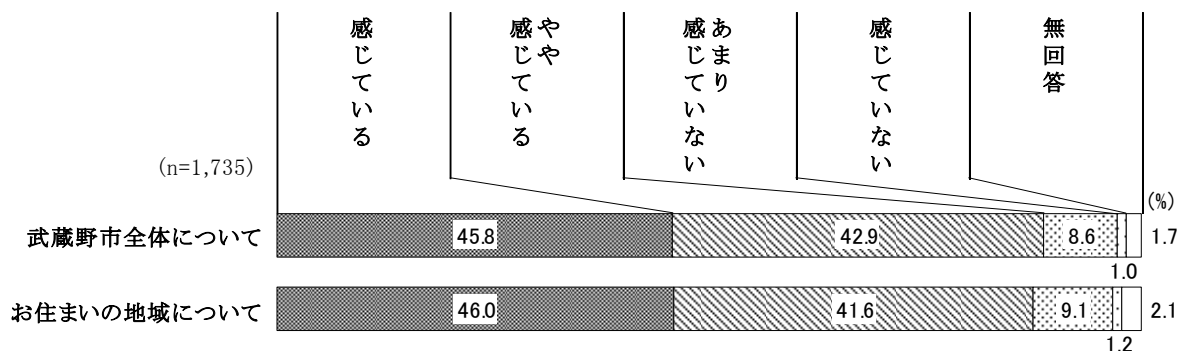
年代別で見ると、「活動内容を積極的に広報すること」は、60歳～69歳、70歳～79歳で6割を超えて高く、「団体の情報がオープンになっていること」は、40歳～49歳、50歳～59歳、60歳～69歳で5割前半と高くなっている。また、「企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること」、「活動と一緒にいる仲間や知り合いがいること」、「活動に参加するときの役割や協力内容が明確化されていること」は、いずれも40歳～49歳で最も高くなっている。（図表1－61）

1-12 地域への誇り・愛着

◎ 【武蔵野市全体について】、【お住まいの地域について】ともに、『（誇りや愛着を感じている）』が8割台後半である。

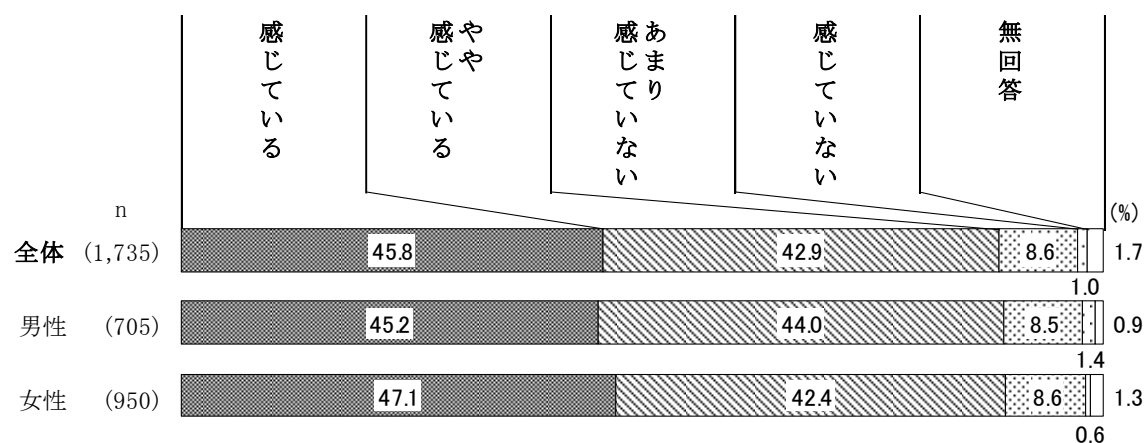
問8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか。（○はそれぞれ1つ）

図表1-62 地域への誇り・愛着

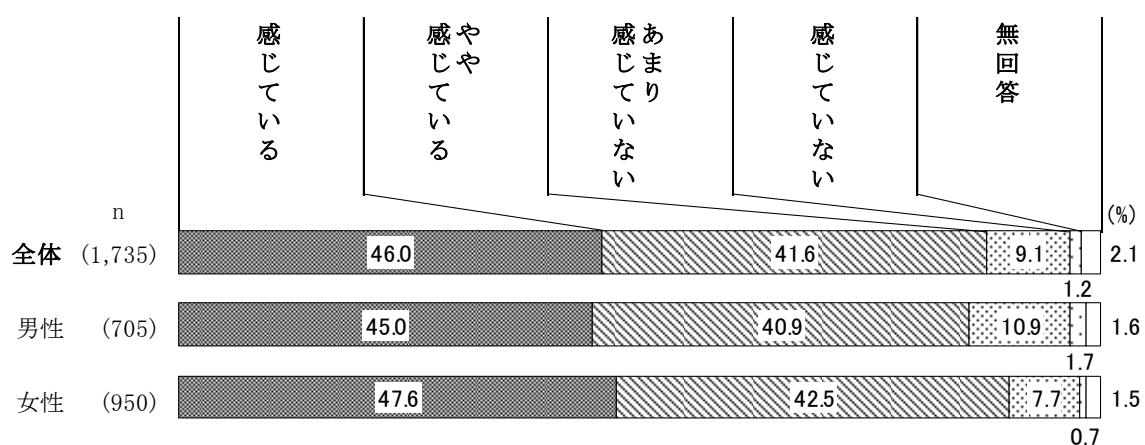


地域への誇り・愛着について見ると、「感じている」＋「やや感じている」を合わせた『感じている』の割合は、【武蔵野市全体について】（88.7%）、【お住まいの地域について】（87.6%）ともに8割台後半となっている。（図表1-62）

図表1－63 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(性別)

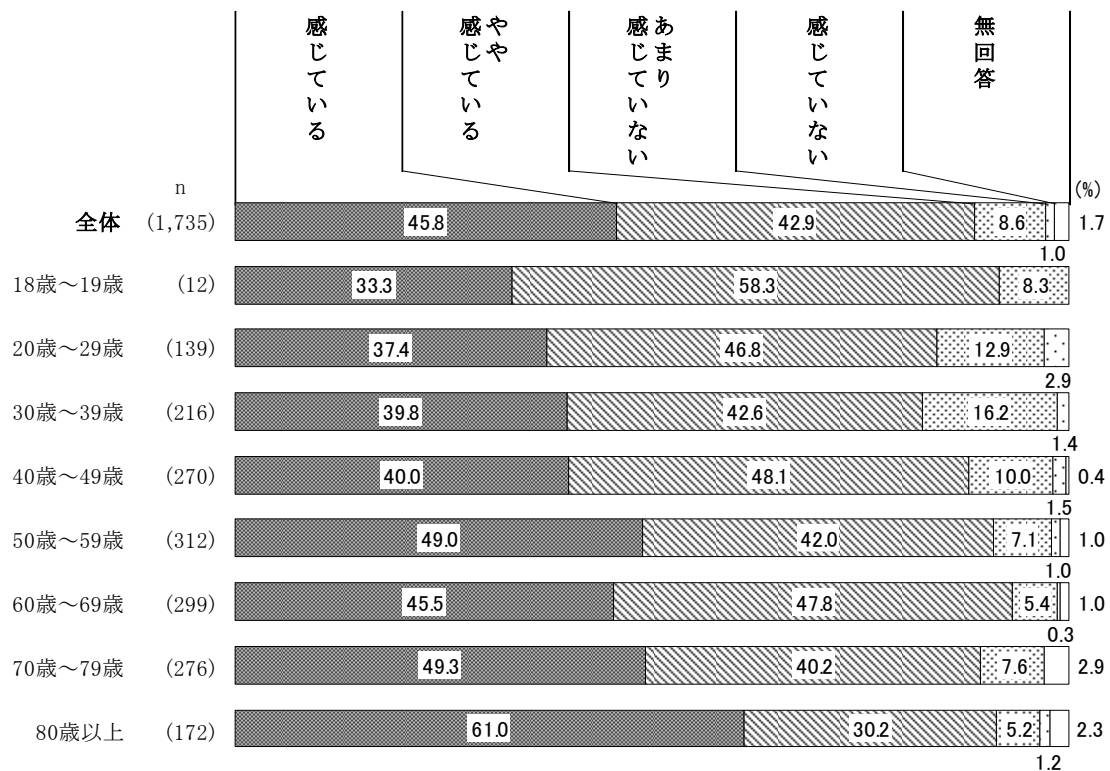


図表1－64 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(性別)

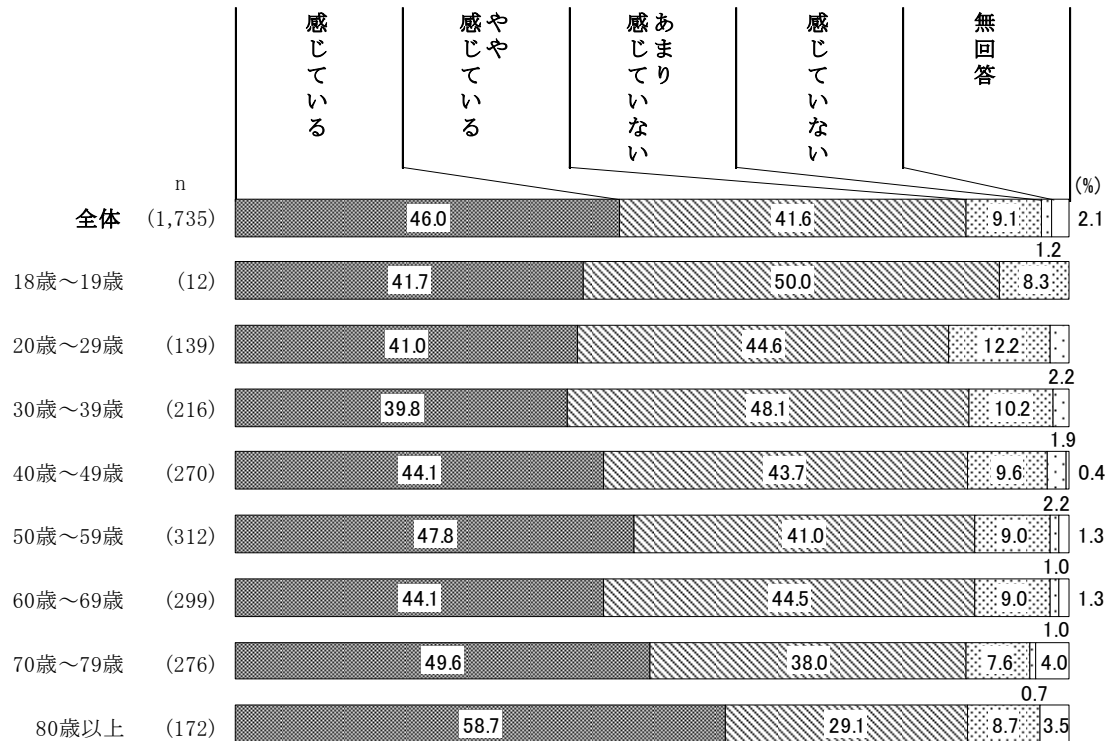


性別で見ると、『感じている』は、【武蔵野市全体について】では大きな違いは見られないが、【お住まいの地域について】では女性の方が男性よりも4.2ポイント高くなっている。(図表1－63、図表1－64)

図表1－65 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(年代別)

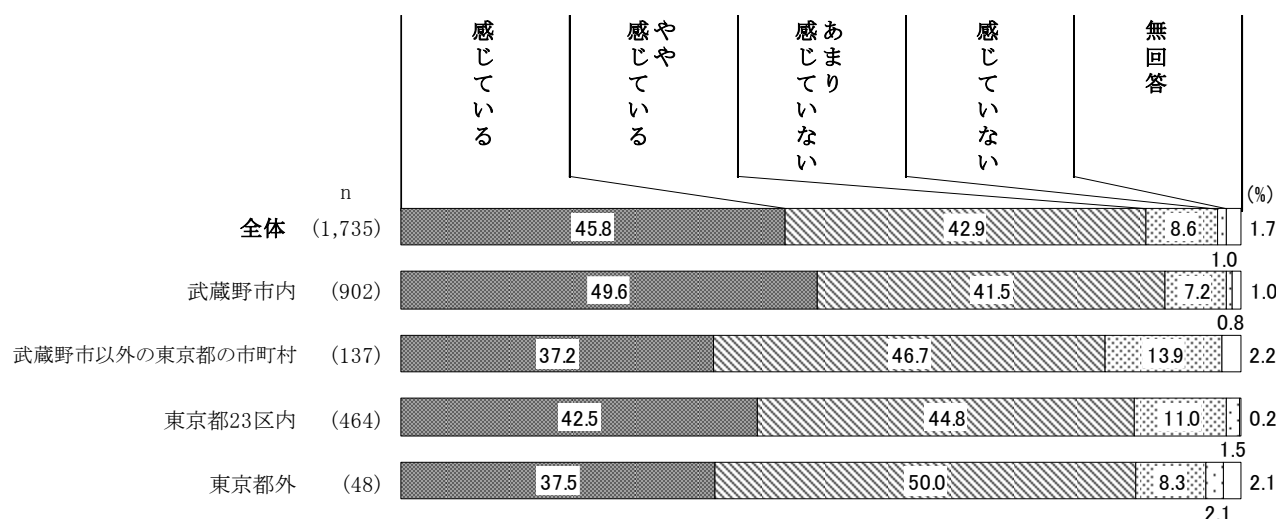


図表1－66 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(年代別)

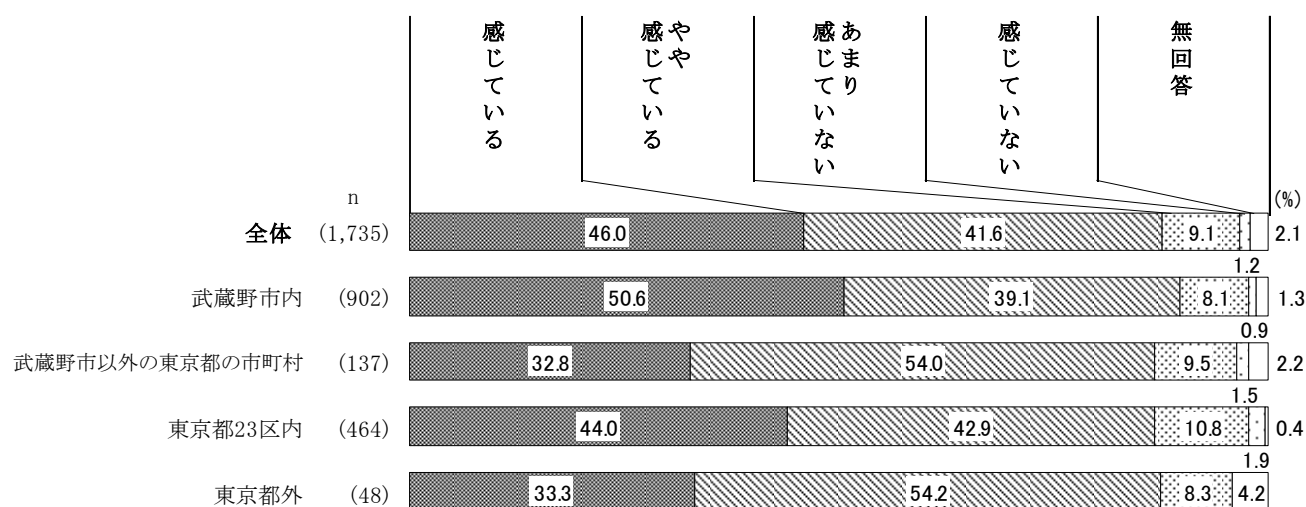


年代別で見ると、【武蔵野市全体について】、【お住まいの地域について】ともに、「感じている」は概ね年代が上がるほど高くなる傾向となっている。（図表1－65、図表1－66）

図表1－67 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について
(日中最も多くの時間を過ごす場所別)

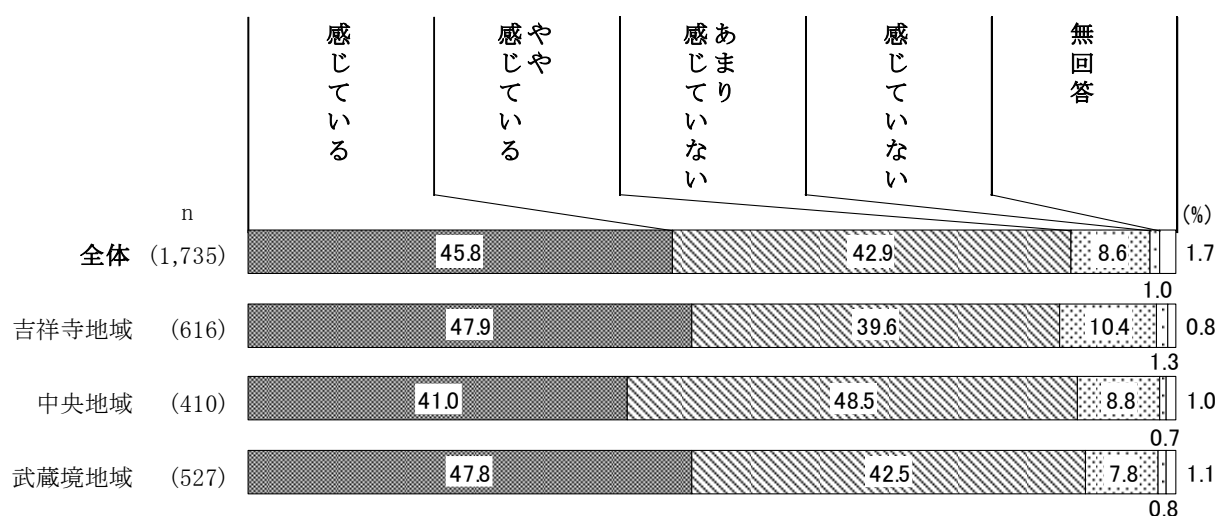


図表1－68 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について
(日中最も多くの時間を過ごす場所別)

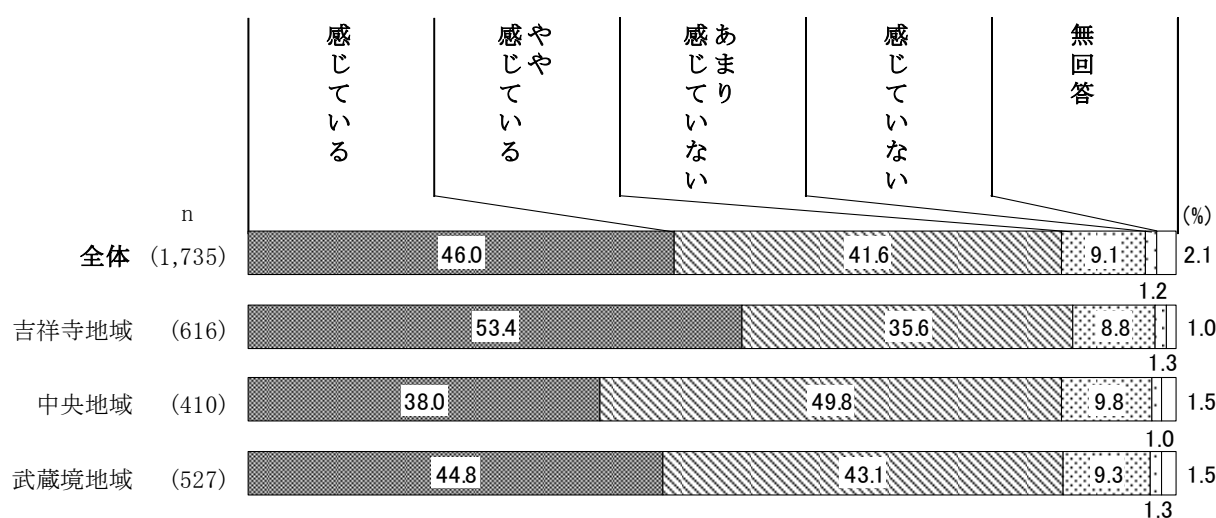


日中最も多くの時間を過ごす場所別で見ると、【武蔵野市全体について】、【お住まいの地域について】ともに、『感じている』は[武蔵野市内]で約9割と最も高くなっている。(図表1－67、図表1－68)

図表1－69 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(居住地域別)

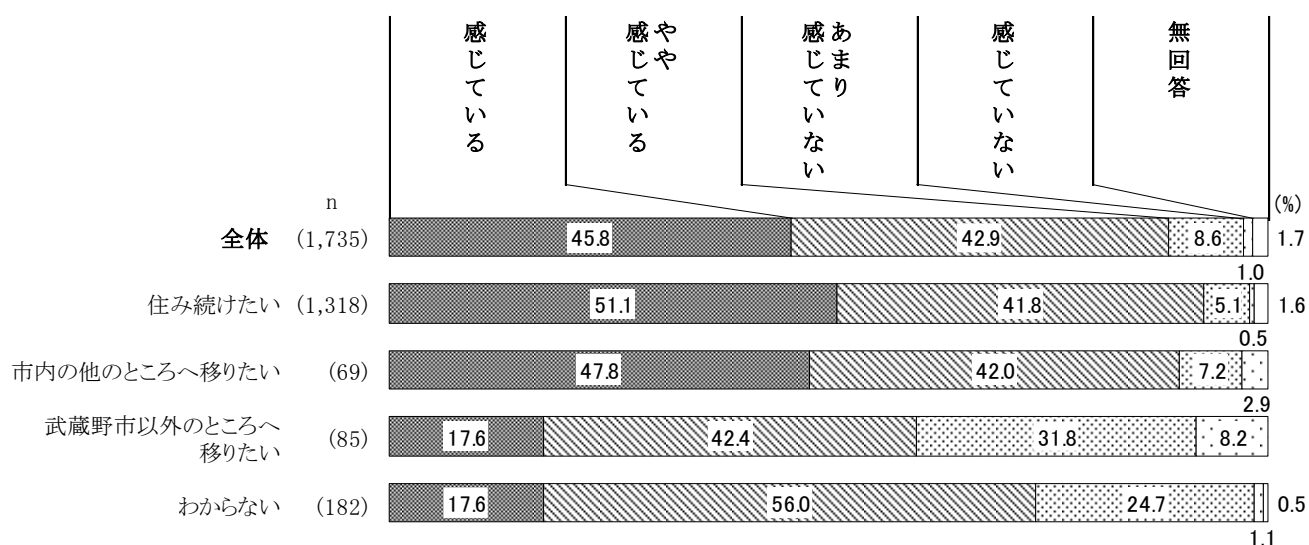


図表1－70 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(居住地域別)

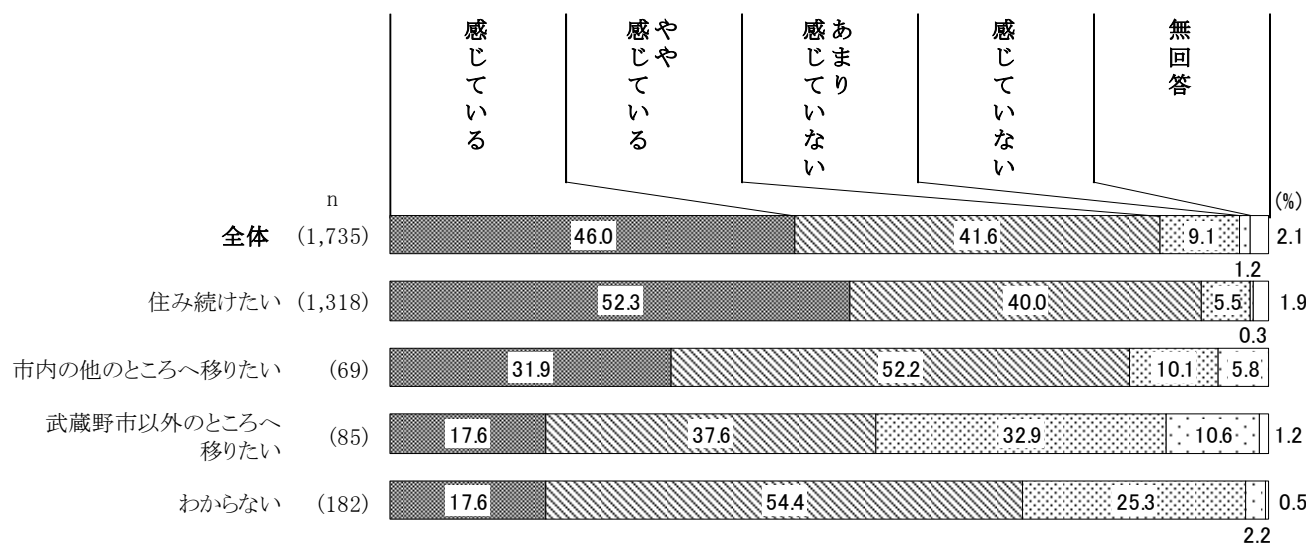


居住地域別で見ると、【武蔵野市全体について】では、『感じている』は中央地域と武蔵境地域で約9割を占め、吉祥寺地域でも8割台後半となっている。また、【お住まいの地域について】は、『感じている』では大きな違いは見られないが、「感じている」は吉祥寺地域で5割台前半と高くなっている。（図表1－69、図表1－70）

図表1－71 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(定住意向別)



図表1－72 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(定住意向別)



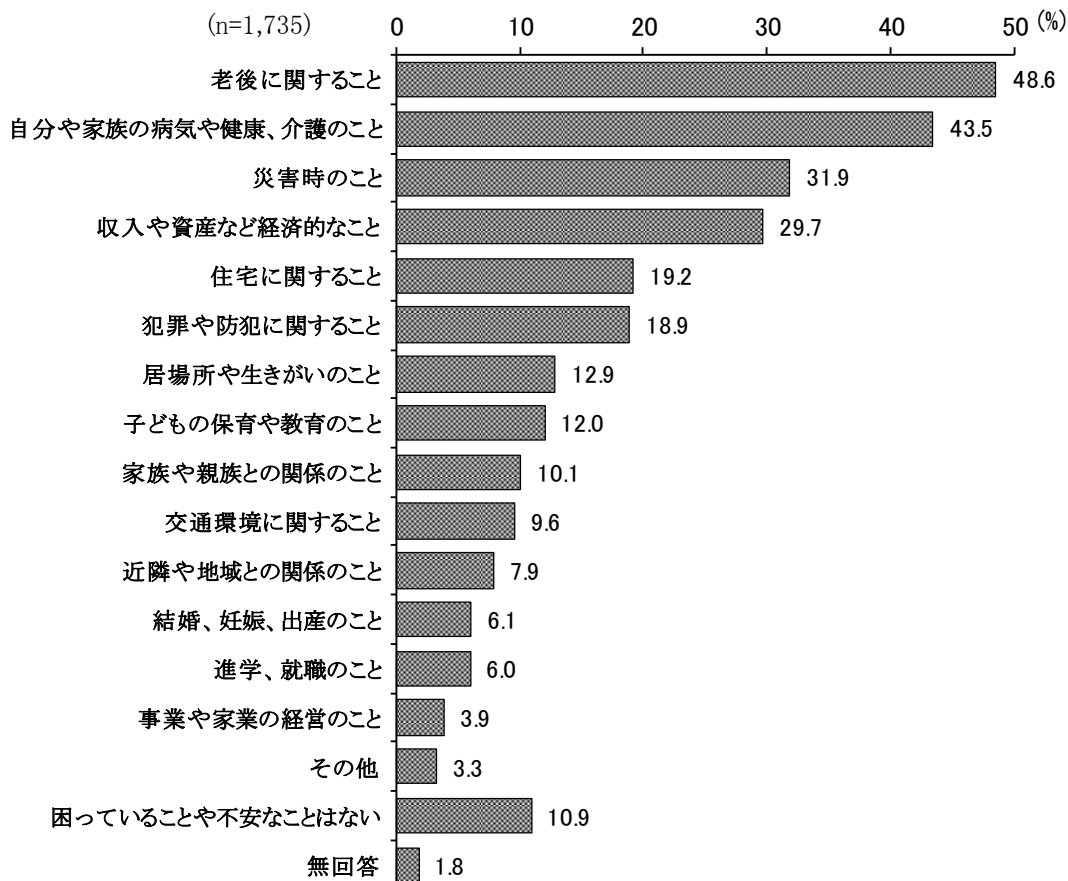
定住意向別で見ると、【武蔵野市全体について】では、『感じている』は、[住み続けたい]方と[市内の他のところへ移りたい]方で9割を超えている。一方、[武蔵野市以外のところへ移りたい]方は6割となっている。【お住まいの地域について】では、『感じている』は、[住み続けたい]方で9割台前半、[市内の他のところへ移りたい]方で8割台半ばとなっている。一方、[武蔵野市以外のところへ移りたい]方では5割台半ばとなっている。(図表1－71、図表1－72)

1-13 困っていること・不安なこと

◎ 「老後に関すること」が4割台後半と最も高い。

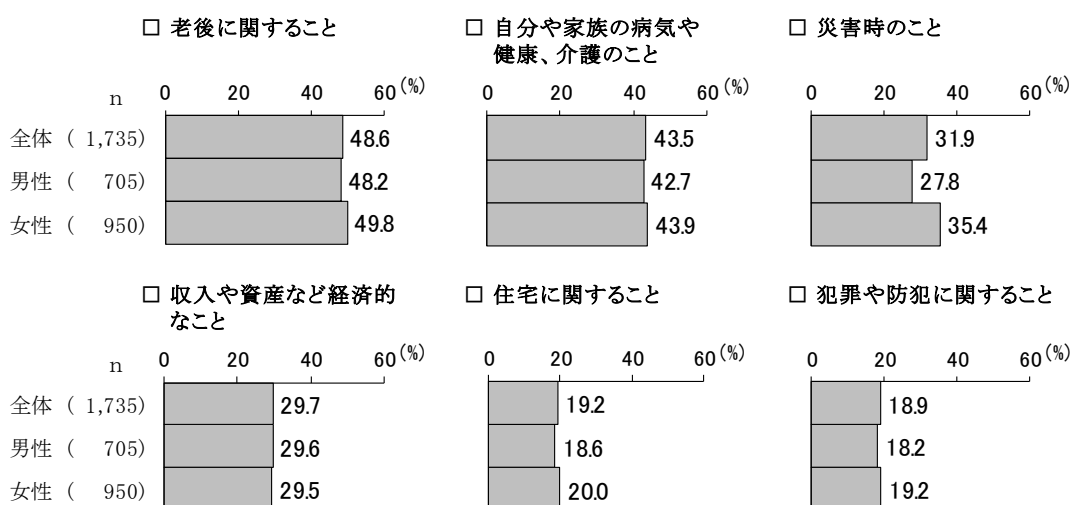
問9 日頃、生活や身近な環境で困っていることや不安なことはありますか。(○はいくつでも)

図表 1-73 困っていること・不安なこと（複数回答）



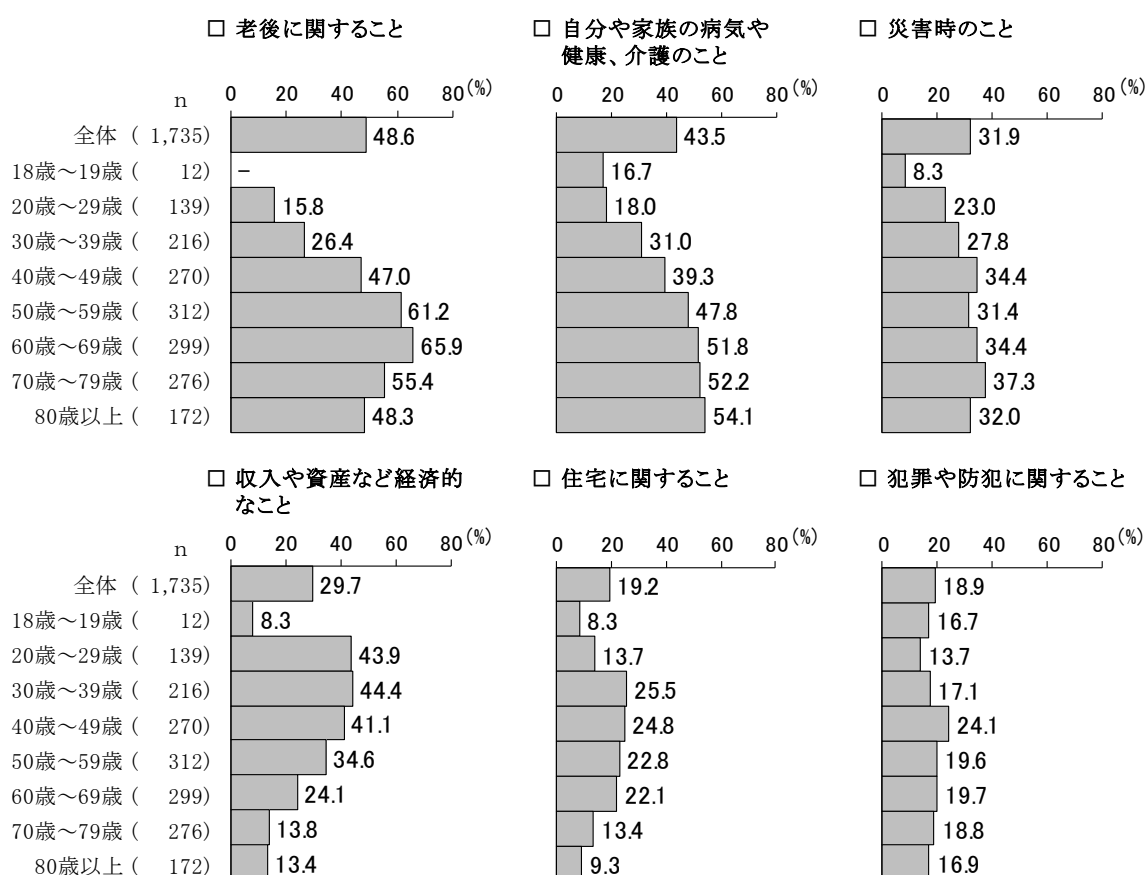
困っていること・不安なことは、「老後に関すること」（48.6%）が4割台後半で最も高く、次いで「自分や家族の病気や健康、介護のこと」（43.5%）が4割台前半、「災害時のこと」（31.9%）が3割台前半、「収入や資産など経済的なこと」（29.7%）が約3割と続いている。（図表1-73）

図表1－74 困っていること・不安なこと（性別）上位6項目



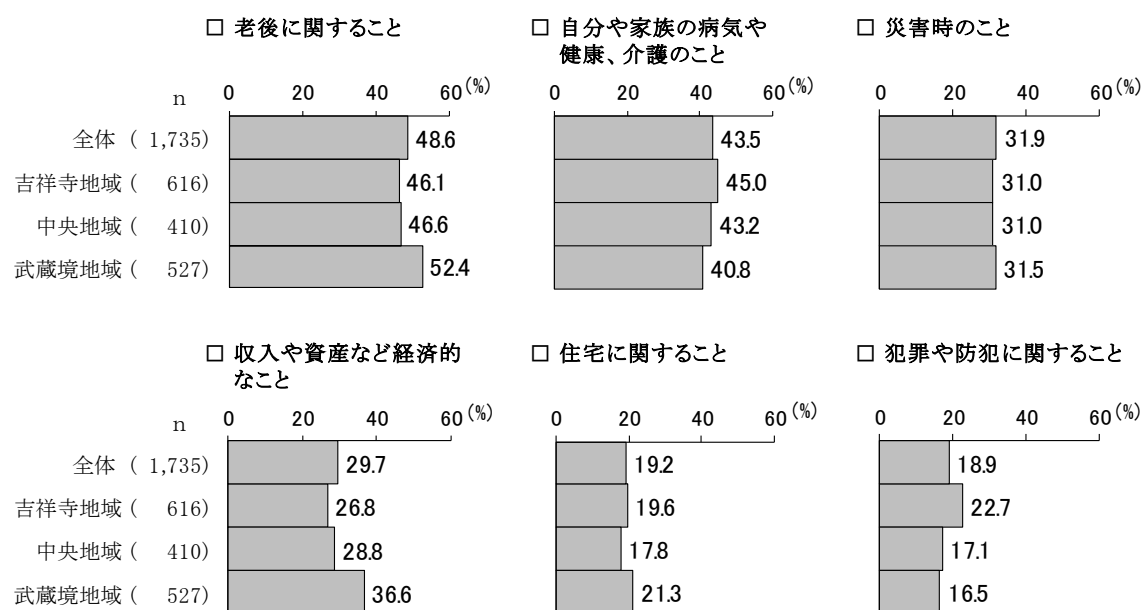
上位6項目について、性別で見ると、「災害時のこと」は女性の方が男性より7.6ポイント高くなっている。（図表1－74）

図表1－75 困っていること・不安なこと（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「老後に関すること」は、60歳～69歳までは年代が上がるほど高くなっている。「自分や家族の病気や健康、介護のこと」は、年代が上がるほど高くなっており、60歳以上で5割を超えている。「収入や資産など経済的なこと」は、40歳以下で4割を超えており、概ね年代が上がるほど低い傾向がある。（図表1－75）

図表1－76 困っていること・不安なこと（居住地域別）上位6項目



居住地域別で見ると、「老後に関すること」と「収入や資産など経済的なこと」は、武蔵境地域で他の地域と比べて高くなっている。また、「犯罪や防犯に関すること」は、吉祥寺地域で他の地域と比べて高くなっている。（図表1－76）

図表1－77 困っていること・不安なこと（職業別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		老後に関すること 48.6	自分や家族の病気や健康、介護のこと 43.5	災害時のこと 31.9	収入や資産など経済的なこと 29.7	住宅に関すること 19.2
職業別	自営業・自由業	老後に関すること 51.7	自分や家族の病気や健康、介護のこと 43.3	災害時のこと 34.0	収入や資産など経済的なこと 30.0	犯罪や防犯に関する こと 24.6
	正社員、正職員	老後に関すること 41.9	収入や資産など経済的なこと 37.4	自分や家族の病気や健康、介護のこと 35.2	災害時のこと 29.1	住宅に関すること 24.5
	契約社員、派遣社員	老後に関すること 63.8	収入や資産など経済的なこと 50.0	自分や家族の病気や健康、介護のこと 46.8	災害時のこと 29.8	住宅に関すること 21.3
	アルバイト、パート	老後に関すること 59.3	自分や家族の病気や健康、介護のこと 46.7	収入や資産など経済的なこと 35.2	災害時のこと 34.1	住宅に関すること 22.0
	家事専業	老後に関すること 自分や家族の病気や健康、介護のこと 52.5	－ －	災害時のこと 40.9	犯罪や防犯に関する こと 24.8	収入や資産など経済的なこと 17.8
	学生	進学、就職のこと 42.6	収入や資産など経済的なこと 23.4	結婚、妊娠、出産のこと 21.3	災害時のこと 困っていることや不安なことはない 14.9	－ －
	無職	自分や家族の病気や健康、介護のこと 54.3	老後に関すること 53.0	災害時のこと 32.9	収入や資産など経済的なこと 17.6	犯罪や防犯に関する こと 17.3
	その他	老後に関すること 自分や家族の病気や健康、介護のこと 44.8	－ －	犯罪や防犯に関する こと 31.0	災害時のこと 収入や資産など経済的なこと 27.6	－ －

職業別で見ると、[学生]、[無職]以外では「老後に関すること」が第1位となっている（[家事専業]、[その他]は「自分や家族の病気や健康、介護のこと」も同率第1位）。また、[学生]は「進学、就職のこと」、[無職]は「自分や家族の病気や健康、介護のこと」が第1位となっている。（図表1－77）

図表1－78 困っていること・不安なこと（家族構成別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		老後に関すること 48.6	自分や家族の病気や健康、介護のこと 43.5	災害時のこと 31.9	収入や資産など経済的なこと 29.7	住宅に関すること 19.2
家族構成別	ひとり暮らし	老後に関すること 48.4	自分や家族の病気や健康、介護のこと 39.9	収入や資産など経済的なこと 36.4	災害時のこと 29.3	居場所や生きがいのこと 20.1
	自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー	老後に関すること 53.4	自分や家族の病気や健康、介護のこと 48.3	災害時のこと 32.6	収入や資産など経済的なこと 25.6	住宅に関すること 18.4
	自分と子（2世代世帯）	老後に関すること 46.1	自分や家族の病気や健康、介護のこと 37.6	災害時のこと 30.9	収入や資産など経済的なこと 子どもの保育や教育のこと 30.5	－ －
	自分と親（2世代世帯）	自分や家族の病気や健康、介護のこと 47.0	収入や資産など経済的なこと 42.4	老後に関すること 41.7	災害時のこと 31.1	犯罪や防犯に関する こと 25.2
	自分と子と孫（3世代世帯）	自分や家族の病気や健康、介護のこと 48.3	老後に関すること 34.5	災害時のこと 31.0	住宅に関すること 24.1	困っていることや不安なことはない 20.7
	親と自分と子（3世代世帯）	老後に関すること 55.3	自分や家族の病気や健康、介護のこと 52.6	犯罪や防犯に関する こと 39.5	災害時のこと 34.2	収入や資産など経済的なこと 28.9
	祖父母と親と自分（3世代世帯）	災害時のこと 57.1	老後に関すること 自分や家族の病気や健康、介護のこと 収入や資産など経済的なこと 犯罪や防犯に関する こと 28.6	－ －	－ －	－ －
	その他	老後に関すること 自分や家族の病気や健康、介護のこと 50.0	－ －	収入や資産など経済的なこと 30.0	住宅に関すること 22.5	災害時のこと 20.0

家族構成別で見ると、[ひとり暮らし]、[自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー]、[自分と子（2世代世帯）]、[親と自分と子（3世代世帯）]、[その他]で「老後に関すること」が第1位となっている（[その他]は「自分や家族の病気や健康、介護のこと」も同率第1位）。また、[自分と親（2世代世帯）]と[自分と子と孫（3世代世帯）]は「自分や家族の病気や健康、介護のこと」、[祖父母と親と自分（3世代世帯）]は「災害時のこと」が第1位となっている。（図表1－78）

図表1－79 困っていること・不安なこと（世帯収入別）

(%)

		調査数（n）	老後に関すること	自分や家族の病気や健康、介護のこと	災害時のこと	収入や資産など経済的なこと	住宅に関すること	犯罪や防犯に関すること	居場所や生きがいのこと	子どもの保育や教育のこと	家族や親族との関係のこと
全体		1,735	48.6	43.5	31.9	29.7	19.2	18.9	12.9	12.0	10.1
世帯収入別	収入なし	40	42.5	50.0	17.5	22.5	15.0	22.5	12.5	10.0	2.5
	100万円未満	51	47.1	45.1	35.3	35.3	23.5	17.6	11.8	2.0	7.8
	100～300万円未満	209	60.3	52.6	32.5	37.8	20.1	16.3	14.8	5.3	8.6
	300～500万円未満	274	56.6	51.8	34.3	35.4	19.0	22.3	14.6	6.2	9.5
	500～700万円未満	184	48.4	41.3	33.7	32.6	20.1	19.6	9.8	13.0	10.9
	700～1,000万円未満	203	52.7	39.4	29.1	36.0	27.6	20.2	13.3	19.7	15.3
	1,000～1,500万円未満	227	44.1	35.7	33.9	25.6	22.9	19.4	13.7	22.5	10.1
	1,500万円以上	209	30.1	30.1	21.5	15.8	12.9	14.4	12.9	16.7	9.6

		調査数（n）	交通環境に関すること	近隣や地域との関係のこと	結婚、妊娠、出産のこと	進学、就職のこと	事業や家業の経営のこと	その他	困っていることや不安なことはない	無回答
全体		1,735	9.6	7.9	6.1	6.0	3.9	3.3	10.9	1.8
世帯収入別	収入なし	40	10.0	5.0	2.5	7.5	－	2.5	12.5	2.5
	100万円未満	51	7.8	11.8	5.9	11.8	11.8	3.9	7.8	2.0
	100～300万円未満	209	9.1	6.2	3.8	2.9	3.3	1.4	6.2	1.4
	300～500万円未満	274	6.9	8.4	7.3	2.9	2.9	4.4	9.1	0.4
	500～700万円未満	184	9.2	8.2	6.5	4.9	3.8	1.6	10.3	－
	700～1,000万円未満	203	10.8	9.9	10.8	6.9	6.9	3.4	8.4	0.5
	1,000～1,500万円未満	227	11.9	8.4	7.0	7.5	2.6	4.8	11.9	0.9
	1,500万円以上	209	13.4	5.3	5.7	10.5	3.3	4.3	22.0	3.3

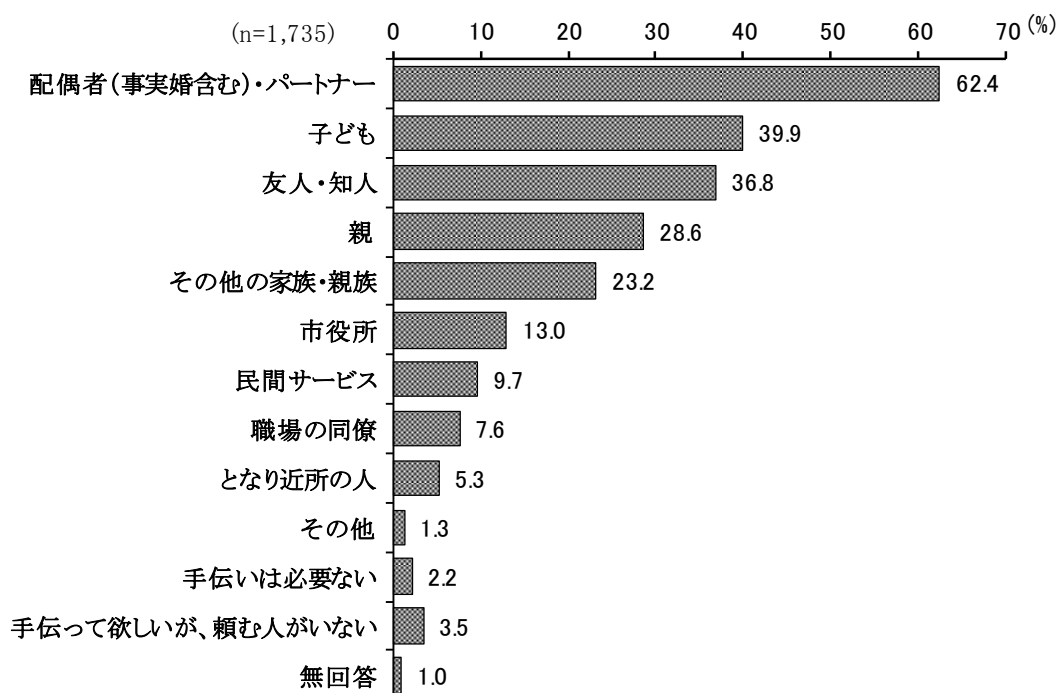
世帯収入別で見ると、[100～300万円未満]で「老後に関すること」が約6割、「自分や家族の病気や健康、介護のこと」が5割台前半と他と比べて高くなっている。一方、「困っていることや不安なことはない」は、[1,500万円以上]で2割台前半と、他と比べて高くなっている。（図表1－79）

1-14 手伝ってもらおう相手

◎ 「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が6割台前半と最も高い。

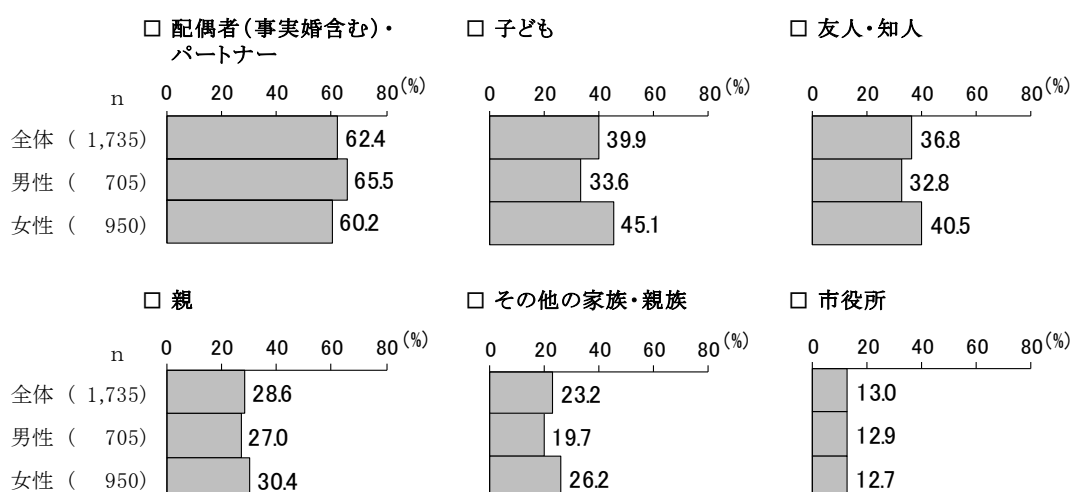
問10 あなたは、困りごとがあるときに、だれに手伝ってもらいますか。（○はいくつでも）

図表1-80 手伝ってもらおう相手（複数回答）



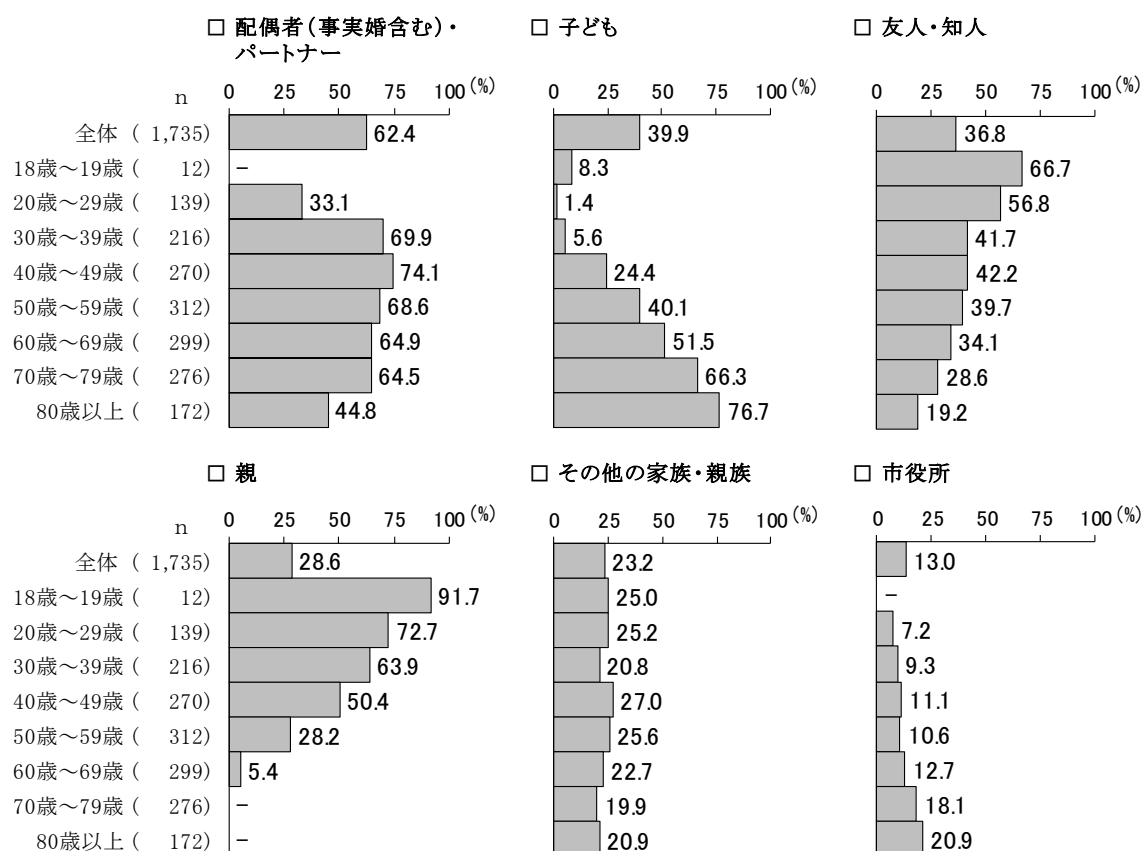
困りごとがあるときに、手伝ってもらおう相手は、「配偶者（事実婚含む）・パートナー」（62.4%）が6割台前半で最も高く、次いで「子ども」（39.9%）が約4割、「友人・知人」（36.8%）が3割台後半、「親」（28.6%）が2割台後半と続いている。（図表1-80）

図表1－81 手伝ってもらう相手（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、女性の方が男性より「子ども」で11.5ポイント、「友人・知人」で7.7ポイント、「その他の家族・親族」で6.5ポイント高くなっている。一方、「配偶者(事実婚含む)・パートナー」は、男性の方が女性より5.3ポイント高くなっている。(図表1－81)

図表1－82 手伝ってもらう相手（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「友人・知人」、「親」は概ね年代が上がるほど低くなる傾向があり、「親」は20歳～29歳で7割台前半と高くなっている。一方、「子ども」は、年代が上がるほど高く、80歳以上で7割台後半となっている。(図表1－82)

図表1－83 手伝ってもらう相手（婚姻状況別・家族構成別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		配偶者(事実婚含む)・パートナー 62.4	子ども 39.9	友人・知人 36.8	親 28.6	その他の家族・親族 23.2
婚姻状況別	現在、結婚している	配偶者(事実婚含む)・パートナー 90.1	子ども 47.7	友人・知人 33.4	親 27.3	その他の家族・親族 18.2
	過去に結婚していた(離別、死別など)	子ども 64.4	友人・知人 35.6	その他の家族・親族 27.8	市役所 19.4	民間サービス 10.6
	一度も結婚したことはない	親 51.1	友人・知人 50.8	その他の家族・親族 36.0	配偶者(事実婚含む)・パートナー 市役所 14.0	－ －
家族構成別	ひとり暮らし	友人・知人 46.3	その他の家族・親族 31.8	親 23.7	子ども 19.1	市役所 17.3
	自分と配偶者(事実婚含む)・パートナー	配偶者(事実婚含む)・パートナー 91.3	子ども 43.3	友人・知人 31.3	親 その他の家族・親族 17.5	－ －
	自分と子(2世代世帯)	配偶者(事実婚含む)・パートナー 80.2	子ども 51.3	友人・知人 37.6	親 36.8	その他の家族・親族 19.2
	自分と親(2世代世帯)	親 67.5	友人・知人 47.7	その他の家族・親族 35.1	配偶者(事実婚含む)・パートナー 18.5	市役所 13.9
	自分と子と孫(3世代世帯)	子ども 89.7	配偶者(事実婚含む)・パートナー 58.6	市役所 24.1	友人・知人 20.7	民間サービス 13.8
	親と自分と子(3世代世帯)	配偶者(事実婚含む)・パートナー 89.5	子ども 76.3	親 42.1	友人・知人 36.8	その他の家族・親族 28.9
	祖父母と親と自分(3世代世帯)	友人・知人 71.4	親 57.1	その他の家族・親族 42.9	子ども 28.6	配偶者(事実婚含む)・パートナー 職場の同僚 14.3
	その他	その他の家族・親族 47.5	友人・知人 30.0	親 22.5	子ども 20.0	配偶者(事実婚含む)・パートナー 市役所 17.5

婚姻状況別で見ると、第1位は、[現在、結婚している]方が「配偶者（事実婚含む）・パートナー」、[過去に結婚していた（離別、死別など）]方が「子ども」、[一度も結婚したことはない]方が「親」となっている。

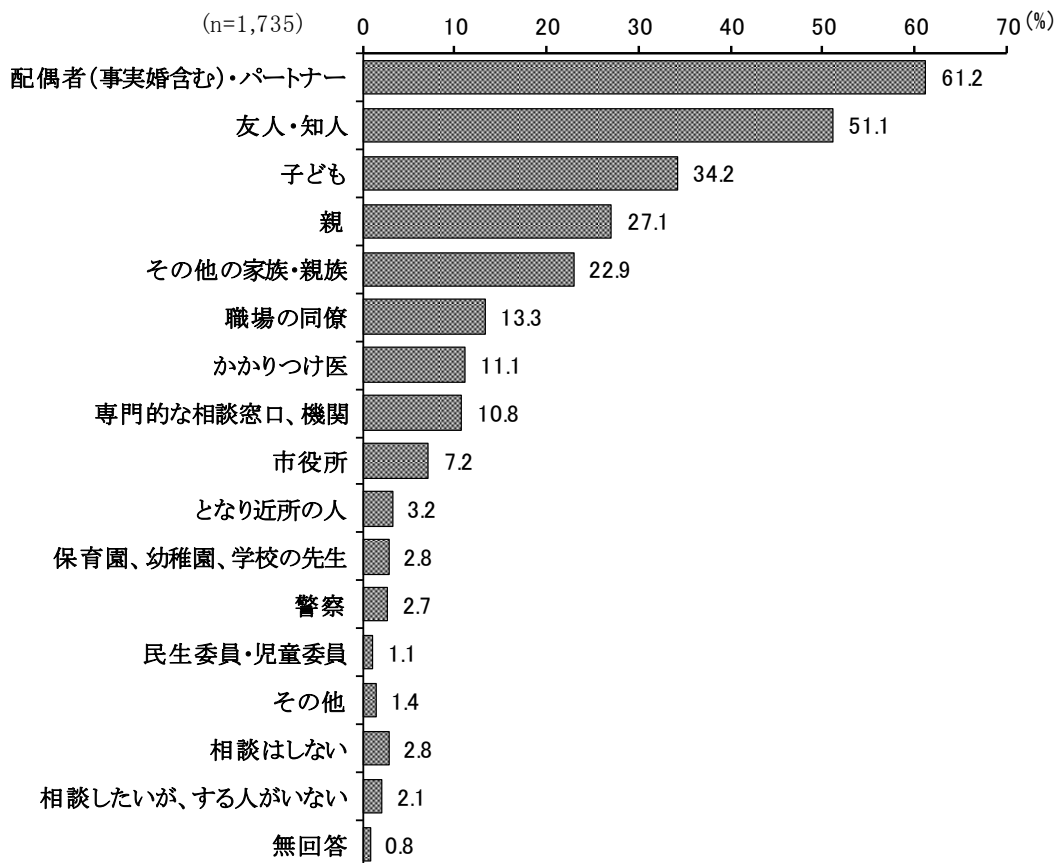
家族構成別で見ると、[自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー]、[自分と子（2世代世帯）]、[親と自分と子（3世代世帯）]は「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が第1位となっており、[自分と親（2世代世帯）]は「親」、[自分と子と孫（3世代世帯）]は「子ども」、[ひとり暮らし]、[祖父母と親と自分（3世代世帯）]は「友人・知人」が第1位となっている。（図表1－83）

1-15 相談相手

◎ 「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が6割台前半と最も高い。

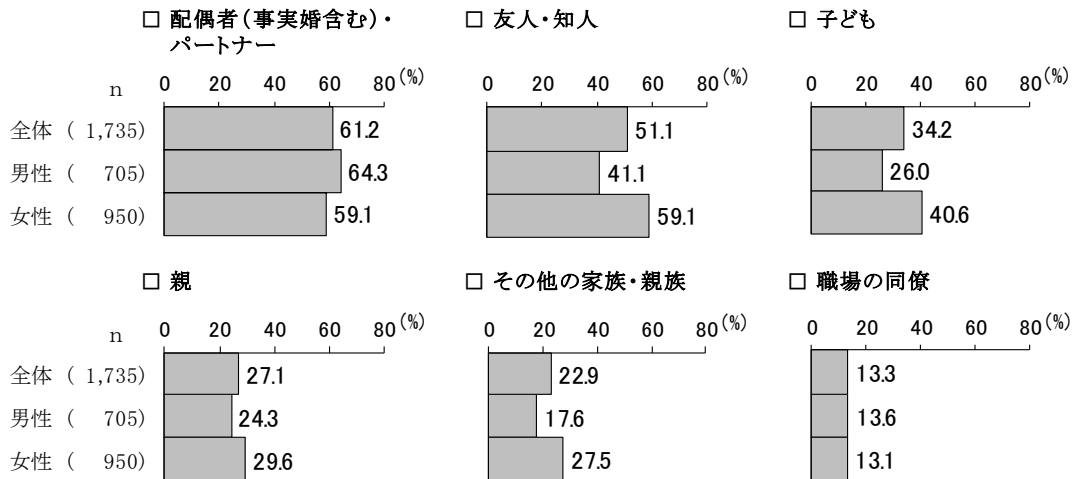
問11 あなたは、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。
(○はいくつでも)

図表1-84 相談相手(複数回答)



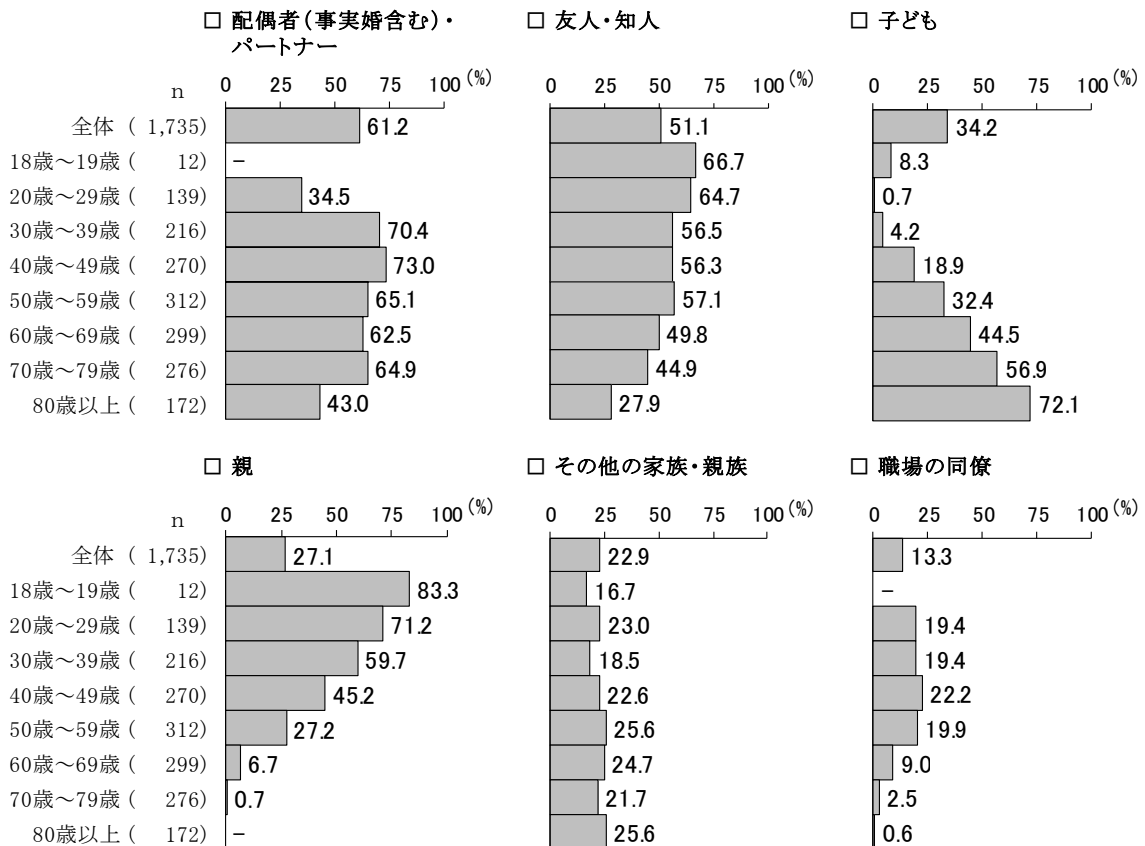
心配ごとや悩みごとができた場合の相談相手は、「配偶者（事実婚含む）・パートナー」（61.2%）が6割台前半で最も高く、次いで「友人・知人」（51.1%）が5割台前半、「子ども」（34.2%）が3割台半ば、「親」（27.1%）が2割台後半と続いている。（図表1-84）

図表1－85 相談相手（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、女性の方が男性より「友人・知人」が18.0ポイント、「子ども」が14.6ポイント、「その他の家族・親族」が9.9ポイント、「親」が5.3ポイント高くなっている。一方、「配偶者（事実婚含む）・パートナー」は男性の方が女性より5.2ポイント高くなっている。（図表1－85）

図表1－86 相談相手（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「友人・知人」、「親」は、概ね年代が上がるにつれて低くなる傾向があり、「子ども」は年代が上がるほど高くなる傾向がある。（図表1－86）

図表1－87 相談相手（婚姻状況別・家族構成別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		配偶者(事実婚含む)・パートナー 61.2	友人・知人 51.1	子ども 34.2	親 27.1	その他の家族・親族 22.9
婚姻状況別	現在、結婚している	配偶者(事実婚含む)・パートナー 88.0	友人・知人 48.1	子ども 40.4	親 26.2	その他の家族・親族 18.5
	過去に結婚していた(離別、死別など)	子ども 57.8	友人・知人 50.0	その他の家族・親族 28.9	専門的な相談窓口、機関 13.3	市役所 12.8
	一度も結婚したことはない	友人・知人 62.4	親 47.8	その他の家族・親族 32.3	職場の同僚 18.3	配偶者(事実婚含む)・パートナー 16.0
家族構成別	ひとり暮らし	友人・知人 56.9	その他の家族・親族 30.4	親 21.2	子ども 職場の同僚 16.3	－ －
	自分と配偶者(事実婚含む)・パートナー	配偶者(事実婚含む)・パートナー 90.9	友人・知人 43.7	子ども 37.9	親 18.8	その他の家族・親族 16.1
	自分と子(2世代世帯)	配偶者(事実婚含む)・パートナー 77.0	友人・知人 53.7	子ども 43.8	親 33.3	その他の家族・親族 20.4
	自分と親(2世代世帯)	親 64.2	友人・知人 58.9	その他の家族・親族 30.5	配偶者(事実婚含む)・パートナー 20.5	職場の同僚 13.2
	自分と子と孫(3世代世帯)	子ども 82.8	配偶者(事実婚含む)・パートナー 58.6	友人・知人 41.4	その他の家族・親族 かかりつけ医 24.1	－ －
	親と自分と子(3世代世帯)	配偶者(事実婚含む)・パートナー 81.6	子ども 47.4	友人・知人 44.7	親 その他の家族・親族 34.2	－ －
	祖父母と親と自分(3世代世帯)	友人・知人 71.4	親 57.1	子ども 28.6	配偶者(事実婚含む)・パートナー その他の家族・親族 職場の同僚 かかりつけ医 14.3	－ －
	その他	友人・知人 65.0	その他の家族・親族 47.5	親 27.5	子ども 20.0	配偶者(事実婚含む)・パートナー 17.5

婚姻状況別で見ると、第1位は、[現在、結婚している]方が「配偶者（事実婚含む）・パートナー」、[過去に結婚していた（離別、死別など）]方が「子ども」、[一度も結婚したことはない]方が「友人・知人」となっている。

家族構成別で見ると、[自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー]、[自分と子（2世代世帯）]、[親と自分と子（3世代世帯）]は「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が第1位となっており、[ひとり暮らし]、[祖父母と親と自分（3世代世帯）]、[その他]は「友人・知人」、[自分と親（2世代世帯）]は「親」、[自分と子と孫（3世代世帯）]は「子ども」が第1位となっている。（図表1－87）

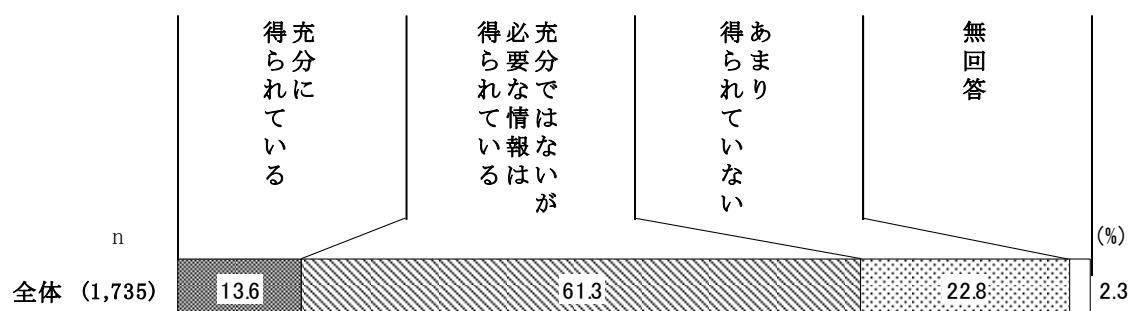
2 市政に関する情報提供などについて

2-1 市の情報の入手状況

◎ 「充分ではないが必要な情報は得られている」が6割台前半、「あまり得られていない」が2割台前半である。

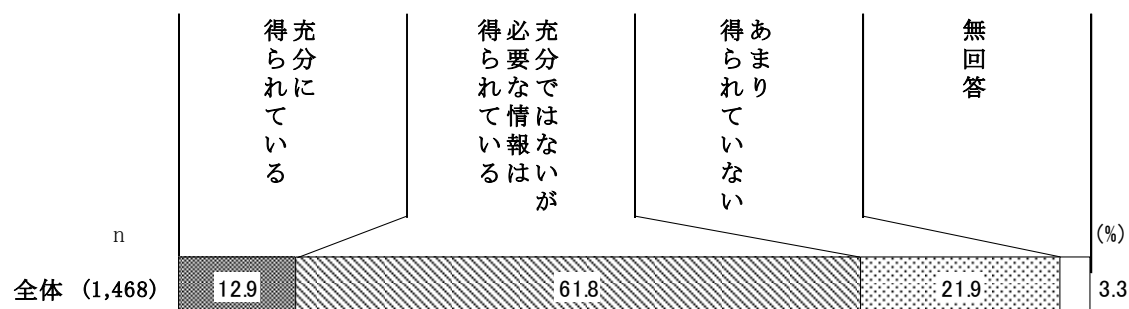
問12 あなたは現在、武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか。(○は1つ)

図表 2-1 市の情報の入手状況



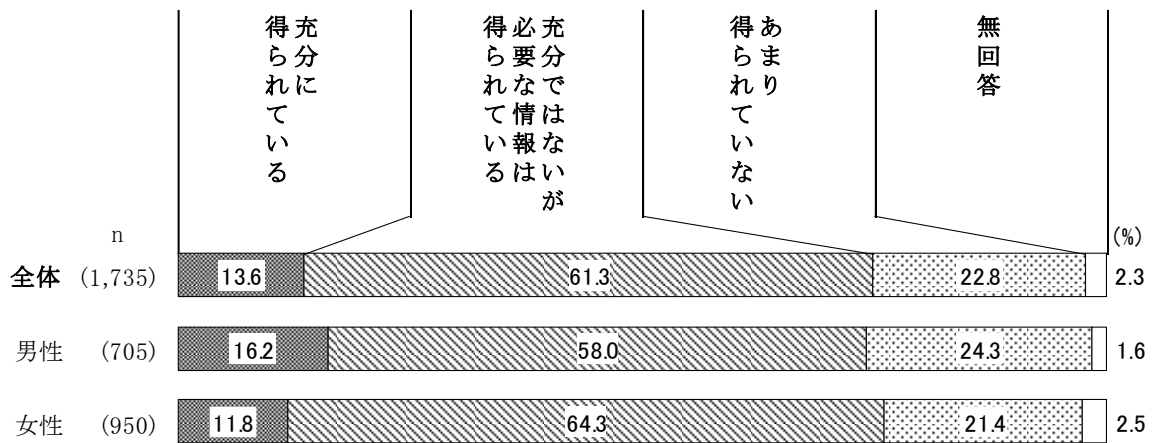
市の情報の入手状況は、「十分に得られている」(13.6%)と「充分ではないが必要な情報は得られている」(61.3%)を合わせると7割台半ばとなっている。一方、「あまり得られていない」(22.8%)は2割台前半となっている。(図表2-1)

参考：令和4年度調査の結果



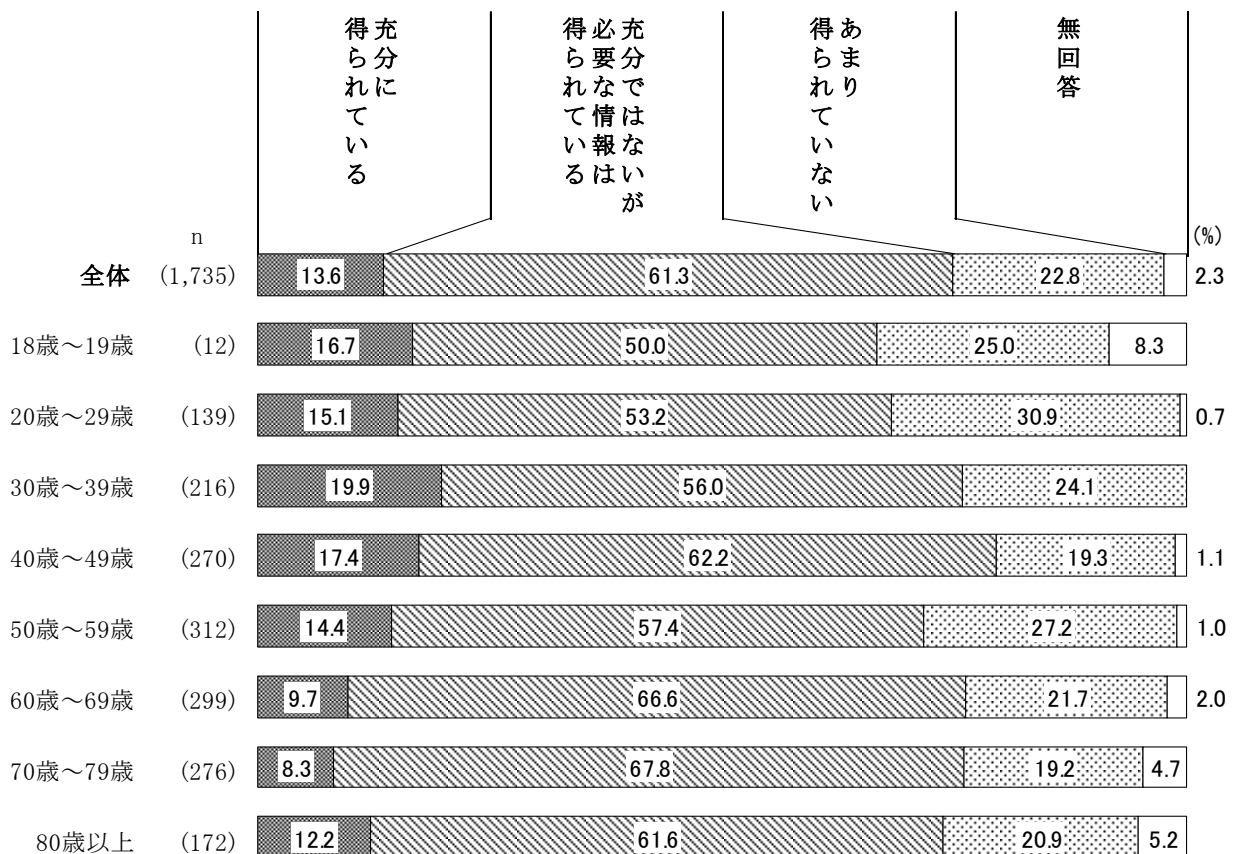
前回調査と比較すると、大きな変化は見られない。

図表2-2 市の情報の入手状況（性別）



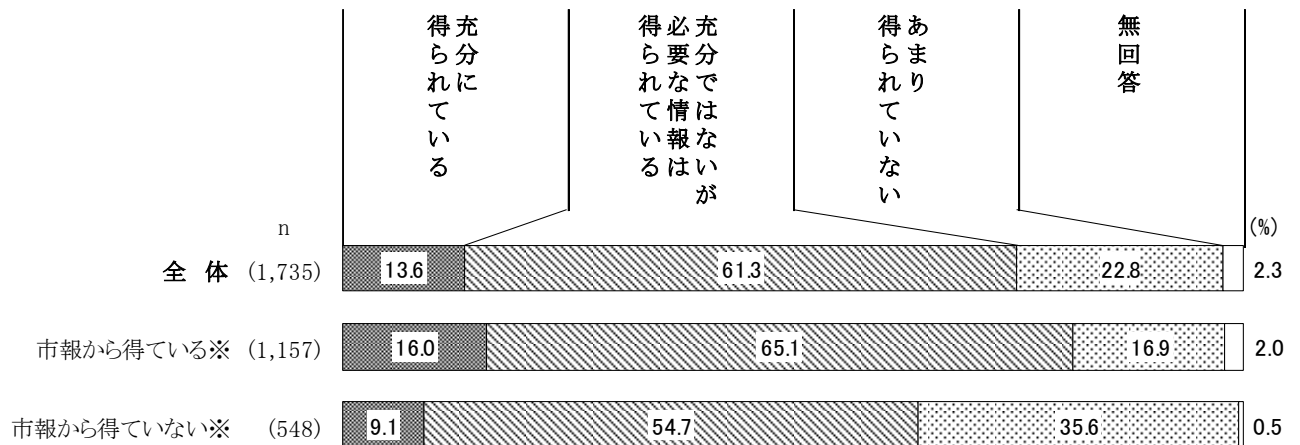
性別で見ると、「十分に得られている」は男性の方が女性より4.4ポイント高くなっているが、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は大きな差が見られない。（図表2-2）

図表2-3 市の情報の入手状況（年代別）



年代別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、30歳以上で7割を超えている。一方、20歳～29歳は「あまり得られていない」が約3割となっている。（図表2-3）

図表2－4 市の情報の入手状況（市報からの市政情報入手別）



※[市報から得ている]は、《問14 広報媒体の認知状況》の『ア) 市報』で「知っていて、利用している」と回答した人、
[市報から得ていない]は、《問14 広報媒体の認知状況》の『ア) 市報』で「知っているが、利用していない」もしくは
「知らない」と回答した人を指している。

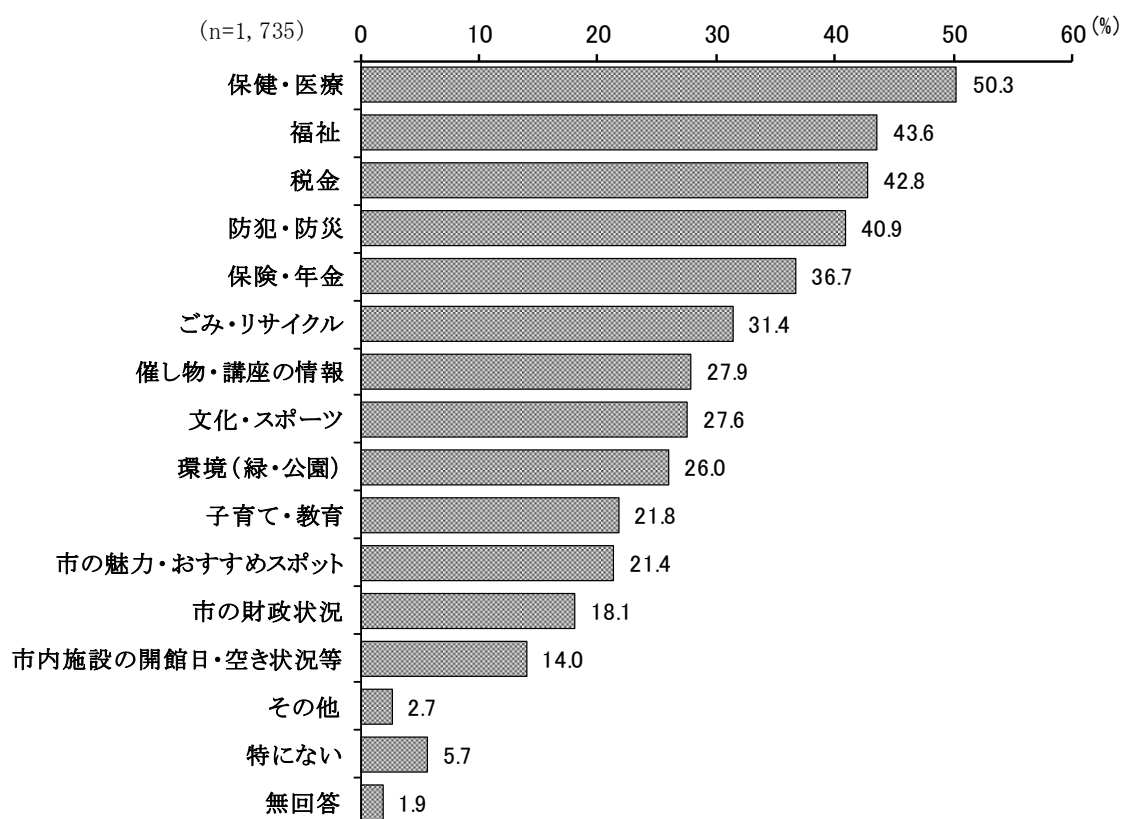
市報からの市政情報入手別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、[市報から得ている]方で8割台前半となっているのに対し、[市報から得ていない]方で6割台前半と差が出ている。また、「あまり得られていない」は、[市報から得ていない]方では3割台半ばと高くなっている。（図表2－4）

2-2 知りたい行政情報

◎ 「保健・医療」が約5割と最も高い。

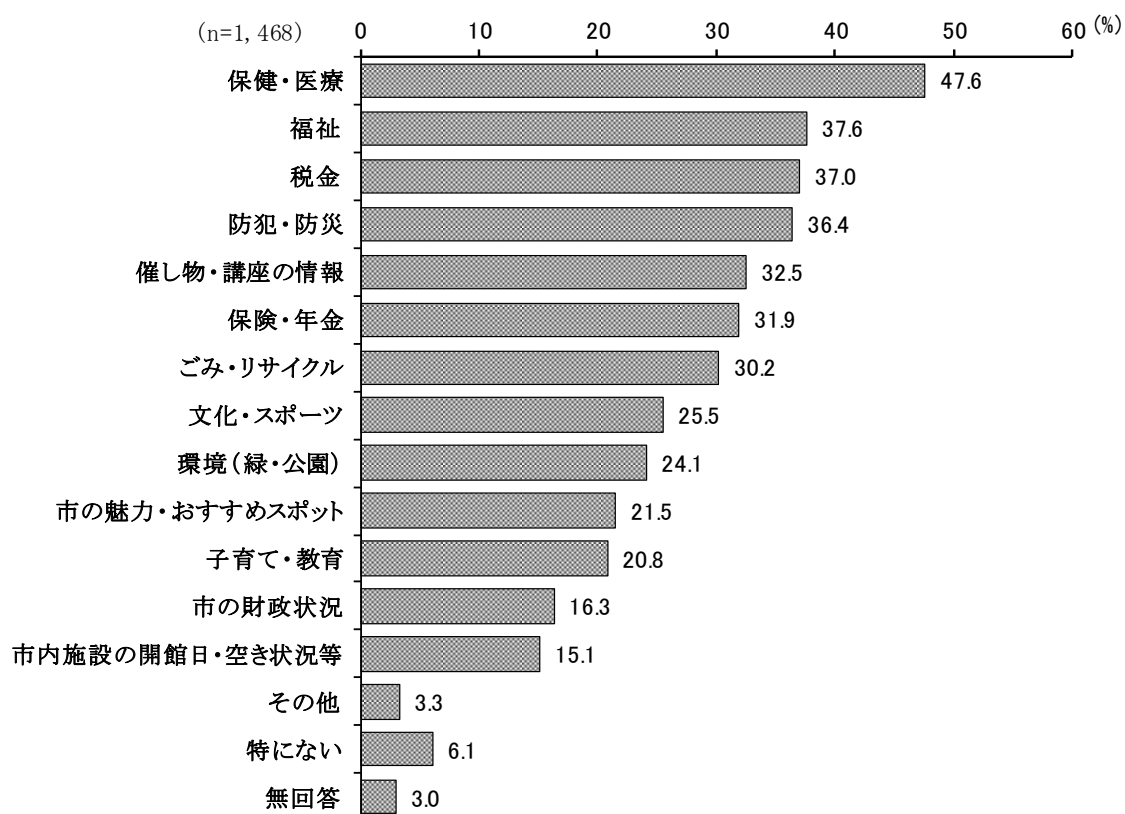
問13 あなたは、市政に関するどのような情報を知りたいと思いますか。(○はいくつでも)

図表2-5 知りたい行政情報（複数回答）



知りたい行政情報は、「保健・医療」(50.3%)が約5割で最も高く、次いで「福祉」(43.6%)、「税金」(42.8%)、「防犯・防災」(40.9%)が4割台前半、「保険・年金」(36.7%)、「ごみ・リサイクル」(31.4%)が3割台で続いている。(図表2-5)

参考：令和4年度調査の結果



前回調査と比較すると、第4位までの順位は変わらず、前回第6位の「保険・年金」が今回は第5位、前回第7位の「ごみ・リサイクル」が今回は第6位となっている。割合を見ると、前回調査と比べて、「福祉」は6.0ポイント、「税金」は5.8ポイント、「保険・年金」は4.8ポイント増加している。一方、「催し物・講座の情報」は4.6ポイント減少している。

図表2－6 知りたい行政情報（性別・介護が必要な同居家族の有無別）上位10項目

(%)

属性 順位	全体	男性	女性	介護が必要な同居家族の有無	
				いる	いない
1位	保健・医療 50.3	保健・医療 48.7	保健・医療 51.7	福祉 60.6	保健・医療 50.3
2位	福祉 43.6	税金 46.1	福祉 45.8	保健・医療 50.5	税金 44.0
3位	税金 42.8	福祉 41.4	防犯・防災 43.6	防犯・防災 46.6	福祉 41.1
4位	防犯・防災 40.9	保険・年金 37.4	税金 39.5	保険・年金 42.3	防犯・防災 40.8
5位	保険・年金 36.7	防犯・防災 37.0	保険・年金 36.0	税金 38.5	保険・年金 36.9
6位	ごみ・リサイクル 31.4	文化・スポーツ 29.5	ごみ・リサイクル 33.6	ごみ・リサイクル 27.4	ごみ・リサイクル 32.3
7位	催し物・講座の情報 27.9	ごみ・リサイクル 28.8	催し物・講座の情報 32.3	環境(緑・公園) 26.0	文化・スポーツ 29.7
8位	文化・スポーツ 27.6	環境(緑・公園) 27.5	文化・スポーツ 26.7	催し物・講座の情報 23.6	催し物・講座の情報 29.0
9位	環境(緑・公園) 26.0	催し物・講座の情報 23.1	環境(緑・公園) 24.8	文化・スポーツ 20.7	環境(緑・公園) 27.1
10位	子育て・教育 21.8	市の財政状況 20.7	子育て・教育 23.6	市の魅力・おすすめ スポット 15.4	子育て・教育 24.8

性別で見ると、男女ともに「保健・医療」が第1位となっている。第2位は男性が「税金」、女性が「福祉」、第3位は男性が「福祉」、女性が「防犯・防災」となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、介護が必要な同居家族がいる場合の方が「福祉」で19.5ポイント、「防犯・防災」で5.8ポイント、「保険・年金」5.4ポイント高くなっている。一方、介護が必要な同居家族がいない場合の方が「税金」で5.5ポイント、「催し物・講座の情報」で5.4ポイント高くなっている。（図表2－6）

図表2－7 知りたい行政情報（年代別）上位10項目

（％）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	文化・スポーツ 41.7	税金 51.8	子育て・教育 60.2	保健・医療 54.1	保健・医療 54.5	保健・医療 56.2	保健・医療 52.5	福祉 44.8
2位	防犯・防災 催し物・講座の 情報 環境 (緑・公園) 子育て・教育 市の財政状況 25.0	保健・医療 41.0	税金 51.9	税金 51.1	税金 49.7	福祉 54.8	福祉 50.4	保健・医療 43.0
3位	－ －	保険・年金 36.0	保健・医療 44.9	防犯・防災 46.3	福祉 47.4	保険・年金 48.5	防犯・防災 42.0	防犯・防災 39.0
4位	－ －	防犯・防災 32.4	環境 (緑・公園) 37.5	子育て・教育 45.2	保険・年金 43.3	防犯・防災 47.2	ごみ・リサイクル 35.5	保険・年金 23.3
5位	－ －	子育て・教育 市の魅力・ おすすめスポット 26.6	市の魅力・ おすすめスポット 36.6	福祉 42.2	防犯・防災 42.6	税金 46.5	保険・年金 30.4	－ －
6位	－ －	－ －	催し物・講座 の情報 33.8	保険・年金 38.5	ごみ・リサイクル 37.5	ごみ・リサイクル 34.8	税金 26.4	税金 20.9
7位	税金 ごみ・リサイクル 市内施設の開館 日・空き状況等 特にない 16.7	ごみ・リサイクル 25.9	防犯・防災 32.4	文化・スポーツ 36.7	文化・スポーツ 32.7	催し物・講座 の情報 32.4	環境 (緑・公園) 23.9	催し物・講座 の情報 17.4
8位	－ －	福祉 25.2	福祉 31.5	環境 (緑・公園) 33.3	催し物・講座 の情報 30.1	文化・スポーツ 28.4	催し物・講座 の情報 22.5	文化・スポーツ 14.5
9位	－ －	催し物・講座 の情報 24.5	文化・スポーツ 31.0	催し物・講座 の情報 31.1	市の魅力・ おすすめスポット 23.1	環境 (緑・公園) 26.4	文化・スポーツ 20.3	環境 (緑・公園) 13.4
10位	－ －	文化・スポーツ 23.0	保険・年金 30.6	ごみ・リサイクル 30.4	環境 (緑・公園) 22.4	市の魅力・ おすすめスポット 16.7	市の財政状況 15.6	市の魅力・ おすすめスポット 11.0

年代別で見ると、第1位は、40歳～79歳で「保健・医療」、20歳～29歳で「税金」、30歳～39歳で「子育て・教育」、80歳以上で「福祉」となっている。（図表2－7）

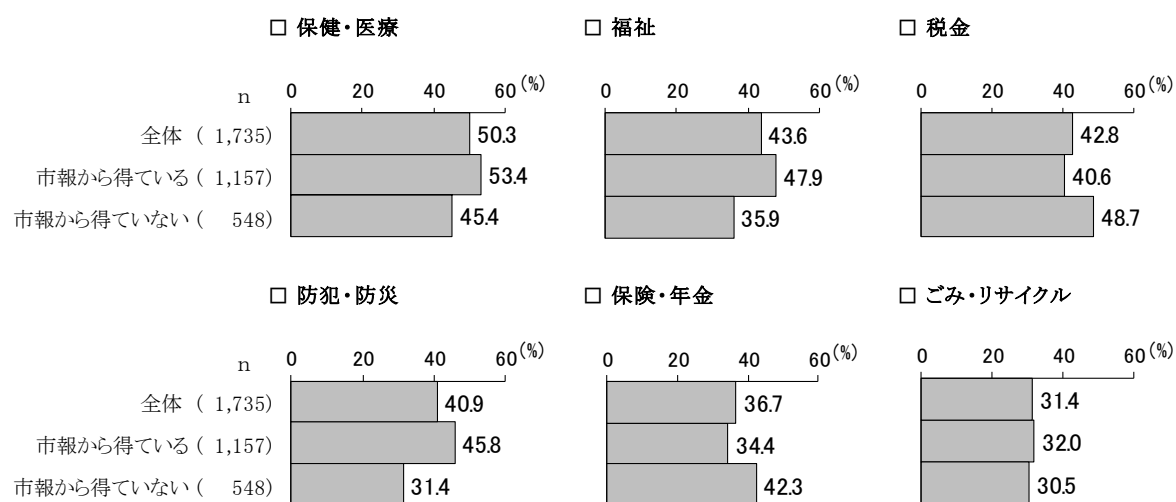
図表2－8 知りたい行政情報（子どもの就学状況別）上位10項目

(%)

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	子育て・教育 92.4	子育て・教育 78.1	保健・医療 58.3	保健・医療 60.5	保健・医療 59.6	保健・医療 49.4	福祉 66.7
2位	保健・医療 49.6	防犯・防災 50.0	福祉 税金 54.2	福祉 52.6	福祉 55.8	福祉 48.8	防犯・防災 50.0
3位	環境(緑・公園) 48.7	保健・医療 46.9	－ －	税金 47.4	税金 51.9	防犯・防災 48.1	保健・医療 保険・年金 催し物・講座の 情報 市の財政状況 33.3
4位	税金 催し物・講座の 情報 44.5	文化・スポーツ 43.8	子育て・教育 47.9	防犯・防災 保険・年金 42.1	防犯・防災 50.0	保険・年金 38.8	－ －
5位	－ －	税金 40.6	防犯・防災 45.8	－ －	保険・年金 46.2	税金 36.9	－ －
6位	文化・スポーツ 43.7	福祉 催し物・講座の 情報 環境(緑・公園) 36.5	保険・年金 37.5	催し物・講座の 情報 文化・スポーツ 31.6	ごみ・リサイクル 44.2	ごみ・リサイクル 31.3	－ －
7位	市の魅力・ おすすめスポット 42.9	－ －	文化・スポーツ 33.3	－ －	文化・スポーツ 34.6	環境(緑・公園) 26.9	税金 ごみ・リサイクル 文化・スポーツ 環境(緑・公園) 市の魅力・ おすすめスポット 16.7
8位	福祉 防犯・防災 32.8	－ －	催し物・講座の 情報 市の財政状況 31.3	ごみ・リサイクル 28.9	環境(緑・公園) 25.0	文化・スポーツ 25.6	－ －
9位	－ －	保険・年金 34.4	－ －	子育て・教育 21.1	催し物・講座の 情報 21.2	催し物・講座の 情報 23.8	－ －
10位	市の財政状況 26.9	ごみ・リサイクル 市の魅力・ おすすめスポット 29.2	ごみ・リサイクル 市内施設の開館 日・空き状況等 29.2	市の財政状況 市内施設の開館 日・空き状況等 15.8	市の財政状況 19.2	市の魅力・ おすすめスポット 14.4	－ －

子どもの就学状況別で見ると、第1位は、[小学校入学前]、[小学生]の子を持つ方で「子育て・教育」、[中学生]、[高校生]、[専門学校、短期大学、大学生等]、[社会人]の子を持つ方で「保健・医療」となっている。（図表2－8）

図表2－9 知りたい行政情報（市報からの市政情報入手別）上位6項目



上位6項目について、市報からの市政情報入手別で見ると、「税金」、「保険・年金」を除いた項目で[市報から得ている]人の方が[市報から得ていない]人よりも高く、「防犯・防災」（14.4ポイント差）、「福祉」（12.0ポイント差）では10ポイント以上の差となっている。（図表2－9）

図表2-10 知りたい行政情報（職業別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		保健・医療 50.3	福祉 43.6	税金 42.8	防犯・防災 40.9	保険・年金 36.7
職業別	自営業・自由業	保健・医療 51.7	福祉 45.8	税金 防犯・防災 45.3	- -	保険・年金 36.9
	正社員、正職員	税金 50.5	保健・医療 48.3	防犯・防災 38.3	福祉 37.9	子育て・教育 37.2
	契約社員、派遣社員	福祉 税金 51.1	- -	保健・医療 50.0	保険・年金 40.4	ごみ・リサイクル 38.3
	アルバイト、パート	保健・医療 52.7	福祉 48.9	保険・年金 48.4	税金 47.8	防犯・防災 41.2
	家事専業	保健・医療 54.5	防犯・防災 50.4	福祉 49.6	保険・年金 36.0	ごみ・リサイクル 35.1
	学生	税金 42.6	保健・医療 36.2	催し物・講座の情報 文化・スポーツ 31.9	- -	防犯・防災 27.7
	無職	保健・医療 53.4	福祉 50.2	防犯・防災 42.8	保険・年金 34.2	税金 31.3
	その他	税金 48.3	防犯・防災 文化・スポーツ 44.8	- -	保健・医療 41.4	保険・年金 31.0

職業別で見ると、第1位は、[自営業・自由業]、[アルバイト、パート]、[家事専業]、[無職]で「保健・医療」、[正社員、正職員]、[契約社員、派遣社員]、[学生]、[その他]では「税金」となっている（[契約社員、派遣社員]は「福祉」も同率第1位）。（図表2-10）

図表2－11 知りたい行政情報（家族構成別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		保健・医療 50.3	福祉 43.6	税金 42.8	防犯・防災 40.9	保険・年金 36.7
家族構成別	ひとり暮らし	保健・医療 47.3	福祉 41.3	税金 37.8	防犯・防災 35.0	保険・年金 31.8
	自分と配偶者 (事実婚含む)・ パートナー	保健・医療 51.5	福祉 45.0	税金 42.1	防犯・防災 41.9	保険・年金 40.2
	自分と子 (2世代世帯)	保健・医療 50.7	子育て・教育 47.1	税金 44.2	福祉 43.6	防犯・防災 43.2
	自分と親 (2世代世帯)	税金 57.6	保健・医療 50.3	福祉 41.7	防犯・防災 -	保険・年金 -
	自分と子と孫 (3世代世帯)	保健・医療 58.6	防犯・防災 51.7	福祉 41.4	保険・年金 27.6	ごみ・リサイクル 文化・スポーツ 24.1
	親と自分と子 (3世代世帯)	防犯・防災 57.9	保健・医療 福祉 55.3	- -	税金 42.1	保険・年金 39.5
	祖父母と親と自分 (3世代世帯)	保健・医療 税金 防犯・防災 71.4	- -	- -	保険・年金 57.1	市の魅力・おすすめ スポット 42.9
	その他	ごみ・リサイクル 50.0	福祉 税金 42.5	- -	保健・医療 防犯・防災 37.5	- -

家族構成別で見ると、第1位は、[ひとり暮らし]、[自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー]、[自分と子（2世代世帯）]、[自分と子と孫（3世代世帯）]、[祖父母と親と自分（3世代世帯）]で「保健・医療」（[祖父母と親と自分（3世代世帯）]は「税金」、「防犯・防災」も同率第1位）、[自分と親（2世代世帯）]は「税金」、[親と自分と子（3世代世帯）]は「防犯・防災」、[その他]は「ごみ・リサイクル」となっている。（図表2－11）

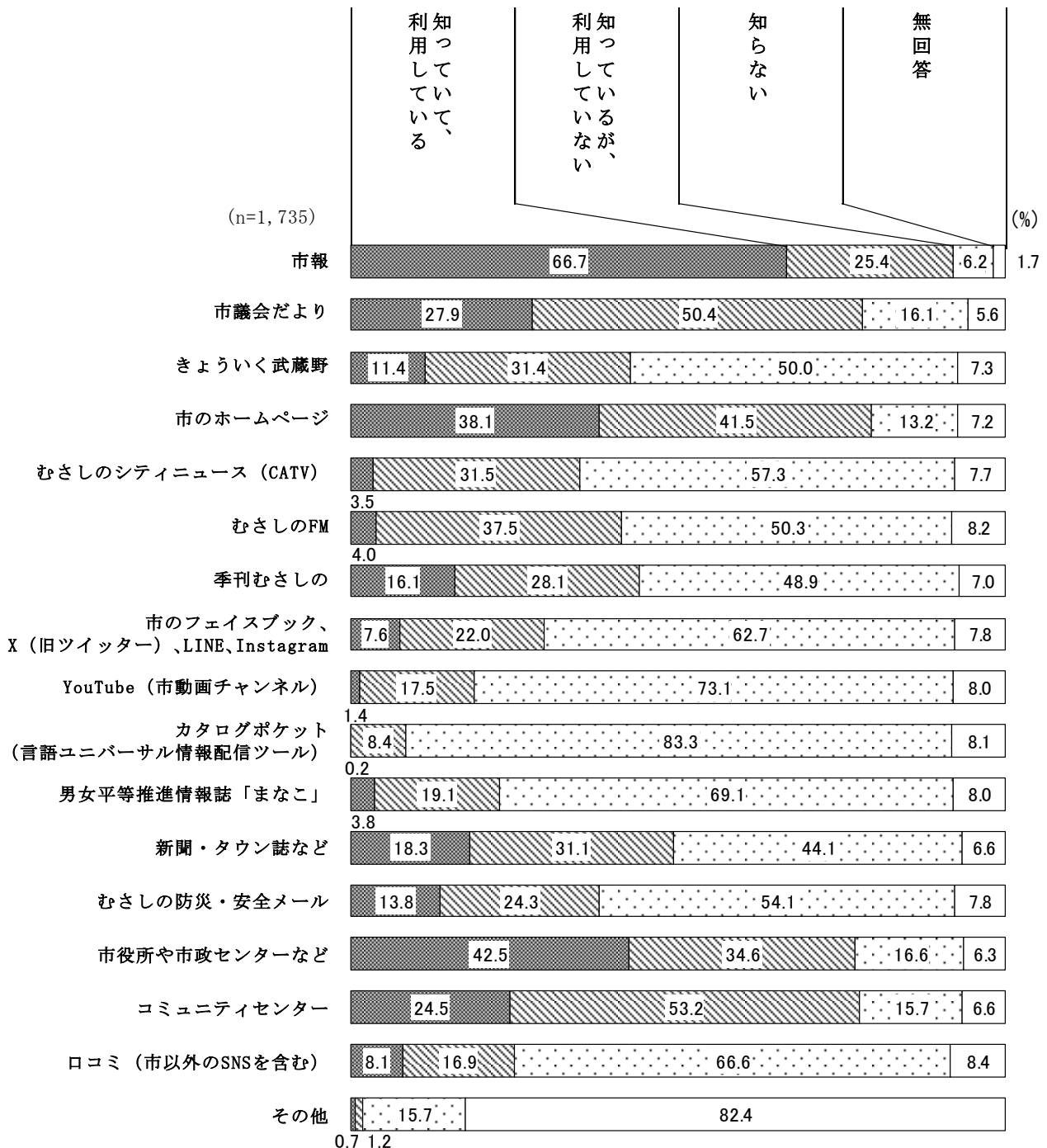
2-3 広報媒体の認知状況

◎ 「知っていて、利用している」は、【市報】が6割台半ばと最も高い。

問14 市では、さまざまな手段(場所)で、武蔵野市の情報を発信しています。

あなたは、次の手段(場所)を知っていますか。また、利用していますか。(○はそれぞれ1つ)

図表2-12 広報媒体の認知状況

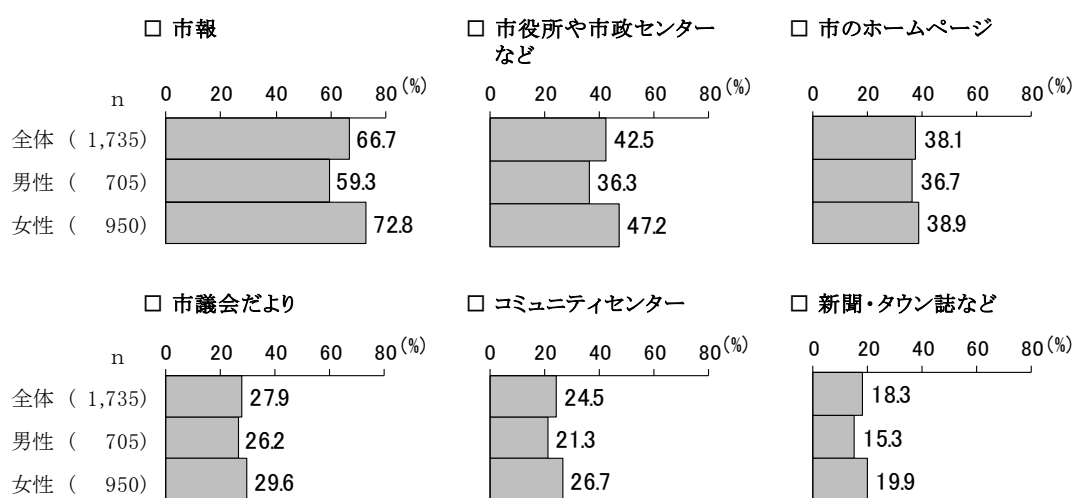


※【市のフェイスブック、X (旧ツイッター)、LINE、Instagram】は、前回は【市のFaceBook、Twitter、LINE】であった。

※今回から【男女平等推進情報誌「まなこ」】を新規で追加した。

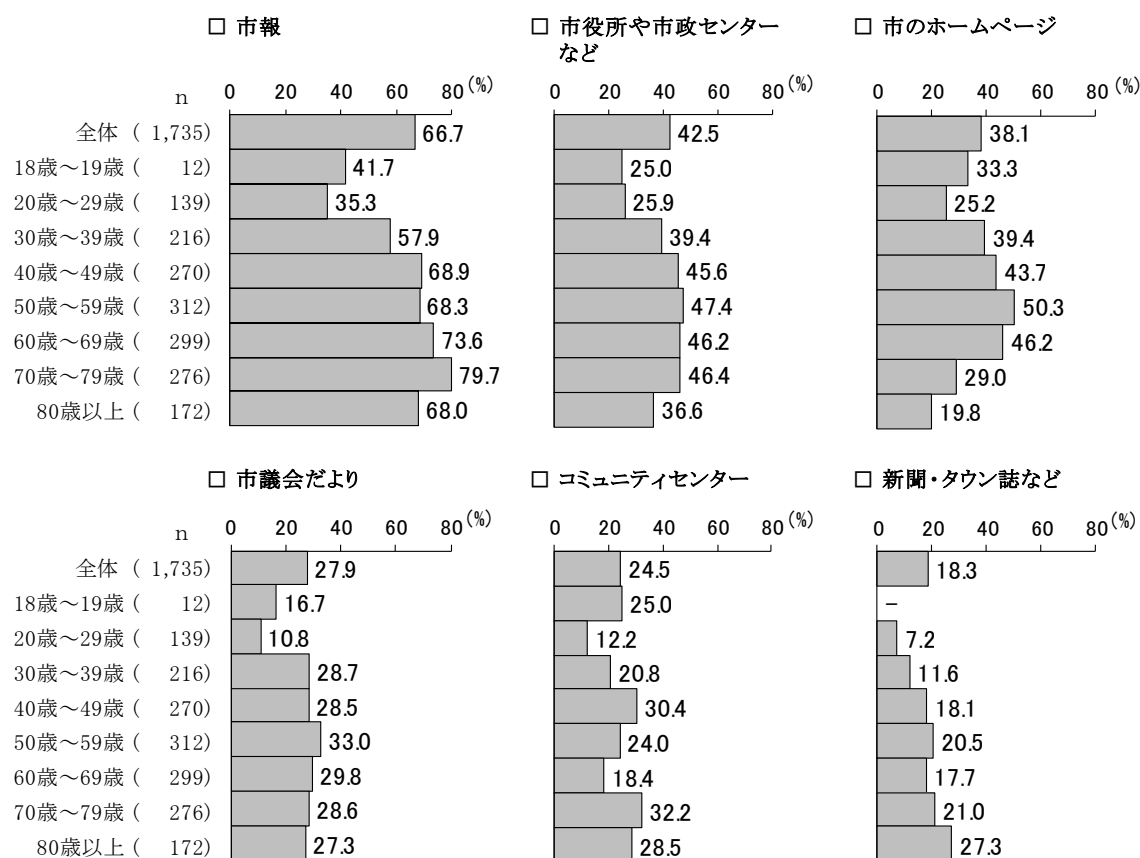
広報媒体の認知状況は、「知っていて、利用している」は、【市報】（66.7%）が6割台半ばで最も高く、次いで【市役所や市政センターなど】（42.5%）が4割台前半、【市のホームページ】（38.1%）が3割台後半と続いている。一方、「知らない」は、【カタログポケット（言語ユニバーサル情報配信ツール）】（83.3%）、【YouTube（市動画チャンネル）】（73.1%）、【男女平等推進情報誌「まなこ」】（69.1%）、【ロコミ（市以外のSNSを含む）】（66.6%）、【市のフェイスブック、X（旧ツイッター）、LINE、Instagram】（62.7%）で6割以上と高くなっている。（図表2－12）

図表2－13 広報媒体の認知状況（「知っていて、利用している」の割合、性別）上位6項目



「知っていて、利用している」の割合の上位6項目について、性別で見ると、女性の方が男性より、【市報】は13.5ポイント、【市役所や市政センターなど】は10.9ポイント、【コミュニティセンター】は5.4ポイント高くなっている。（図表2－13）

図表2-14 広報媒体の認知状況(「知っている、利用している」の割合、年代別) 上位6項目



年代別で見ると、【市報】は、60歳～69歳、70歳～79歳で7割台と高く、【市のホームページ】は、50歳～59歳で約5割と他の年代と比べて高くなっている。【新聞・タウン誌など】は、概ね年代が上がるほど高くなっている。(図表2-14)

3 市の施策に対する満足度・重要度について

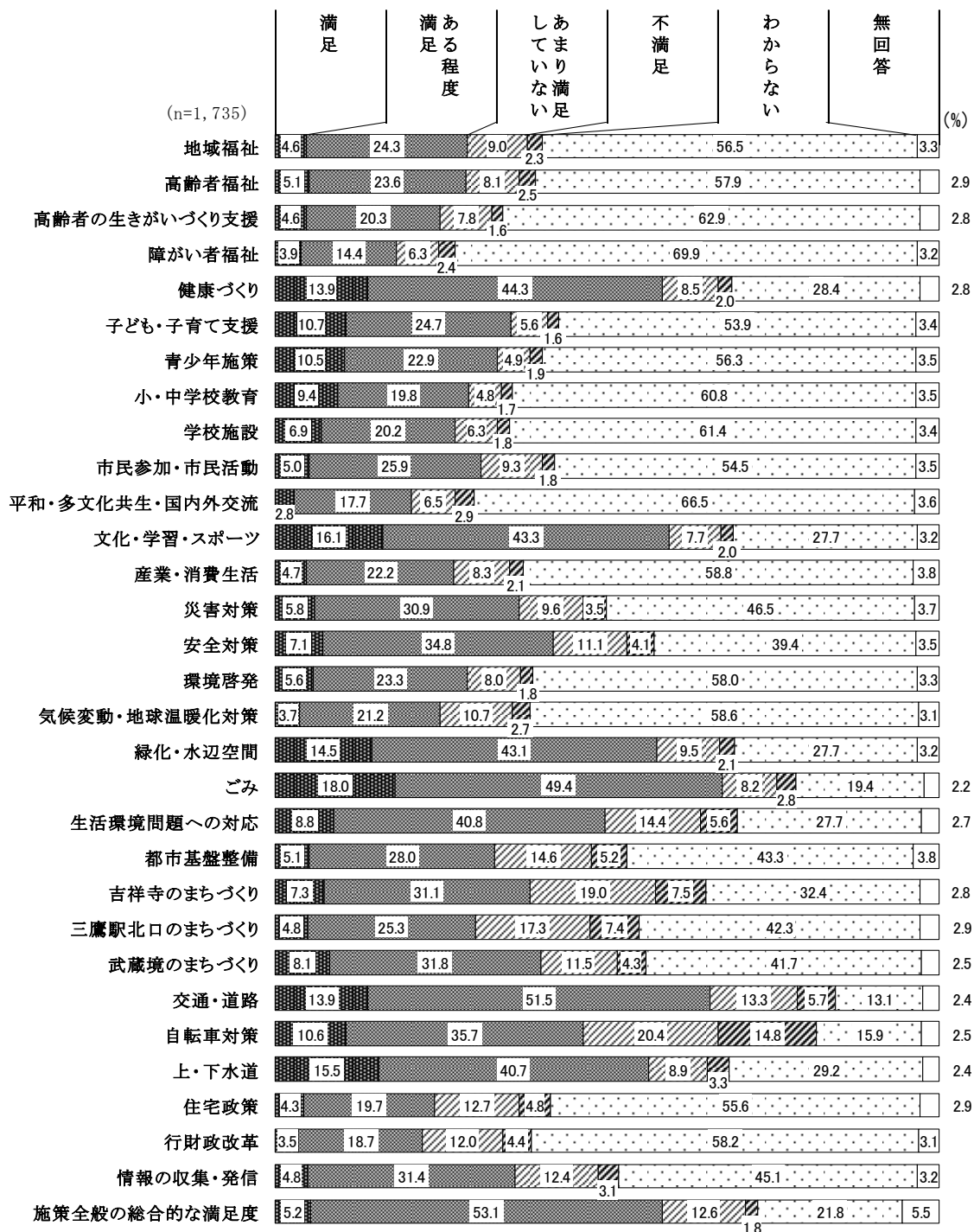
3-1 満足度

◎ 【施策全般の総合的な満足度】は『満足』が5割台後半である。

問15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、②今後の重要度については可能な限りご回答ください。

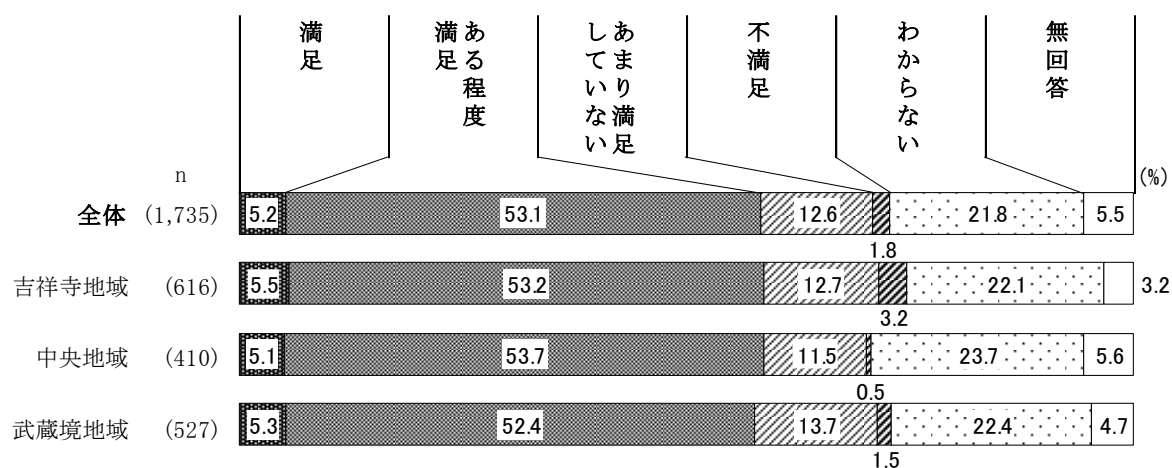
①現在の市の施策・事業の実施状況、または今後実施予定の施策・事業に対し、どの程度満足していますか。満足度を判断できない場合は「わからない」に○をしてください。(○は項目ごとにそれぞれ1つ)

図表3-1 満足度



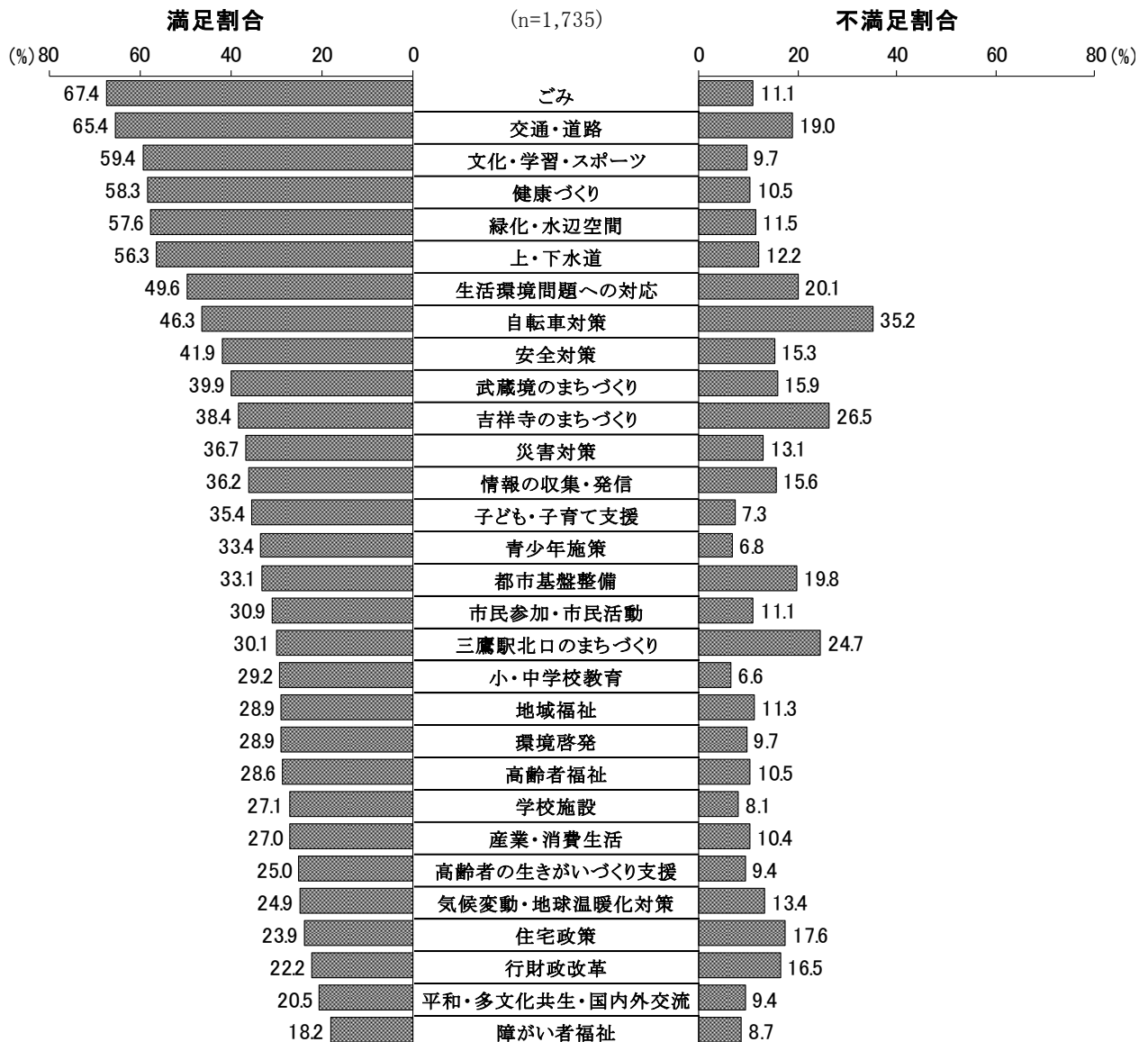
【施策全般の総合的な満足度】を見ると、「満足」（5.2%）と「ある程度満足」（53.1%）を合わせた『満足』（58.3%）は、5割台後半であった。一方、「あまり満足していない」（12.6%）と「不満足」（1.8%）を合わせた『不満足』（14.4%）は1割台半ばとなっている。（図表3－1）

図表3－2 施策全般の総合的な満足度（居住地域別）



【施策全般の総合的な満足度】について、居住地域別で見ると、『満足』は大きな違いが見られないが、『不満足』は中央地域で低くなっている。（図表3－2）

図表3－3 『満足』割合・『不満足』割合（『満足』割合順）



『満足』

「満足」＋「ある程度満足」を合わせた『満足』の割合が高い順に見ると、【ごみ】（67.4%）が6割台後半で最も高く、次いで【交通・道路】（65.4%）が6割台半ば、【文化・学習・スポーツ】（59.4%）、【健康づくり】（58.3%）、【緑化・水辺空間】（57.6%）、【上・下水道】（56.3%）が5割台後半で続いている。（図表3－3）

『不満足』

「不満」＋「あまり満足していない」を合わせた『不満足』の割合は、【自転車対策】（35.2%）が3割台半ばで最も高く、次いで【吉祥寺のまちづくり】（26.5%）、【三鷹駅北口のまちづくり】（24.7%）、【生活環境問題への対応】（20.1%）が2割台、【都市計画整備】（19.8%）、【交通・道路】（19.0%）、【住宅政策】（17.6%）が1割台後半で続いている。（図表3－3）

図表3－4 『満足』割合（前回比較）

（『満足』割合順）

（％）

順位	項目	『満足』	前回	前回 順位
1	ごみ	67.4 ↓	74.5	1
2	交通・道路	65.4 ↑	61.2	4
3	文化・学習・スポーツ	59.4 ↓	61.4	3
4	健康づくり	58.3 ↑	57.0	6
5	緑化・水辺空間	57.6 ↓	59.9	5
6	上・下水道	56.3 ↓	65.5	2
7	生活環境問題への対応※	49.6 ↓	54.2	7
8	自転車対策	46.3 ↓	48.6	9
9	安全対策	41.9 ↓	44.2	10
10	武蔵境のまちづくり※	39.9	－	－
11	吉祥寺のまちづくり※	38.4	－	－
12	災害対策	36.7 ↑	34.9	13
13	情報の収集・発信	36.2 ↓	37.6	11
14	子ども・子育て支援	35.4 ↑	31.4	14
15	青少年施策	33.4 ↑	29.6	16
16	都市基盤整備	33.1 ↓	53.8	8
17	市民参加・市民活動	30.9 ↓	35.5	12
18	三鷹駅北口のまちづくり※	30.1	－	－
19	小・中学校教育	29.2 ↑	27.0	17
20	地域福祉	28.9 ↑	26.0	20
20	環境啓発	28.9 ↓	30.5	15
22	高齢者福祉	28.6 ↑	25.0	21
23	学校施設※	27.1	－	－
24	産業・消費生活	27.0 ↑	24.1	23
25	高齢者の生きがいがづくり支援※	25.0	－	－
26	気候変動・地球温暖化対策	24.9 ↓	26.1	19
27	住宅政策	23.9 ↓	27.0	17
28	行財政改革	22.2 ↓	23.1	24
29	平和・多文化共生・国内外交流	20.5 ↓	24.6	22
30	障がい者福祉	18.2 ↑	17.4	25

※「生活環境問題への対応」は、前回調査では「生活環境」であった。

※「武蔵境のまちづくり」は今回調査にて追加した。

※「吉祥寺のまちづくり」は今回調査にて追加した。

※「三鷹駅北口のまちづくり」は今回調査にて追加した。

※「学校施設」は今回調査にて追加した。

※「高齢者の生きがいがづくり支援」は今回調査にて追加した。

図表3－5 満足度(項目別件数および満足度)

番号	項目	4	3	2	1	合計	わからない	無回答	満足度
		満足	満足 ある 程度	して いない あまり 満足	不満足				
1	地域福祉	80	421	156	40	697	980	58	2.776
2	高齢者福祉	88	409	140	43	680	1,005	50	2.797
3	高齢者の生きがいづくり支援	80	353	136	27	596	1,091	48	2.815
4	障がい者福祉	67	249	109	42	467	1,212	56	2.730
5	健康づくり	242	769	147	35	1,193	493	49	3.021
6	子ども・子育て支援	186	428	98	28	740	936	59	3.043
7	青少年施策	183	397	85	33	698	976	61	3.046
8	小・中学校教育	163	343	84	30	620	1,055	60	3.031
9	学校施設	119	351	109	32	611	1,065	59	2.912
10	市民参加・市民活動	86	450	161	31	728	946	61	2.812
11	平和・多文化共生・国内外交流	49	307	112	51	519	1,154	62	2.682
12	文化・学習・スポーツ	279	751	134	35	1,199	480	56	3.063
13	産業・消費生活	82	386	144	37	649	1,020	66	2.790
14	災害対策	100	536	167	61	864	807	64	2.781
15	安全対策	124	603	193	72	992	683	60	2.785
16	環境啓発	98	404	138	31	671	1,007	57	2.848
17	気候変動・地球温暖化対策	65	367	185	47	664	1,017	54	2.678
18	緑化・水辺空間	251	748	164	36	1,199	481	55	3.013
19	ごみ	312	857	143	49	1,361	336	38	3.052
20	生活環境問題への対応	153	708	250	98	1,209	480	46	2.758
21	都市基盤整備	89	486	253	90	918	751	66	2.625
22	吉祥寺のまちづくり	126	540	329	130	1,125	562	48	2.588
23	三鷹駅北口のまちづくり	84	439	300	128	951	734	50	2.504
24	武蔵境のまちづくり	141	551	200	75	967	724	44	2.784
25	交通・道路	242	893	231	99	1,465	228	42	2.872
26	自転車対策	184	620	354	257	1,415	276	44	2.517
27	上・下水道	269	707	154	57	1,187	506	42	3.001
28	住宅政策	74	341	221	84	720	965	50	2.563
29	行財政改革	61	325	209	77	672	1,010	53	2.551
30	情報の収集・発信	84	544	216	54	898	782	55	2.733
31	施策全般の総合的な満足度	91	921	218	32	1,262	378	95	2.849

『満足度』

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」、無回答を除いた回答の平均値を『満足度』とした。(図表3－5)

例：【地域福祉】について見ると、満足度は2.776となる。

『満足度(加重平均)』

(4点×80件＋3点×421件＋2点×156件＋1点×40件)÷697(合計件数)＝2.776

図表3－6 満足度（点数順）

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	文化・学習・スポーツ	3.063	16	安全対策	2.785
2	ごみ	3.052	17	武蔵境のまちづくり	2.784
3	青少年施策	3.046	18	災害対策	2.781
4	子ども・子育て支援	3.043	19	地域福祉	2.776
5	小・中学校教育	3.031	20	生活環境問題への対応	2.758
6	健康づくり	3.021	21	情報の収集・発信	2.733
7	緑化・水辺空間	3.013	22	障がい者福祉	2.730
8	上・下水道	3.001	23	平和・多文化共生・国内外交流	2.682
9	学校施設	2.912	24	気候変動・地球温暖化対策	2.678
10	交通・道路	2.872	25	都市基盤整備	2.625
11	環境啓発	2.848	26	吉祥寺のまちづくり	2.588
12	高齢者の生きがいづくり支援	2.815	27	住宅政策	2.563
13	市民参加・市民活動	2.812	28	行財政改革	2.551
14	高齢者福祉	2.797	29	自転車対策	2.517
15	産業・消費生活	2.790	30	三鷹駅北口のまちづくり	2.504

最も『満足度』が高いのは、【文化・学習・スポーツ】（3.063）であり、次いで【ごみ】（3.052）、【青少年施策】（3.046）、【子ども・子育て支援】（3.043）、【小・中学校教育】（3.031）、【健康づくり】（3.021）と続いている。

一方、最も『満足度』が低いのは、【三鷹駅北口のまちづくり】（2.504）であり、次いで【自転車対策】（2.517）、【行財政改革】（2.551）、【住宅政策】（2.563）、【吉祥寺のまちづくり】（2.588）と続いている。（図表3－6）

図表3－7 満足度（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族の有無	
							いる	いない
1位	文化・学習・スポーツ 3.063	ごみ 3.028	青少年施策 3.168	青少年施策 3.068	ごみ 3.182	文化・学習・スポーツ 3.102	ごみ 3.047	子ども・子育て支援 3.079
2位	ごみ 3.052	上・下水道 3.010	子ども・子育て支援 3.148	緑化・水辺空間 3.044	上・下水道 3.104	子ども・子育て支援 3.082	文化・学習・スポーツ 3.015	青少年施策 3.059
3位	青少年施策 3.046	文化・学習・スポーツ 2.996	文化・学習・スポーツ 3.121	子ども・子育て支援 3.038	緑化・水辺空間 3.081	小・中学校教育 3.065	小・中学校教育 2.943	文化・学習・スポーツ 3.057
4位	子ども・子育て支援 3.043	小・中学校教育 2.982	小・中学校教育 3.096	健康づくり 3.030	文化・学習・スポーツ 3.071	青少年施策 3.025	上・下水道 2.932	小・中学校教育 3.050
5位	小・中学校教育 3.031	緑化・水辺空間 2.963	健康づくり 3.091	小・中学校教育 3.018	子ども・子育て支援 3.052	ごみ 3.010	青少年施策 2.911	ごみ 3.047
6位	健康づくり 3.021	健康づくり 2.933	ごみ 3.080	ごみ 3.010	青少年施策 3.036	健康づくり 3.006	健康づくり 2.900	緑化・水辺空間 3.042
7位	緑化・水辺空間 3.013	子ども・子育て支援 2.921	緑化・水辺空間 3.050	文化・学習・スポーツ 3.005	健康づくり 3.025	上・下水道 3.003	緑化・水辺空間 2.863	健康づくり 3.035
8位	上・下水道 3.001	青少年施策 2.912	上・下水道 3.010	上・下水道 2.913	小・中学校教育 3.022	緑化・水辺空間 2.954	子ども・子育て支援 2.859	上・下水道 2.998
9位	学校施設 2.912	交通・道路 2.877	学校施設 2.962	学校施設 2.870	学校施設 2.947	学校施設 2.949	学校施設 2.806	学校施設 2.928
10位	交通・道路 2.872	学校施設 2.869	環境啓発 2.892	交通・道路 2.850	環境啓発 2.942	交通・道路 2.847	交通・道路 2.794	環境啓発 2.883

性別で見ると、男性の第1位は【ごみ】、第2位は【上・下水道】、第3位は【文化・学習・スポーツ】となっている。女性の第1位は【青少年施策】、第2位は【子ども・子育て支援】、第3位は【文化・学習・スポーツ】となっている。

居住地域別で見ると、吉祥寺地域の第1位は【青少年施策】、第2位は【緑化・水辺空間】となっている。中央地域の第1位は【ごみ】、第2位は【上・下水道】となっている。武蔵境地域の第1位は【文化・学習・スポーツ】、第2位は【子ども・子育て支援】となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、介護が必要な同居家族がいる場合の第1位は【ごみ】、第2位は【文化・学習・スポーツ】、第3位は【小・中学校教育】となっている。介護が必要な同居家族がいない場合の第1位は【子ども・子育て支援】、第2位は【青少年施策】、第3位は【文化・学習・スポーツ】となっている。（図表3－7）

図表3－8 満足度（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	青少年施策 3.625	文化・学習・スポーツ 3.316	文化・学習・スポーツ 3.153	子ども・子育て支援 3.171	青少年施策 3.199	ごみ 3.017	ごみ 3.090	健康づくり 3.200
2位	健康づくり 高齢者の生きがいづくり支援 3.500	小・中学校教育 3.264	高齢者の生きがいづくり支援 3.133	緑化・水辺空間 3.139	子ども・子育て支援 3.128	青少年施策 2.973	健康づくり 3.046	小・中学校教育 3.139
3位	－ －	ごみ 3.218	緑化・水辺空間 3.083	青少年施策 3.131	小・中学校教育 3.123	子ども・子育て支援 2.917	文化・学習・スポーツ 3.027	ごみ 3.128
4位	小・中学校教育 環境啓発 3.400	緑化・水辺空間 3.207	高齢者福祉 3.065	文化・学習・スポーツ 3.087	緑化・水辺空間 3.055	小・中学校教育 2.916	子ども・子育て支援 2.989	上・下水道 3.120
5位	－ －	安全対策 3.174	上・下水道 3.049	上・下水道 3.063	文化・学習・スポーツ 3.050	文化・学習・スポーツ 2.898	上・下水道 2.973	文化・学習・スポーツ 3.087
6位	災害対策 3.286	上・下水道 3.169	障がい者福祉 3.026	ごみ 3.048	健康づくり 3.046	健康づくり 2.880	緑化・水辺空間 2.894	学校施設 3.086
7位	産業・消費生活 地域福祉 3.167	高齢者福祉 3.125	子ども・子育て支援 3.000	小・中学校教育 3.020	ごみ 3.028	緑化・水辺空間 2.877	青少年施策 2.876	高齢者の生きがいづくり支援 2.976
8位	－ －	学校施設 3.120	小・中学校教育 2.982	環境啓発 3.010	学校施設 3.007	学校施設 2.841	交通・道路 2.870	交通・道路 環境啓発 2.966
9位	子ども・子育て支援 上・下水道 3.143	高齢者の生きがいづくり支援 3.114	健康づくり 2.977	健康づくり 3.000	上・下水道 2.987	上・下水道 2.840	小・中学校教育 2.849	－ －
10位	－ －	災害対策 3.096	環境啓発 2.957	学校施設 2.878	市民参加・市民活動 2.866	交通・道路 2.765	平和・多文化共生・国内外交流 2.775	緑化・水辺空間 2.955

年代別で見ると、第1位は、18～19歳、50歳～59歳で【青少年施策】、20歳～29歳、30歳～39歳で【文化・学習・スポーツ】、40歳～49歳で【子ども・子育て支援】、60歳～69歳、70歳～79歳で【ごみ】、80歳以上で【健康づくり】となっている。（図表3－8）

図表3－9 満足度（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1 位	青少年施策 3.065	文化・学習・ スポーツ 3.071	緑化・水辺空間 3.203	青少年施策 3.279	子ども・子育て 支援 3.186	小・中学校教育 3.483	ごみ 3.105	環境啓発 3.000
2 位	子ども・子育て 支援 3.063	緑化・水辺空間 3.051	子ども・子育て 支援 3.189	小・中学校教育 3.238	文化・学習・ スポーツ 3.151	上・下水道 3.444	文化・学習・ スポーツ 3.043	ごみ 2.957
3 位	ごみ 3.049	小・中学校教育 3.014	青少年施策 3.167	子ども・子育て 支援 3.157	ごみ 3.122	文化・学習・ スポーツ 3.410	健康づくり 2.996	子ども・子育て 支援 2.929
4 位	健康づくり 3.043	上・下水道 3.008	文化・学習・ スポーツ 3.129	健康づくり 3.092	青少年施策 3.106	ごみ 3.375	上・下水道 2.978	青少年施策 2.909
5 位	小・中学校教育 3.015	子ども・子育て 支援 2.973	ごみ 3.118	ごみ 3.073	健康づくり 3.103	地域福祉 3.333	小・中学校教育 2.929	高齢者の生きがい づくり支援 2.900
6 位	緑化・水辺空間 2.932	青少年施策 2.971	上・下水道 3.095	文化・学習・ スポーツ 3.051	緑化・水辺空間 3.048	高齢者の生きがい づくり支援 3.308	緑化・水辺空間 2.923	障がい者福祉 2.875
7 位	上・下水道 2.918	ごみ 2.960	健康づくり 3.082	学校施設 3.034	環境啓発 3.021	安全対策 3.286	子ども・子育て 支援 学校施設 2.889	上・下水道 2.857
8 位	文化・学習・ スポーツ 2.901	健康づくり 2.949	小・中学校教育 2.970	上・下水道 3.008	上・下水道 3.017	青少年施策 3.269	－ －	文化・学習・ スポーツ 2.850
9 位	交通・道路 2.863	学校施設 交通・道路 2.879	安全対策 2.948	緑化・水辺空間 2.985	産業・消費生活 2.976	子ども・子育て 支援 3.250	交通・道路 2.846	気候変動・地球 温暖化対策 2.833
10 位	高齢者福祉 2.851	－ －	学校施設 2.926	交通・道路 2.982	小・中学校教育 2.963	災害対策 3.238	青少年施策 2.828	地域福祉 2.818

職業別で見ると、第1位は、[自営業・自由業]、[アルバイト、パート]で【青少年施策】、[正社員、正職員]で【文化・学習・スポーツ】、[契約社員、派遣社員]で【緑化・水辺空間】、[家事専業]で【子ども・子育て支援】、[学生]で【小・中学校教育】、[無職]で【ごみ】、[その他]で【環境啓発】となっている。（図表3－9）

図表3-10 満足度（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	文化・学習・ スポーツ 3.112	子ども・子育て 支援 3.330	子ども・子育て 支援 3.140	青少年施策 3.241	青少年施策 3.258	上・下水道 3.049	学校施設 3.500
2位	緑化・水辺空間 3.051	緑化・水辺空間 3.253	ごみ 3.119	子ども・子育て 支援 3.172	小・中学校教育 3.148	ごみ 3.029	小・中学校教育 3.333
3位	健康づくり 3.043	青少年施策 3.241	文化・学習・ スポーツ 3.103	小・中学校教育 3.167	子ども・子育て 支援 3.129	健康づくり 3.027	健康づくり 3.000
4位	子ども・子育て 支援 3.025	上・下水道 3.231	青少年施策 健康づくり 3.049	武蔵境の まちづくり 3.091	ごみ 3.119	文化・学習・ スポーツ 2.917	緑化・水辺空間 上・下水道 2.833
5位	市民参加・ 市民活動 3.021	文化・学習・ スポーツ 3.229	- -	学校施設 3.069	高齢者福祉 3.118	緑化・水辺空間 2.909	- -
6位	ごみ 3.012	小・中学校教育 3.163	上・下水道 3.032	文化・学習・ スポーツ 緑化・水辺空間 3.033	武蔵境の まちづくり 3.069	小・中学校教育 2.865	文化・学習・ スポーツ 青少年施策 2.800
7位	青少年施策 高齢者福祉 3.000	健康づくり 3.162	小・中学校教育 3.024	- -	健康づくり 上・下水道 学校施設 平和・多文化共生 ・国内外交流 3.000	子ども・子育て 支援 2.843	- -
8位	- -	高齢者の生きがい づくり支援 3.158	緑化・水辺空間 2.976	ごみ 3.032	- -	青少年施策 2.840	子ども・子育て 支援 環境啓発 産業・消費生活 武蔵境の まちづくり 2.750
9位	環境啓発 2.981	ごみ 3.154	市民参加・ 市民活動 2.955	健康づくり 高齢者の生きがい づくり支援 3.000	- -	学校施設 2.792	- -
10位	高齢者の生きがい づくり支援 2.960	高齢者福祉 3.143	学校施設 2.921	- -	- -	交通・道路 2.776	- -

子どもの就学状況別で見ると、第1位は、[小学生]、[中学生]の子を持つ方で【子ども・子育て支援】、[高校生]、[専門学校、短期大学、大学生等]の子を持つ方で【青少年施策】、[小学校入学前]の子を持つ方で【文化・学習・スポーツ】、[社会人]の子を持つ方で【上・下水道】、[その他]で【学校施設】となっている。（図表3-10）

図表3-11 満足度（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円 未満	300～500万円 未満	500～700万円 未満	700～1,000 万円未満	1,000～1,500 万円未満	1,500万円 以上
1位	子ども・子育て 支援 3.500	子ども・子育て 支援 3.190	ごみ 3.083	上・下水道 3.016	上・下水道 3.079	青少年施策 3.084	文化・学習・ スポーツ 3.198	文化・学習・ スポーツ 3.127
2位	小・中学校教育 学校施設 3.357	小・中学校教育 健康づくり 3.158	健康づくり 3.000	ごみ 2.991	ごみ 3.063	子ども・子育て 支援 3.082	子ども・子育て 支援 3.192	青少年施策 3.126
3位	－ －	－ －	上・下水道 2.953	健康づくり 2.978	緑化・水辺空間 3.060	文化・学習・ スポーツ 3.068	青少年施策 3.161	小・中学校教育 3.106
4位	環境啓発 3.286	上・下水道 3.098	文化・学習・ スポーツ 2.946	文化・学習・ スポーツ 2.948	子ども・子育て 支援 3.057	健康づくり 3.054	緑化・水辺空間 3.156	子ども・子育て 支援 3.082
5位	平和・多文化共生 ・国内外交流 3.250	緑化・水辺空間 3.083	青少年施策 2.932	緑化・水辺空間 2.944	健康づくり 3.055	高齢者の生きがい づくり支援 3.027	小・中学校教育 3.119	健康づくり 3.058
6位	文化・学習・ スポーツ 3.231	文化・学習・ スポーツ 3.063	緑化・水辺空間 2.912	小・中学校教育 2.917	文化・学習・ スポーツ 3.037	ごみ 3.013	ごみ 3.081	ごみ 3.050
7位	市民参加・ 市民活動 3.211	ごみ 3.045	小・中学校教育 2.841	子ども・子育て 支援 2.861	青少年施策 3.000	緑化・水辺空間 3.007	健康づくり 3.019	緑化・水辺空間 3.034
8位	安全対策 3.208	学校施設 2.952	交通・道路 2.825	交通・道路 2.857	小・中学校教育 2.957	小・中学校教育 高齢者福祉 3.000	学校施設 3.009	上・下水道 3.022
9位	緑化・水辺空間 3.207	障がい者福祉 2.950	学校施設 2.822	青少年施策 2.841	交通・道路 2.921	－ －	上・下水道 3.000	市民参加・ 市民活動 2.955
10位	青少年施策 高齢者福祉 3.200	住宅政策 2.929	子ども・子育て 支援 2.787	学校施設 2.810	環境啓発 2.919	上・下水道 2.971	環境啓発 2.968	安全対策 2.917

世帯収入別で見ると、第1位は、[収入なし]、[100万円未満]で【子ども・子育て支援】、[100～300万円未満]で【ごみ】、[300～500万円未満]、[500～700万円未満]で【上・下水道】、[700～1,000万円未満]で【青少年施策】、[1,000～1,500万円未満]、[1,500万円以上]で【文化・学習・スポーツ】となっている。（図表3-11）

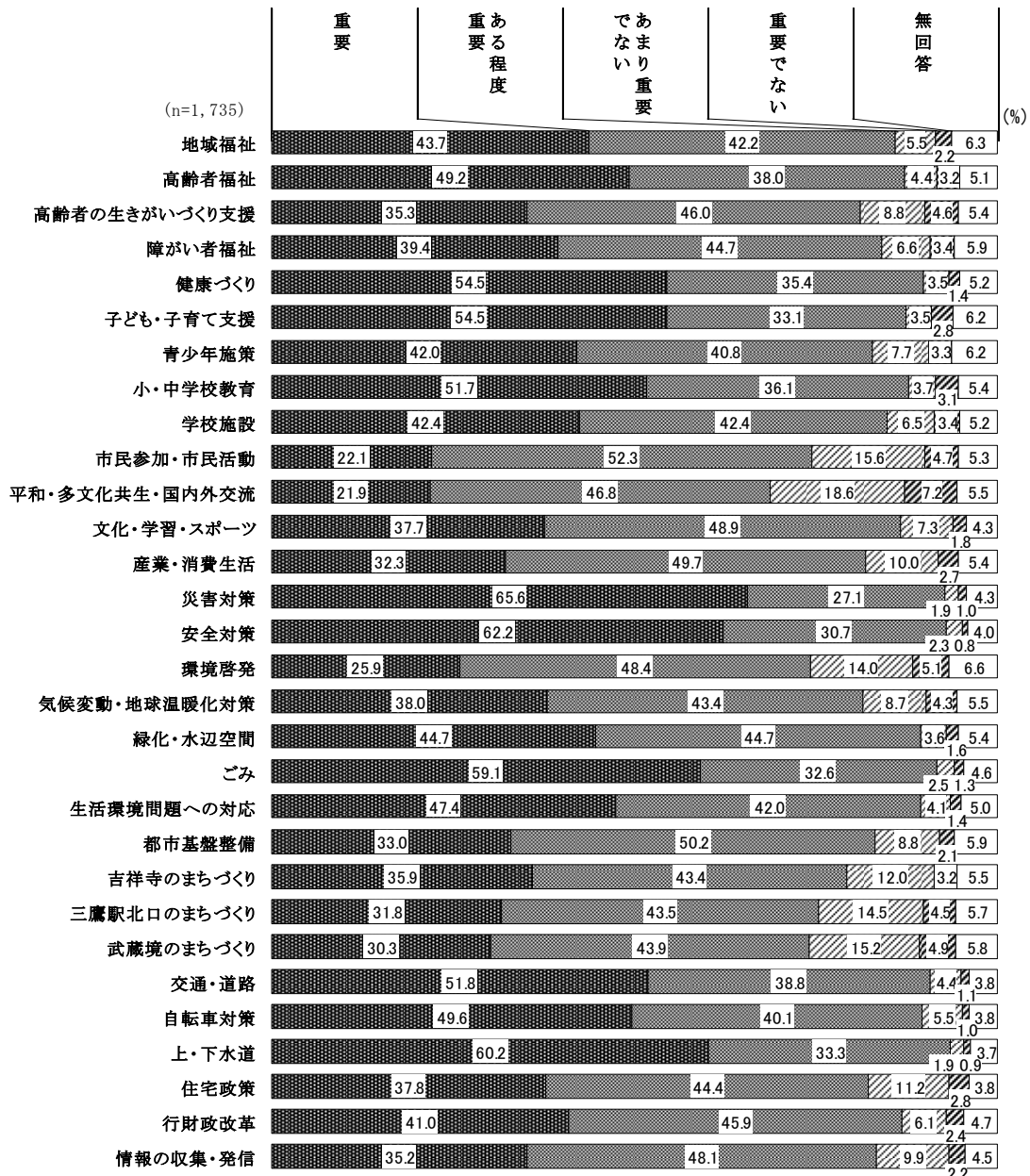
3-2 重要度

◎ 「重要」が【災害対策】で6割台半ば、【安全対策】で6割台前半、「あまり重要でない」が【平和・多文化共生・国内外交流】で1割台後半である。

問15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、②今後の重要度については可能な限りご回答ください。

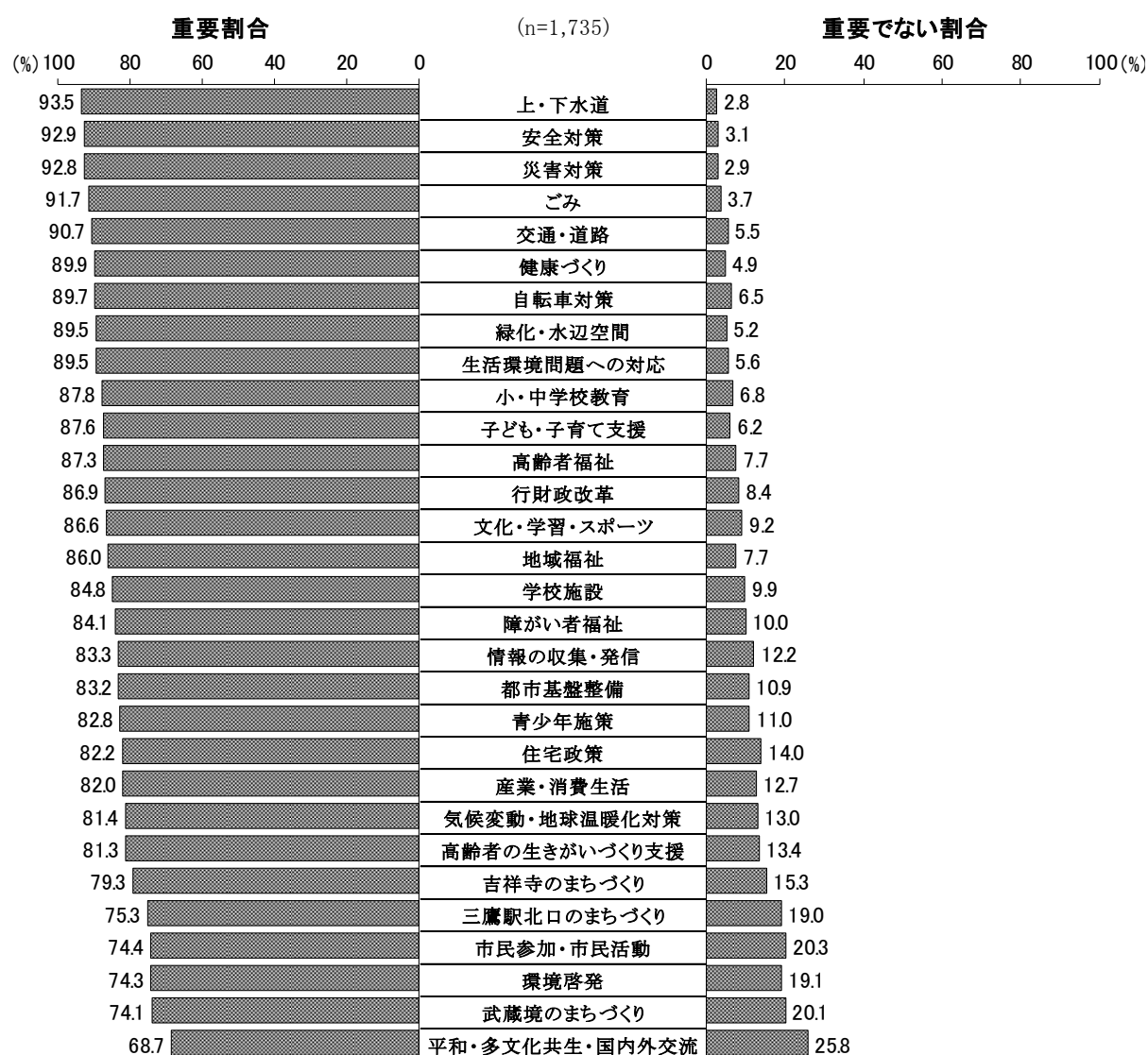
②これからの市政を進める上で、どの程度重要だと思いますか。(〇は項目ごとにそれぞれ1つ)

図表3-12 重要度



市の施策に対する重要度について、「重要」の割合が最も多いのは【災害対策】（65.6%）で6割台半ば、次いで【安全対策】（62.2%）で6割台前半、【上・下水道】（60.2%）、【ごみ】（59.1%）が約6割となっている。一方、「あまり重要でない」は【平和・多文化共生・国内外交流】（18.6%）で1割台後半となっている。（図表3-12）

図表3-13 『重要』割合・『重要でない』割合（『重要』割合順）



『重要』

「重要」＋「ある程度重要」を合わせた『重要』の割合の高い順に見ると、【上・下水道】(93.5%)、【安全対策】(92.9%)、【災害対策】(92.8%)、【ごみ】(91.7%)と続き、30項目のうち、5項目が9割台、19項目が8割台と高い割合になっている。(図表3-13)

『重要でない』

一方、「重要でない」＋「あまり重要でない」を合わせた『重要でない』の割合は、【平和・多文化共生・国内外交流】(25.8%)が最も高く、【市民参加・市民活動】(20.3%)、【武蔵境のまちづくり】(20.1%)、【環境啓発】(19.1%)と続いている。(図表3-13)

図表3-14 『重要』割合（前回比較）

（『重要』割合順）

（％）

順位		『重要』	前回	前回 順位
1	上・下水道	93.5 ↑	90.6	4
2	安全対策	92.9 ↑	91.4	3
3	災害対策	92.8 ↑	91.9	2
4	ごみ	91.7 ↓	92.0	1
5	交通・道路	90.7 ↑	88.2	9
6	健康づくり	89.9 ↓	90.5	5
7	自転車対策	89.7 ↑	87.2	11
8	緑化・水辺空間	89.5 ↓	90.0	6
8	生活環境問題への対応※	89.5 ↑	89.1	7
10	小・中学校教育	87.8 ↑	84.4	16
11	子ども・子育て支援	87.6 ↑	85.3	14
12	高齢者福祉	87.3 ↓	88.6	8
13	行財政改革	86.9 ↑	84.8	15
14	文化・学習・スポーツ	86.6 ↑	86.5	12
15	地域福祉	86.0 ↓	88.2	10
16	学校施設※	84.8	－	－
17	障がい者福祉	84.1 ↓	86.0	13
18	情報の収集・発信	83.3 ↑	82.6	19
19	都市基盤整備	83.2 ↓	84.1	17
20	青少年施策	82.8 ↑	79.3	22
21	住宅政策	82.2 ↑	80.1	21
22	産業・消費生活	82.0 ↑	81.2	20
23	気候変動・地球温暖化対策	81.4 ↓	83.5	18
24	高齢者の生きがいがづくり支援※	81.3	－	－
25	吉祥寺のまちづくり※	79.3	－	－
26	三鷹駅北口のまちづくり※	75.3	－	－
27	市民参加・市民活動	74.4 ↓	77.6	23
28	環境啓発	74.3 ↓	76.0	24
29	武蔵境のまちづくり※	74.1	－	－
30	平和・多文化共生・国内外交流	68.7 ↓	70.2	25

※「生活環境問題への対応」は、前回調査では「生活環境」であった。

※「学校施設」は今回調査にて追加した。

※「高齢者の生きがいがづくり支援」は今回調査にて追加した。

※「吉祥寺のまちづくり」は今回調査にて追加した。

※「三鷹駅北口のまちづくり」は今回調査にて追加した。

※「武蔵境のまちづくり」は今回調査にて追加した。

図表3-15 重要度（項目別件数および重要度）

番号	項目	4	3	2	1	合計	無回答	重要度
		重要	重要 ある程度	あまり 重要でない	重要でない			
1	地域福祉	759	733	95	39	1,626	109	3.360
2	高齢者福祉	854	660	77	56	1,647	88	3.404
3	高齢者の生きがいづくり支援	612	798	153	79	1,642	93	3.183
4	障がい者福祉	684	775	115	59	1,633	102	3.276
5	健康づくり	945	615	60	25	1,645	90	3.508
6	子ども・子育て支援	945	575	60	48	1,628	107	3.485
7	青少年施策	728	708	133	58	1,627	108	3.294
8	小・中学校教育	897	627	64	54	1,642	93	3.442
9	学校施設	736	736	113	59	1,644	91	3.307
10	市民参加・市民活動	383	908	271	81	1,643	92	2.970
11	平和・多文化共生・国内外交流	380	812	323	125	1,640	95	2.882
12	文化・学習・スポーツ	654	848	127	32	1,661	74	3.279
13	産業・消費生活	560	862	173	47	1,642	93	3.178
14	災害対策	1,139	471	33	18	1,661	74	3.644
15	安全対策	1,080	532	40	14	1,666	69	3.607
16	環境啓発	450	839	243	89	1,621	114	3.018
17	気候変動・地球温暖化対策	660	753	151	75	1,639	96	3.219
18	緑化・水辺空間	776	776	62	28	1,642	93	3.401
19	ごみ	1,025	566	43	22	1,656	79	3.566
20	生活環境問題への対応	823	729	72	25	1,649	86	3.425
21	都市基盤整備	573	871	152	37	1,633	102	3.212
22	吉祥寺のまちづくり	622	753	209	56	1,640	95	3.184
23	三鷹駅北口のまちづくり	551	755	252	78	1,636	99	3.087
24	武蔵境のまちづくり	525	761	264	85	1,635	100	3.056
25	交通・道路	899	674	77	19	1,669	66	3.470
26	自転車対策	861	695	95	18	1,669	66	3.437
27	上・下水道	1,044	578	33	16	1,671	64	3.586
28	住宅政策	655	771	195	48	1,669	66	3.218
29	行財政改革	711	796	105	41	1,653	82	3.317
30	情報の収集・発信	611	835	172	39	1,657	78	3.218

『重要度』

「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、（無回答を除いた）回答の平均値を『重要度』とした。（図表3-15）

※計算方法は114ページの『満足度』の計算方法参照。

図表3-16 重要度（点数順）

順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	災害対策	3.644	16	青少年施策	3.294
2	安全対策	3.607	17	文化・学習・スポーツ	3.279
3	上・下水道	3.586	18	障がい者福祉	3.276
4	ごみ	3.566	19	気候変動・地球温暖化対策	3.219
5	健康づくり	3.508	20	住宅政策	3.218
6	子ども・子育て支援	3.485	20	情報の収集・発信	3.218
7	交通・道路	3.470	22	都市基盤整備	3.212
8	小・中学校教育	3.442	23	吉祥寺のまちづくり	3.184
9	自転車対策	3.437	24	高齢者の生きがいづくり支援	3.183
10	生活環境問題への対応	3.425	25	産業・消費生活	3.178
11	高齢者福祉	3.404	26	三鷹駅北口のまちづくり	3.087
12	緑化・水辺空間	3.401	27	武蔵境のまちづくり	3.056
13	地域福祉	3.360	28	環境啓発	3.018
14	行財政改革	3.317	29	市民参加・市民活動	2.970
15	学校施設	3.307	30	平和・多文化共生・国内外交流	2.882

最も『重要度』が高いのは、【災害対策】（3.644）であり、次いで【安全対策】（3.607）、【上・下水道】（3.586）、【ごみ】（3.566）、【健康づくり】（3.508）と続いている。

一方、最も『重要度』が低いのは、【平和・多文化共生・国内外交流】（2.882）であり、次いで【市民参加・市民活動】（2.970）、【環境啓発】（3.018）と続いている。（図表3-16）

図表3-17 重要度（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族の有無	
							いる	いない
1位	災害対策 3.644	災害対策 3.550	災害対策 3.715	災害対策 3.701	災害対策 3.626	災害対策 3.608	上・下水道 3.687	災害対策 3.650
2位	安全対策 3.607	上・下水道 3.519	安全対策 3.672	安全対策 3.664	安全対策 3.591	上・下水道 3.572	災害対策 3.649	安全対策 3.609
3位	上・下水道 3.586	安全対策 3.514	上・下水道 ごみ 3.637	上・下水道 3.631	ごみ 3.561	安全対策 3.565	安全対策 3.641	上・下水道 3.575
4位	ごみ 3.566	ごみ 3.482	- -	ごみ 3.583	上・下水道 3.538	ごみ 3.558	高齢者福祉 3.619	ごみ 3.567
5位	健康づくり 3.508	子ども・子育て 支援 3.453	健康づくり 3.602	健康づくり 3.524	子ども・子育て 支援 3.520	子ども・子育て 支援 3.475	健康づくり 3.603	子ども・子育て 支援 3.503
6位	子ども・子育て 支援 3.485	健康づくり 3.389	交通・道路 3.538	交通・道路 3.503	健康づくり 3.513	交通・道路 3.474	ごみ 3.584	健康づくり 3.484
7位	交通・道路 3.470	交通・道路 3.388	子ども・子育て 支援 3.509	子ども・子育て 支援 3.497	小・中学校教育 3.454	健康づくり 3.460	地域福祉 3.540	交通・道路 3.462
8位	小・中学校教育 3.442	小・中学校教育 3.374	生活環境問題 への対応 3.503	生活環境問題 への対応 3.478	生活環境問題 への対応 3.427	小・中学校教育 3.418	交通・道路 3.508	小・中学校教育 3.450
9位	自転車対策 3.437	自転車対策 3.360	小・中学校教育 3.494	自転車対策 3.470	自転車対策 3.425	自転車対策 3.405	障がい者福祉 3.454	生活環境問題 への対応 3.440
10位	生活環境問題 への対応 3.425	緑化・水辺空間 3.327	自転車対策 3.493	小・中学校教育 3.462	交通・道路 3.408	生活環境問題 への対応 3.396	子ども・子育て 支援 3.447	自転車対策 3.437

性別で見ると、男女ともに第1位は【災害対策】であり、男性の第2位は【上・下水道】、第3位は【安全対策】となっている。女性の第2位は【安全対策】、第3位は【上・下水道】と【ごみ】が同率となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も第1位は【災害対策】であり、第2位は吉祥寺地域と中央地域で【安全対策】、武蔵境地域で【上・下水道】となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、介護が必要な同居家族がいる場合の第1位は【上・下水道】、第2位は【災害対策】となっている。介護が必要な同居家族がいない場合の第1位は【災害対策】、第2位は【安全対策】となっている。（図表3-17）

図表3-18 重要度（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	小・中学校教育 3.750	災害対策 安全対策 3.540	災害対策 3.702	災害対策 3.646	災害対策 3.657	災害対策 3.614	上・下水道 3.719	ごみ 3.746
2位	交通・道路 3.667	- -	子ども・子育て 支援 3.696	安全対策 3.578	上・下水道 3.621	安全対策 3.562	ごみ 3.698	上・下水道 3.727
3位	子ども・子育て 支援 青少年施策 3.636	子ども・子育て 支援 3.532	安全対策 3.614	ごみ 3.550	安全対策 3.616	上・下水道 3.551	災害対策 3.673	安全対策 3.722
4位	- -	生活環境問題 への対応 3.493	小・中学校教育 3.600	子ども・子育て 支援 3.539	健康づくり 3.531	高齢者福祉 3.536	高齢者福祉 3.669	健康づくり 3.716
5位	自転車対策 学校施設 3.583	上・下水道 3.482	上・下水道 3.563	小・中学校教育 3.479	ごみ 3.524	ごみ 3.534	健康づくり 3.659	高齢者福祉 3.688
6位	- -	ごみ 3.478	ごみ 3.509	上・下水道 3.476	高齢者福祉 3.511	交通・道路 3.461	安全対策 3.654	災害対策 3.662
7位	健康づくり 3.545	交通・道路 小・中学校教育 3.432	生活環境問題 への対応 3.495	健康づくり 3.468	交通・道路 自転車対策 3.452	健康づくり 3.428	地域福祉 3.548	交通・道路 3.657
8位	災害対策 安全対策 生活環境問題 への対応 3.500	- -	緑化・水辺空間 3.491	緑化・水辺空間 3.418	- -	自転車対策 3.395	自転車対策 3.528	地域福祉 3.627
9位	- -	自転車対策 3.424	学校施設 3.488	交通・道路 3.394	子ども・子育て 支援 3.420	地域福祉 3.371	交通・道路 3.511	自転車対策 3.606
10位	- -	文化・学習・ スポーツ 3.417	交通・道路 3.453	生活環境問題 への対応 3.369	生活環境問題 への対応 3.385	生活環境問題 への対応 3.361	子ども・子育て 支援 3.496	障がい者福祉 3.515

年代別で見ると、第1位は、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳、60歳～69歳で【災害対策】（20歳～29歳は【安全対策】も同率第1位）、70歳～79歳で【上・下水道】、80歳以上で【ごみ】、18歳～19歳で【小・中学校教育】となっている。（図表3-18）

図表3-19 重要度（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1 位	災害対策 3. 692	災害対策 3. 615	災害対策 3. 624	上・下水道 3. 616	災害対策 3. 755	子ども・子育て 支援 3. 652	安全対策 3. 632	安全対策 3. 714
2 位	安全対策 3. 677	子ども・子育て 支援 3. 551	上・下水道 3. 613	災害対策 3. 614	上・下水道 3. 711	災害対策 安全対策 3. 617	ごみ 3. 623	ごみ 3. 679
3 位	上・下水道 3. 657	安全対策 3. 545	安全対策 ごみ 3. 559	ごみ 3. 575	安全対策 3. 706	- -	災害対策 3. 621	災害対策 自転車対策 3. 571
4 位	高齢者福祉 3. 547	上・下水道 3. 503	- -	安全対策 3. 568	ごみ 3. 705	小・中学校教育 3. 596	高齢者福祉 3. 618	- -
5 位	ごみ 3. 523	ごみ 3. 502	健康づくり 3. 495	健康づくり 3. 552	健康づくり 3. 661	青少年施策 3. 587	上・下水道 3. 607	交通・道路 3. 500
6 位	健康づくり 3. 497	小・中学校教育 3. 449	生活環境問題 への対応 3. 484	子ども・子育て 支援 3. 529	高齢者福祉 3. 629	文化・学習・ スポーツ 3. 574	健康づくり 3. 600	健康づくり 3. 483
7 位	交通・道路 3. 485	交通・道路 3. 428	自転車対策 3. 462	高齢者福祉 3. 506	交通・道路 3. 582	地域福祉 3. 565	地域福祉 3. 530	緑化・水辺空間 3. 481
8 位	自転車対策 3. 472	生活環境問題 への対応 3. 403	交通・道路 3. 430	小・中学校教育 3. 503	小・中学校教育 3. 515	上・下水道 ごみ 3. 553	交通・道路 3. 495	上・下水道 子ども・子育て 支援 小・中学校教育 生活環境問題 への対応 3. 464
9 位	子ども・子育て 支援 3. 458	健康づくり 3. 393	小・中学校教育 高齢者福祉 3. 351	自転車対策 3. 492	子ども・子育て 支援 3. 511	- -	自転車対策 3. 484	- -
10 位	緑化・水辺空間 3. 438	緑化・水辺空間 3. 392	- -	地域福祉 3. 462	自転車対策 3. 504	健康づくり 3. 543	生活環境問題 への対応 3. 417	- -

職業別で見ると、第1位は、[自営業・自由業]、[正社員、正職員]、[契約社員、派遣社員]、[家事専業]で【災害対策】、[アルバイト、パート]で【上・下水道】、[学生]で【子ども・子育て支援】、[無職]と[その他]で【安全対策】となっている。（図表3-19）

図表3-20 重要度（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	子ども・子育て 支援 3.890	子ども・子育て 支援 3.753	災害対策 3.750	上・下水道 3.605	上・下水道 3.692	災害対策 3.616	災害対策 障がい者福祉 3.833
2位	小・中学校教育 3.754	小・中学校教育 3.734	子ども・子育て 支援 3.652	災害対策 3.595	災害対策 ごみ 3.673	ごみ 3.605	- -
3位	災害対策 3.697	災害対策 3.638	安全対策 3.646	安全対策 子ども・子育て 支援 3.459	- -	上・下水道 3.604	安全対策 3.667
4位	学校施設 3.664	青少年施策 3.624	ごみ 小・中学校教育 3.583	- -	安全対策 3.653	高齢者福祉 3.575	上・下水道 健康づくり 高齢者福祉 3.500
5位	安全対策 3.630	安全対策 3.617	- -	自転車対策 3.447	健康づくり 3.542	安全対策 3.556	- -
6位	青少年施策 3.619	学校施設 3.589	上・下水道 3.563	高齢者福祉 3.432	小・中学校教育 3.531	健康づくり 3.527	- -
7位	上・下水道 3.585	ごみ 3.479	交通・道路 3.542	健康づくり 3.405	子ども・子育て 支援 3.521	自転車対策 3.513	ごみ 交通・道路 自転車対策 地域福祉 3.333
8位	自転車対策 緑化・水辺空間 3.551	健康づくり 3.473	高齢者福祉 3.522	小・中学校教育 3.378	自転車対策 3.500	交通・道路 3.500	- -
9位	- -	文化・学習・ スポーツ 3.468	健康づくり 3.457	生活環境問題 への対応 3.368	交通・道路 3.490	障がい者福祉 3.479	- -
10位	交通・道路 3.534	緑化・水辺空間 3.426	生活環境問題 への対応 3.438	文化・学習・ スポーツ 3.351	学校施設 3.469	地域福祉 3.467	- -

子どもの就学状況別で見ると、第1位は、[小学校入学前]、[小学生]の子を持つ方で【子ども・子育て支援】、[中学生]、[社会人]、[その他]の子を持つ方で【災害対策】（[その他]は【障がい者福祉】も同率第1位）、[高校生]、[専門学校、短期大学、大学生等]の子を持つ方で【上・下水道】となっている。（図表3-20）

図表3-21 重要度（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円 未満	300～500万円 未満	500～700万円 未満	700～1,000 万円未満	1,000～1,500 万円未満	1,500万円 以上
1位	上・下水道 3.861	上・下水道 3.600	災害対策 3.692	安全対策 3.669	災害対策 3.637	災害対策 3.632	災害対策 3.681	災害対策 3.632
2位	ごみ 3.829	災害対策 3.565	ごみ 3.629	災害対策 3.658	上・下水道 3.581	子ども・子育て 支援 3.599	上・下水道 3.603	安全対策 3.613
3位	地域福祉 3.778	安全対策 子ども・子育て 支援 3.553	安全対策 3.585	ごみ 3.629	安全対策 3.566	安全対策 3.572	安全対策 子ども・子育て 支援 3.602	子ども・子育て 支援 3.576
4位	健康づくり 3.771	- -	上・下水道 3.577	上・下水道 3.611	子ども・子育て 支援 3.554	上・下水道 3.554	- -	上・下水道 3.522
5位	安全対策 3.750	地域福祉 3.545	健康づくり 3.569	健康づくり 3.515	ごみ 3.517	ごみ 健康づくり 3.518	小・中学校教育 3.574	ごみ 3.512
6位	災害対策 高齢者福祉 3.722	自転車対策 3.531	高齢者福祉 3.548	自転車対策 3.507	小・中学校 教育 3.456	- -	ごみ 3.567	小・中学校 教育 3.507
7位	- -	健康づくり 3.511	地域福祉 3.510	交通・道路 3.478	交通・道路 3.453	小・中学校教育 3.492	緑化・水辺空間 3.507	健康づくり 3.482
8位	生活環境問題 への対応 3.714	交通・道路 小・中学校教育 3.500	交通・道路 3.492	生活環境問題 への対応 3.470	健康づくり 3.432	交通・道路 3.441	生活環境問題 への対応 3.469	交通・道路 3.475
9位	交通・道路 3.667	- -	生活環境問題 への対応 3.455	高齢者福祉 3.457	高齢者福祉 3.420	緑化・水辺空間 3.409	自転車対策 3.455	自転車対策 3.429
10位	自転車対策 住宅政策 3.611	障がい者福祉 3.435	自転車対策 3.451	緑化・水辺空間 3.442	自転車対策 3.367	生活環境問題 への対応 3.405	健康づくり 3.442	学校施設 3.419

世帯収入別で見ると、第1位は、[収入なし]、[100万円未満]で【上・下水道】、[300～500万円未満]で【安全対策】、それ以外では【災害対策】が第1位となっている。（図表3-21）

3-3 ニーズ得点

◎ ニーズ得点の考え方

ここでは、問15に挙げられている各種施策について、前出の『満足度』、『重要度』をもとに、市民のニーズを明らかにしている。このニーズを求める際の考え方が『ニーズ得点』である。

ニーズ得点は、『重要度』と『満足度』を図表3-22 のとおり得点化し、その差を求め、値が大きいほどニーズが高いと考える。つまりニーズが高い項目とは、「重要だと考えるが満足していない項目」となる。

具体的な計算式は以下のとおり。

○ニーズ得点…各項目の『重要度（加重平均）』×（5－『満足度（加重平均）』）

例：【自転車対策】について見ると、ニーズ得点は8.534となる。

『満足度（加重平均）』

$$(4 \text{ 点} \times 184 \text{ 件} + 3 \text{ 点} \times 620 \text{ 件} + 2 \text{ 点} \times 354 \text{ 件} + 1 \text{ 点} \times 257 \text{ 件}) \div 1,415 \text{ (合計件数)} = 2.517$$

『重要度（加重平均）』

$$(4 \text{ 点} \times 861 \text{ 件} + 3 \text{ 点} \times 695 \text{ 件} + 2 \text{ 点} \times 95 \text{ 件} + 1 \text{ 点} \times 18 \text{ 件}) \div 1,669 \text{ (合計件数)} = 3.437$$

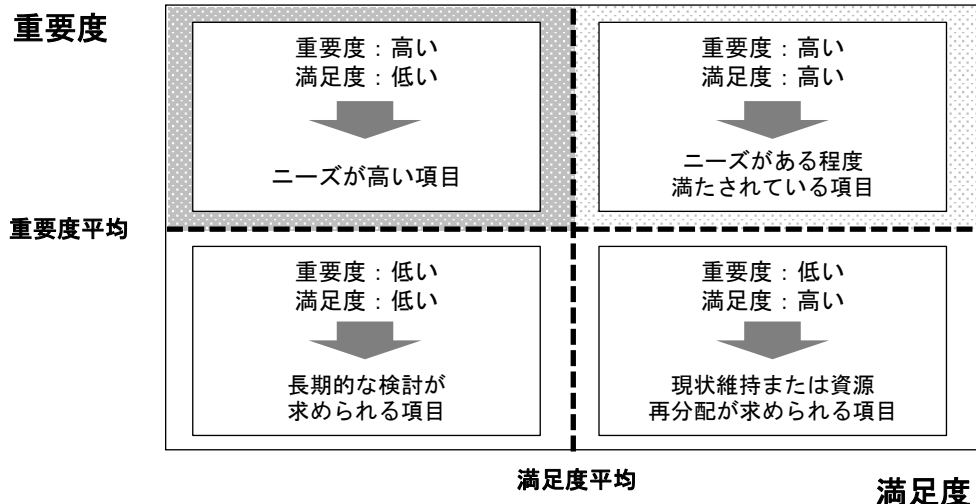
$$\text{ニーズ得点} = 3.437 \times (5 - 2.517) = 8.534$$

図表3-22 【満足度】および【重要度】の得点化

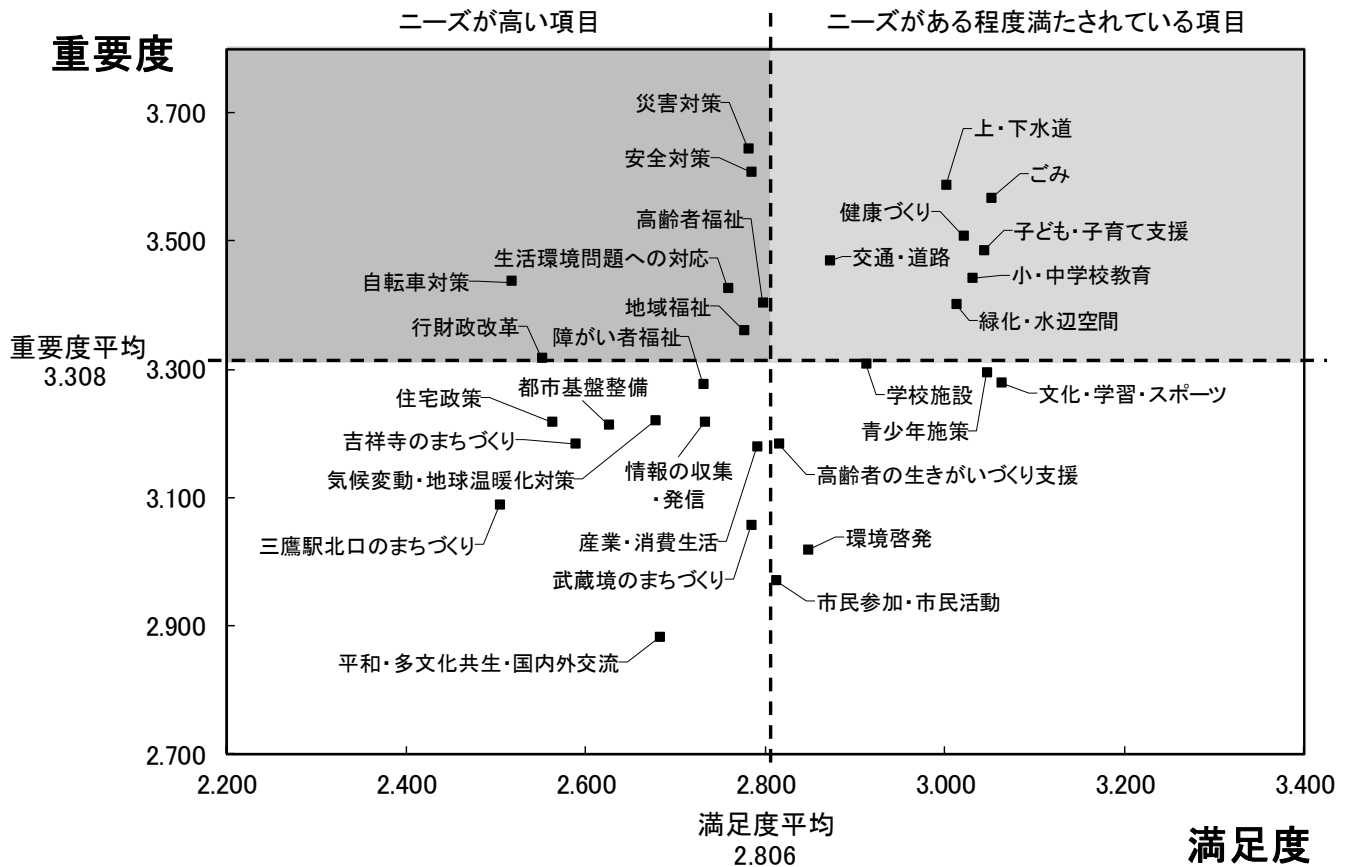
点数	4	3	2	1					4	3	2	1			
回答選択肢	満足	満足 ある程度	あまり満足 していない	不満足	合計	わからない	無回答	満足度 (加重平均)	重要	重要 ある程度	重要でない あまり	重要でない	合計	無回答	重要度 (加重平均)
件数	184	620	354	257	1,415	276	44	2.517	861	695	95	18	1,669	66	3.437

また、上記の『ニーズ得点』に加え、数値化した『重要度』と『満足度』により散布図を作成することで、ニーズの高い項目を確認できる。

下図のように、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとった散布図を「重要度平均」および「満足度平均」で4つに分割すると、図の右下に位置するほど重要度が高く満足度も高い項目であることを示している。また、左上に位置するものは、重要度が高く満足度の低い項目、すなわちニーズが高い項目となる。以下では、「ニーズがある程度満たされている項目」および「ニーズが高い項目」に焦点を当てて、各種施策を見ていくこととする。



図表3-23 散布図（満足度・重要度）



上の散布図において、左上（重要度が高く、満足度が低い：ニーズが高い項目）に位置するのは、【自転車対策】、【行財政改革】、【災害対策】、【安全対策】、【生活環境問題への対応】、【高齢者福祉】、【地域福祉】である。一方、【交通・道路】、【上・下水道】、【ごみ】、【健康づくり】、【子ども・子育て支援】、【小・中学校教育】、【緑化・水辺空間】は右上（重要度が高く、満足度も高い）に位置し、ニーズがある程度満たされている項目であることがわかる。（図表3-23）

「満足」から「不満足」までの４段階の回答を４～１の点数に直し、「わからない」と無回答を除いた回答の平均値を『満足度（加重平均）』、「重要」から「重要でない」までの４段階の回答を４～１の点数に直し、無回答を除いた回答の平均値を『重要度（加重平均）』として、各項目の『重要度（加重平均）』×（５－『満足度（加重平均）』）の計算結果を『ニーズ得点』として求めた。『ニーズ得点』は、【自転車対策】（８.５３４）が最も高く、【行財政改革】（８.１２３）が次いで高くなっている。以下、【災害対策】（８.０８６）、【安全対策】（７.９９０）、【住宅政策】（７.８４２）と続いている。（図表３－２４）

図表３－２４ 項目別ニーズ得点

（点数順）

順位		ニーズ 得点	前回	前回 順位
1	自転車対策	8.534	8.387	1
2	行財政改革	8.123	8.377	2
3	災害対策	8.086	8.290	3
4	安全対策	7.990	7.813	5
5	住宅政策	7.842	7.783	6
6	三鷹駅北口のまちづくり	7.705	－	－
7	吉祥寺のまちづくり	7.680	－	－
8	生活環境問題への対応	7.679	7.573	10
9	都市基盤整備	7.629	7.426	13
10	高齢者福祉	7.499	8.001	4
11	気候変動・地球温暖化対策	7.475	7.643	8
12	地域福祉	7.473	7.685	7
13	障がい者福祉	7.437	7.438	12
14	交通・道路	7.384	7.599	9
15	情報の収集・発信	7.295	7.508	11
16	上・下水道	7.168	7.021	17
17	産業・消費生活	7.023	7.089	14
18	高齢者の生きがいづくり支援	6.955	－	－
19	ごみ	6.947	6.759	21
20	健康づくり	6.942	7.052	16
21	学校施設	6.905	－	－
22	子ども・子育て支援	6.820	6.946	18
23	小・中学校教育	6.777	7.061	15
24	武蔵境のまちづくり	6.772	－	－
25	緑化・水辺空間	6.758	6.849	19
26	平和・多文化共生・国内外交流	6.680	6.761	20
27	市民参加・市民活動	6.498	6.612	23
28	環境啓発	6.495	6.739	22
29	青少年施策	6.436	6.362	24
30	文化・学習・スポーツ	6.351	6.257	25

※「三鷹駅北口のまちづくり」は今回調査にて追加した。

※「吉祥寺のまちづくり」は今回調査にて追加した。

※「生活環境問題への対応」は、前回調査では「生活環境」であった。

※「高齢者の生きがいづくり支援」は今回調査にて追加した。

※「学校施設」は今回調査にて追加した。

※「武蔵境のまちづくり」は今回調査にて追加した。

図表3-25 ニーズ得点（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族の有無	
							いる	いない
1位	自転車対策 8.534	自転車対策 8.346	自転車対策 8.645	自転車対策 8.668	自転車対策 8.696	自転車対策 8.206	行財政改革 8.650	自転車対策 8.524
2位	行財政改革 8.123	安全対策 8.065	災害対策 8.114	吉祥寺の まちづくり 8.392	三鷹駅北口の まちづくり 8.574	行財政改革 8.083	吉祥寺の まちづくり 8.596	行財政改革 8.050
3位	災害対策 8.086	行財政改革 8.051	住宅政策 8.078	災害対策 8.305	災害対策 8.057	災害対策 7.876	都市基盤整備 8.578	災害対策 8.023
4位	安全対策 7.990	災害対策 7.970	行財政改革 8.067	安全対策 8.295	行財政改革 7.953	安全対策 7.850	災害対策 8.557	安全対策 7.972
5位	住宅政策 7.842	吉祥寺の まちづくり 7.772	安全対策 7.891	行財政改革 8.240	住宅政策 7.820	住宅政策 7.831	自転車対策 8.546	住宅政策 7.764
6位	三鷹駅北口の まちづくり 7.705	三鷹駅北口の まちづくり 7.751	生活環境問題 への対応 7.647	生活環境問題 への対応 8.059	安全対策 7.800	交通・道路 7.480	住宅政策 8.468	生活環境問題 への対応 7.671
7位	吉祥寺の まちづくり 7.680	都市基盤整備 7.663	吉祥寺の まちづくり 7.645	都市基盤整備 7.966	都市基盤整備 7.636	地域福祉 7.465	高齢者福祉 8.461	三鷹駅北口の まちづくり 7.663
8位	生活環境問題 への対応 7.679	生活環境問題 への対応 7.641	三鷹駅北口の まちづくり 7.633	住宅政策 7.902	生活環境問題 への対応 7.608	気候変動・地球 温暖化対策 7.407	気候変動・地球 温暖化対策 8.398	吉祥寺の まちづくり 7.539
9位	都市基盤整備 7.629	住宅政策 7.506	気候変動・地球 温暖化対策 7.613	気候変動・地球 温暖化対策 7.601	障がい者福祉 7.540	生活環境問題 への対応 7.396	障がい者福祉 8.362	都市基盤整備 7.500
10位	高齢者福祉 7.499	高齢者福祉 7.287	高齢者福祉 7.610	上・下水道 7.578	情報の収集・ 発信 7.377	武蔵境の まちづくり 7.364	安全対策 8.356	交通・道路 7.398

性別で見ると、男女ともに第1位は【自転車対策】となっており、第2位は男性が【安全対策】、女性が【災害対策】となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も第1位は【自転車対策】となっており、第2位は吉祥寺地域で【吉祥寺のまちづくり】、中央地域で【三鷹駅北口のまちづくり】、武蔵境地域で【行財政改革】となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、介護が必要な同居家族がいる場合は第1位が【行財政改革】、第2位が【吉祥寺のまちづくり】、介護が必要な同居家族がいない場合は第1位が【自転車対策】、第2位が【行財政改革】となっている。（図表3-25）

図表3-26 ニーズ得点（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	交通・道路 8.251	自転車対策 8.129	災害対策 8.496	自転車対策 8.258	自転車対策 8.413	行財政改革 8.777	自転車対策 9.070	自転車対策 8.705
2位	平和・多文化共生・国内外交流 8.142	子ども・子育て支援 7.417	自転車対策 8.488	障がい者福祉 8.153	安全対策 8.165	自転車対策 8.552	行財政改革 8.785	吉祥寺のまちづくり 8.244
3位	自転車対策 7.818	行財政改革 7.117	安全対策 8.142	行財政改革 7.892	災害対策 8.148	住宅政策 8.159	都市基盤整備 8.530	三鷹駅北口のまちづくり 8.192
4位	行財政改革 7.223	三鷹駅北口のまちづくり 6.913	生活環境問題への対応 7.948	三鷹駅北口のまちづくり 7.873	住宅政策 8.044	高齢者福祉 8.147	吉祥寺のまちづくり 8.516	災害対策 8.188
5位	高齢者福祉 7.201	生活環境問題への対応 6.822	行財政改革 7.739	地域福祉 7.818	行財政改革 7.884	災害対策 8.139	災害対策 8.499	安全対策 8.166
6位	学校施設 7.166	情報の収集・発信 6.778	学校施設 7.499	住宅政策 7.794	生活環境問題への対応 7.721	安全対策 8.136	安全対策 8.488	高齢者福祉 8.036
7位	安全対策 生活環境問題への対応 7.000	災害対策 6.740	子ども・子育て支援 7.392	災害対策 7.759	高齢者福祉 7.608	都市基盤整備 8.084	住宅政策 8.444	気候変動・地球温暖化対策 8.022
8位	- -	交通・道路 6.641	三鷹駅北口のまちづくり 7.356	安全対策 7.646	都市基盤整備 7.472	吉祥寺のまちづくり 8.067	気候変動・地球温暖化対策 8.400	障がい者福祉 7.933
9位	子ども・子育て支援 6.752	青少年施策 6.622	都市基盤整備 7.352	吉祥寺のまちづくり 7.485	三鷹駅北口のまちづくり 7.460	三鷹駅北口のまちづくり 7.885	高齢者福祉 8.336	住宅政策 7.797
10位	吉祥寺のまちづくり 6.730	健康づくり 6.596	小・中学校教育 7.265	生活環境問題への対応 7.449	交通・道路 7.425	生活環境問題への対応 7.858	三鷹駅北口のまちづくり 8.121	行財政改革 7.671

年代別で見ると、第1位は、20歳～29歳、40歳～49歳、50歳～59歳、70歳～79歳、80歳以上で【自転車対策】、18歳～19歳で【交通・道路】、30歳～39歳で【災害対策】、60歳～69歳で【行財政改革】となっている。（図表3-26）

図表3-27 ニーズ得点（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1位	安全対策 8.520	自転車対策 8.300	住宅政策 8.617	住宅政策 8.822	自転車対策 8.778	自転車対策 7.953	自転車対策 9.198	安全対策 9.285
2位	自転車対策 8.510	災害対策 8.065	自転車対策 8.212	自転車対策 8.175	災害対策 8.528	行財政改革 6.990	行財政改革 8.481	行財政改革 9.185
3位	行財政改革 8.481	安全対策 7.937	生活環境問題 への対応 7.919	行財政改革 8.035	高齢者福祉 8.267	交通・道路 6.966	吉祥寺の まちづくり 8.256	都市基盤整備 8.956
4位	災害対策 8.248	行財政改革 7.911	災害対策 7.788	災害対策 7.850	安全対策 8.224	平和・多文化共生 ・国内外交流 6.941	三鷹駅北口の まちづくり 8.201	自転車対策 8.928
5位	都市基盤整備 8.168	三鷹駅北口の まちづくり 7.759	地域福祉 7.686	三鷹駅北口の まちづくり 7.827	住宅政策 8.051	気候変動・地球 温暖化対策 6.894	安全対策 8.121	交通・道路 8.680
6位	吉祥寺の まちづくり 8.136	生活環境問題 への対応 7.698	障がい者福祉 7.672	安全対策 7.746	行財政改革 8.011	産業・消費生活 6.875	災害対策 8.104	小・中学校教育 8.660
7位	生活環境問題 への対応 8.076	吉祥寺の まちづくり 7.440	行財政改革 7.623	地域福祉 7.627	吉祥寺の まちづくり 7.952	都市基盤整備 6.814	高齢者福祉 8.075	情報の収集・ 発信 8.186
8位	気候変動・地球 温暖化対策 7.849	都市基盤整備 7.377	高齢者福祉 7.540	高齢者福祉 7.566	地域福祉 7.903	生活環境問題 への対応 6.743	障がい者福祉 8.037	生活環境問題 への対応 8.140
9位	情報の収集・ 発信 7.815	住宅政策 7.369	平和・多文化共生 ・国内外交流 7.412	障がい者福祉 7.508	気候変動・地球 温暖化対策 7.868	市民参加・ 市民活動 6.701	都市基盤整備 8.019	災害対策 8.035
10位	住宅政策 7.777	交通・道路 7.271	安全対策 7.303	情報の収集・ 発信 7.492	障がい者福祉 7.775	健康づくり 6.693	住宅政策 7.975	吉祥寺の まちづくり 7.982

職業別で見ると、第1位は、[自営業・自由業]、[その他]で【安全対策】、[契約社員、派遣社員]、[アルバイト、パート]で【住宅政策】、それ以外の職業では【自転車対策】が第1位となっている。（図表3-27）

図表3-28 ニーズ得点（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1 位	自転車対策 9.186	行財政改革 7.836	地域福祉 8.810	自転車対策 8.714	自転車対策 8.565	自転車対策 8.821	障がい者福祉 11.499
2 位	災害対策 8.285	住宅政策 7.781	災害対策 8.479	障がい者福祉 8.237	安全対策 8.190	都市基盤整備 8.703	行財政改革 10.134
3 位	行財政改革 8.249	自転車対策 7.660	安全対策 8.462	災害対策 8.135	災害対策 8.106	吉祥寺の まちづくり 8.630	自転車対策 9.999
4 位	学校施設 8.211	三鷹駅北口の まちづくり 7.555	自転車対策 8.105	吉祥寺の まちづくり 8.047	交通・道路 7.954	行財政改革 8.610	情報の収集・ 発信 9.501
5 位	安全対策 8.095	都市基盤整備 7.553	交通・道路 7.927	住宅政策 8.008	三鷹駅北口の まちづくり 7.675	高齢者福祉 8.544	住宅政策 9.442
6 位	小・中学校教育 への対応 7.816	生活環境問題 への対応 7.338	高齢者福祉 7.925	上・下水道 7.981	都市基盤整備 7.661	災害対策 8.396	災害対策 9.199
7 位	吉祥寺の まちづくり 7.779	交通・道路 7.215	生活環境問題 への対応 7.708	三鷹駅北口の まちづくり 7.964	生活環境問題 への対応 7.477	障がい者福祉 8.186	安全対策 9.168
8 位	生活環境問題 への対応 7.722	安全対策 7.173	吉祥寺の まちづくり 7.588	行財政改革 7.926	上・下水道 7.384	三鷹駅北口の まちづくり 8.149	吉祥寺の まちづくり 8.972
9 位	都市基盤整備 7.686	地域福祉 7.154	情報の収集・ 発信 7.533	安全対策 7.703	気候変動・地球 温暖化対策 7.337	安全対策 8.118	高齢者福祉 8.750
10 位	子ども・子育て 支援 7.683	吉祥寺の まちづくり 7.110	気候変動・地球 温暖化対策 7.422	交通・道路 7.697	情報の収集・ 発信 7.324	気候変動・地球 温暖化対策 8.083	都市基盤整備 8.001

子どもの就学状況別で見ると、第1位は、[小学校入学前]、[高校生]、[専門学校、短期大学、大学生等]、[社会人]の子を持つ方で【自転車対策】、[小学生]の子を持つ方で【行財政改革】、[中学生]の子を持つ方で【地域福祉】、[その他]で【障がい者福祉】となっている。（図表3-28）

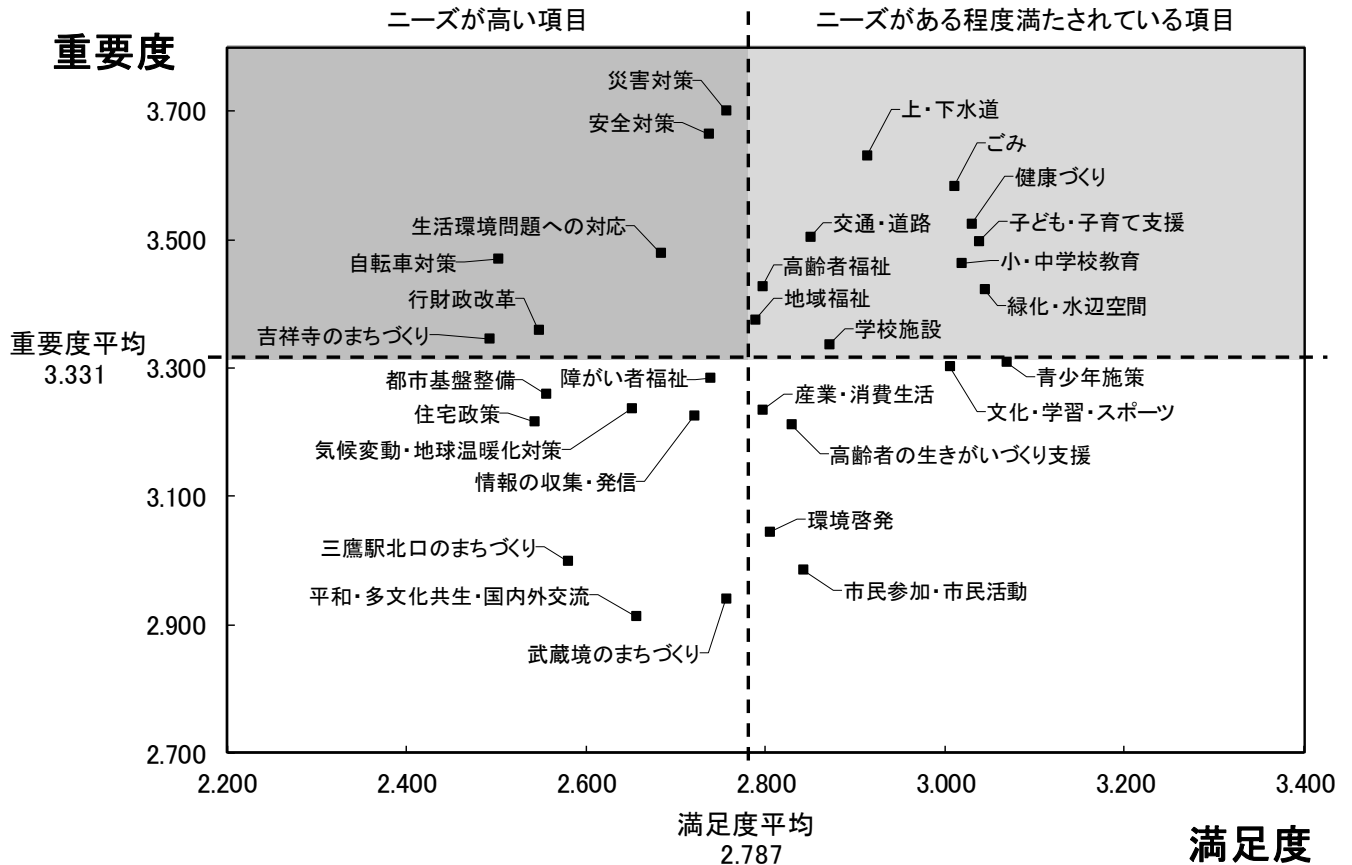
図表3-29 ニーズ得点（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円 未満	300～500万円 未満	500～700万円 未満	700～1,000 万円未満	1,000～1,500 万円未満	1,500万円 以上
1位	住宅政策 8.024	自転車対策 9.361	自転車対策 9.021	自転車対策 9.024	災害対策 8.303	自転車対策 8.430	行財政改革 8.133	行財政改革 8.273
2位	自転車対策 7.879	安全対策 8.023	住宅政策 8.733	住宅政策 8.465	安全対策 8.048	災害対策 8.147	災害対策 8.072	自転車対策 8.110
3位	生活環境問題 への対応 7.799	高齢者福祉 7.948	高齢者福祉 8.466	安全対策 8.439	自転車対策 8.003	行財政改革 7.930	自転車対策 8.040	吉祥寺の まちづくり 8.101
4位	健康づくり 7.542	交通・道路 7.746	安全対策 8.346	災害対策 8.373	行財政改革 7.836	住宅政策 7.802	安全対策 7.705	都市基盤整備 7.855
5位	三鷹駅北口の まちづくり 7.463	行財政改革 7.697	地域福祉 8.343	行財政改革 8.177	住宅政策 7.631	安全対策 7.780	三鷹駅北口の まちづくり 7.643	生活環境問題 への対応 7.687
6位	気候変動・地球 温暖化対策 7.327	災害対策 7.640	災害対策 8.289	生活環境問題 への対応 8.127	地域福祉 7.549	都市基盤整備 7.769	住宅政策 7.616	災害対策 7.609
7位	都市基盤整備 7.260	地域福祉 7.561	行財政改革 8.222	高齢者福祉 8.006	三鷹駅北口の まちづくり 7.491	吉祥寺の まちづくり 7.649	生活環境問題 への対応 7.611	交通・道路 7.534
8位	上・下水道 7.224	情報の収集・ 発信 7.531	障がい者福祉 8.182	三鷹駅北口の まちづくり 7.964	障がい者福祉 7.465	交通・道路 7.601	吉祥寺の まちづくり 7.514	安全対策 7.526
9位	ごみ 7.206	気候変動・地球 温暖化対策 7.519	三鷹駅北口の まちづくり 8.170	吉祥寺の まちづくり 7.942	生活環境問題 への対応 7.351	生活環境問題 への対応 7.586	障がい者福祉 7.316	高齢者福祉 7.324
10位	地域福祉 7.016	高齢者の生きが いづくり支援 7.481	気候変動・地球 温暖化対策 8.064	都市基盤整備 7.873	高齢者福祉 7.257	気候変動・地球 温暖化対策 7.292	都市基盤整備 7.249	三鷹駅北口の まちづくり 7.276

世帯収入別で見ると、第1位は、[100万円未満]、[100～300万円未満]、[300～500万円未満]、[700～1,000万円未満]で【自転車対策】となっており、[1,000～1,500万円未満]、[1,500万円以上]で【行財政改革】、[収入なし]で【住宅政策】、[500～700万円未満]で【災害対策】となっている。（図表3-29）

3-4 満足度と重要度の分析（居住地域別）

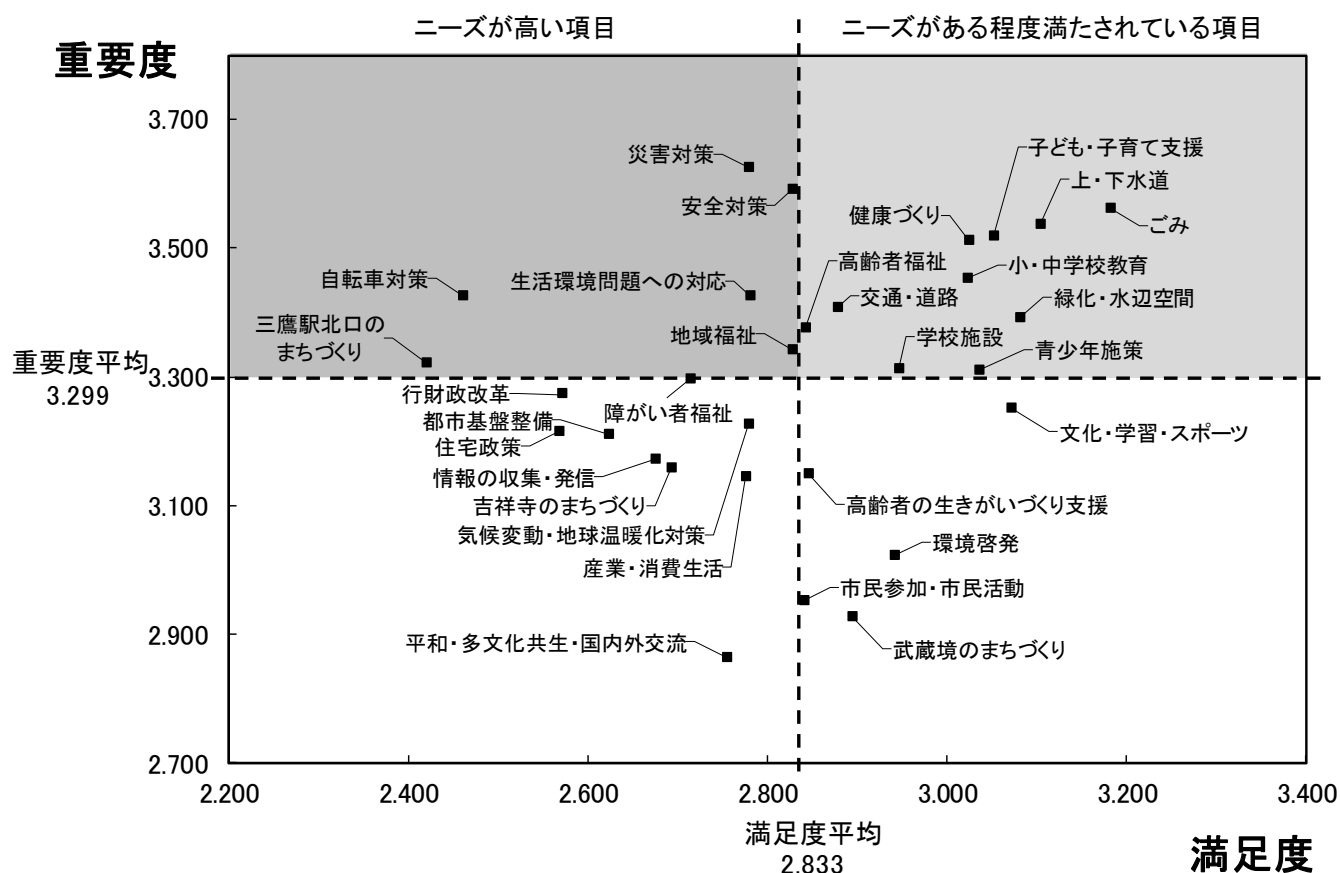
図表3-30 散布図（満足度・重要度）吉祥寺地域



吉祥寺地域では、【自転車対策】、【吉祥寺のまちづくり】、【災害対策】、【安全対策】、【行財政改革】、【生活環境問題への対応】がニーズの高い項目となっている。

一方、【上・下水道】、【高齢者福祉】、【交通・道路】、【地域福祉】、【ごみ】、【学校施設】、【健康づくり】、【小・中学校教育】、【子ども・子育て支援】、【緑化・水辺空間】はニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表3-30）

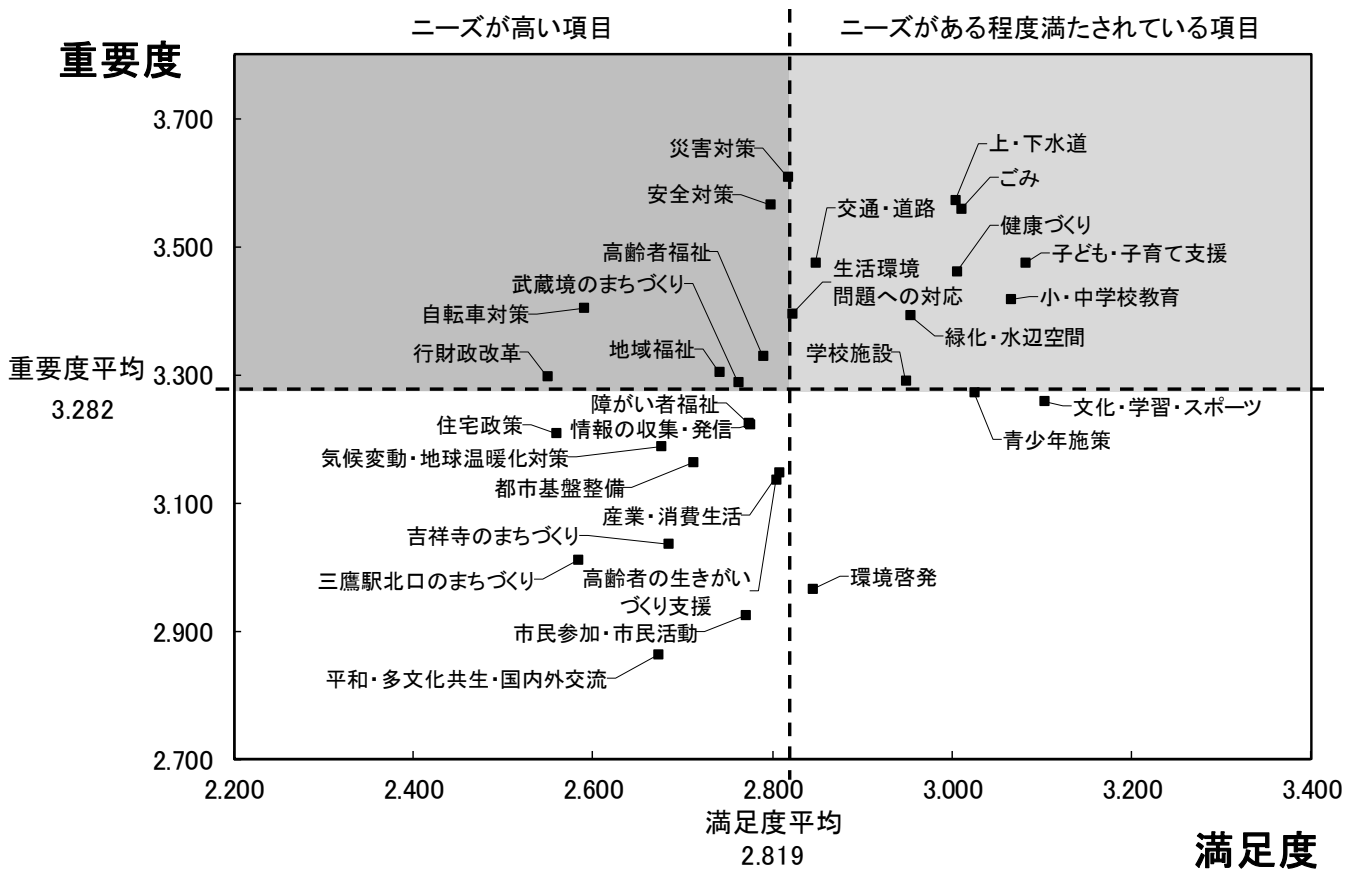
図表3-31 散布図（満足度・重要度）中央地域



中央地域では、【自転車対策】、【三鷹駅北口のまちづくり】、【災害対策】、【安全対策】、【生活環境問題への対応】、【地域福祉】がニーズの高い項目となっている。

一方、【高齢者福祉】、【交通・道路】、【健康づくり】、【子ども・子育て支援】、【小・中学校教育】、【学校施設】、【上・下水道】、【緑化・水辺空間】、【青少年施策】、【ごみ】はニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表3-31）

図表3-32 散布図（満足度・重要度）武蔵境地域



武蔵境地域では、【自転車対策】、【行財政改革】、【災害対策】、【安全対策】、【地域福祉】、【武蔵境のまちづくり】、【高齢者福祉】がニーズの高い項目となっている。

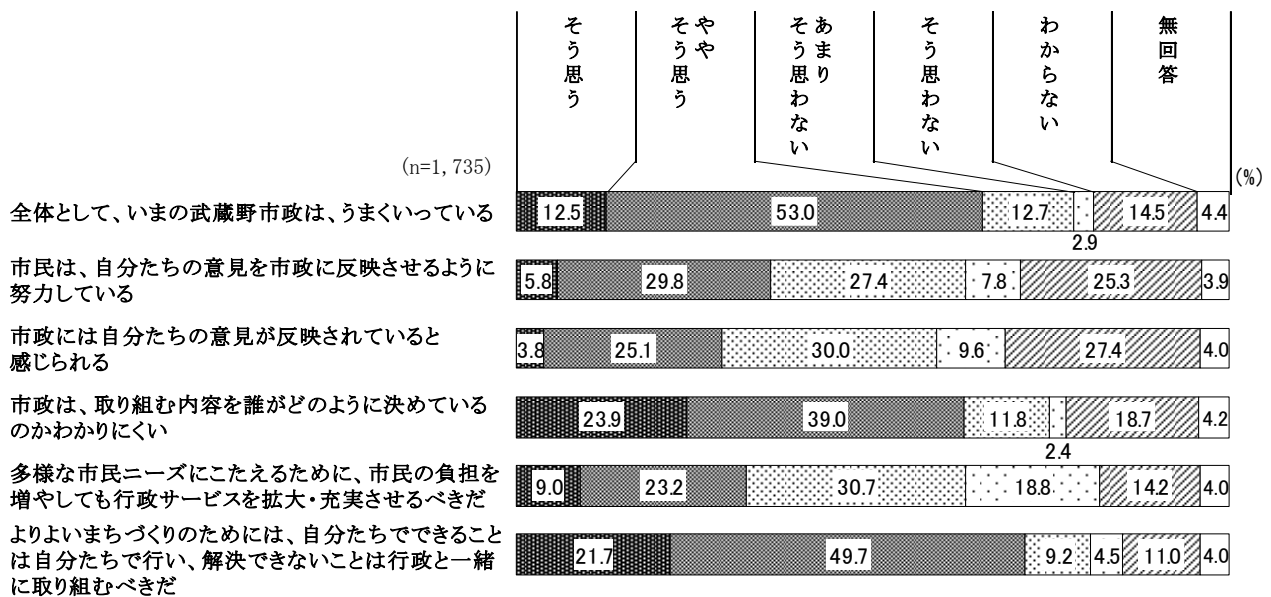
一方、【交通・道路】、【生活環境問題への対応】、【上・下水道】、【ごみ】、【緑化・水辺空間】、【健康づくり】、【学校施設】、【子ども・子育て支援】、【小・中学校教育】はニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表3-32）

3-5 市政の現状や問題点

◎ 『そう思う』は、【全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている】では6割台半ば、【よりよいまちづくりのためには、自分たちでできることは自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒に取り組むべきだ】では7割台前半である。

問16 市政の現状や問題点についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

図表3-33 市政の現状や問題点



市政に対する現状や問題点は、【全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている】は、「そう思う」(12.5%)と「ややそう思う」(53.0%)を合わせた『そう思う』(65.5%)が6割台半ばとなっている。

【市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している】は、『そう思う』(35.6%)が、「あまりそう思わない」(27.4%)と「そう思わない」(7.8%)を合わせた『そう思わない』(35.2%)と拮抗している。

【市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる】は、『そう思わない』(39.6%)が『そう思う』(28.9%)を10.7ポイント上回っている。

【市政は、取り組む内容を誰がどのように決めているのかわかりにくい】は、『そう思う』(62.9%)が6割台前半となっている。

【多様な市民ニーズにこたえるために、市民の負担を増やしても行政サービスを拡大・充実させるべきだ】は、『そう思わない』(49.5%)が約半数を占めている。

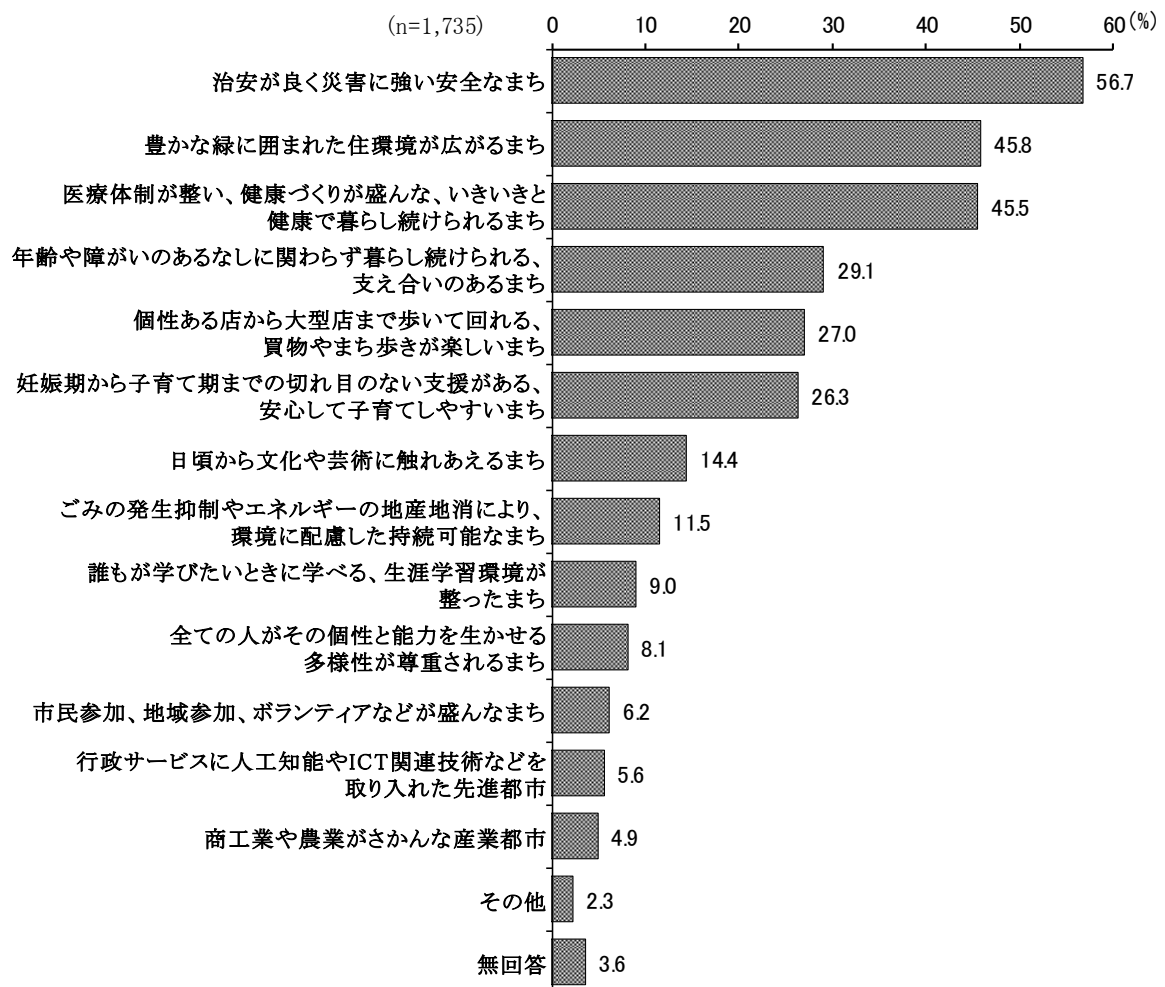
【よりよいまちづくりのためには、自分たちでできることは自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒にとりくむべきだ】は、「そう思う」(21.7%)と「ややそう思う」(49.7%)を合わせた『そう思う』(71.4%)が7割を超えている。(図表3-33)

3－6 武蔵野市の将来像

◎ 「治安が良く災害に強い安全なまち」が5割台半ば、「豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」が4割台半ばである。

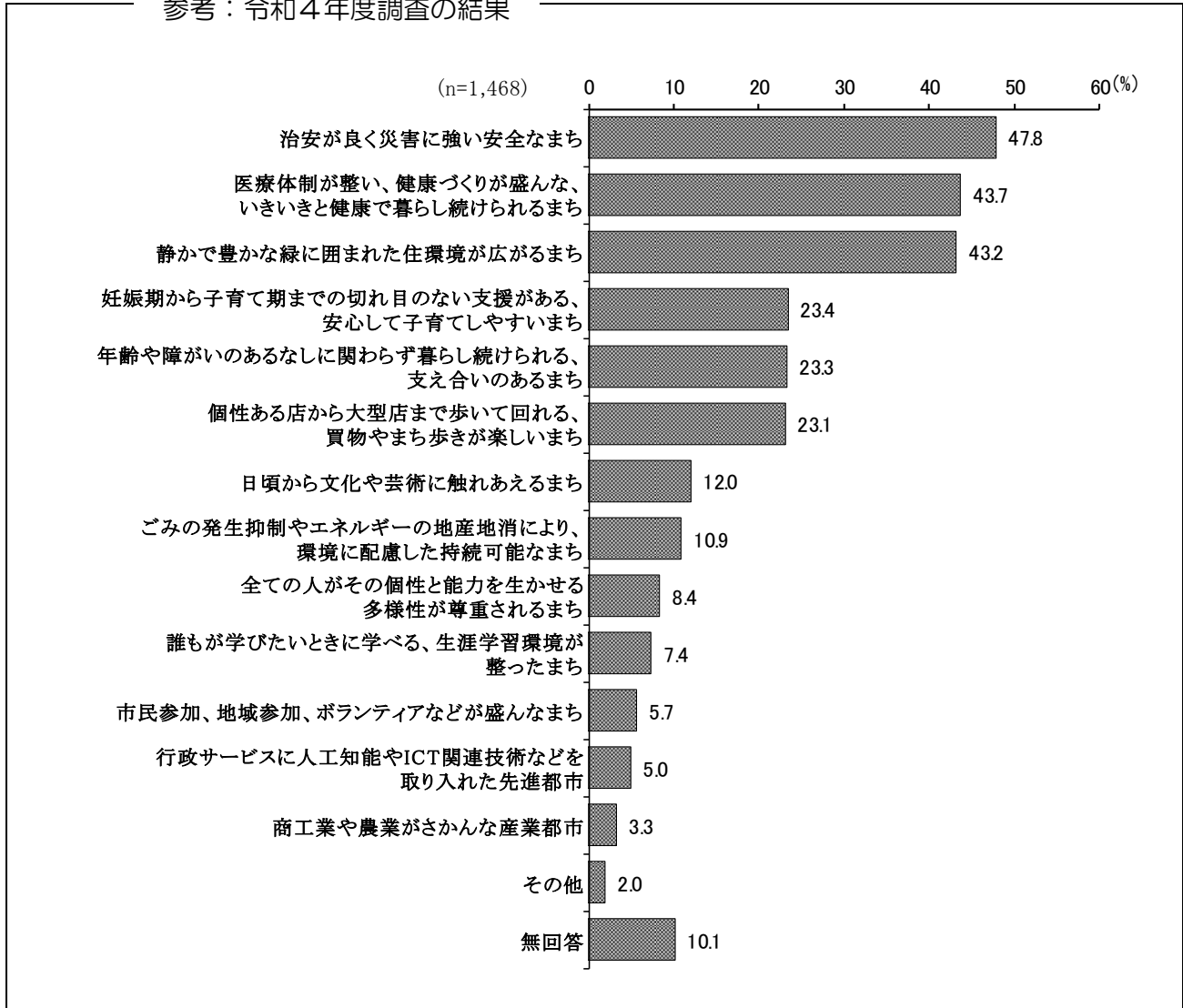
問17 武蔵野市は、これからどのようになれば、より魅力的で活力あふれる都市(まち)になると思いますか。(○は3つまで)

図表3－34 武蔵野市の将来像



武蔵野市の将来像は、「治安が良く災害に強い安全なまち」(56.7%)が5割台半ばで最も高く、次いで「豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」(45.8%)、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」(45.5%)が4割台半ば、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」(29.1%)、「個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち」(27.0%)、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」(26.3%)が2割台後半と続いている。(図表3－34)

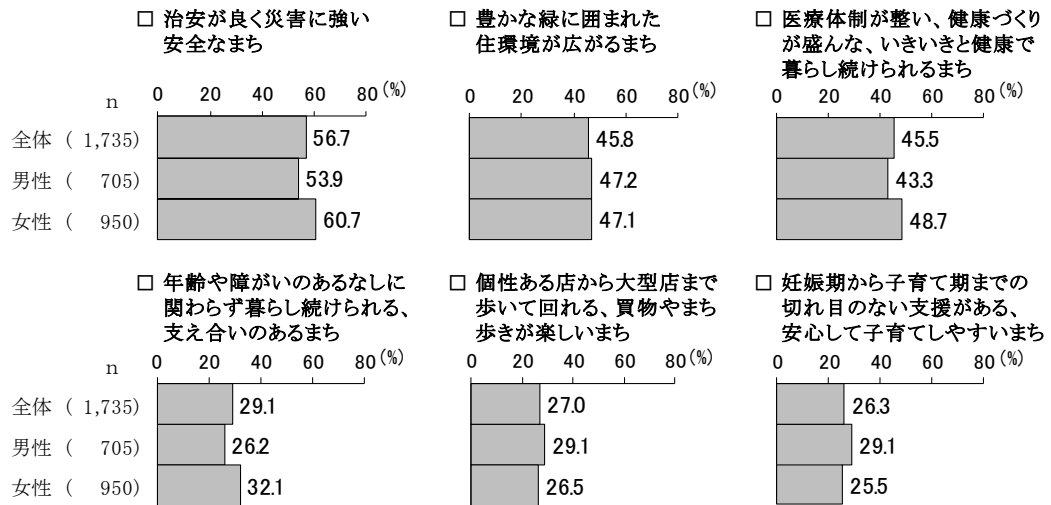
参考：令和4年度調査の結果



※「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」は、今回調査では「豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」である。

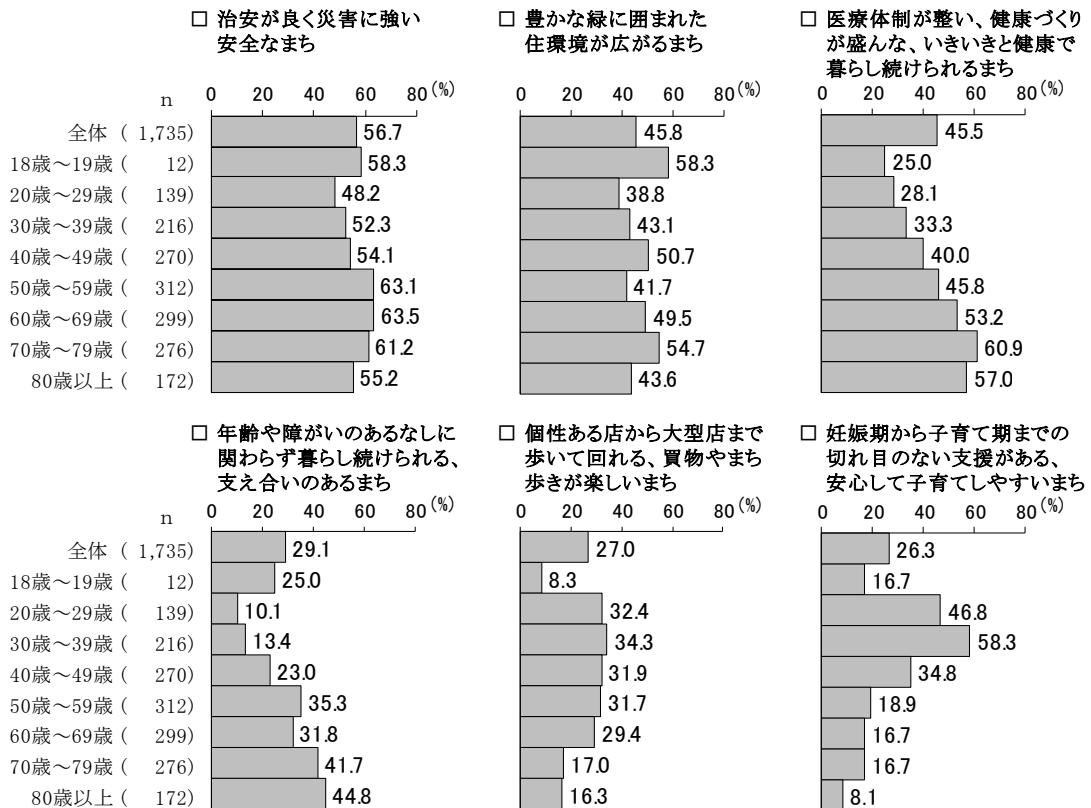
前回調査と比較すると、第1位は前回と同様「治安が良く災害に強い安全なまち」であるが、割合は8.9ポイント増加している。「豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」は2.6ポイント増加し、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」と順位が入れ替わり、第2位となった。また、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は5.8ポイント増加し、第4位となった。

図表3-35 武蔵野市の将来像（性別）上位6項目



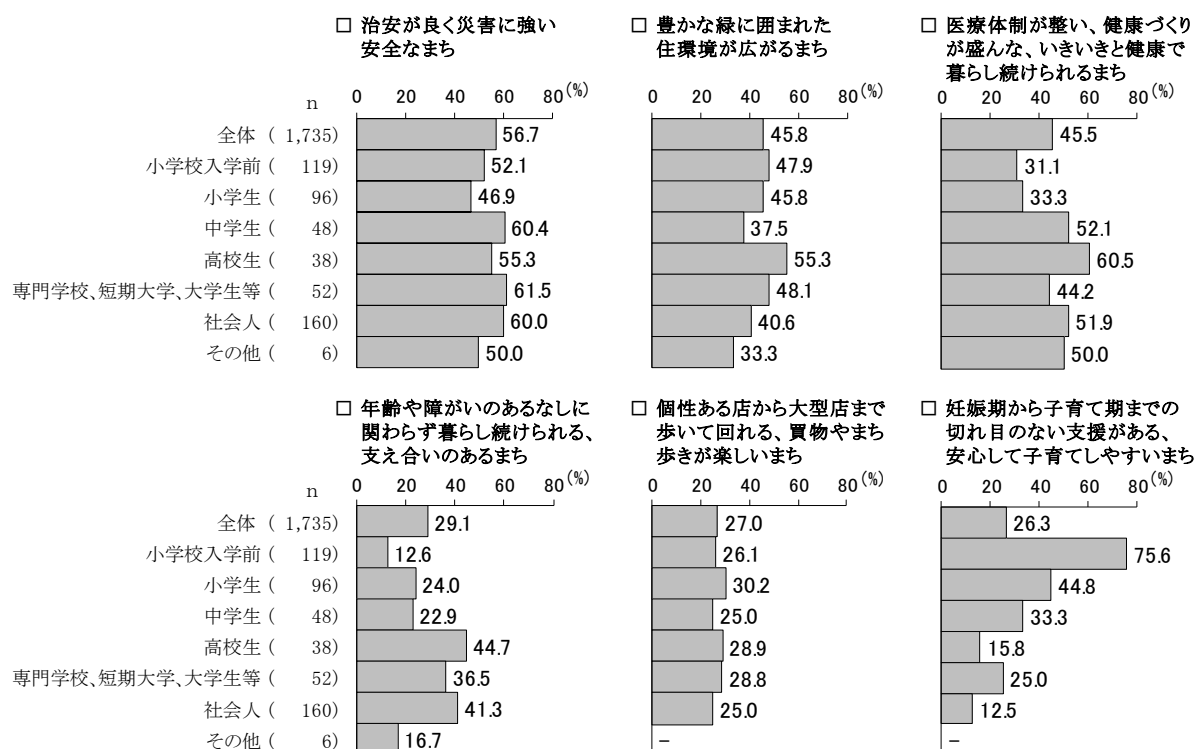
上位6項目について、性別で見ると、女性の方が男性より「治安が良く災害に強い安全なまち」は6.8ポイント、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は5.9ポイント、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」は5.4ポイント高くなっている。（図表3-35）

図表3-36 武蔵野市の将来像（年代別）上位6項目



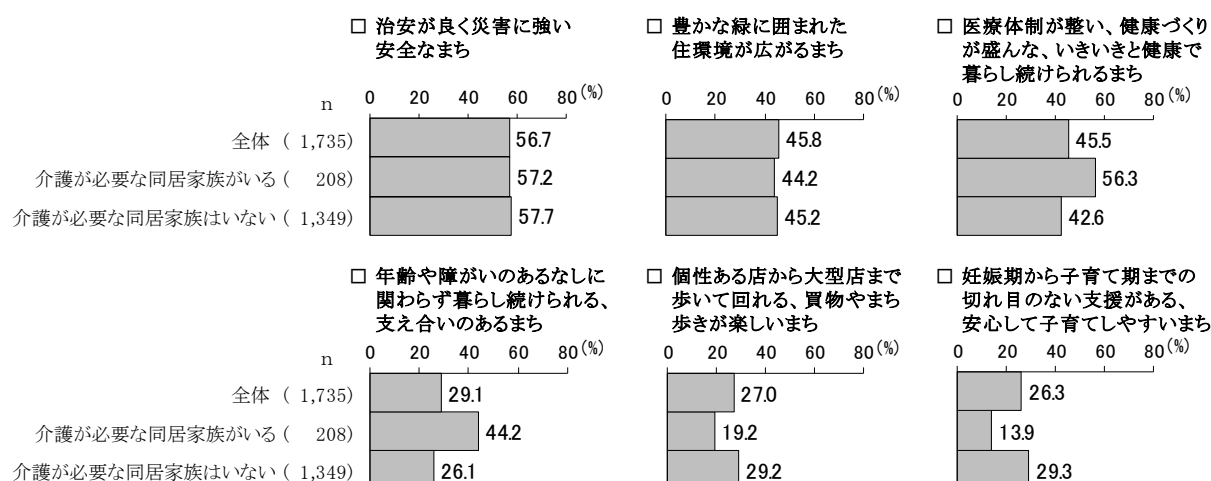
年代別で見ると、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は、概ね年代が上がるほど高い傾向がある。また、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は、30歳～39歳で6割近くと最も高くなっている。（図表3-36）

図表3－37 武蔵野市の将来像（子どもの就学状況別）上位6項目



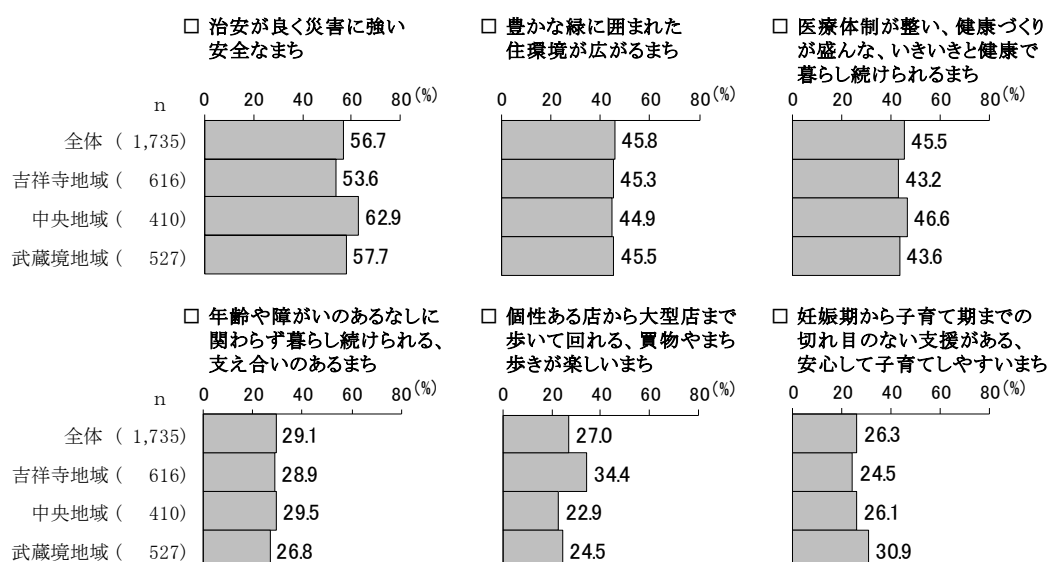
子どもの就学状況別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」は、[中学生]、[専門学校、短期大学、大学生等]、[社会人]の子を持つ方で6割を超えて高くなっている。「豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は、[高校生]の子を持つ方で最も高くなっている。「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は、[小学校入学前]の子を持つ方で7割台半ばと最も高くなっている。（図表3－37）

図表3-38 武蔵野市の将来像（介護が必要な同居家族の有無別）上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、介護が必要な同居家族がいる場合の方が「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は18.1ポイント、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」は13.7ポイント高くなっている。一方、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は15.4ポイント、「個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち」は10.0ポイント、介護が必要な同居家族がいない場合の方が高くなっている。（図表3-38）

図表3-39 武蔵野市の将来像（居住地域別）上位6項目



居住地域別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」は中央地域で他の地域と比べて高くなっている。「個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち」は吉祥寺地域で他の地域と比べて高くなっている。また、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は武蔵境地域で他の地域と比べて高くなっている。（図表3-39）

4 市政についての自由回答

市政についての意見や要望、市政に対するアイデアとして合計797件の回答が寄せられた。一人の回答が複数の内容にわたる場合には、本文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、これを武蔵野市第六期長期計画における施策体系に沿って分類・整理したため、合計件数は延べ件数となる。なお、下記の項目に該当しない回答が59件あった。

寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して掲載する。なお、固有名詞や長文等は一部省略等している。

7-1 健康・福祉(72件)

分類	内容	性別	年齢	地域
まちぐるみの支え合いを実現するための取り組み	デンミリオンハウス等、利用しやすい施設が多いことは武蔵野市に住んで良かったことのひとつでした。これからも続けていただけたらと思います。	女性	50 歳～59 歳	中央地域
	介護認定がとれないけど生活に困っている高齢者に対して何かサポートを少しでもできればもう少し楽になれるのでは。デイサービス以外で高齢者同士交流できたり、家に引きこもらないような、認定関係なく集まれる場所とか。 認定がとれなくて、元気だったとしても高齢になれば大変なことや困っているところなどはみんなあるはず。	女性	20 歳～29 歳	武蔵境地域
	吉祥寺東町内に精神障害者のデイケア、作業所を作っていただきたいです。日中行き場がない人々が気軽にに行ける場所を作っていただきたいです。年齢や性別や障害など関係なく人との交流をもてる場所がほしいです。	女性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
生命と健康を守る地域医療充実への取り組みと連携の強化	現在の日常生活は快適に維持できている。しかし、高齢のため医療・介護の必要性は増している。徒歩による移動では大きな不安がある。訪問医療・介護は理想であるが、その質は不安がある。それ以上に、現在の社会を見ると望んではいけないようだ。徒歩5分程で医療・介護の拠点を整備していただけるとありがたい。一拠点あたりの人口を考慮する必要はあるが。	男性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
	市民への健康診査が充実してるのがいいと思います。私は3年前に市の眼科健康診査で緑内障を発見することができました。この診査を受けていなかったら見つかっていなかったことでしょう。健康診断の大切さをもっと市民に訴えてもいいと思います。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	吉祥寺駅周辺の医療を支えていた森本病院、吉祥寺南病院が診療をやめてしまい、入院病床、救急搬送の先が減ってしまった事に危惧しており、早急の解決案を市として提示してほしいです。	男性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実	ひとり暮らしの高齢者が孤立しないよう、何でも相談できる「よろず相談コーナー」を設ける。孤立した住民が増えると社会全体の問題解決能力が低下するおそれがあるので、公的な相談コーナーが必要になる。	男性	70 歳～79 歳	吉祥寺地域
	利便性の高さを生かしつつ、緑豊かで安全な街づくりをこれからも続けてください。子育て支援の充実とともに、高齢者が住み続けられる支援も大切だと思います。見守りはもちろんですが、看取りまで含めた制度（希望する人、有料であることも前提で）も考えてください。高齢者が安心ですごせる街は若い方々の定着にもつながると思います。	女性	60 歳～69 歳	中央地域
	色々やってくれてはいるのだろうけども、残念ながらかゆいところには手が届いていないような気がする。補助金や給付金のパンフ、ポスターをあちこち置いてほしい。セーフティーネットに関しては武蔵野市は下町に比べて冷たい。	男性	50 歳～59 歳	-
新しい福祉サービスの整備	高齢者福祉は充実していると思われるので、今後人口減少に合わせてサービス量を調整していただきたいと思います。武蔵野市は魅力があり、若者は転入して来ますが、地元の学校に通えない児童や、引きこもりとなっている方や家族への支援（居場所など）にも力を入れていただけるといいと思います。また、市役所に行かなくとも（時間や場所に縛られずに）、相談できるシステムの構築などがあるとありがたいと思います。	男性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域

7-2 子ども・教育(65件)

分類	内容	性別	年齢	地域
子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	子どもたちのため、子育てを頑張っているご家庭への支援をもっと充実させてよいと思います。“厳しくも優しい” そんな市政を目指してほしいです。	男性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	武蔵野市に住みたいと思いますが、住宅価格が高すぎて市外に移り住むことも検討しています。子育てをする若い夫婦世帯を対象にした宅地や住宅の供給などの施策があれば若者が定着して武蔵野市の活気に繋がるのではないのでしょうか。	男性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援	武蔵野市に住んで 20 年経ちますが、子どもの育児がしやすい環境（0123 や小学生向けのセカンドスクール、体育館の水泳やスポーツ教室をたくさん利用しました）で住みやすいと感じています。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	病児保育を充実させてほしい。当日や翌日など、急にシッターを手配したくても前もって予約されていることが多く、シッターが見つからない。三鷹に病児保育施設がない。武蔵境は遠いし、受け入れてもらえないことがほとんど。	女性	30 歳～39 歳	中央地域
	保育園、もっともっと増えてほしい。0 歳クラス特に。	女性	20 歳～29 歳	武蔵境地域
子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実	昨年出産し、市の登録やサポートを利用しましたが、そこで感じた子育て支援の問題点について述べます。子育て支援の問題点…出産後、市の登録やサポートを利用したが、子ども関連の市政が充実していないと感じた。産後サポートをお願いする際、市役所や指定場所に行く必要があり、身体的・精神的負担が大きかった。産後支援ヘルパーの登録には事前面談が必要で、対応も遅刻が多く、新生児の母親を優先するため利用しないでほしいと言われた。子育てに不安を感じて相談した際、助産師さんに 7 ヶ月になった頃に訪問すると言われたが、連絡なく実現しなかった。市の対応はあるものの、実際に支援を受ける側からすると負担が大きく、スタッフの対応も適当で、実際にはうまく機能していないと感じた。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
子どもの「生きる力」を育む	武蔵野市は長年住んでおり、いい市だと思いますし、これからも住みたいと思っています。子どもが小さい頃から 0123 や一時保育、ひまわりママ、病児保育など、いろいろ利用させていただき助かりました。他にも夏のジャンボリーやセカンドスクールなど、いろいろ武蔵野市ならではの行事があり、今後も続けていきたいです。	女性	50 歳～59 歳	中央地域
	不登校の子どもに対するサポートが少ない。もっと相談できて、学校や教育委員会に対して意見が言えるような体制を整えてほしい。こども家庭支援センターにDV相談があるように、不登校相談も窓口を作ってほしい。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	小学生の登下校の見守り体制の強化(共働きでも安心して登校させられる配慮)。小学校、中学校の先生たちの待遇改善。教育内容の充実(プログラミングスキル等)。	女性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
教育環境の充実と学校施設の整備	学校に教師(サポート要員含め)が足りないと感じます。もっと人に予算を出し、余裕ある教育ができれば教員側、生徒側、ともに楽になるのではないのでしょうか。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	給食費無料はありがたいが、収入制限なくお金をばらまくのではなく、低所得者への補填で十分だと思う。教員の働き方改革など、ソフト面の充実を図って欲しい。	女性	50 歳～59 歳	中央地域

7-3 平和・文化・市民生活(141件)

分類	内容	性別	年齢	地域
多様性を認め合い 尊重し合う平和な 社会の構築	戦争に反対する平和の街をもっとアピールしてほしい。自分が子供の時はもっともっと平和の大切さを教えられた時代でしたが平和教育はすごく大事だと思います（子供、お年寄り、障害のある方を大切に思う街、お腹が空いている子供を見つけられる街）。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	市長、市議員、職員等、女性の活躍の場を広げる仕組みをもっと増やしてほしい。	女性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
	個人の選べる自由、基本的人権を大事にしてほしい（LGBT、外国人ではなく、一般市民の）。特に若い女性。	女性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
災害への備えの拡 充	防災について→周知を広める。震災の時はこのエリアはどこに逃げるとか備えはどうあるのか等。家具転倒防止の支援だけでなく、もしあった時に雑魚寝・プライバシーなくならないようテントを用意したり、避難所の地盤・耐震強化をしてほしい。	女性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	災害・防災対策の遅れを感じる。大規模災害や首都直下地震が発生したら太刀打ちできないと考えてしまう。防災訓練や非常食の準備、医療体制の拡充、ペット（犬や猫）の避難所での対応を準備して備える必要がある。明日起きかもしれない災害だからこそ真剣に考える必要がある。	男性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	防災無線がまわりに反響して内容が全然わからない。	女性	60 歳～69 歳	中央地域
安全・安心なまち づくり	治安について。住宅街の電柱など、近所の希望に応じて防犯カメラを設置してほしいです。警察だけが見られる状態でも良いので。特に学校、幼稚園などの近所は、土日、平日夕方以降など人目がなくなるので一気に治安が悪化すると思います。電柱に防犯カメラを設置し、「防犯カメラ設置」の大きなステッカーを電柱に貼るだけでかなりの抑止力になるかと思われます。また、そういう場所には明るい街灯も積極的に設置してほしいです。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	道路での大声でのふざけや道路内での無謀な行動が多く、夜朝問わず他人への迷惑を考えない人が多い。この対策に関して、もっと取り締まり強化をお願いしたい。行政では難しいかもしれませんが、何かいい方法をお願いします。	男性	70 歳～79 歳	-
	市役所を名乗る電話が時々かかってくる。近くで工事をしていて家の屋根が、回線の拡張工事をしたので外までという訪問が来ています。注意喚起をお願いします。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
地域社会と市民活動の活性化	仕事を離れた後、地域の人たちとの交流ができればと思いますが、うまく入口が見つかりません。何か参加のハードルの低い場があればうれしいのですが。	女性	60 歳～69 歳	中央地域
	市政はしっかりと進めてくれていると思っているが、生活をしているとどこで誰が何をしているのかよくわからず、市政と市民の間にミゾというか隔たりがあるように感じる。もっと興味をもたないとも思うが、どうしたらいいのかよくわからない。人まかせにしているのもので何らかの形で参加することも考えてみたい。地域の集まりなどにはすでに古いグループが新しい人の参加を受け付けられない雰囲気があることも問題と思う。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	地域のお祭り・イベントでは人が集まりすぎかと思います（参加者に対してスタッフが少ない）。地域ボランティアだけでなく、企業との提携などでイベントを活性化できないかなと感じます。市政サービスは混雑していて受けられないように感じます。もう少し身近に相談できる体制があると良いのかなあと感じます。市民交流の場として、スポーツサークルなどに参加したいなあと思うのですが、意外にサークル活動が少なく、そのあたり活性化できるといいなと思います（例えば中央公園で青空ヨガのイベントなどあったら参加したいです。あとは社会人向けダンスサークルや柔道クラブなどあればなんて思います）	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	高齢化が進み、近所付き合いがなかなか難しい状況下にある。具体的な助け合い方法等について公（広）報をいただきたい。	男性	70 歳～79 歳	-
	コミセンが防災、居場所づくりなど求められるものが多くなっている。一方で、貸室以外に興味のない住民（市外利用者の多い団体）も多い。運営委員の減少、負担を減らすためにも、ITの向上、有償部分、休日など考えてもらいたい。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
豊かで多様な文化の醸成	音楽演奏施設が武蔵野市は遅れている。	女性	80 歳以上	武蔵境地域
	武蔵野市にも文学館があると良いですね。三鷹市さんがちょっとうらやましいです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	東部エリアは住宅地が多いこともあってか、三鷹や境に比べて文化・スポーツ施設が少ないのが残念です。公会堂リニューアルにあたり、もう少し内容を吟味できないかと思います。	女性	70 歳～79 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
多様な学びや運動・スポーツ活動の推進	文化講座やスポーツ講座がたくさんあるのは嬉しいのですが、その運営が色々あって分かりにくいので、情報が一本化することができたらありがたいです。	女性	50 歳～59 歳	中央地域
	市立体育館の建て直し案を聞きました。新館ができるまでのスポーツ環境を明確にしていただかないと、習慣的スポーツ向上、健康等に多大な欠如を及ぼします。特に高齢者たちにはあと何年スポーツを続けられるかの世界です。賢明な計画を作っていただけたら幸甚です。	女性	70 歳～79 歳	中央地域
	個人的な意見としては、多様なスポーツ施設の増設。それによる健康面の維持・推進ができるため。生活面における支援、暮らしの豊かさにつながるため、できればもう少し増やしてほしい。	男性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	無料で使える自習スペースを市の施設に作ってほしい。有料かつ事前予約制は使いにくい。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	図書館が3つは少ないです。また、週1の休館日も月1程度にしてもらいたいです。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	図書館の本をもっと充実させてほしい。本の寄付をしたい人はたくさんいると思います（管理が難しいのでしょうか）。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興	吉祥寺駅周辺が画一的な商業施設やチェーン店ばかりになり、町の魅力が減ってきているように感じる。	男性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	三鷹駅北口駅前に武蔵小金井駅、立川駅のような買物に便利な大型商業施設を作ってほしいです。買物が少し不便です。	女性	50 歳～59 歳	-
	道路や駅前を再整備するのではなく、まずお店や街が賑わい活性化するための施策を考えて欲しい。新しいお店が出店しやすいような環境、条件を整えて欲しい。街づくりは人づくりという考えを待って欲しい。	男性	40 歳～49 歳	中央地域
	24 時間営業のスーパーを駅前に誘致してほしい。帰宅が遅くなった際の夕飯の買い物や、子供が夜間に体調を崩した場合の必要物資の調達に多大な不便を感じている。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	物価が高騰しているので、コロナ中にもあった買い物クーポンをまた配布して頂ければありがたいです。	男性	60 歳～69 歳	中央地域
	市民農園はたくさんの方の生きがいなので、拡大してほしい。また、市民農園で興味を持った人に農業を職業として選択する支援をしたら自給自足の地区になるのではないかと思います。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域

7-4 緑・環境(117件)

分類	内容	性別	年齢	地域
刻々と変化する環境問題への対応	ジモティーステーションをやってほしい。他の区(世田谷等)でやっているのですが、エコリゾートの有効活用にもなるし、ゴミの減量にもなる。	女性	50歳～59歳	-
地球温暖化対策の推進	太陽光発電を各戸に。また、メンテナンスと耐用年数に応じて補助金制度を。また、蓄電池の補助は今してくださっているようですが、地震による火災などの被害には不安があります。全般にわたる市政の努力には感謝です。	女性	70歳～79歳	中央地域
	緑化について。地球沸騰化に少しでも抗うため、緑化にもっともっと力を入れてほしいです。大きめの土地があくとどんどん高いコンクリートの建物が建ち、周りの花壇に少し気を植えても何十戸という部屋のエアコンの室外機から熱風が噴出していたのでは沸騰化なんて止まるわけもないと感じています。マンションのベランダなどでも緑化に取り組みやすいよう、使用済みの土や植木鉢、支柱その他園芸資材(土は枯れた植物、根っこなどを除いてフルイにかけて乾いた状態、鉢は洗浄済などの条件をつけて)などを市で回収し、腐葉土やたい肥などにして再び希望者に提供するなど、リサイクルに力を入れてはどうかと思います。また、土以外の園芸資材や育てられなくなった植物などを市内在住のほしい人に譲れるよう、ネット掲示板のようなシステムがあっても便利かなあと思います。そして、最近はどこでも道路がコンクリート、アスファルトで覆われ、夏は照り返しが熱すぎます。車道のど真ん中(車が走らない部分で横断歩道にかからない部分)のアスファルトを剥がし、雑草でもいいので草を生やした方が少しでも気温上昇に抗えるのではないのでしょうか(雨水もよく吸収してくれますし)。少し極端ですが、もうこれくらいのことをしないと過ごしやすい環境は戻ってこないと思います。	女性	50歳～59歳	武蔵境地域
「緑」を基軸としたまちづくりの推進	公園や街路樹の剪定、老木の処置など手入れされた緑の環境で生活できているのは市政が安定しているおかげだと思っています。	女性	60歳～69歳	武蔵境地域
	緑化について、ベランダで花や緑を育てています。少しの温暖化対策になっているかなと思いますが、種や苗などもらえると励みになります。イベントなどで配布とかありますか。	女性	60歳～69歳	無回答
	樹木を大切にしてほしいです。老木になりやむを得ず切らなければいけない木もあるかもしれませんが、手入れしてできるだけ残していただけたらと思います。	女性	50歳～59歳	中央地域

分類	内容	性別	年齢	地域
省エネルギー・省資源型の持続可能な都市の構築	ごみの分別に毎日頭を悩ませています。昔配布されたごみ便利帳や市のHP等を参考にごみ出ししていますが、それでもわからないことが多く、そのたびストレスを感じています。市報に有害ごみの出し方（リチウム電池など）がスポットで載っていたりしますが、それ以外の分別の仕方ももっと（具体的に）発信してください。例えばラベルのはがせないプラスチックはそのまま資源ごみに出していいか等。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	指定ゴミ袋の包装がビニール袋になったことでプラの使用量が増えたのではと気になります。以前のようなロール状に巻いて紙で留める形の方がエコでは。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	粗大ゴミについて、まだ使えるものも出されているように見られる。引っ越してきた時に自分も出してしまったことがあるが、実家のある街では市が一旦引き取り、高齢者などの技術者がリペアして安く市民に売るということをしていると聞く。武蔵野市はどうでしょうか。粗大ゴミは焼却されるのが普通だと思いますが、自分も含めなるべくゴミを出さない工夫をする生活をする環境に対する考え方も変わるような気がします。	女性	60 歳～69 歳	-
	粗大ゴミについて、現在はクリーンセンターへの持ち込みや依頼回収で対応されているが、他の自治体ではジモティーを活用しているところもある。武蔵野市でも検討してはどうか。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
様々な環境の変化に対応した良好な生活環境の確保	依然として、駅周辺の禁煙地帯で喫煙する歩行者を少なからず見かけます。受動喫煙の問題も一層顕在化してきている昨今、警察とも連携して禁煙地帯での喫煙を指導・取り締まりをすることが出来ないでしょうか。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
	歩きタバコが非常に多い。罰金にしてほしい。街中のゴミも多いので街のゴミ対策も考えてほしい。自宅周辺のゴミをお金を出して自分のゴミ袋で捨てるのはどうかと思う。	男性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	道端のゴミが酷い。自宅前の生垣や公園に捨てたゴミが風で飛んでくる。仕方なくマンション内で捨てていますがお金がかかります。我々の管理費です。	-	50 歳～59 歳	無回答
	近所にネズミ、シロアリが出て何とかしてと言いつらいので、それらの駆除にも補助金をお願いします。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域

7-5 都市基盤(196件)

分類	内容	性別	年齢	地域
個性あふれる魅力的な地域のまちづくり	吉祥寺本町周辺は人も車も多い地域で、道路が狭い。スムーズな往来のためには電柱の地下化と車のスピードが出せないような道路で、人と車の接触が無いような往来になると安心。海外に行き往来を見ていると参考になる国や街が多く、緊急車両にとっても安全で便利だと感じる。海外視察も見るべき事を見なければ無駄ではないと思う。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	三鷹エリアなどに高層ビルが立ちつつあるが、景観がだいなし。ある程度必要なのはわかるが、もっと総合的な視点で考えてほしい。大規模都市は武蔵野市の役割ではない。欲を言えば、古民家的な建物があるほうが日本としての個性がたつ。もっと海外など街づくりを積極的に学んだ者たちで総合的な立案を。あと玉川上水周りの整備を。	男性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	電柱・電線の埋設化による日本一の景観づくりを是非お願いします。	男性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	個人的にまちのライトがオレンジ色（暖色）で、道が綺麗で緑が多く、毎日良い環境だなと思いながら歩いております。ありがとうございます。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
将来にわたり持続性ある都市基盤づくり	公園や道路等の不具合を LINE で通報できるのがとても良いです。いつでも気がついたらすぐできるのが良いです（何度か通報しました）。	女性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	住んで 15 年になりますが、一度も道の舗装されてません（家の前の道）。「街は道から」のフレーズのように、毎日快適に過ごすひとつの方法とも言えます。表面的で構わないのであちこち掘られた跡だらけの道を直していただきたい。表面だけならコスト浮きませんか。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	水道水は地下水からくみ上げているとのこととおいしと感じていましたが、最近味が変わっている気がします。何か変わったことがあれば知りたいです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	上水道の PFOS/PFOA 管理、一刻も早く PFOS の人体への影響を査定し、必要であればアメリカ合衆国に準じた新基準の策定をお願いしたい。	男性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	下水道を整備して欲しいです。ゲリラ豪雨の際、よくトイレやキッチンの排水口から水がふき出す事があります。ご近所に様子を聞きましたが、同じような状況のお宅があったので我家だけの問題ではないと思います。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
誰もが利用しやすい交通環境の整備	ムーバスの導入はとても良かったのですが、雨の日など満員で乗れなかったり、また始発も遅いので困っています。せめて始発をもう少し早くしていただけると助かります。	女性	50 歳～59 歳	無回答
	市役所や駅に行くムーバスが不便です。朝と夕、2回でも決まった時間に三鷹駅や市役所に行くムーバスがあるといいです。	女性	80 歳以上	武蔵境地域
	バス運転者の確保は難しいかとは思いますが、ムーバスの路線拡大、またはオンデマンドバスの導入検討をお願いします。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
	ムーバスのサービスのアップデート→とても良いシステムだとは思いますが。一方で運転の質に波があったり、混雑時に身体を支えるスペースがないほどになるなど安全性に不安を感じることがあり、改善点はあると思います。	女性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	歩道を自転車に乗ったまま走行する者が多く、歩行者スレスレに高速で走り抜ける者が後を絶たない。本来、道交法で自転車は歩道では下りて押して歩かねばならない規則だが、全く守られていない現状に憤りを感じる。歩行者が安心して歩道を歩けるよう、歩道上の自転車走行者への反則切符（反則金徴収）の実施など、適切な規制を行ってほしい。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
	自転車道の整備とそれに伴った自転車のルール徹底をお願いしたいです。ママチャリや宅配の逆走やルール違反が甚だしいです。自転車道に一時停止車があると、歩道に乗り上げる必要があったり、突然自転車道がなくなるのは使いづらいです。警官がママチャリで移動中のパトロールされると良いかもしれません。自転車ルールの取り締まりや防犯の一石二鳥となると良いです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	車椅子利用者や視覚障害者が外出しやすい街づくり対策が手ぬるい。歩道の整備や点字ブロックの設置を急ぎたい。	男性	70 歳～79 歳	吉祥寺地域
安全で快適な道路ネットワークの構築	外環の2、地上部街路はいらない。住民、議会特別委の意思の尊重を。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	女子大通り拡幅の早期推進。	男性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
安心して心地よく 住み続けられる住 環境づくり	吉祥寺東町は低層住宅地であり、売地があってもすぐに新住民の買い手が住宅を建てるので、今までの武蔵野市宅地政策で進めてほしい。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	子育て世帯や年金暮らしへの家賃補助、または市営住宅の供給を増やす。	男性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	年収制限で家賃補助を少しでも良いから出して欲しい。	男性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	空家問題に行政の力、アイデアを使い、早急に動いてほしい。治安の面でも心配です。	女性	60 歳～69 歳	中央地域
活力とにぎわいの ある駅周辺のまち づくり	吉祥寺駅前の再開発、北口からサンロードまでつなげて雨天でも屋根の下を通れるようにする。統一感のある店舗にする。地下街をつくる。	女性	30 歳～39 歳	中央地域
	吉祥寺駅南口の環境を良くしてほしい。バスが怖い。	女性	50 歳～59 歳	中央地域
	吉祥寺は交通アクセスが良く、井の頭公園最寄り駅の文化を背景にした街づくりを進めてほしい。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	三鷹市と手を組み、買い物を老人でも両市行き来できる地下道を作ることが三鷹駅前の発展につながると思う。これから老人が多くなる時代、なおのことと思う。市の担当者が現場で見るとわかんと思う。いかにあの地下道が大変かわかんと思う。65 年前に中町に住んでいるが、大きな建物は建っているが栄えているのは昔の方がと思いながらの記。三鷹駅みたいな北は武蔵野、南は三鷹、ひとつの駅で両市は他にはないと思う。だから、両市がスクラム組まなきゃ。政治と同じに見える。	男性	80 歳以上	中央地域
	三鷹駅北口の再開発に期待しています。吉祥寺駅と武蔵境駅に比べて三鷹駅は魅力的な商業施設が少なく寂しいです。三鷹駅南口に行くのに駅を越えなければならぬので不便です。エレベーターやエスカレーターを整備してほしいです。	女性	30 歳～39 歳	中央地域
	境南町問題。J R南口イトーヨーカドー側、夜 9 時以降暗すぎる。屋根が駅出てすぐない。バス停改悪（特に警察の前、木を切ったからまだましだが、雨でみんながカサさしてバスを待っていると道が狭くて駅に行けない）→住民の数が少ないせいか無視されている。	女性	60 歳～69 歳	武蔵境地域

7-6 行財政(147件)

分類	内容	性別	年齢	地域
市民参加と連携・協働の推進	多様性の尊重や多文化共生が理念として重要であることは認めるものの、外国人参政権のような事案については国民国家の基盤を揺るがしかねない重要な論点であることから、軽々しく時流に流されることなく慎重な市政運営を求めたい。	男性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	外国人参政権とまでは言わないが、永住権を獲得している外国人やずっと市に住んでいる外国人もまちづくりに参加できるような仕組みがあっても良いと思う。	女性	20 歳～29 歳	武蔵境地域
	市民の声を市にどうやって届ければ良いのかを誰でもわかるようにアナウンスしていただきたいです。「市長への手紙」などは周知されていると思いますが、「こんなことで手紙に書いても良いのか」と踏みとどまってしまうようです。年配の方はHPや広報紙だけではわかりません。何か良い方法があると良いのですが（懇談会は時間が合わなかったり手間なんだそうです）。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	市政の通信簿を市民につけてもらう。良い点は継続し、悪い点は改善していくために指標にすべきではないでしょうか。市民が市政に参加する手段として最適だと思っています。	男性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション	市報など、見やすくするためだとは思いますが、紙や印刷など、もう少しコストを下げた方がいいのではないかと思います。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	近頃、何でも「ホームページをご覧ください」「スマホから」「オンラインで」、75 歳以上何%が活用しているのでしょうか。まわりの高齢者を見ても（近くに若い人がいない高齢者家庭）、スマホすら活用しきれていません。我家もタブレット、スマホは一応ありますが、途中でわからなくなるとお手上げです。市民も高齢化になってついていけない高齢者にも配慮した市政をお願いします。	女性	70 歳～79 歳	中央地域
	市から発信される情報ツールが一見多いように見えるが、本アンケートにて初めて知る行政サービスもあった。市民／世帯に確実に届き、理解しやすいツールにすべき。市報のデザインにしてもあまりに前時代的なものに見えます。	男性	70 歳～79 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
公共施設等の再構築と市有地の有効活用	旧赤星邸に民間と協力して喫茶スペースなどを作って、市民のいこいの場としてほしい。	女性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	市の財産を使用・活用・売却等するときは、もっと、なぜそうするか、なぜそうなったかの透明性を高めてほしい。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
社会の変化に対応していく行財政運営	吉祥寺市政センターの夜間窓口の開設中央市政センターの夜間窓口の曜日拡大。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	市政センターの充実をお願いしたい。オンラインですべての書類や手続きができるようにしてほしい。	女性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
	I T 化がたちおくられているように感じる。例えばコミセンなどの活用がしにくい。ネットで予約できるシステムを早く作ってほしいです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	無料 WiFi について。以前に市報で武蔵野市の全施設（市役所他）で無料 WiFi を利用できるようにするといった内容の記事を読んだ記憶がありまして、先日武蔵境駅北口の市政センターで無料 WiFi が使えるか確認したところ、使えないと言われがっかりしました。市役所だけでなく、市政センターでも使えたら良いのになと思いました。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	世の中は急速に変わりつつある中で、今までと同じやり方であまりきちんと考えることなく続けていくことには疑問を感じます。もっと様々な意見を取り入れ、少しでもおかしいと思っていることにはメスを入れ、大幅な改革が必要な時ではないかと思います。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	他市の人と話していると、武蔵野市について「プライドが高い」「施設などハードは素晴らしいが施策はそれほどでもない」「他市がやっていないことはやりたがるが他市がやっているよい施策はなぜかやらない」とよく言われます。私自身、オレンジカフェ（認知症患者や家族の集うカフェ）、がん患者のウィッグ購入助成、イベントのリユース食器利用助成等、他の多くの市がやっているのに自分が必要なときに武蔵野市にはなく、残念に思ったことが何度もあります。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
多様な人材の確保 ・育成と組織の活性化	よくやっているとありますが、若干行政がたるんでいるとの声があります。武蔵野市は種々な行政的にかつて先進的な企画があったと記憶していますが、そういう意味では若干たるんでいるように思われます。各自治体の模範となるような先進的な行政の実施を望みます。	男性	80 歳以上	-
	行政は各種支援や援助などやめ、その分少しでも税金を減らす事を考える。規制を無くし許認可を減らす。行政は市民のサービス機関として条例や規制、そして自分たちの組織の都合で市民の邪魔をしない。高齢者への援助をやめ、若者が如何に高収入を得ることができるかを税金を使い各企業の経営者をコンサルとして活用して行く。お金をばら撒くよりもコンサルや講演会、吉祥寺は各種学校も多いので学内での実社会に役立つ講義の設立などやって行く。	男性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	市が直面する課題を直接解決するのではなく、手軽にマッチング出来る基盤を作って頂ければ、自然に物事が進むと考えます。特に子供たちと武蔵野市内の有能な人材を結びつけることで他の自治体との教育差別化となり、武蔵野市の独自性が際立つと思っています。	男性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域

IV 調査票

武蔵野市民意識調査

市民の皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、将来の基本目標や重要施策を定める「長期計画」を市民参加によって策定し、市政運営を進めています。

今年度策定予定の、第六期長期計画・第二次調整計画の基礎資料とするとともに、市民の多様なニーズ、地域が抱える課題等の把握を目的に、武蔵野市にお住まいの皆様が市政に対してどのようなご意見をお持ちかがうため、市民意識調査を実施いたします。

調査の実施にあたっては、令和6年6月1日現在、満18歳以上の市民の方4,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。ご記入いただいた内容は、無記名のうえ、すべて統計的に処理いたしますので、個々の方のご回答内容や個人情報が特定されることは一切ございません。ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年6月

武蔵野市長 小美濃 安弘

【回答のしかた】 次の2つの方法からいずれか1つを選び回答してください。

1. 調査票（この冊子）に直接記入し郵送（返信用封筒を同封しております。）
2. パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答
→別紙「オンライン回答のご案内」をご覧ください。

<調査票記入上のご注意>

- ◆ 封筒の宛名のご本人がお答えください。
- ◆ ご記入は、濃いえんぴつまたはボールペン・万年筆でお願いいたします。
- ◆ 回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
- ◆ 回答は、設問ごとに（○は1つ）（○はいくつでも）などと指定されていますので、ご注意ください。
- ◆ 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。

ご記入が済みました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、

7月26日（金）までに ご投函ください。

【調査についてのお問い合わせ先】 武蔵野市役所 市民活動推進課 市民相談係

電話：0422-60-1829（直通） 担当／丹羽・高島

※紙の調査票でご回答いただいた方は、インターネットでご回答いただく必要はありません。

※回答の重複を避けるためにIDを付番しています。個人を特定することはありません。

※紙の調査票によるご回答とインターネットによるご回答の両方をしていただいた場合、前者が優先されます。

ID:

P 1 ~ P12

P12~P14

はじめに、お住まいの地域のことについてうかがいます。

問1 あなたが現在住んでいるところに住みはじめた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 公園などが整備され、緑が比較的多い
2. 道路その他の都市インフラが整っている
3. 文化・スポーツなどの施設が整っている
4. 交通の便がよい
5. 買い物が便利
6. 子育てや子どもの教育の環境が整っている
7. 高齢者や障がい者などの施設が充実している
8. 健康・医療施設が整っている
9. 芸術や文化に触れる機会が多い
10. 市政に参加する機会が多い
11. 治安がよい
12. 防災、防火対策が進んでいる
13. 騒音などの公害が少ない
14. 商業や事業に有利
15. 家賃や生活費が手ごろ
16. 親族が住んでいる
17. 生まれ育った地域である
18. 通勤・通学先に近い
19. 社宅・寮がある
20. その他（ ）

問2 あなたは、お住まいの周りの環境についてどう思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	よい	まあよい	あまり よくない	わるい
例 周りの環境➡	1	2	3	4
ア) 地域の治安・安全性	1	2	3	4
イ) 騒音や振動	1	2	3	4
ウ) 公園や緑の多さ	1	2	3	4
エ) 防災や災害時の避難	1	2	3	4
オ) 道路整備の状況	1	2	3	4
カ) 日常の利便性（買物・通勤など）	1	2	3	4
キ) 近所づきあい・地域活動	1	2	3	4
ク) 文化施設・スポーツ施設	1	2	3	4
ケ) まち並みや景観・美観	1	2	3	4
コ) 全体的な雰囲気	1	2	3	4

問3 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 住み続けたい

2. 市内の他のところへ移りたい

3. 武蔵野市以外のところへ移りたい

4. わからない → 問4にお進みください

【問3で「1. 住み続けたい」もしくは「2. 市内の他のところへ移りたい」を選んだ方にお尋ねします。】

問3-1 武蔵野市内に住み続けたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 公園などが整備され、緑が比較的多い | 11. 市政に参加する機会が多い |
| 2. 道路その他の都市インフラが整っている | 12. 治安がよい |
| 3. 文化・スポーツなどの施設が整っている | 13. 防災、防火対策が進んでいる |
| 4. 交通の便がよい | 14. 騒音などの公害が少ない |
| 5. 買い物が便利 | 15. 商業や事業に有利 |
| 6. 近所づきあいなど、人間関係がよい | 16. 家賃や生活費が手ごろ |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っている | 17. 親族が住んでいる |
| 8. 高齢者や障がい者などの施設が充実している | 18. 生まれ育った地域である |
| 9. 健康・医療施設が整っている | 19. 仕事や通学に便利である |
| 10. 芸術や文化に触れる機会が多い | 20. その他 () |

【問3で「3. 武蔵野市以外のところへ移りたい」を選んだ方にお尋ねします。】

問3-2 武蔵野市外に移りたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 公園などが整備されず、緑が比較的小さい | 11. 市政に参加する機会が少ない |
| 2. 道路その他の都市インフラが整っていない | 12. 治安がよくない |
| 3. 文化・スポーツなどの施設が整っていない | 13. 防災、防火対策が遅れている |
| 4. 交通の便がわるい | 14. 騒音などの公害に悩まされている |
| 5. 買い物が不便 | 15. 商業や事業に不利、不向き |
| 6. 近所づきあいなど、人間関係がわるい | 16. 家賃や生活費が高い |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っていない | 17. 親族が住んでいない |
| 8. 高齢者や障がい者などの施設が不十分である | 18. 生まれ育った地域に戻りたい |
| 9. 健康・医療施設が整っていない | 19. 仕事や通学に不便である |
| 10. 芸術や文化に触れる機会が少ない | 20. その他 () |

問4 あなたは、武蔵野市全体のできごとにどの程度関心をお持ちですか。
また、お住まいの地域のできごとについてはいかがですか。(○はそれぞれ1つ)

	非常に 関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
ア) 武蔵野市全体について	1	2	3	4
イ) お住まいの地域について	1	2	3	4

問5 あなたは日頃、近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(○はいくつでも)

1. 会えばあいさつする
2. 会えば立ち話する
3. とときどき食事をしたり、出かけたりすることがある
4. 互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする
5. 互いの家に行って、おしゃべりや飲食をする
6. ほとんどつきあいはない

【問5で「1」～「5」(つきあいがある)を選んだ方にお尋ねします。】

問5-1 どのようなきっかけで、近所の方とのつながりができましたか。
(○はいくつでも)

1. 日常生活の中で
2. 保育園、幼稚園、学校などを通じて
3. 趣味やスポーツ、習い事などを通じて
4. コミュニティセンターで
5. 地域のボランティア活動を通じて
6. 地域の集会や会合、イベントなどで
7. 友人、知人を通じて
8. その他 ()

【問5で「6. ほとんどつきあいはない」を選んだ方にお尋ねします。】

問5-2 近所の方とのつきあいがない理由は何でしょうか。(○はいくつでも)

1. つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない
2. 仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない
3. 職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している
4. 相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている
5. 自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない
6. 地域とのつながりを持つ必要がない
7. 新型コロナウイルス感染症の影響で外出が減った
8. その他 ()

問6 あなたは、お住まいの地域とのつながりやコミュニケーションのために何かしていることがありますか。していることがない場合、今後したいと思っていますか。
(○はそれぞれ1つ)

	している	今はしていないが 今後したい	これから したいと思わない
例 行っていること➡	①	2	3
ア) 日常的に気軽にあいさつや会話をする	1	2	3
イ) 趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる	1	2	3
ウ) コミュニティセンターを利用する	1	2	3
エ) 地域のお祭りやイベントなどに参加する	1	2	3
オ) 集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う	1	2	3
カ) 地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える	1	2	3
キ) 防災・福祉・環境ボランティアなどの地域活動に参加する	1	2	3
ク) 地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する	1	2	3
ケ) 災害などいざというときに助け合う	1	2	3
コ) その他 ()	1	2	3

問7 防災・福祉・環境ボランティアなど、地域の活動に、より多くの人が参加するようにするために必要なことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 活動内容を積極的に広報すること 2. 団体の情報がオープンになっていること 3. 市民が求める地域課題に沿って活動すること 4. 活動・行事の内容を魅力的にすること 5. 企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること 6. 活動と一緒に行動する仲間や知り合いがいること 7. 活動に参加するときの役割や協力内容が明確化されていること 8. 地域の様々な人や団体との情報交換や交流の場があること 9. その他 ()
--

問8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

	感じている	やや感じている	あまり感じていない	感じていない
ア) 武蔵野市全体について	1	2	3	4
イ) お住まいの地域について	1	2	3	4

問9 日頃、生活や身近な環境で困っていることや不安なことはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 自分や家族の病気や健康、介護のこと | 10. 近隣や地域との関係のこと |
| 2. 子どもの保育や教育のこと | 11. 交通環境に関すること |
| 3. 居場所や生きがいのこと | 12. 住宅に関すること |
| 4. 収入や資産など経済的なこと | 13. 災害時のこと |
| 5. 進学、就職のこと | 14. 犯罪や防犯に関すること |
| 6. 結婚、妊娠、出産のこと | 15. その他 |
| 7. 老後に関すること | 〔 〕 |
| 8. 事業や家業の経営のこと | |
| 9. 家族や親族との関係のこと | 16. 困っていることや不安なことはない |

問10 あなたは、困りごとがあるときに、だれに手伝ってもらいますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 配偶者（事実婚含む）・パートナー | 7. 職場の同僚 |
| 2. 子ども | 8. 市役所 |
| 3. 親 | 9. 民間サービス |
| 4. その他の家族・親族 | 10. その他（ ） |
| 5. 友人・知人 | 11. 手伝いは必要ない |
| 6. とおり近所の人 | 12. 手伝って欲しいが、頼む人がいない |

問11 あなたは、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 配偶者（事実婚含む）・パートナー | 9. 保育園、幼稚園、学校の先生 |
| 2. 子ども | 10. かかりつけ医 |
| 3. 親 | 11. 民生委員・児童委員 |
| 4. その他の家族・親族 | 12. 警察 |
| 5. 友人・知人 | 13. 専門的な相談窓口、機関 |
| 6. とおり近所の人 | 14. その他（ ） |
| 7. 職場の同僚 | 15. 相談はしない |
| 8. 市役所 | 16. 相談したいが、する人がいない |

市政に関する情報提供などについてうかがいます。

問 12 あなたは現在、武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|----------------------|
| <p>1. 十分に得られている</p> <p>2. 充分ではないが必要な情報は得られている</p> | <p>3. あまり得られていない</p> |
|---|----------------------|

問 13 あなたは、市政に関するどのような情報を知りたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 保険・年金 | 9. 防犯・防災 |
| 2. 税金 | 10. 催し物・講座の情報 |
| 3. 福祉 | 11. 市の魅力・おすすめスポット |
| 4. 保健・医療 | 12. 市の財政状況 |
| 5. 子育て・教育 | 13. 市内施設の開館日・空き状況等 |
| 6. 環境（緑・公園） | 14. その他（ ） |
| 7. ごみ・リサイクル | 15. 特にない |
| 8. 文化・スポーツ | |

問 14 市では、さまざまな手段（場所）で、武蔵野市の情報を発信しています。
あなたは、次の手段（場所）を知っていますか。また、利用していますか。それぞれの
欄に○をご記入ください。（○はそれぞれ1つ）

情報を得ているもの	知っていて、 利用している	知っているが、 利用していない	知らない
例 広報媒体等の名称 ……→	①	2	3
ア) 市報	1	2	3
イ) 市議会だより	1	2	3
ウ) きょういく武蔵野	1	2	3
エ) 市のホームページ	1	2	3
オ) むさしのシティニュース (CATV)	1	2	3
カ) むさしのFM	1	2	3
キ) 季刊むさしの	1	2	3
ク) 市のフェイスブック、X (旧ツイッター)、LINE、Instagram	1	2	3
ケ) YouTube (市動画チャンネル)	1	2	3
コ) カタログポケット (言語ユニバーサル情報配信ツール)	1	2	3
サ) 男女平等推進情報誌「まなこ」	1	2	3
シ) 新聞・タウン誌など	1	2	3
ス) むさしの防災・安全メール	1	2	3
セ) 市役所や市政センターなど	1	2	3
ソ) コミュニティセンター	1	2	3
タ) 口コミ (市以外のSNSを含む)	1	2	3
チ) その他 ()	1	2	3

現在の市の施策に対する満足度・重要度についてうかがいます。

問 15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、②今後の重要度については可能な限りご回答ください。

①現在の市の施策・事業の実施状況、または今後実施予定の施策・事業に対し、どの程度満足していますか。

満足度を判断できない場合は「5. わからない」に○をしてください。

②これからの市政を進める上で、どの程度重要だと思いますか。

(○は項目ごとに満足度・重要度それぞれ1つ)

		①現在の満足度					②今後の重要度			
		満足	ある程度満足	していきなり満足	不満足	わからない	重要	ある程度重要	でない	重要でない
例	施策・事業の名称 取り組み事例	①	2	3	4	5	①	2	3	4
健康・福祉	ア) 地域福祉 ○地域福祉活動の推進 ○災害時要援護者対策事業 ○生活困窮者支援 ○福祉総合相談窓口 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	イ) 高齢者福祉 ○相談事業 ○介護保険 ○認知症施策 ○施設整備 ○レモンキャブ ○テンミリオンハウス など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	イ-2) 高齢者の生きがいづくり支援 ○シルバー人材センター ○敬老事業 ○シニア支え合いポイント制度 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ウ) 障がい者福祉 ○相談事業 ○雇用や就労支援 など ○施設整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	エ) 健康づくり ○各種健診・検診や予防接種 ○身体やこころの健康づくり ○介護予防、食育 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
子ども・教育	オ) 子ども・子育て支援 ○子どもの医療費助成制度 ○0123施設等のひろば事業 ○保育施設整備・保育サービスの充実 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	カ) 青少年施策 ○地域子ども館学童クラブ・あそべえ ○むさしのジャンボリー、プレーパーク など	1	2	3	4	5	1	2	3	4

		①現在の満足度					②今後の重要度			
		満足	ある程度満足	あまり満足していない	不満足	わからない	重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない
子ども・教育	キ) 小・中学校教育 ○セカンドスクール ○特別支援教育 ○給食・食育 ○不登校対策 ○ICT 機器の活用 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	キ-2) 学校施設 ○学校施設の維持管理と建替え	1	2	3	4	5	1	2	3	4
平和・文化・市民生活	ク) 市民参加・市民活動 ○コミュニティセンター ○NPO・市民活動の支援 ○委員会委員の公募や会議の公開 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ケ) 平和・多文化共生・国内外交流 ○平和啓発事業 ○人権擁護 ○男女平等推進・多様性理解 ○友好都市との交流事業 ○多文化共生の推進 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	コ) 文化・学習・スポーツ ○生涯学習の支援 ○図書館、武蔵野プレイス ○文化・芸術、スポーツの推進 ○ふるさと歴史館 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	サ) 産業・消費生活 ○商業の活性化、創業・事業承継支援 ○都市農業振興、農地保全 ○消費者相談 ○観光振興 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	シ) 災害対策 ○防災訓練、防災態勢の強化 ○建築物の耐震化 ○浸水対策の推進 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ス) 安全対策 ○防犯対策、安全パトロール ○特殊詐欺対策 ○環境浄化対策 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4

		①現在の満足度					②今後の重要度			
		満足	ある程度満足	あまり満足していない	不満足	わからない	重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない
緑・環境	セ) 環境啓発 ○エコ re ゾートによる環境啓発 ○環境に関する情報発信 ○団体等の連携・活動支援 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ソ) 気候変動・地球温暖化対策 ○再生可能エネルギー、省エネ・創エネ設備の普及 ○公共施設の環境負荷低減 ○雨水浸透・利活用 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	タ) 緑化・水辺空間 ○公園、緑地等の整備 ○生物多様性の保全 ○緑と水のネットワークの推進 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	チ) ごみ ○ごみ減量・資源化の推進 ○クリーンセンターの安全・安定運営 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ツ) 生活環境問題への対応 ○生活公害の低減 ○まちの美化 ○喫煙マナー・受動喫煙対策 ○動物愛護 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
都市基盤	テ) 都市基盤整備 ○まちづくり条例による開発調整 ○都市景観 ○土地利用の誘導 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	テ-2) 吉祥寺のまちづくり ○吉祥寺駅周辺の再整備 ○エリアごと（セントラルパーク・イースト・ウエスト）の再整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	テ-3) 三鷹駅北口のまちづくり ○三鷹駅北口周辺の再整備 ○駅前広場の拡充 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	テ-4) 武蔵境のまちづくり ○武蔵境駅周辺の道路整備 ○駅前オープンスペースの再整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4

		①現在の満足度					②今後の重要度			
		満足	ある程度満足	あまり満足していない	不満足	わからない	重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない
都市基盤	ト) 交通・道路 ○安全な交通環境づくり ○ムーバス ○生活道路の整備 ○都市計画道路の整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ナ) 自転車対策 ○駐輪場、自転車走行空間の整備 ○自転車の安全利用啓発 ○放置自転車対策 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	二) 上・下水道 ○上・下水道施設の耐震化・更新 ○安定的な水道水の供給 ○下水道臭気対策 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ヌ) 住宅政策 ○公営住宅、高齢者向け住宅 ○分譲マンション管理支援 ○空き家対策、耐震化助成 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
行財政	ネ) 行財政改革 ○健全財政、職員育成、事務事業等見直し ○自治基本条例に基づく市政運営 ○市有地の有効活用 ○ICTの活用 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ノ) 情報の収集・発信 ○広聴・広報の充実 ○情報セキュリティの徹底 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
ハ) 施策全般の総合的な満足度		1	2	3	4	5	/	/	/	/

問 16 市政の現状や問題点についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	そう 思う	やや そう 思う	そう あまり 思わ ない	そう 思わ ない	わ から ない
例 現状や問題点について →	①	2	3	4	5
ア) 全体として、いまの武蔵野市政は、 うまくいっている	1	2	3	4	5
イ) 市民は、自分たちの意見を市政に 反映させるように努力している	1	2	3	4	5
ウ) 市政には自分たちの意見が反映されて いると感じられる	1	2	3	4	5
エ) 市政は、取り組む内容を誰がどのように 決めているのかわかりにくい	1	2	3	4	5
オ) 多様な市民ニーズにこたえるために、 市民の負担を増やしても行政サービスを 拡大・充実させるべきだ	1	2	3	4	5
カ) よりよいまちづくりのためには、自分たち でできることは自分たちで行い、解決でき ないことは行政と一緒に取り組むべきだ	1	2	3	4	5

問 17 武蔵野市は、これからどのようなになれば、より魅力的で活力あふれる都市（まち）
になると思いますか。(○は3つまで)

1. 日頃から文化や芸術に触れあえるまち 2. 豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち 3. 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち 4. 年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち 5. 医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち 6. 誰もが学びたいときに学べる、生涯学習環境が整ったまち 7. 市民参加、地域参加、ボランティアなどが盛んなまち 8. 個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち 9. 商工業や農業がさかんな産業都市 10. ごみの発生抑制やエネルギーの地産地消により、環境に配慮した持続可能なまち 11. 治安が良く災害に強い安全なまち 12. 行政サービスに人工知能や ICT 関連技術などを取り入れた先進都市 13. 全ての人がその個性と能力を生かせる多様性が尊重されるまち 14. その他 ()

This image shows a full page of white paper with ten horizontal dashed lines, typical of primary school handwriting practice paper. The lines are evenly spaced and extend across the entire width of the page. There is no text or other markings on the paper.

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- F2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- F3 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

- 177 –

F 4 あなたは現在、結婚をしていますか（事実婚、パートナー含む）。（○は1つ）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 現在、結婚している | 3. 一度も結婚したことはない |
| 2. 過去に結婚していた（離別、死別など） | |

F 5 あなたの（同居している）家族構成をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| 1. ひとり暮らし | 5. 自分と子と孫（3世代世帯） |
| 2. 自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー | 6. 親と自分と子（3世代世帯） |
| 3. 自分と子（2世代世帯） | 7. 祖父母と親と自分（3世代世帯） |
| 4. 自分と親（2世代世帯） | 8. その他（ ） |

【F 5で「3. 自分と子（2世代世帯）」、「5. 自分と子と孫（3世代世帯）」、「6. 親と自分と子（3世代世帯）」を選んだ方にお尋ねします。】

F 5-1 お子さん（1番年少の方）の状況をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 小学校入学前 | 5. 専門学校、短期大学、大学生等 |
| 2. 小学生 | 6. 社会人 |
| 3. 中学生 | 7. その他（ ） |
| 4. 高校生 | |

F 6 同居のご家族に高齢や障がい等で介護の必要な方はいますか。（○は1つ）

- | | |
|--------|--------|
| 1. い る | 2. いない |
|--------|--------|

F 7 職場・学校等、あなたが平日の日中に最も多くの時間を過ごす場所はどこですか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 武蔵野市内 | 3. 東京都23区内 |
| 2. 武蔵野市以外の東京都の市町村 | 4. 東京都外 |

F 8 武蔵野市内での合計の居住年数をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10年～15年未満 |
| 2. 1年～5年未満 | 5. 15年～20年未満 |
| 3. 5年～10年未満 | 6. 20年以上 |

F 9 現在お住まいの町名をお答えください。（○は1つ）

- | | | | |
|----------|----------|--------|---------|
| 1. 吉祥寺東町 | 5. 吉祥寺北町 | 8. 緑町 | 11. 境 |
| 2. 吉祥寺南町 | 6. 中町 | 9. 八幡町 | 12. 境南町 |
| 3. 御殿山 | 7. 西久保 | 10. 関前 | 13. 桜堤 |
| 4. 吉祥寺本町 | | | |

F10 現在お住まいの住宅の種類をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 持ち家（戸建て） | 4. 借家（マンション・アパート等の集合住宅） |
| 2. 持ち家（マンション等の集合住宅） | 5. 社宅・寮 |
| 3. 借家（戸建て） | 6. その他（福祉施設など） |

F11 あなたの世帯全体の令和5年中の収入額はどのくらいでしたか。(○は1つ)

※収入には年金や財産収入等を含め、世帯で同居されている方全体の収入（税金や保険が引かれる前の金額）でお答えください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 収入なし | 6. 700～1,000 万円未満 |
| 2. 100 万円未満 | 7. 1,000～1,500 万円未満 |
| 3. 100～300 万円未満 | 8. 1,500 万円以上 |
| 4. 300～500 万円未満 | 9. わからない |
| 5. 500～700 万円未満 | |

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、

7月26日（金）までに ご投函ください。

※無記名による調査ですので、調査票や返信用封筒には住所や氏名を書かないでください。

令和6(2024)年度
武蔵野市民意識調査

発行 令和7(2025)年3月

発行 武蔵野市 市民部 市民活動推進課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2丁目2番28号
電 話 0422-60-1829(直通)

実施 株式会社総合企画
〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-7-2 岩崎ビル4階
電 話 03-5829-6203